

**広川町**  
**まちづくりアンケート調査**  
**報告書**

令和元年（2019年）11月  
福岡県 広川町



# 目 次

## I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要.....	1
2 回答者の属性.....	2

## II 調査結果

■ 広川町の住みやすさについて ■	5
1 広川町への愛着度 .....	5
2 広川町の暮らしやすさ.....	7
3 広川町での居住意向について .....	9
■ 広川町のまちづくりについて ■	13
4 広川町のまちづくりについて .....	13
5 行政施策.....	16
6 今後力を入れるべき行政施策 .....	44
■ 都市基盤の整備について ■	
7 道路整備について .....	48
8 交通手段の充実 .....	50
9 交通アクセスの充実.....	52
10 インターネットの利用状況 .....	54
■ 環境保全・生活環境について ■	
11 自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組み.....	56
12 環境に配慮した生活 .....	58
13 4 R運動の実践.....	60
■ 防犯・防災対策について ■	
14 防犯活動への参加状況 .....	62
15 消防・防災対策について力を入れるべきこと.....	64
16 避難路・避難場所の認知状況.....	66
17 家庭での防災対策.....	68
■ 産業振興について ■	
18 農業振興のために力を入れるべきこと .....	70
19 商業振興のために力を入れるべきこと .....	72
20 町内での買い物.....	74
21 工業振興のために力を入れるべきこと .....	76
22 観光振興のために力を入れるべきこと .....	78
23 広川町の雇用・就労対策事業の利用経験 .....	80

<b>■ 保健・医療・福祉について ■</b>	
24	健康増進のための取り組み状況.....82
25	かかりつけ医 .....85
26	保健・医療対策ついて力を入れるべきこと.....87
27	地域福祉活動への参加状況 .....89
28	子育て環境を充実するために力を入れるべきこと .....91
29	高齢者施策について力を入れるべきこと .....93
30	障がい者施策について力を入れるべきこと.....95
<b>■ 教育・文化・スポーツについて ■</b>	
31	子ども達の豊かな人間教育のために必要なこと .....97
32	生涯学習活動 .....99
33	生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくために必要なこと .....101
34	日常的（週1回以上）なスポーツ活動 .....103
35	スポーツ活動を活発にするために必要なこと.....105
<b>■ 人権・男女共同参画について ■</b>	
36	人権教育の推進・啓発活動などへの参加経験.....107
37	男女共同参画社会を形成するために必要なこと .....109
<b>■ ボランティア活動や地域間交流について ■</b>	
38	地域活動やボランティア活動への参加意向.....111
39	国内外の交流について必要なこと .....113
<b>■ 広報・広聴などについて ■</b>	
40	広報誌について.....115
41	広川町の情報の入手方法 .....117
42	行政情報の入手希望方法 .....119
<b>■ 行政サービス等について ■</b>	
43	窓口サービスの向上のために必要なこと .....121
<b>■ 地方創生について ■</b>	
44	地方創生について.....123
45	高速バスについて.....125
46	国道3号線のバイパス建設に期待すること.....129
47	結婚・出産・子育て等について（50歳未満のみ） .....130
48	若い世代が広川町で暮らすために必要なこと.....139

# I 調査の概要及び回答者の属性



## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、「広川町第4次総合計画（改訂版）」を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

### (2) 調査実施方法

対象者と抽出方法	本町に居住する18歳以上の2,500人を、住民基本台帳から無作為に抽出しました。
調査方法	郵送法
調査時期	令和元年9月27日から令和元年10月15日まで
配布・回収状況	配布数 2,500 回収数 1,172 回収率 46.9%

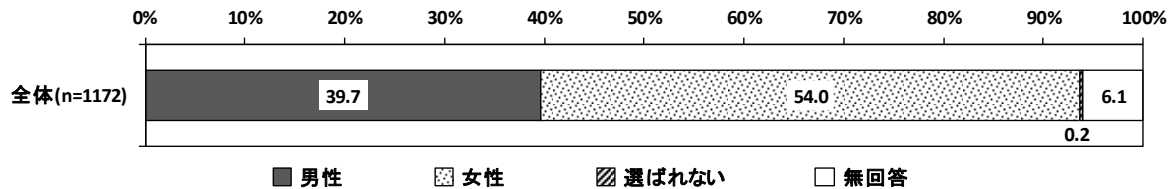
### (3) 調査結果の処理

- 回答比率は、百分比のポイント以下2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100%にならないことがあります。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示しています。

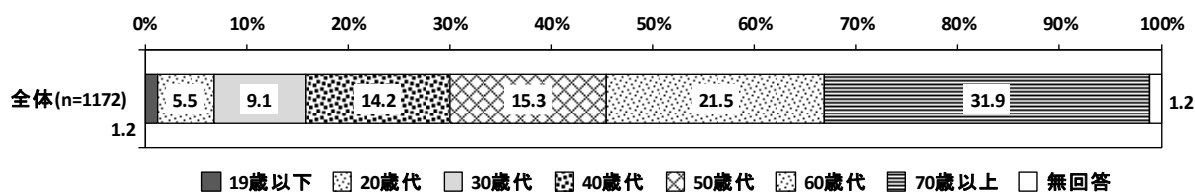
## 2 回答者の属性

有効回答のあった1,172人の属性は、以下のようになっています。

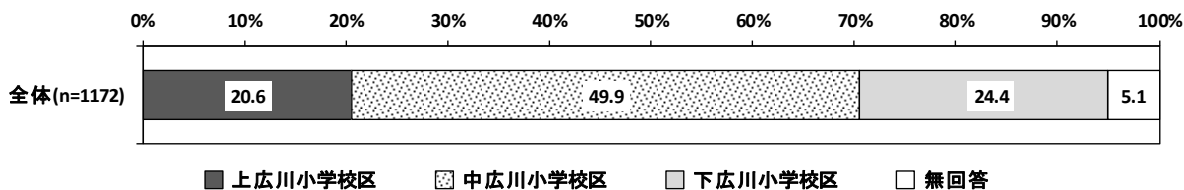
### ■性別



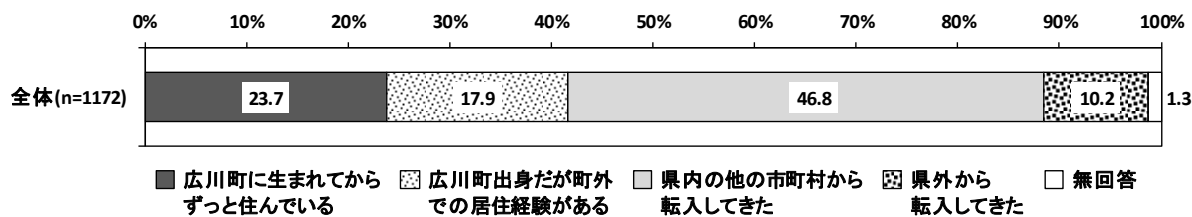
### ■年齢



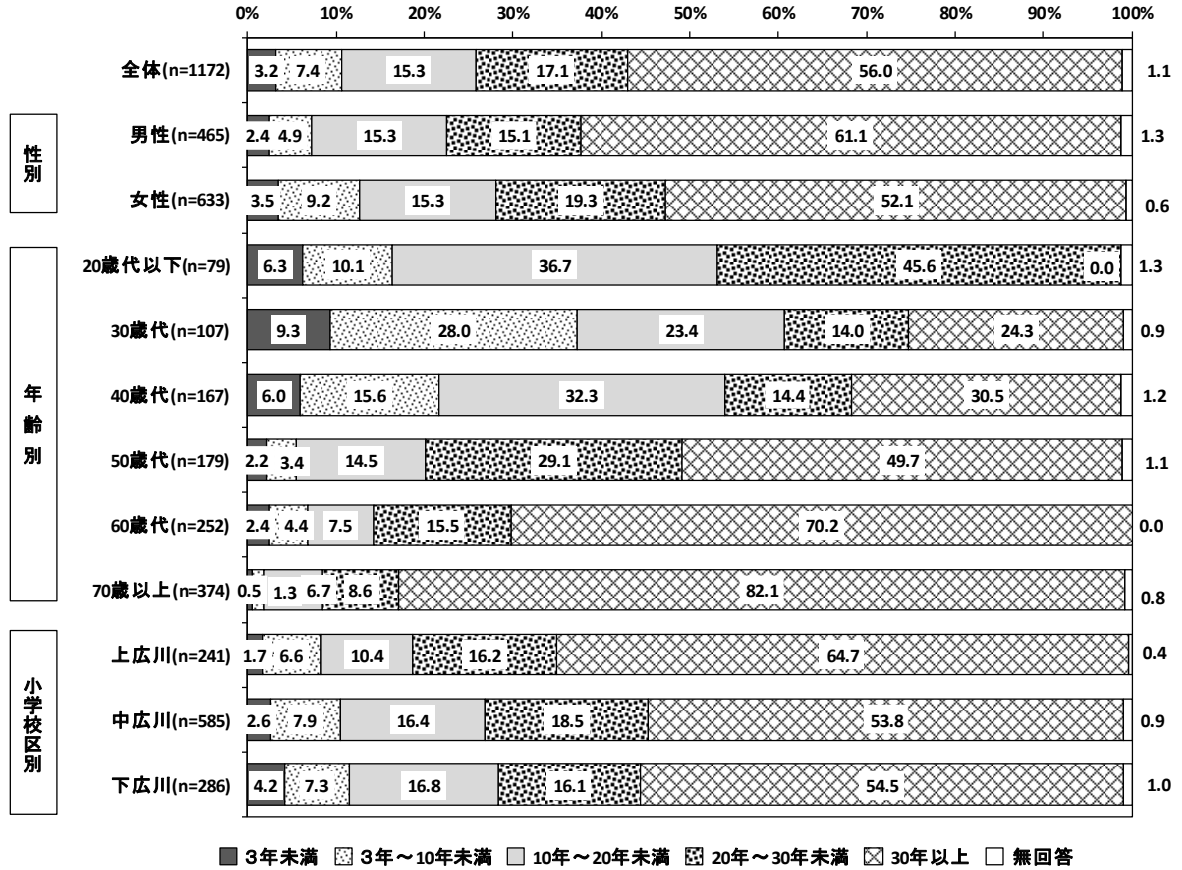
### ■居住地区



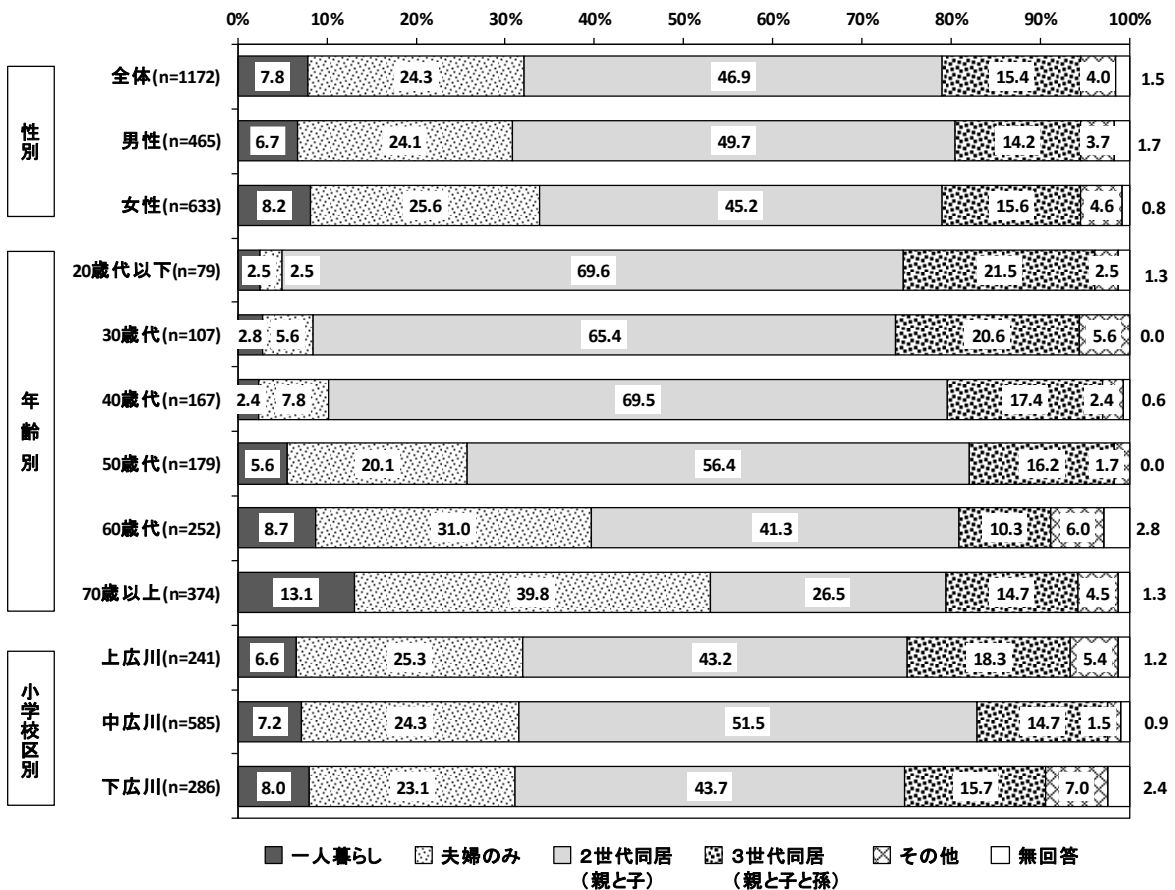
### ■居住状況



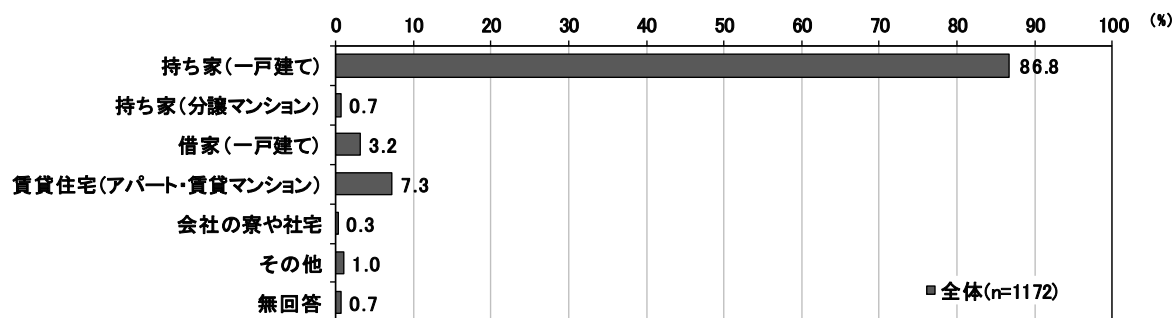
### ■ 広川町での居住年数



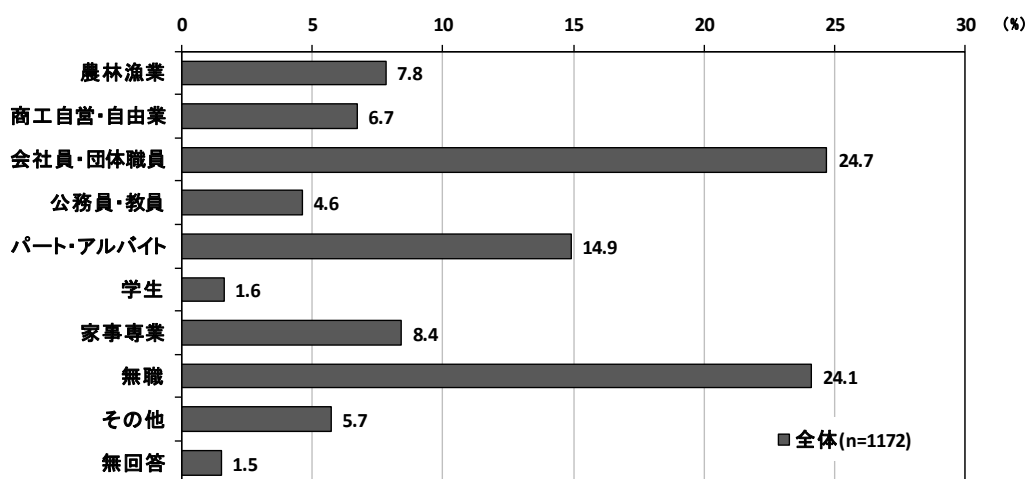
### ■ 家族構成



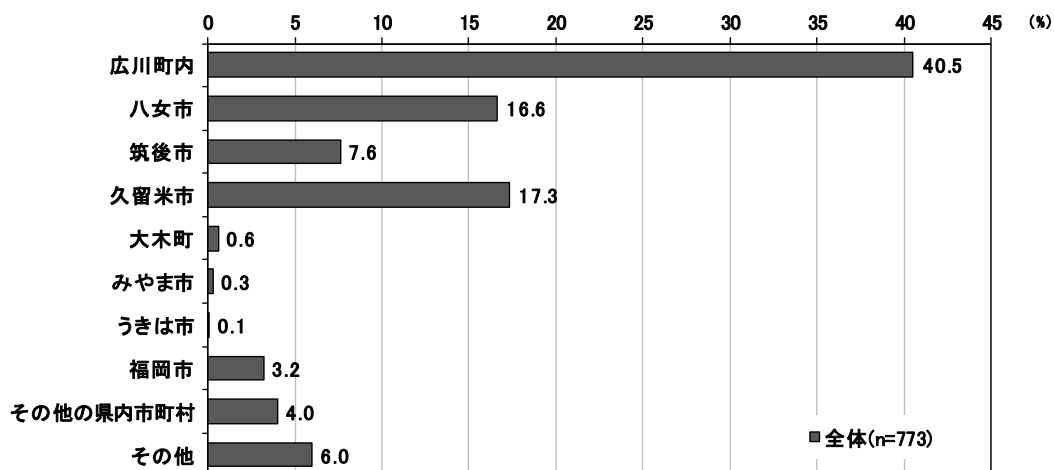
## ■居住形態



## ■職業



## ■勤務地



## II 調査結果



## ■ 広川町の住みやすさについて ■

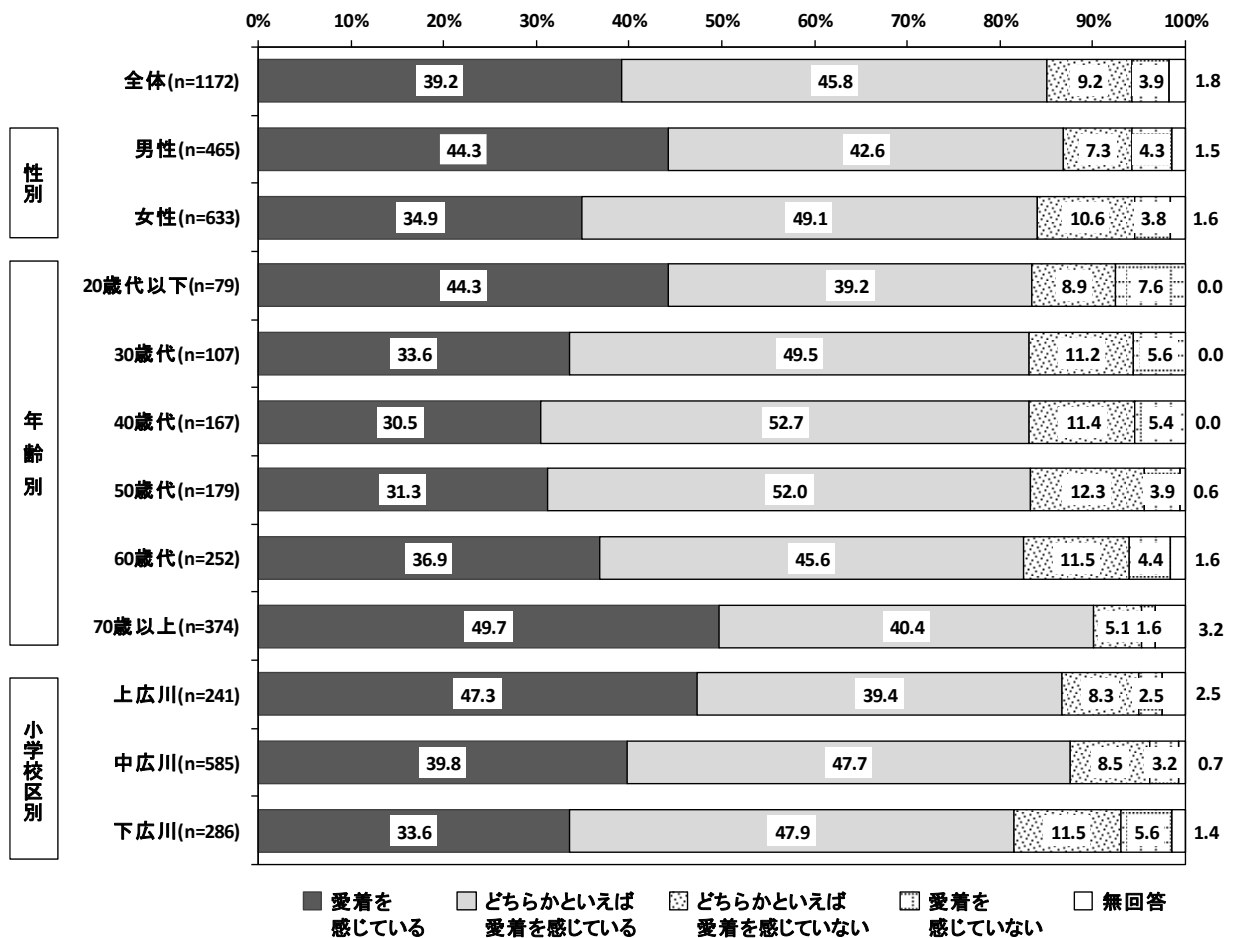
### 1 広川町への愛着度

「自分のまち」に対する愛着度をみると、「愛着を感じている」が 39.2%、「どちらかといえば愛着を感じている」が 45.8%、合計すると 85.0%が愛着を感じています。一方、愛着を感じていないのは 13.1%（「どちらかといえば愛着を感じていない」 9.2%+「愛着を感じていない」 3.9%）となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性は 44.3%が「愛着を感じている」としてありますが、女性は 34.9%と少なくなっています。
- 年齢別にみると、30 歳代から 60 歳代で「愛着を感じている」が 30%台にとどまっています。
- 小学校区別にみると、上広川で「愛着を感じている」が 47.3%と半数近くありますが、中広川では 39.8%、下広川では 33.6%となっており、小学校区別に差がみられます。

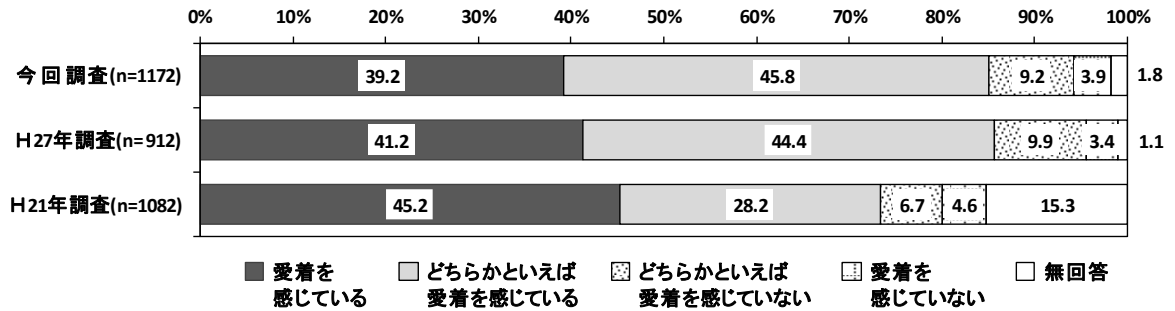
問 2. あなたは、広川町に「自分のまち」として、どの程度愛着を感じていますか。(○印 1 つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「愛着を感じている」と「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた比率は、今回調査と H27 年調査は同程度ですが、H21 年調査に比べると、今回調査は 12% 増えています。

問 2. あなたは、広川町に「自分のまち」として、どの程度愛着を感じていますか。(○印 1 つ)



※H21年調査の「どちらともいえない」(14.5%)は「無回答」と合算している。

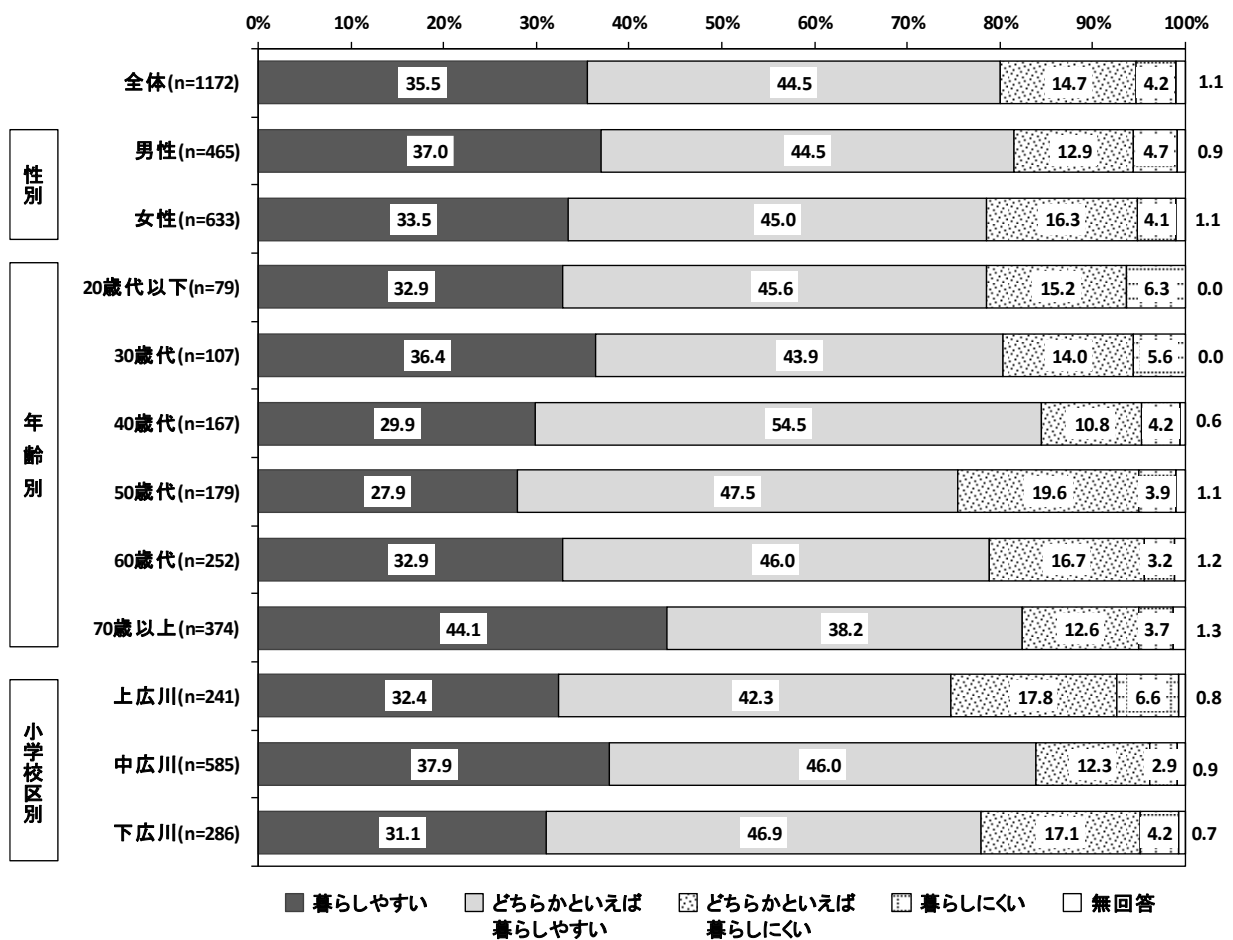
## 2 広川町の暮らしやすさ

広川町の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が35.5%、「どちらかといえば暮らしやすい」が44.5%、合計すると80.0%が暮らしやすいとしています。一方、暮らしにくいのは18.9%（「どちらかといえば暮らしにくい」14.7%+「暮らしにくい」4.2%）となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代、50歳代で「暮らしやすい」が30%を下回り、ほかの年代と比べて少なくなっています。

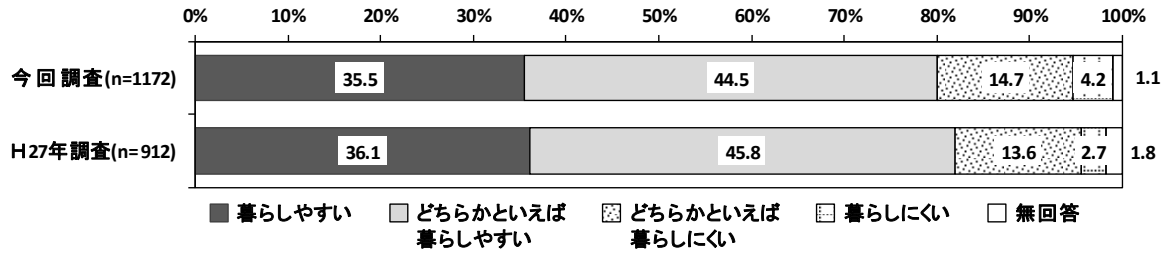
問3. あなたは、広川町は、暮らしやすいまちだと思いますか。（○印1つ）



【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査と差異はみられません。

問 3. あなたは、広川町は、暮らしやすいまちだと思いますか。(○印 1 つ)



### 3 広川町での居留意向について

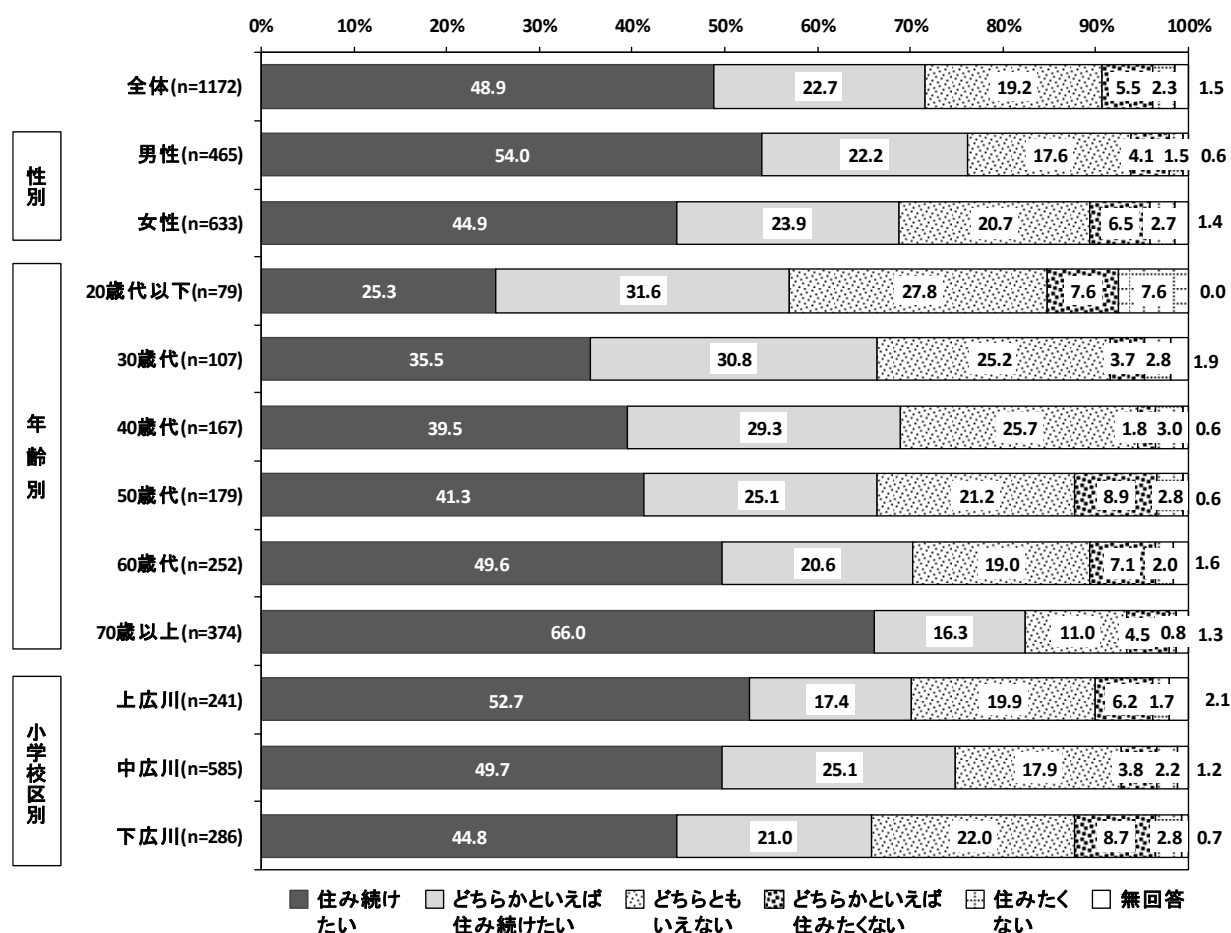
#### (1) 居留意向

広川町での居留意向をみると、「住み続けたい」が 48.9%、「どちらかといえば住み続けたい」が 22.7%、合計 71.6%が住み続けたいとしています。一方、住みたくないは 7.8%（「どちらかといえば住みたくない」 5.5%+「住みたくない」 2.3%）となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では、「住み続けたい」が 54.0%と半数を超えていますが、女性では 44.9%と過半数を下回っています。
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「住み続けたい」が少なくなっており、20歳代以下では 25.3%となっています。
- 小学校区別にみると、上広川では「住み続けたい」が 52.7%と半数を超えていますが、中広川では 49.7%、下広川では 44.8%となっています。

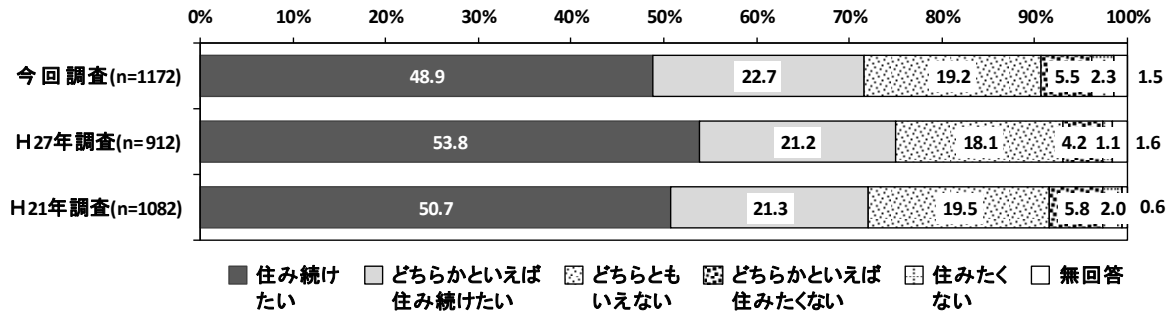
問4. あなたは、これからも広川町に住み続けたいと思いますか。（○印1つ）



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「住み続けたい」は、H27 年調査に比べると、やや減少し、H21 年調査と同程度となっています。

問 4. あなたは、これからも広川町に住み続けたいと思いますか。（○印 1 つ）



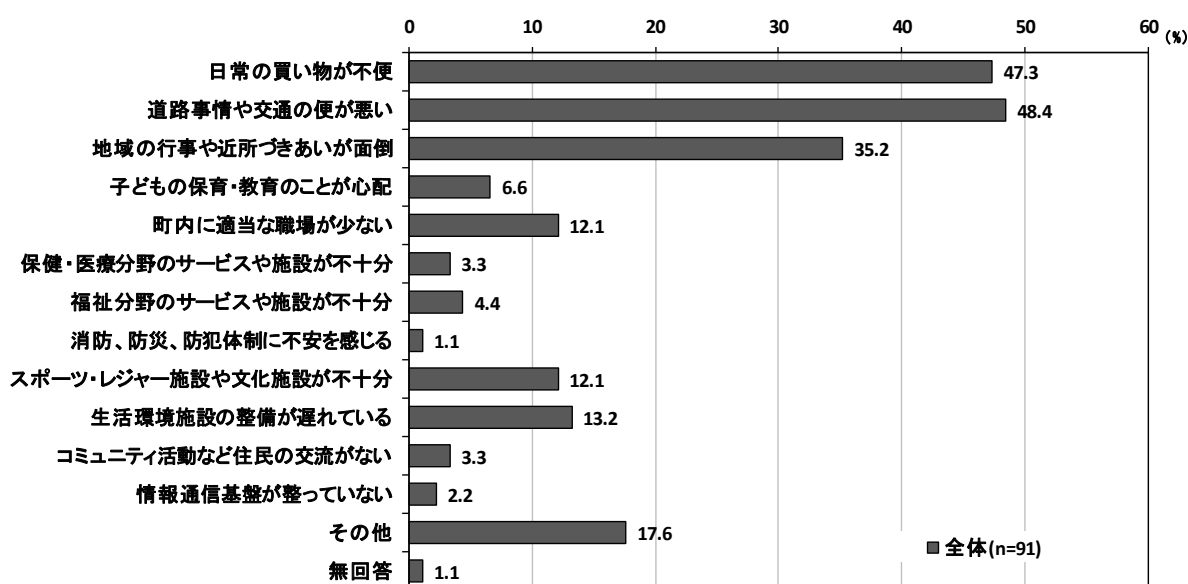
## (2) 居住したくない理由

広川町に住みたくないと思う理由としては、「道路事情や交通の便が悪い」(48.4%)、「日常の買い物不便」(47.3%)、「地域の行事や近所づきあいが面倒」(35.2%)の3つが多くなっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「地域の行事や近所づきあいが面倒」が41.4%、男性(23.1%)に比べて18.3ポイントも多くなっています。

問5. (問4で4～5と回答した方へ) 住みたくないと思う主な理由はなんですか。(○印2つまで)



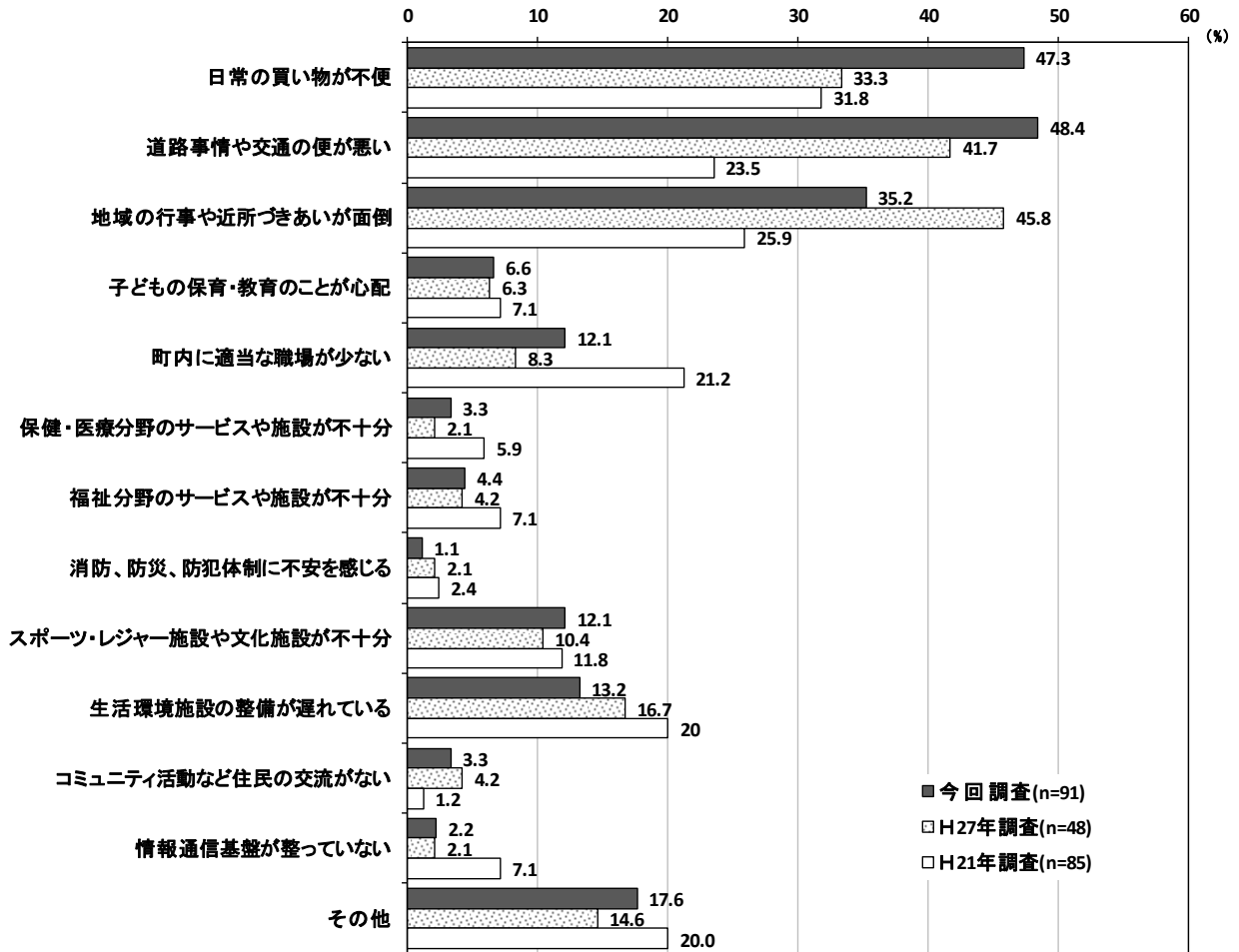
	サンプル数	日常の買い物が不便	道路事情や交通の便が悪い	地域の行事や近所づきあいが面倒	子どもの保育・教育のことが心配	町内に適当な職場が少ない	保健・医療分野のサービスや施設が不十分	福祉分野のサービスや施設が不十分	消防、防災、防犯体制に不安を感じる	スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分	生活環境施設の整備が遅れている	コミュニティ活動など住民の交流がない	情報通信基盤が整っていない	その他	無回答	
全体	91	47.3	48.4	35.2	6.6	12.1	3.3	4.4	1.1	12.1	13.2	3.3	2.2	17.6	1.1	
性別	男性	26	57.7	46.2	23.1	7.7	11.5	-	3.8	3.8	7.7	19.2	3.8	3.8	26.9	-
	女性	58	44.8	46.6	41.4	6.9	10.3	5.2	3.4	-	13.8	10.3	3.4	1.7	15.5	1.7
年齢別	20歳代以下	12	50.0	58.3	8.3	8.3	25.0	-	8.3	-	16.7	8.3	-	-	-	8.3
	30歳代	7	42.9	42.9	14.3	14.3	-	-	-	-	42.9	14.3	-	-	28.6	-
	40歳代	8	25.0	37.5	87.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	50歳代	21	52.4	38.1	57.1	4.8	14.3	-	-	-	9.5	-	-	4.8	4.8	-
	60歳代	23	34.8	52.2	34.8	4.3	8.7	13.0	8.7	-	26.1	17.4	8.7	4.3	17.4	-
	70歳以上	20	65.0	55.0	15.0	5.0	10.0	-	5.0	5.0	-	20.0	5.0	-	35.0	-
小学校別	上広川	19	63.2	63.2	31.6	5.3	10.5	-	-	5.3	5.3	10.5	-	-	15.8	-
	中広川	35	42.9	42.9	42.9	5.7	14.3	8.6	5.7	-	20.0	14.3	2.9	5.7	20.0	-
	下広川	33	42.4	45.5	30.3	9.1	12.1	-	-	-	9.1	15.2	6.1	-	15.2	3.0

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H21 年調査において第 1 位は、「日常の買い物が不便」でした。H27 年調査での第 1 位は「地域の行事や近所づきあいが面倒」、今回調査の第 1 位は「道路事情や交通の便が悪い」です。
- H21 年・27 年調査に比べ、今回調査では「日常の買い物が不便」が 10 数%増えています。

問 5. (問 4 で 4～5 と回答した方へ) 住みたくないと思う主な理由は何ですか。(○印 2 つまで)



## ■ 広川町のまちづくりについて ■

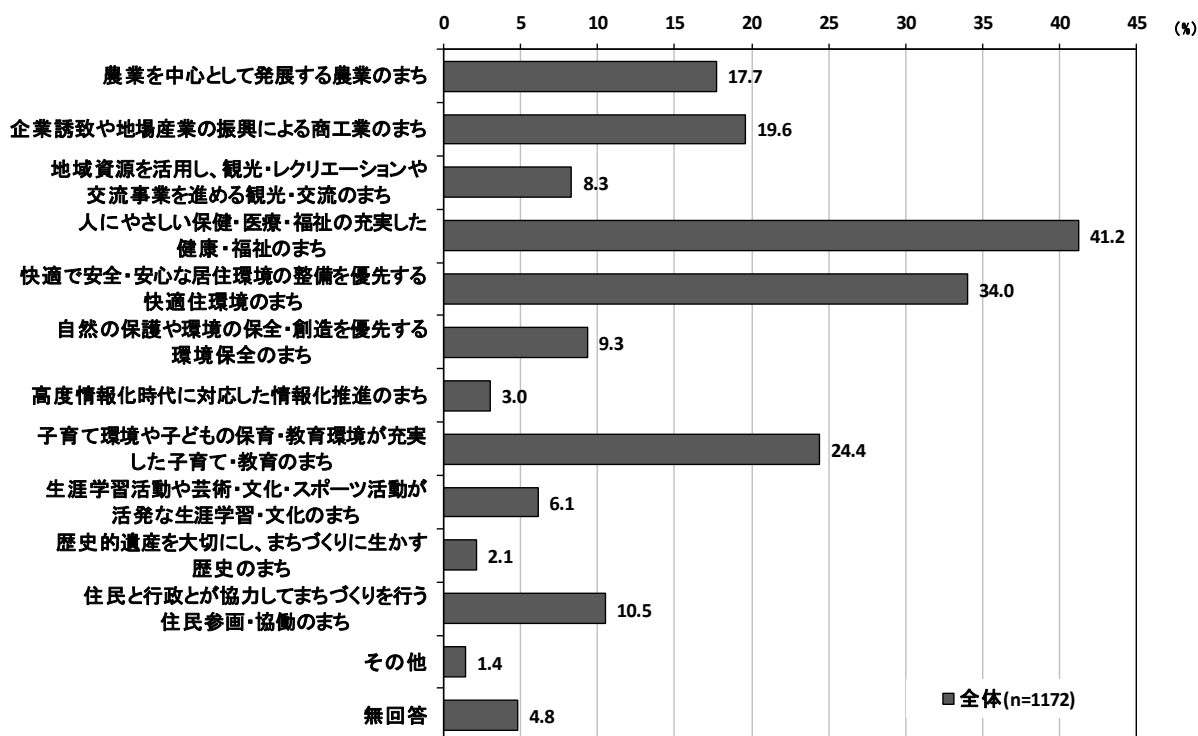
### 4 広川町のまちづくりについて

広川町を今後どのような特色のあるまちにすべきだと考えているかをみると、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が41.2%と最も多く、次いで「快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(34.0%)、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(24.4%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代以下では「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」が多くあげられており、中でも30歳代では54.2%と半数を超えています。

問6. あなたは今後のまちづくりについて、広川町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(○印2つまで)



問6. あなたは今後のまちづくりについて、広川町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。(〇印2つまで)

《属性別》

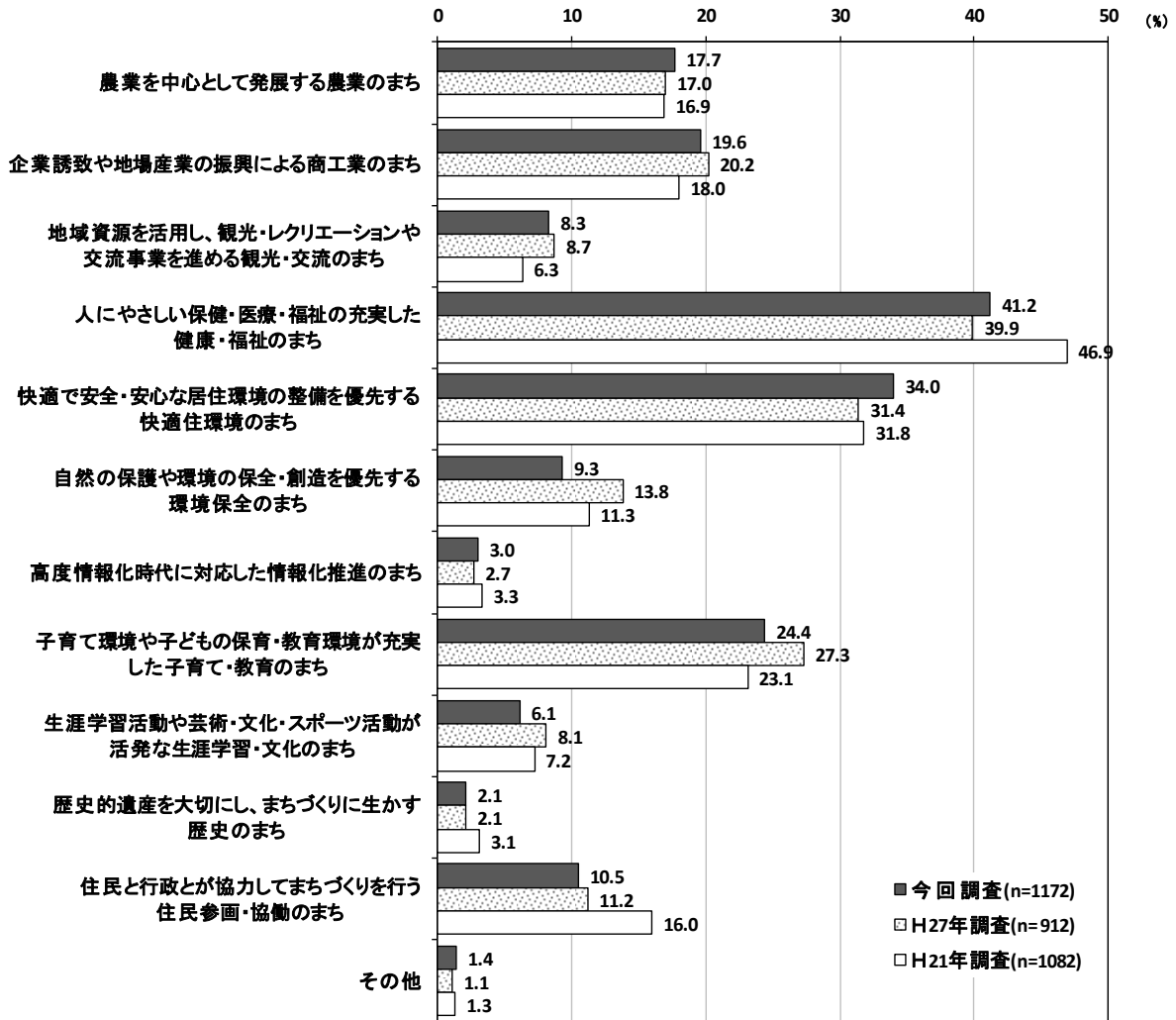
		サンプル数	農業を中心として発展する農業のまち	企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち	地域資源を活用し、観光・レクリエーションや交流事業を進める観光・交流のまち	健康・福祉のまち	人によさしい保健・医療・福祉の充実したまち	快適で安全・安心な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち	高度情報化時代に対応した情報化推進のまち	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち	歴史的遺産を大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち	住民と行政とが協力してまちづくりを行う住民参画・協働のまち	その他	無回答
全体		1172	17.7	19.6	8.3	41.2	34.0	9.3	3.0	24.4	6.1	2.1	10.5	1.4	4.8	
性別	男性	465	21.3	<b>26.2</b>	7.7	36.1	32.0	8.6	4.1	21.9	4.7	2.6	10.3	1.1	4.1	
	女性	633	14.8	14.7	8.5	45.0	35.7	10.0	2.2	27.0	7.4	1.7	11.2	1.6	4.9	
年齢別	20歳代以下	79	<b>22.8</b>	22.8	8.9	32.9	21.5	7.6	7.6	<b>39.2</b>	5.1	1.3	7.6	2.5	5.1	
	30歳代	107	16.8	17.8	10.3	30.8	37.4	4.7	5.6	<b>54.2</b>	7.5	2.8	9.3	-	0.9	
	40歳代	167	17.4	18.0	7.8	38.9	37.7	9.0	2.4	<b>32.3</b>	3.6	2.4	7.8	1.8	1.2	
	50歳代	179	15.6	21.8	10.1	43.0	<b>43.0</b>	7.3	3.4	23.5	6.1	1.7	9.5	1.7	4.5	
	60歳代	252	15.1	20.2	8.7	40.9	37.7	10.3	1.6	18.7	9.5	1.6	9.5	2.0	5.6	
	70歳以上	374	20.1	19.0	7.0	<b>46.5</b>	27.5	11.2	2.1	14.2	4.8	2.4	14.2	0.8	6.4	
小学校区別	上広川	241	20.3	20.3	8.3	38.2	35.3	11.6	2.9	19.1	5.8	2.5	13.3	1.7	4.6	
	中広川	585	15.4	21.0	8.5	42.1	34.5	8.9	3.2	28.9	6.2	1.9	10.4	0.7	4.1	
	下広川	286	18.9	15.0	8.0	42.3	35.3	9.1	2.8	22.0	7.3	2.1	8.4	2.1	4.9	

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H21 年・27 年調査、今回調査とも大きな差異はありません。
- 「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」はいずれの年次の調査でも第 1 位ですが、今回調査の比率は、H21 年調査に比べると 6%減っています。

問 6. あなたは今後のまちづくりについて、広川町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



## 5 行政施策

広川町の9分野34行政施策を提示して、それらの満足度と重要度をたずねました。

それぞれの行政施策の集計結果に、下記に示すスコアウエイトを与え、その平均スコアを算出し、大きい順に並べると、以下のようになります。

### ■ 満足度 ■

自然環境の豊かさ	0.664
水道の整備状況	0.526
ごみ処理・リサイクルの状況	0.478
保健サービス	0.446
広報・広聴活動	0.439
消防・防災体制	0.417
医療環境	0.384
役場での窓口サービス	0.324
町の生涯学習活動・文化活動	0.271
小中学校などの学校教育	0.270
自宅周辺の街並み景観	0.198
防犯・交通安全体制	0.171
住民参画	0.167
農業の振興	0.153
子育て環境	0.145
人権教育の推進・啓発	0.128
スポーツ活動	0.102
バリアフリー化	0.073
地場産業の振興や企業誘致	0.060
男女共同参画の推進	0.058
国内外との交流活動	0.054
下水道等の整備状況	0.049
高齢者施策	0.038
情報通信網の整備状況	0.016
町の中心市街地の整備状況	0.003
障がい者施策	0.002
町の行財政改革に関する進捗状況	-0.028
公営住宅の整備状況	-0.068
道路の整備状況	-0.106
公園・緑地・水辺の整備状況	-0.113
観光の振興	-0.165
雇用・就労対策	-0.196
商業環境	-0.398
公共交通機関の利便性	-0.610

(注) 満足度の平均スコア算出ウエイト

・満足	2点
・やや満足	1点
・どちらともいえない	0点
・やや不満	-1点
・不満	-2点

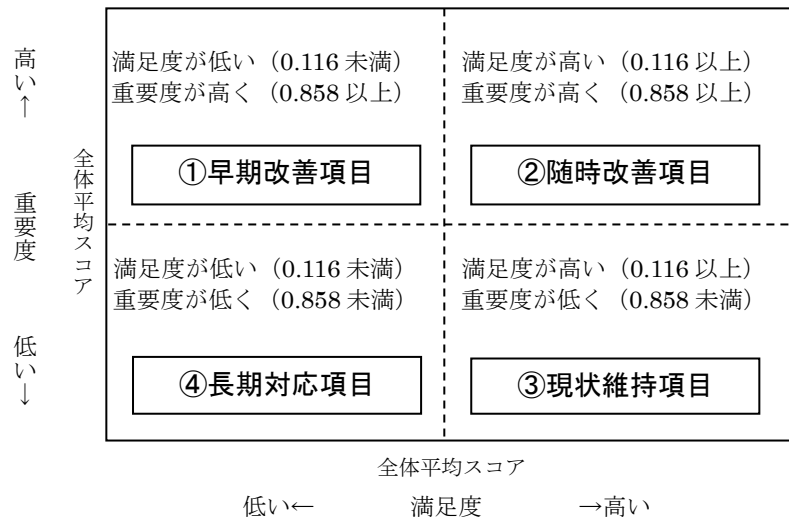
■ 重要度 ■

医療環境.....	1.282
防犯・交通安全体制.....	1.279
消防・防災体制.....	1.258
道路の整備状況.....	1.230
公共交通機関の利便性.....	1.213
小中学校などの学校教育.....	1.148
ごみ処理・リサイクルの状況.....	1.135
高齢者施策.....	1.118
子育て環境.....	1.112
下水道等の整備状況.....	1.065
保健サービス.....	1.041
水道の整備状況.....	1.020
バリアフリー化.....	0.992
障がい者施策.....	0.980
役場での窓口サービス.....	0.971
自然環境の豊かさ.....	0.921
町の中心市街地の整備状況.....	0.904
商業環境.....	0.843
雇用・就労対策.....	0.809
広報・広聴活動.....	0.771
公園・緑地・水辺の整備状況.....	0.770
地場産業の振興や企業誘致.....	0.759
町の行財政改革に関する進捗状況.....	0.728
情報通信網の整備状況.....	0.712
町の生涯学習活動・文化活動.....	0.700
農業の振興.....	0.616
自宅周辺の街並み景観.....	0.605
スポーツ活動.....	0.578
観光の振興.....	0.536
住民参画.....	0.535
男女共同参画の推進.....	0.508
人権教育の推進・啓発.....	0.457
国内外との交流活動.....	0.342
公営住宅の整備状況.....	0.239

(注) 重要度の平均スコア算出ウエイト

・重要.....	2点
・やや重要.....	1点
・どちらともいえない.....	0点
・あまり重要ではない.....	-1点
・重要ではない.....	-2点

また、満足度と重要度の平均スコアから、34 の行政施策を4つのグループに分類します。なお、この分類は、相対的なものであり、平均点に近くなるほど隣接する領域の要素も含まれてくるため施策の方向性を明確に位置付けるものではありません。



### ①早期改善項目

満足度は低いですが、重要度が高いもので、早期の改善が望まれます。

- バリアフリー化
- 下水道等の整備状況
- 高齢者施策
- 町の中心市街地の整備状況
- 障がい者施策
- 道路の整備状況
- 公共交通機関の利便性

### ②随時改善項目

満足度と重要が共に高いもので、必要に応じて改善を図りながら、維持が望まれます。

- 自然環境の豊かさ
- 水道の整備状況
- ごみ処理・リサイクルの状況
- 保健サービス
- 消防・防災体制
- 医療環境
- 役場での窓口サービス
- 小中学校などの学校教育
- 防犯・交通安全体制
- 子育て環境

### ③現状維持項目

満足度が高く、重要度が低いもので、推移をみながら維持が望まれます。

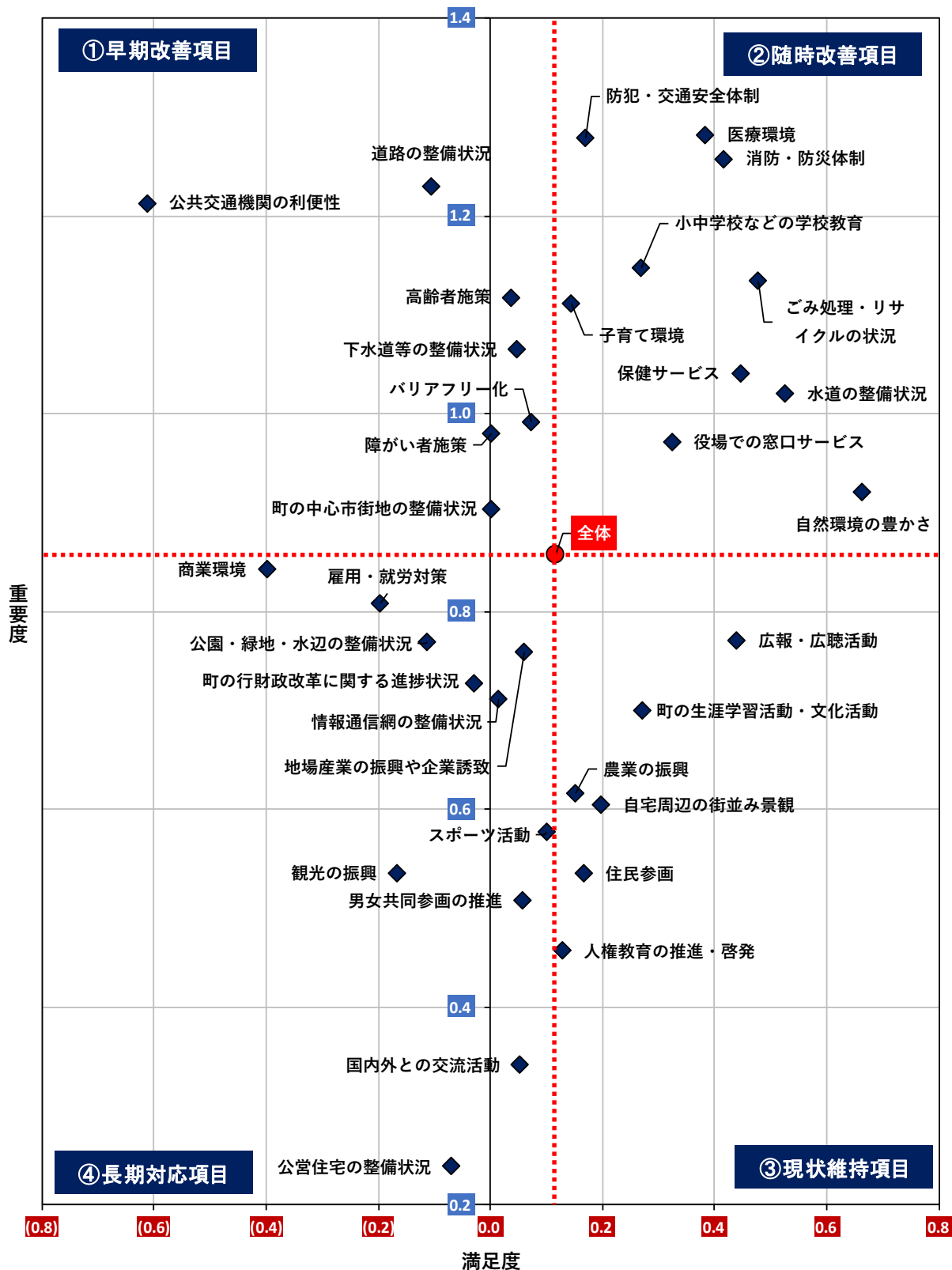
- 広報・広聴活動
- 町の生涯学習活動・文化活動
- 自宅周辺の街並み景観
- 住民参画
- 農業の振興
- 人権教育の推進・啓発

### ④長期対応項目

満足度と重要度が共に低いもので、推移をみながら改善が望まれます。

- スポーツ活動
- 地場産業の振興や企業誘致
- 男女共同参画の推進
- 国内外との交流活動
- 情報通信網の整備状況
- 町の行財政改革に関する進捗状況
- 公営住宅の整備状況
- 公園・緑地・水辺の整備状況
- 観光の振興
- 雇用・就労対策
- 商業環境

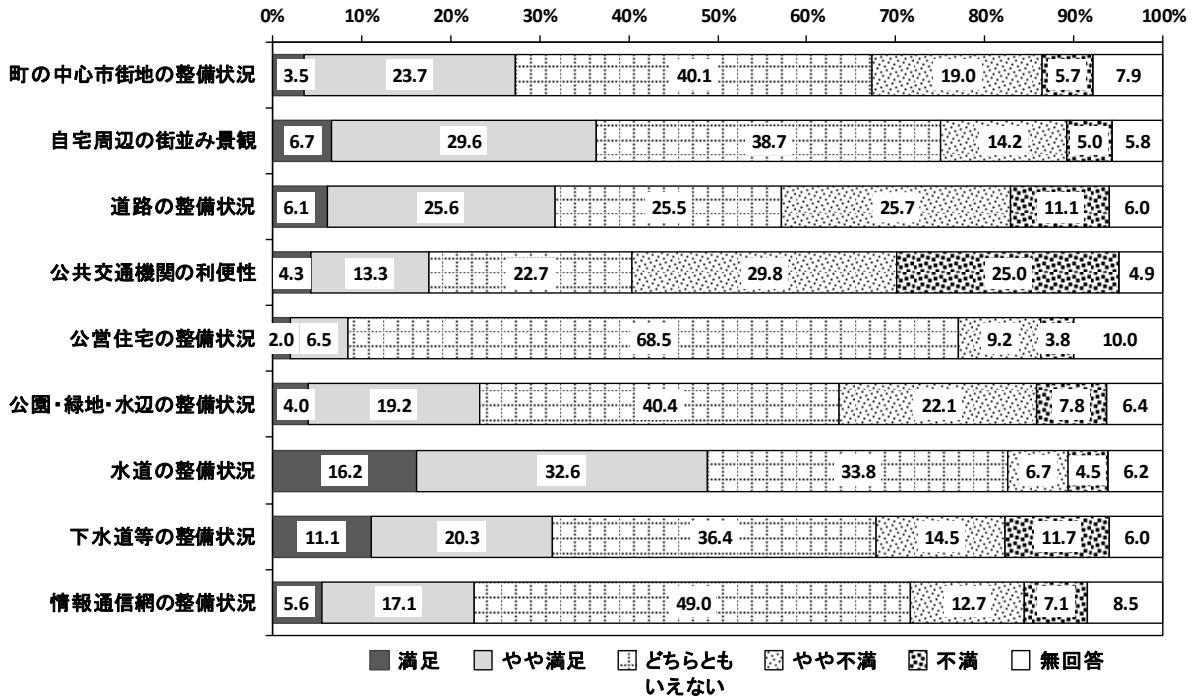
■満足度・重要度の平均スコアによる散布図■



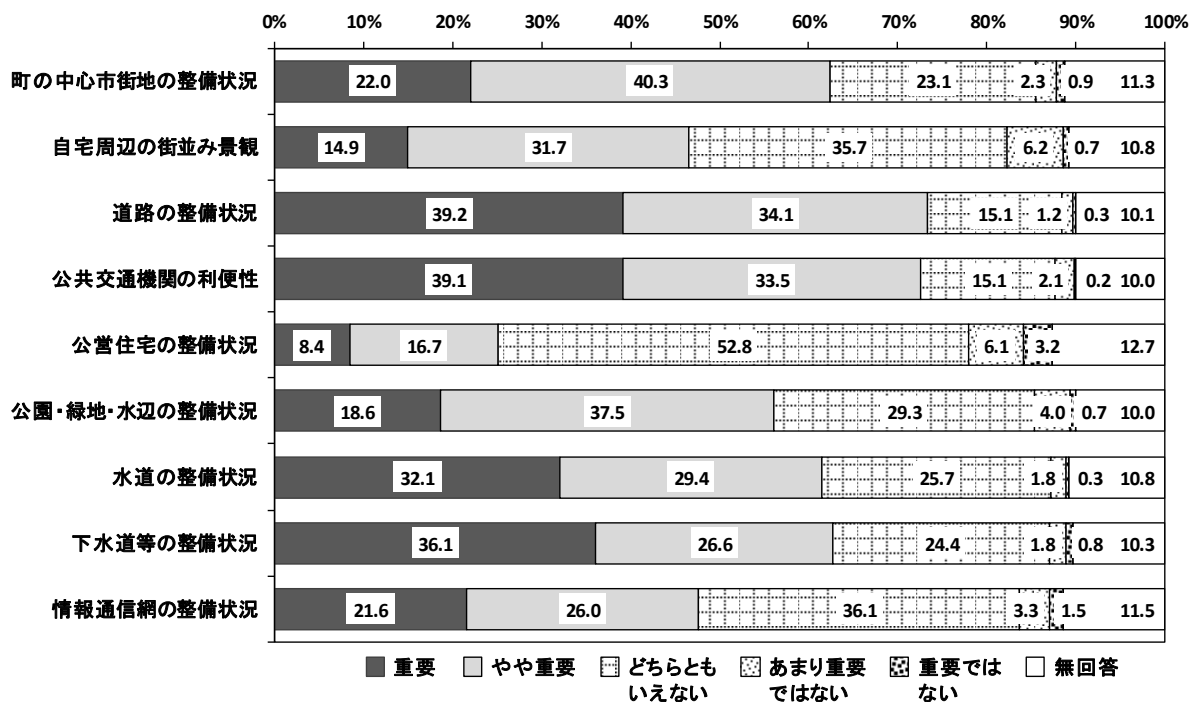
問7. 次にあげる広川町の34の行政施策それぞれについておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どの程度満足されていますか。また、今後、どの程度重要だと思われますか。

■ 都市基盤(n=1172)

【満足度】

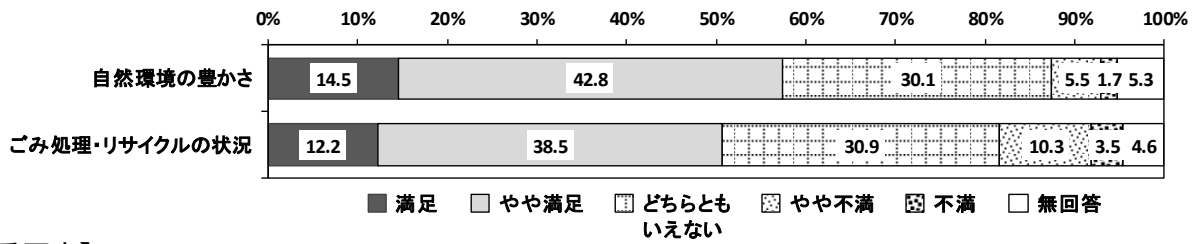


【重要度】

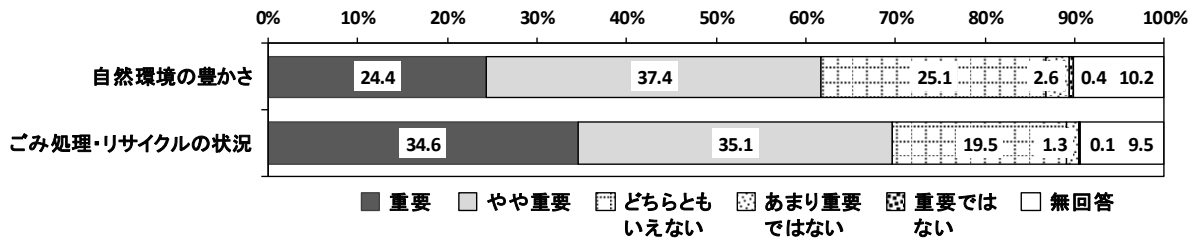


■ 環境保全・生活環境 (n=1172)

【満足度】

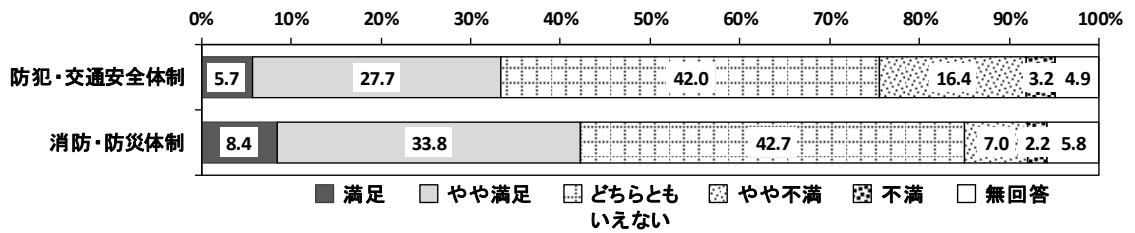


【重要度】

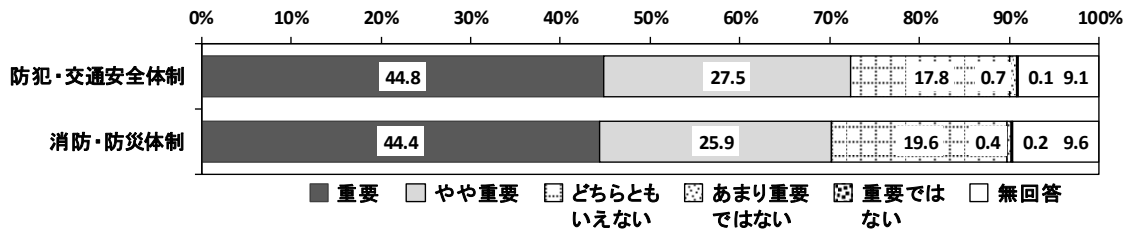


■ 防犯・防災対策 (n=1172)

【満足度】

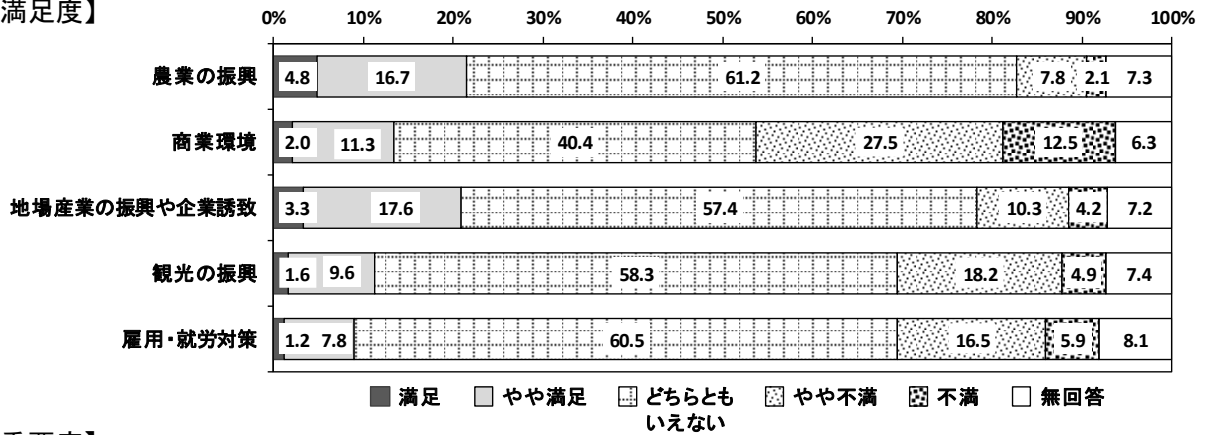


【重要度】

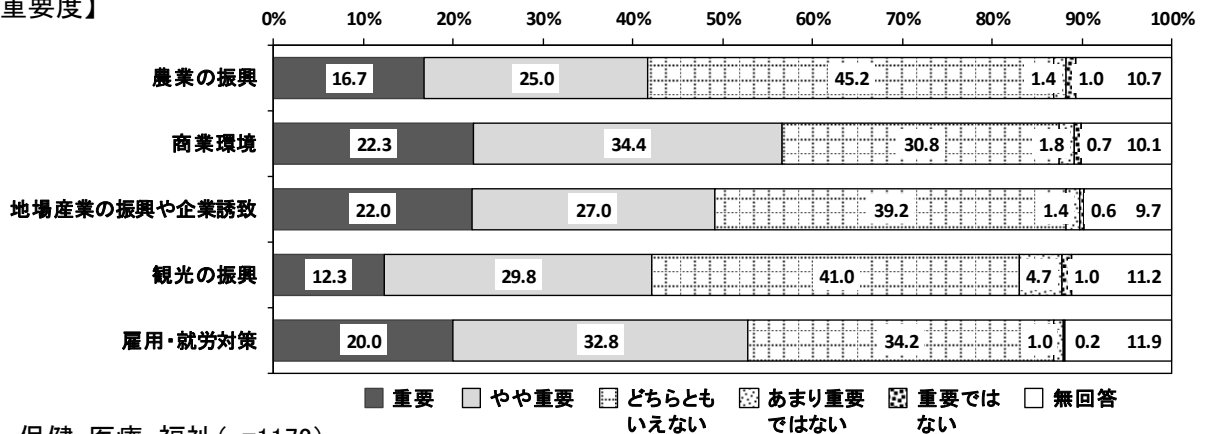


■ 産業振興(n=1172)

【満足度】

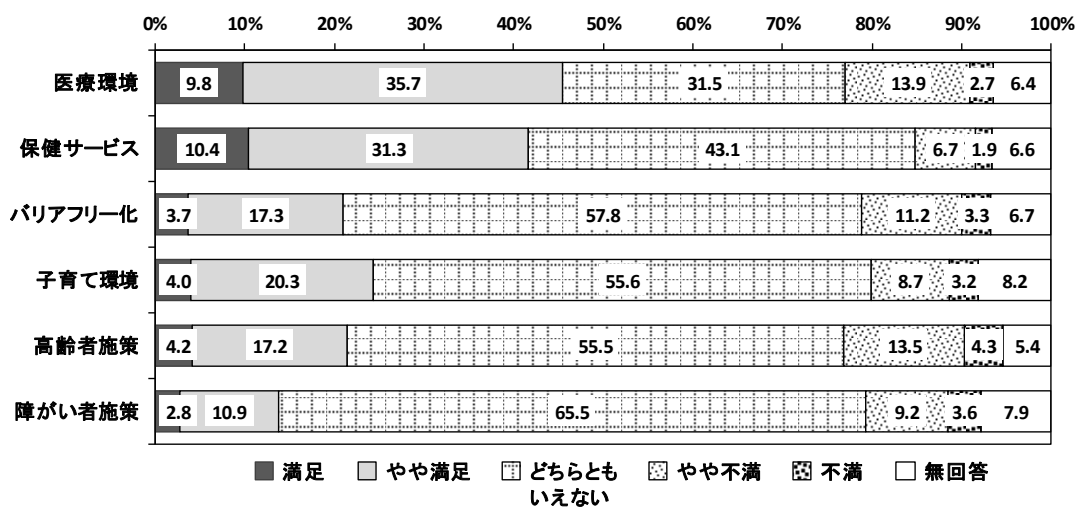


【重要度】

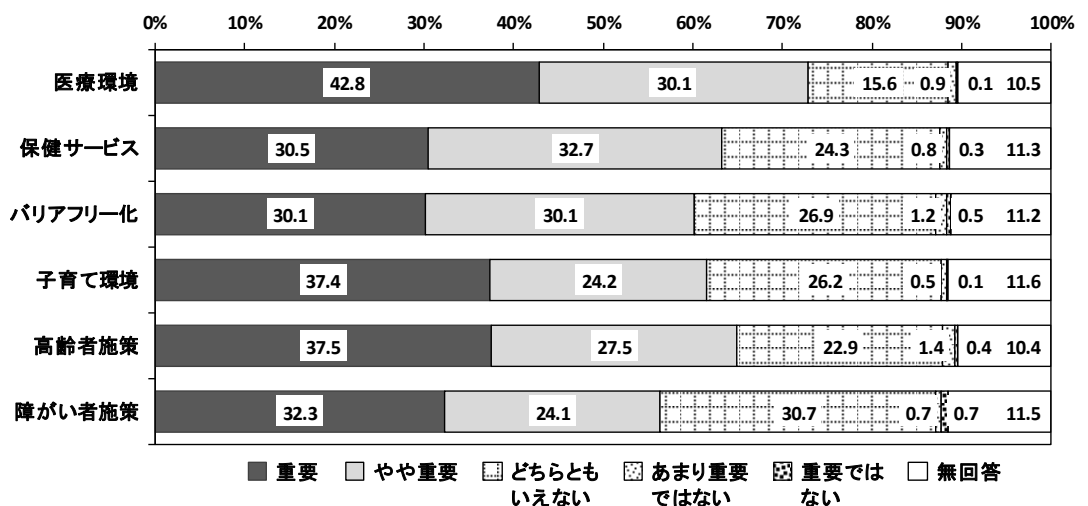


■ 保健・医療・福祉(n=1172)

【満足度】

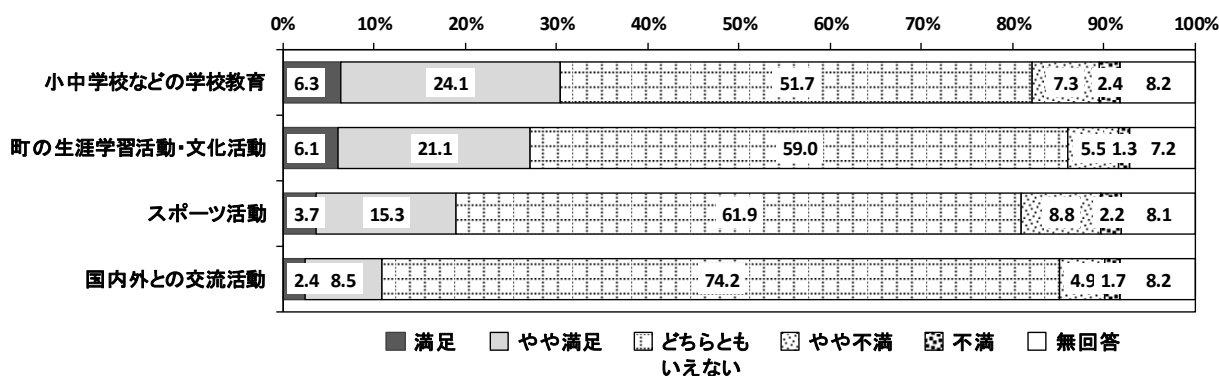


【重要度】

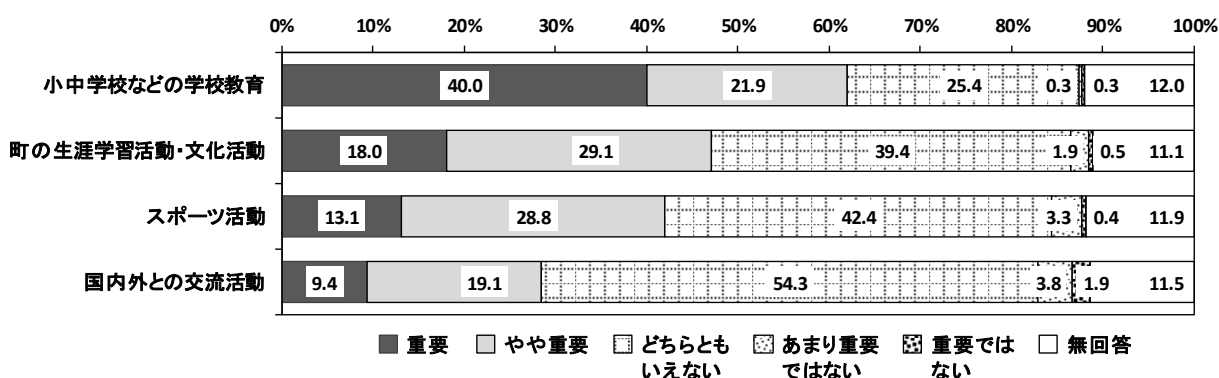


■ 教育・文化・スポーツ (n=1172)

【満足度】

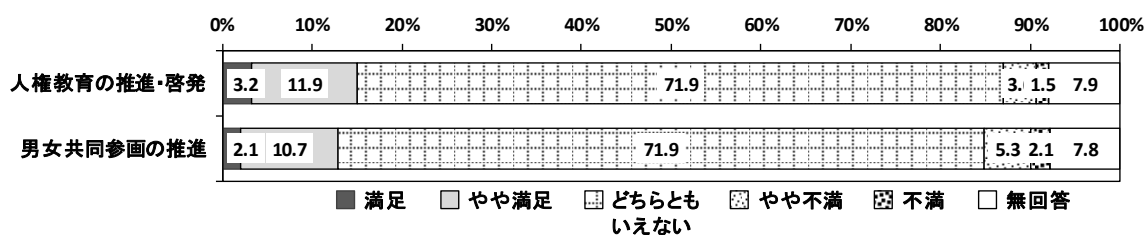


【重要度】

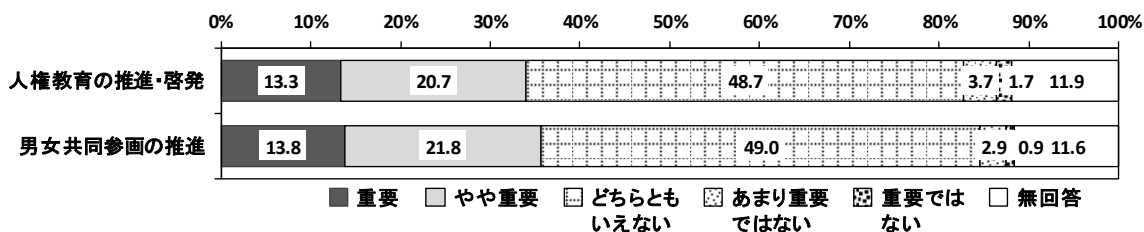


■ 人権・男女共同参画 (n=1172)

【満足度】

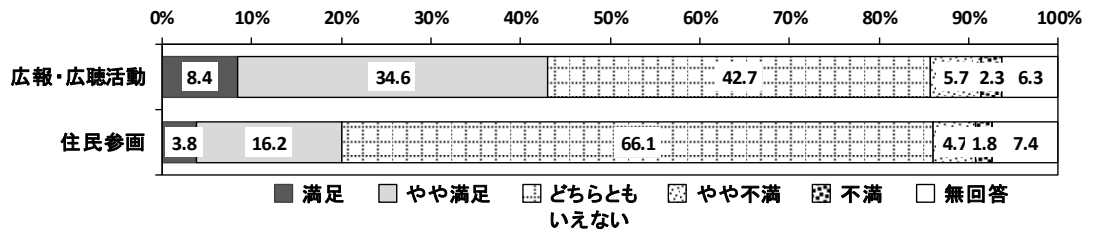


【重要度】

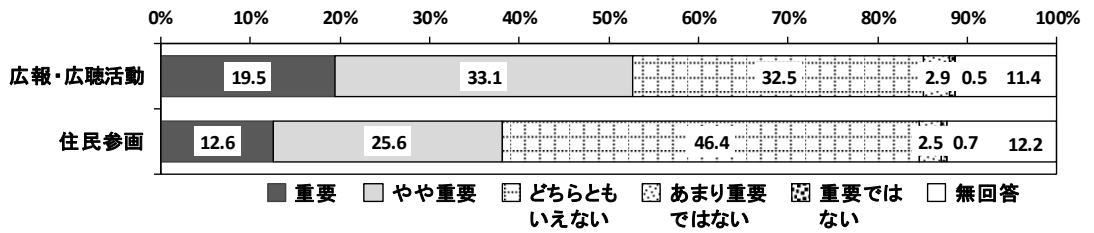


■ 広報・広聴・住民参加(n=1172)

【満足度】

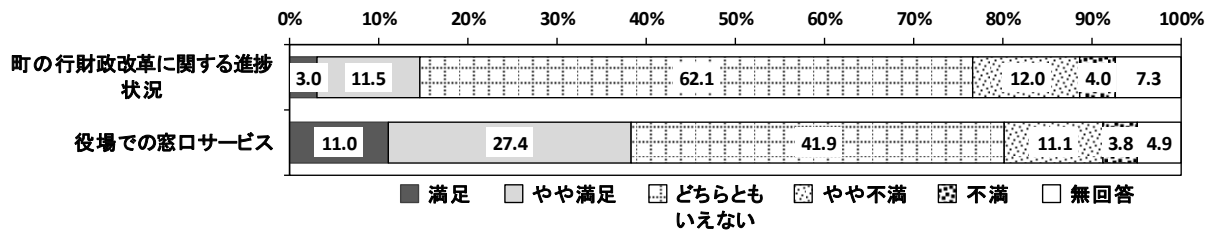


【重要度】

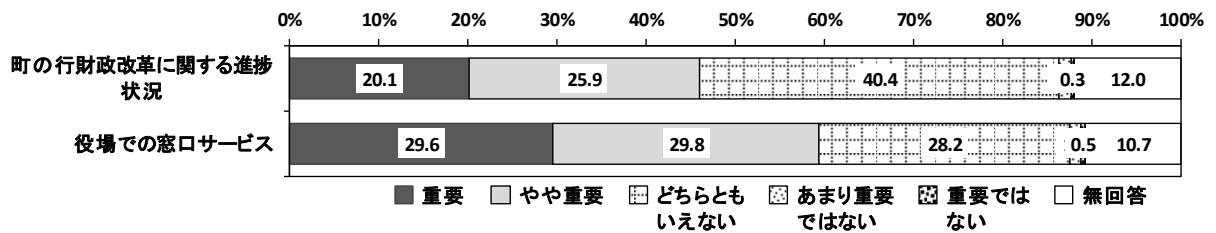


■ 住民サービス(n=1172)

【満足度】



【重要度】

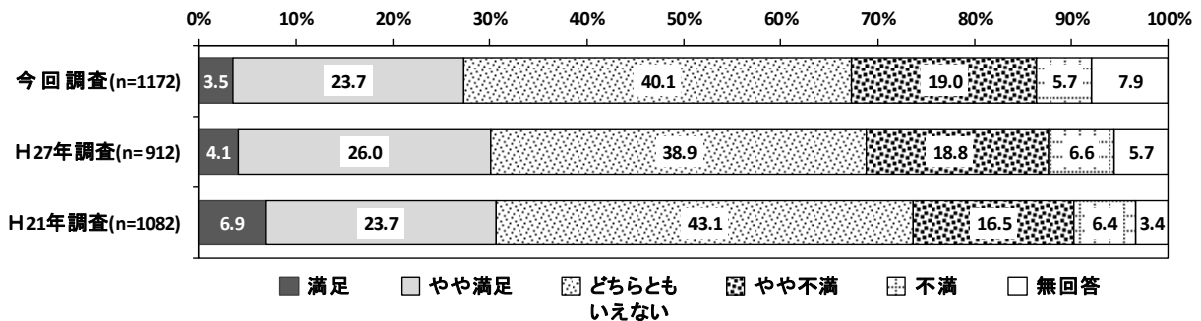


【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

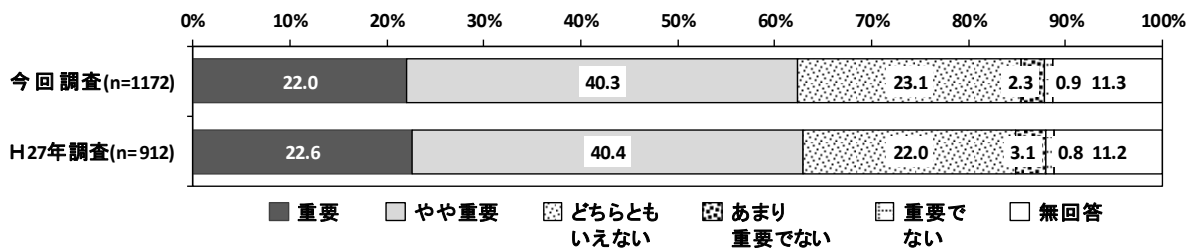
- 満足度について H21 年調査と今回調査を比較して「満足」（満足+やや満足）の比率が 5%以上増えた施策は次のとおりです。
  - ① 子育て環境 +12.9%
  - ② 下水道等の整備状況 +11.7%
  - ③ 情報通信網の整備状況 +10.4%
  - ④ 小中学校などの学校教育 +9.6%
  - ⑤ 医療環境 +8.1%
  - ⑥ 保健サービス +7.6%
  - ⑦ 自然環境の豊かさ +6.1%
  - ⑧ 住民参画に関する取り組み +5.9%
  - ⑨ 障がい者施策 +5.8%
  - ⑩ 防犯・交通安全体制 +5.1%
- 今回調査で「満足」の比率が 5%以上減った施策は次のとおりです。
  - ① 公園・緑地・水辺の整備状況 -9.9%
  - ② 公営住宅の整備状況 -8.3%

1. 町の中心市街地の整備状況

【満足度】

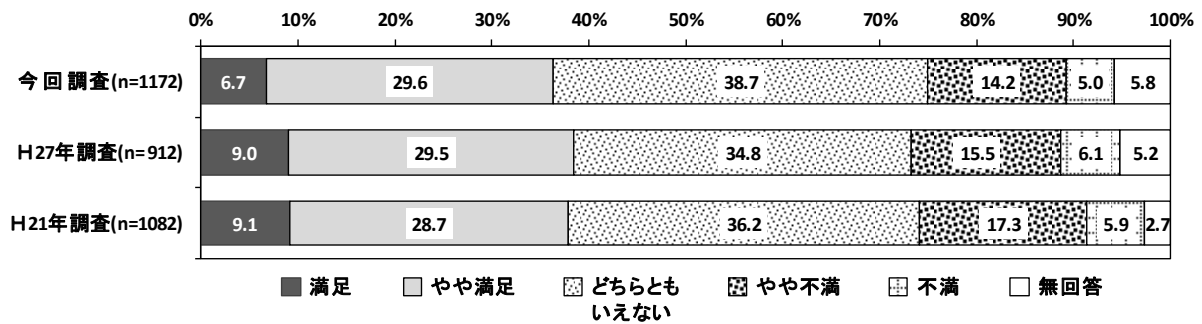


【重要度】

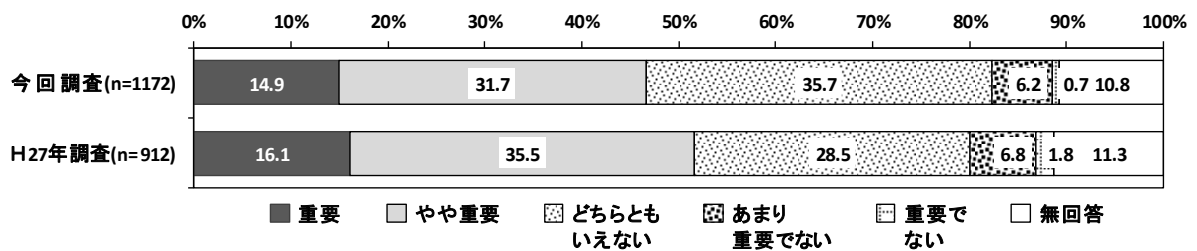


## 2. 自宅周辺の街並み景観

### 【満足度】

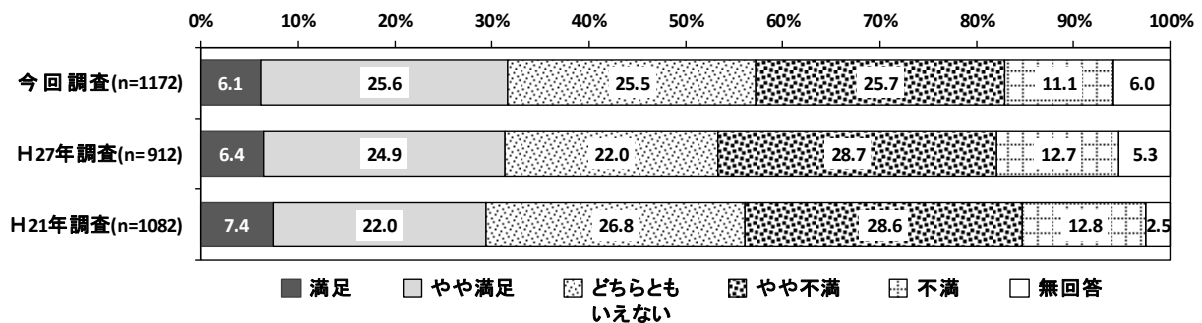


### 【重要度】

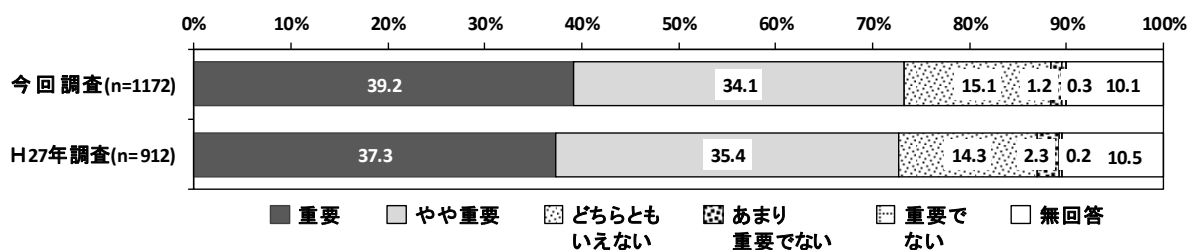


## 3. 道路の整備状況

### 【満足度】

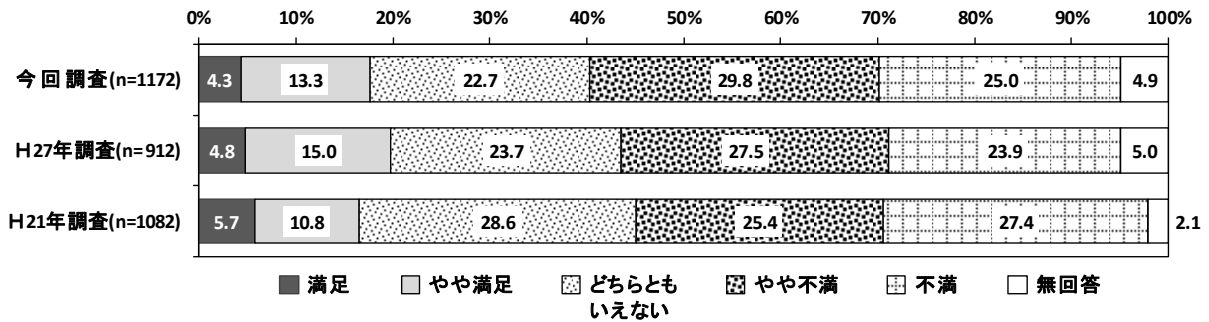


### 【重要度】

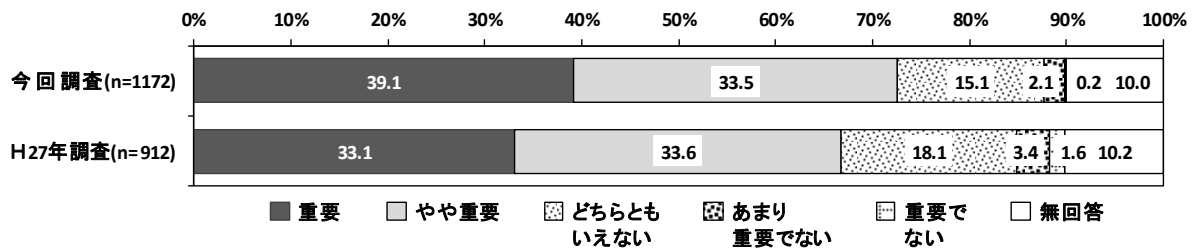


#### 4. 公共交通機関の利便性

##### 【満足度】

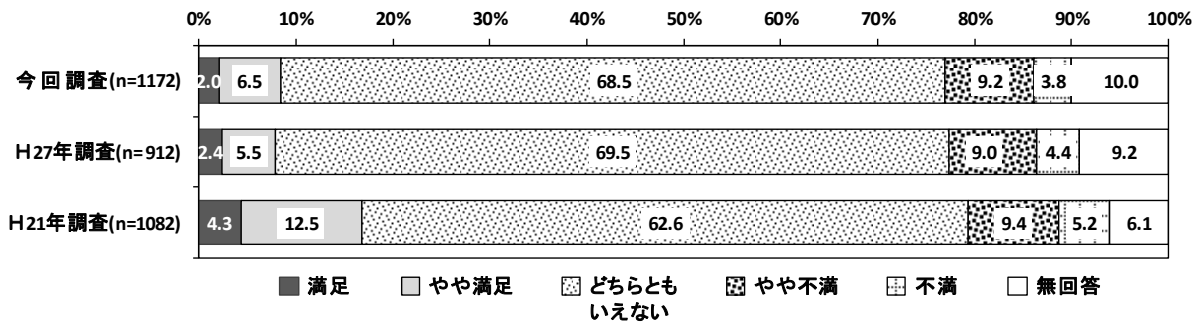


##### 【重要度】

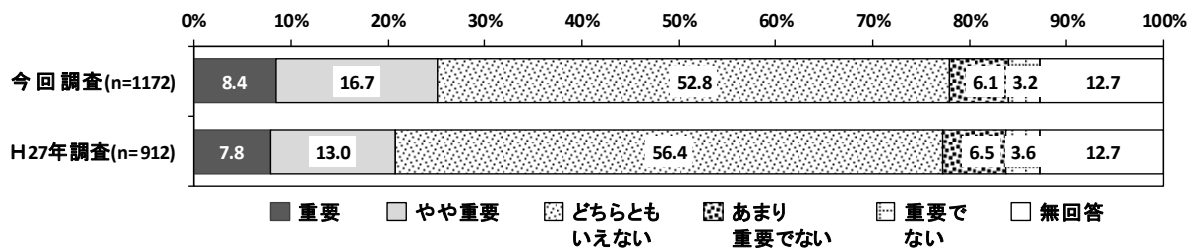


#### 5. 公営住宅の整備状況

##### 【満足度】

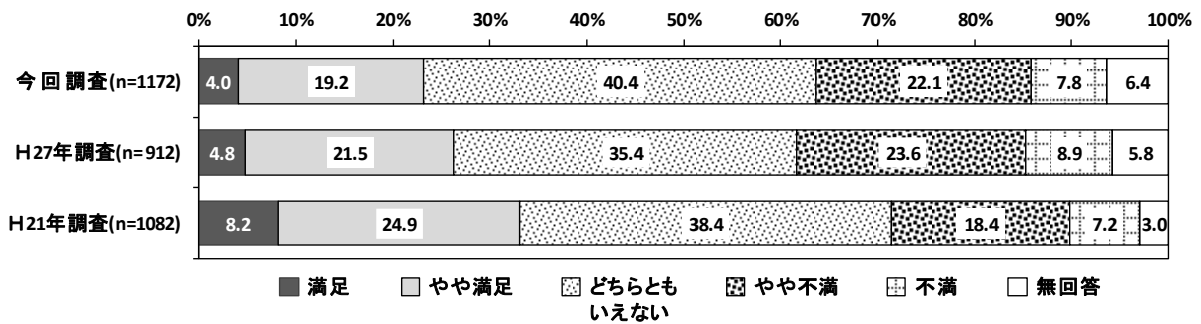


##### 【重要度】

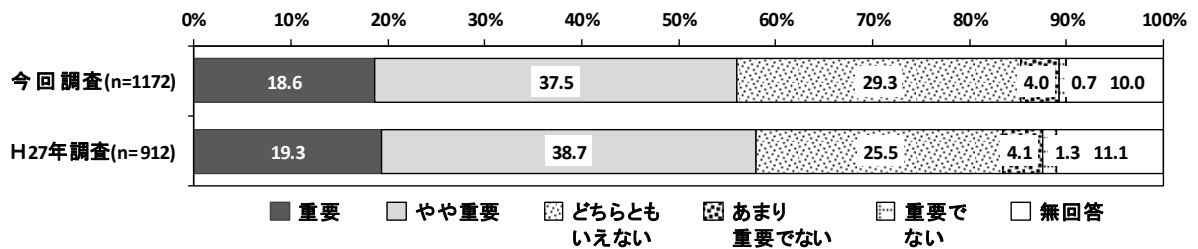


6. 公園・緑地・水辺の整備状況

【満足度】

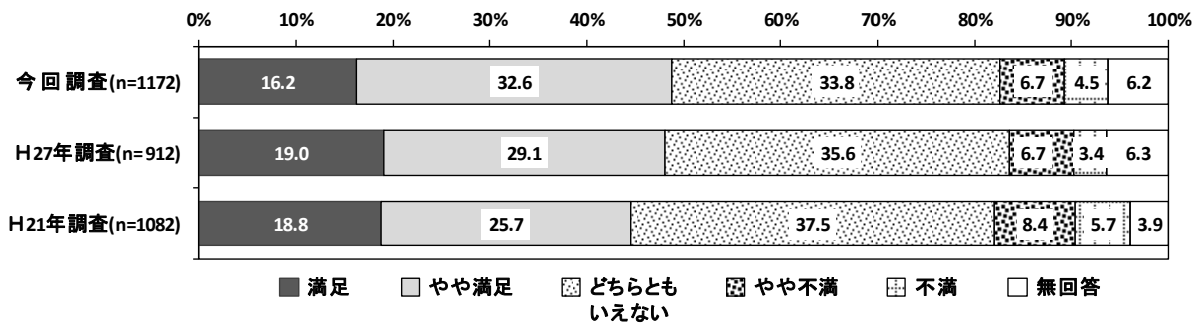


【重要度】

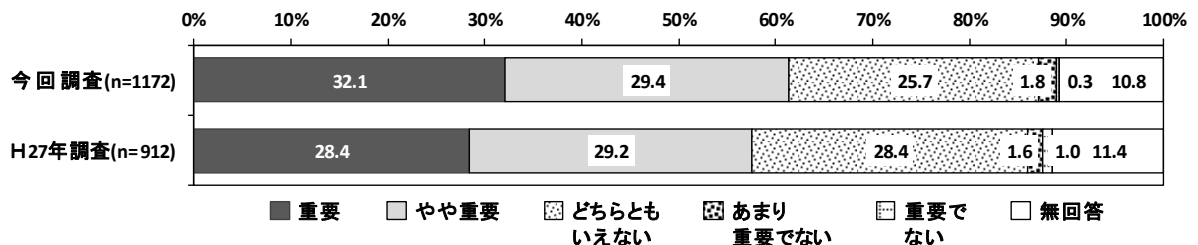


7. 水道の整備状況

【満足度】

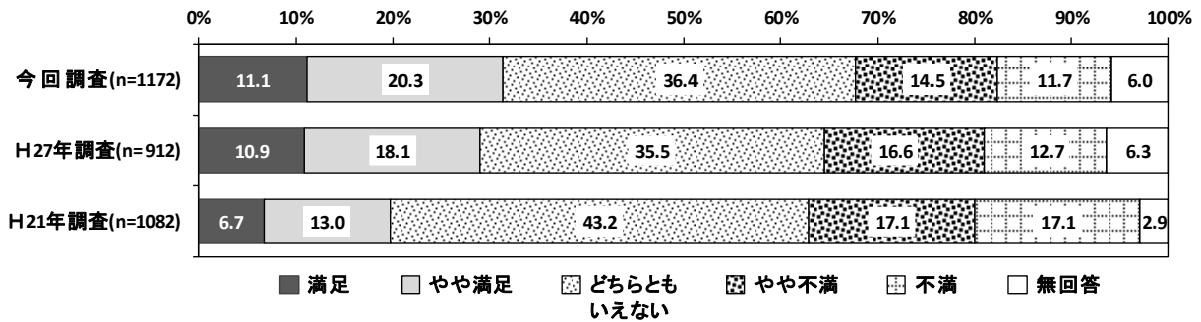


【重要度】

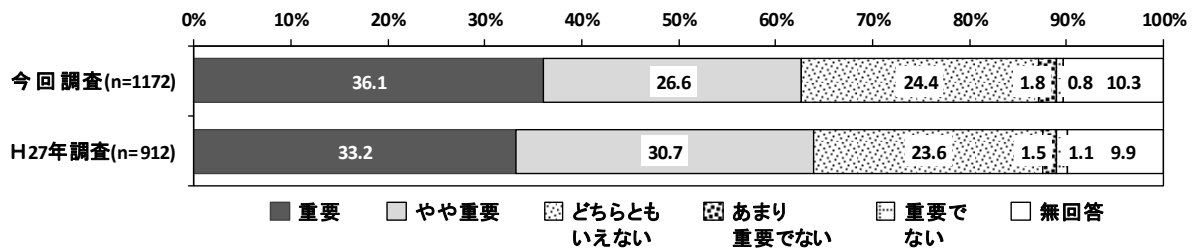


8. 下水道等の整備状況

【満足度】

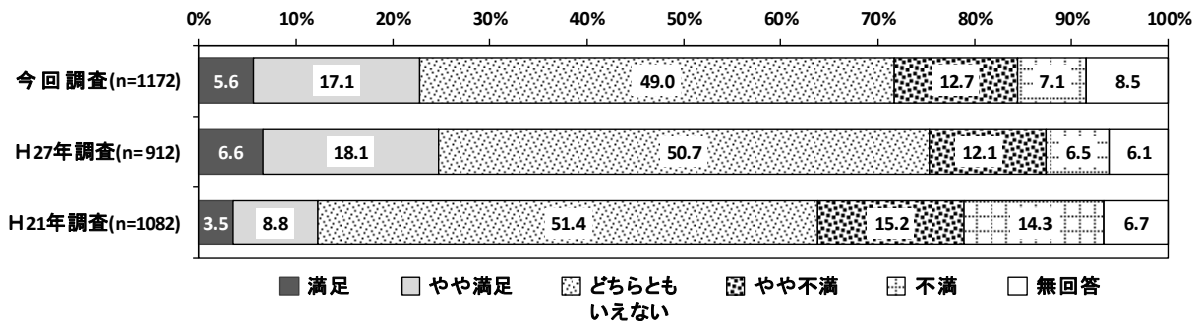


【重要度】

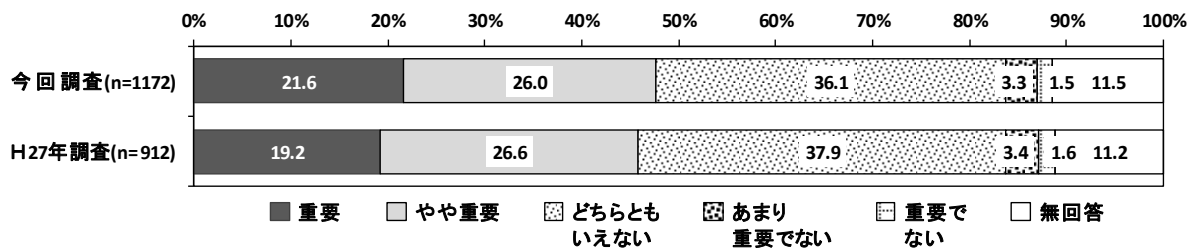


9. 情報通信網の整備状況

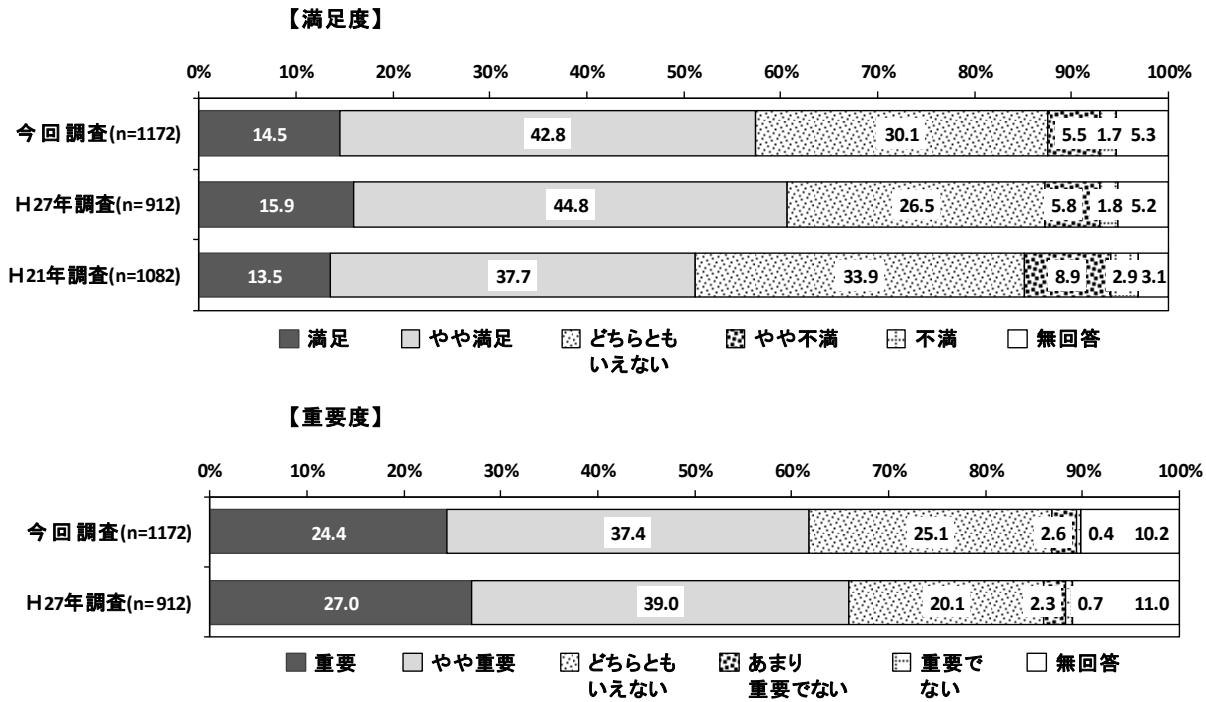
【満足度】



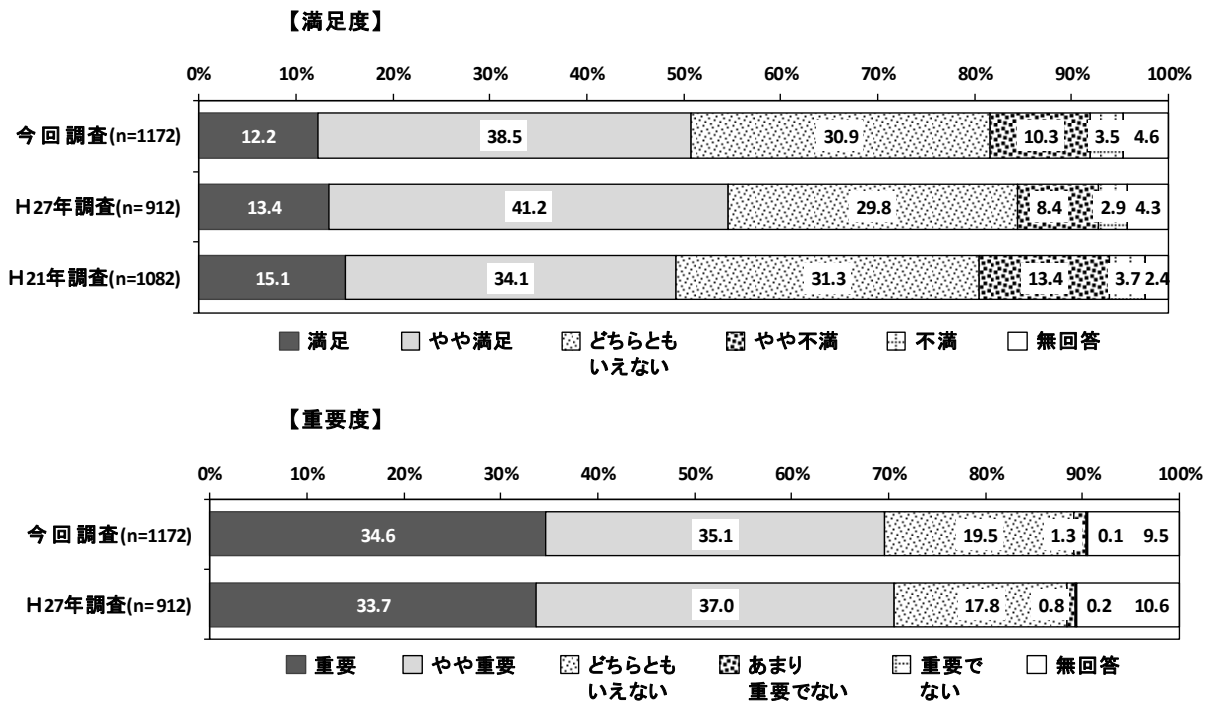
【重要度】



10. 自然環境の豊かさ

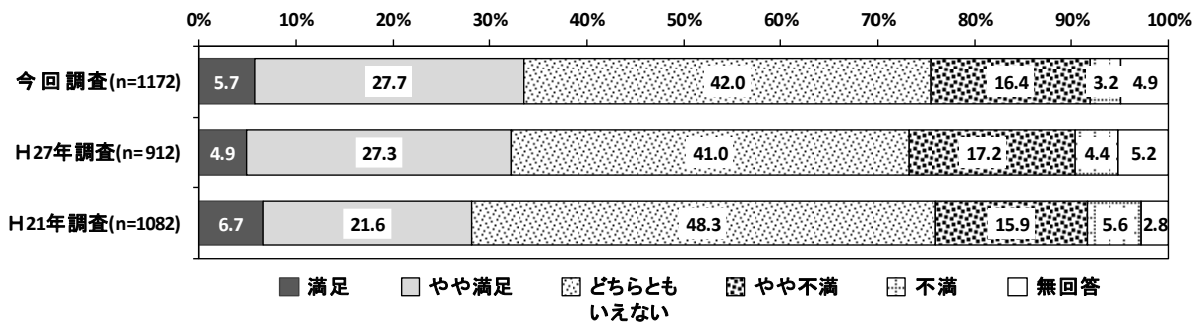


11. ごみ処理・リサイクルの状況

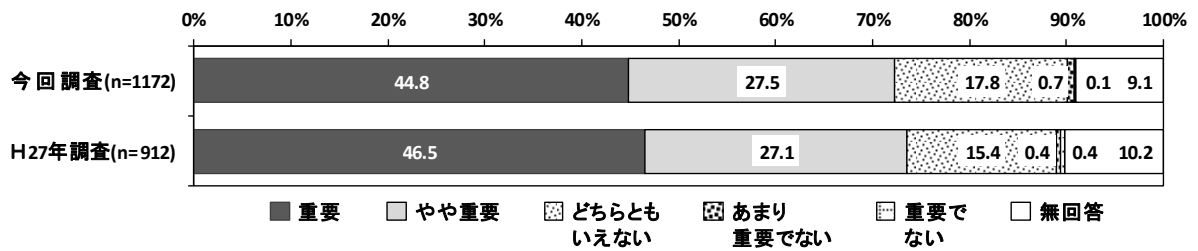


12. 防犯・交通安全体制

【満足度】

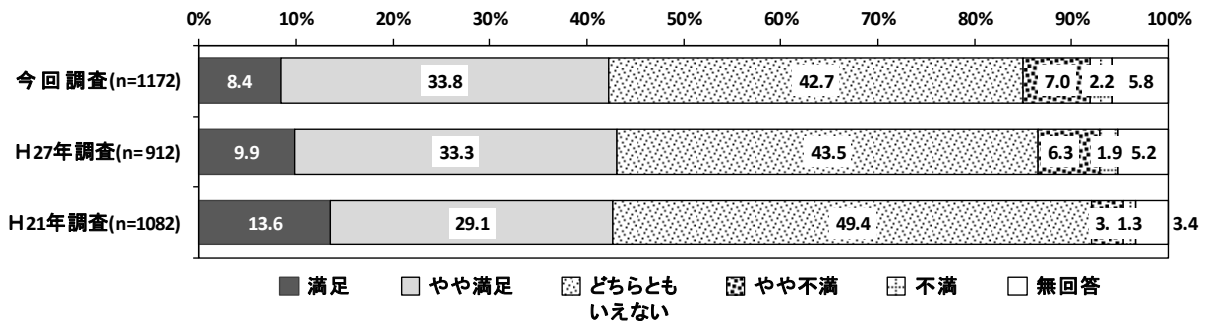


【重要度】

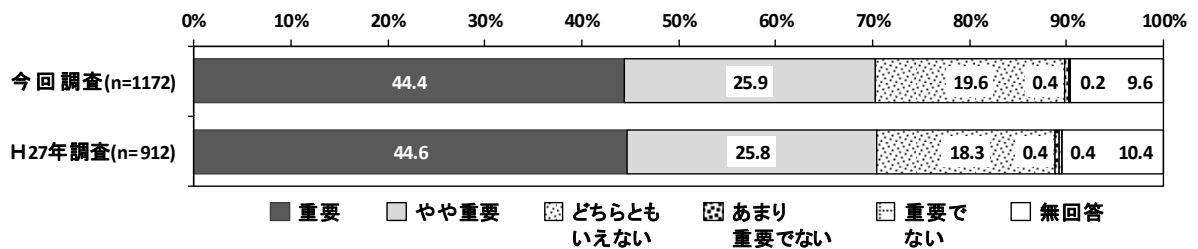


13. 消防・防災体制

【満足度】

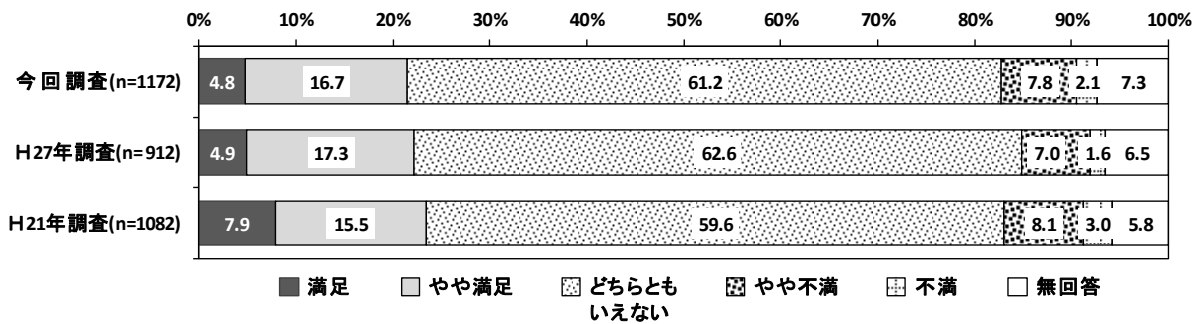


【重要度】

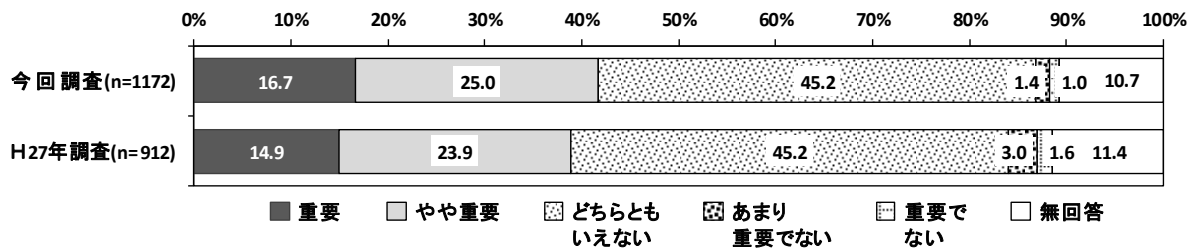


14. 農業の振興に関する取り組み

【満足度】

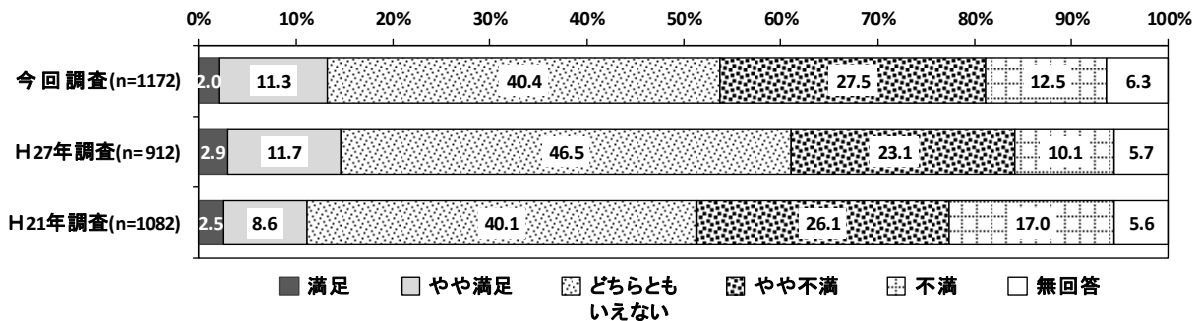


【重要度】

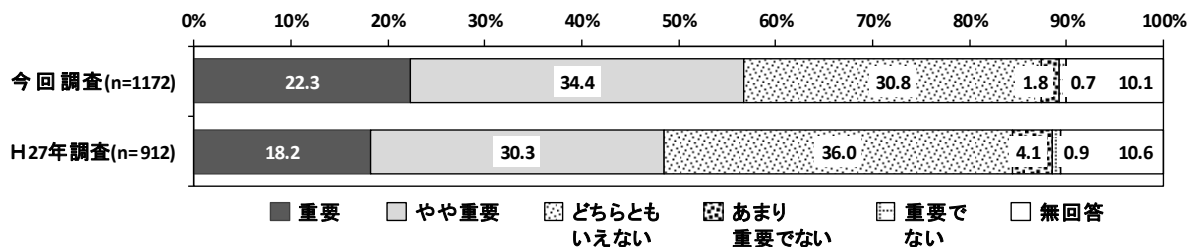


15. 商業環境

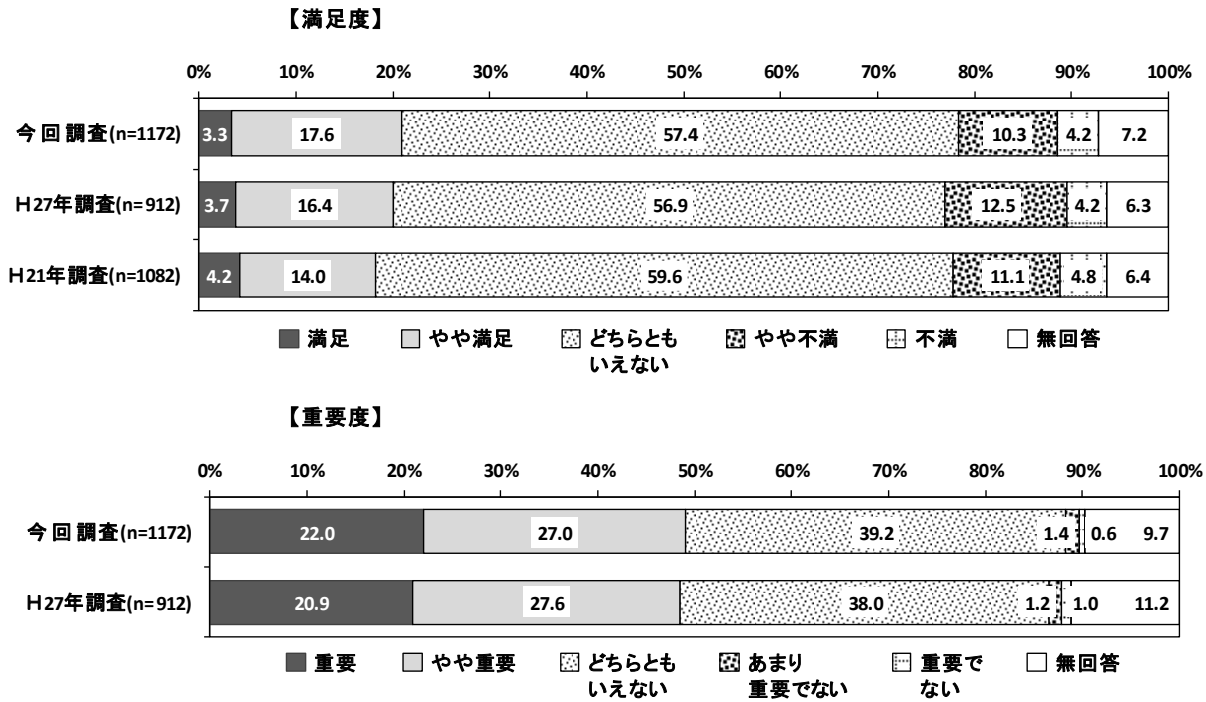
【満足度】



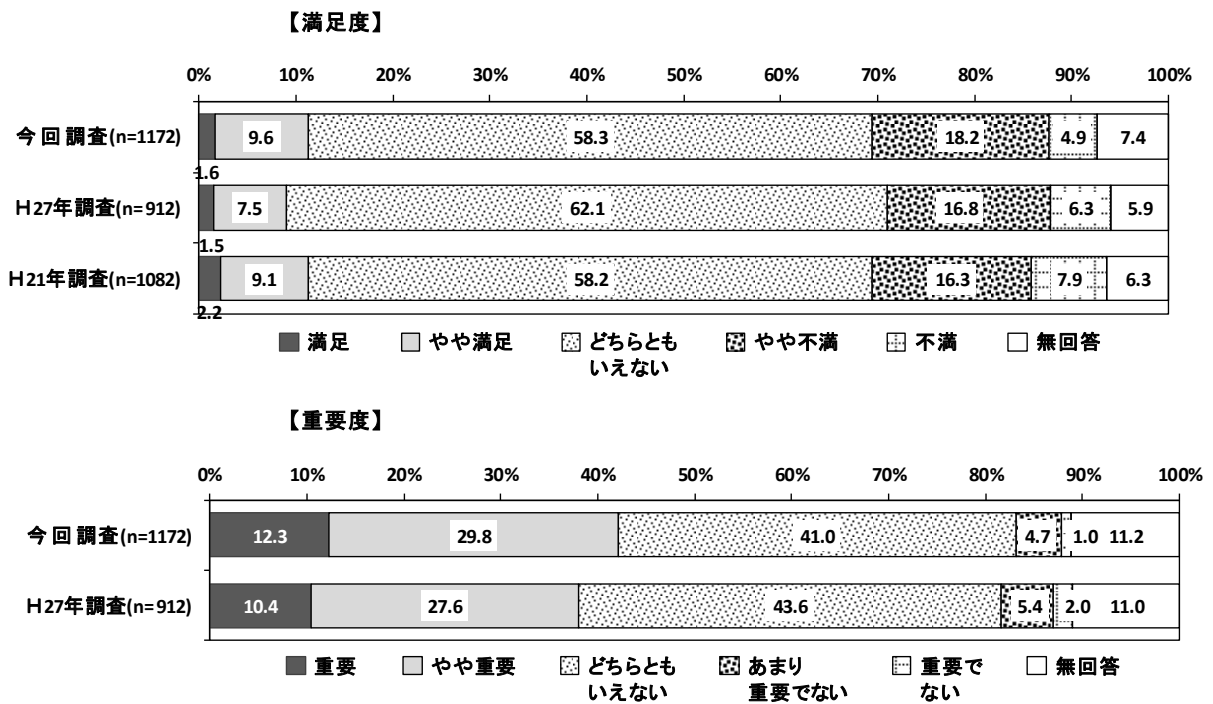
【重要度】



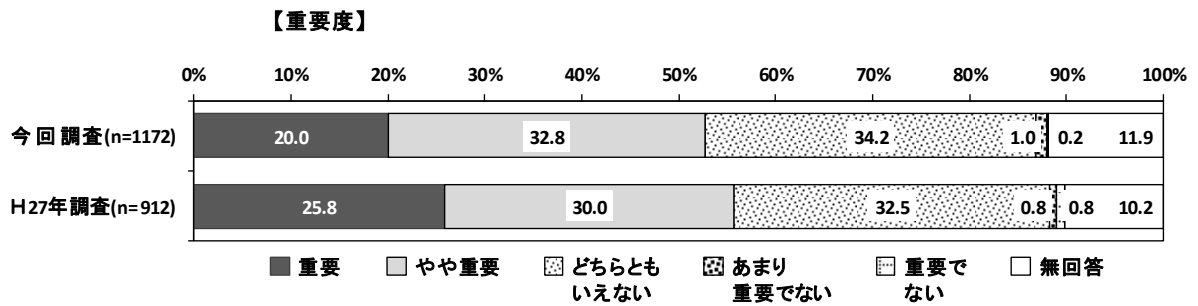
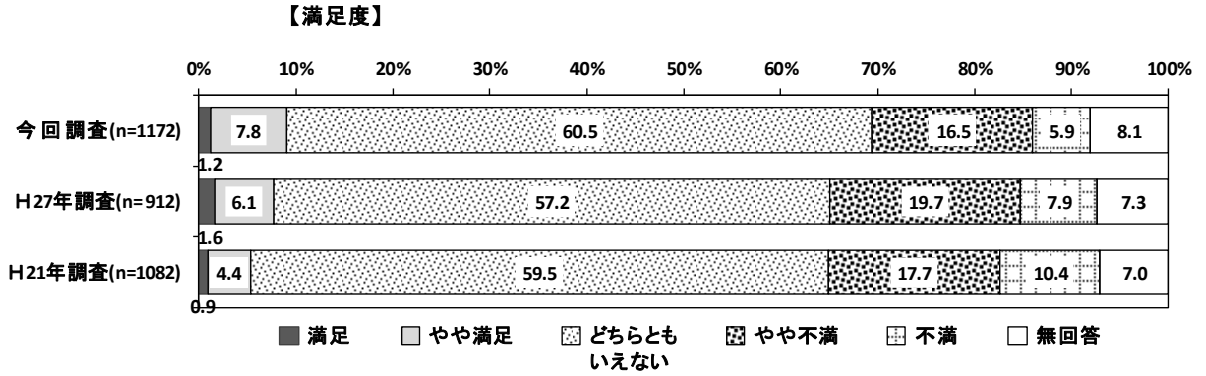
16. 地場産業の振興や企業誘致に関する取り組み



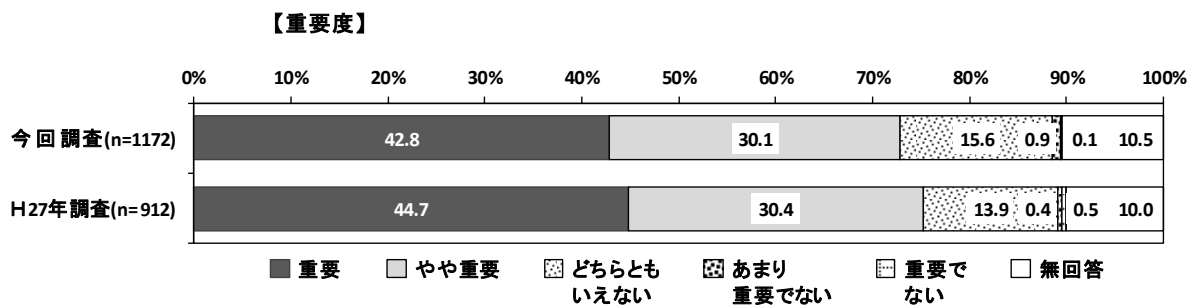
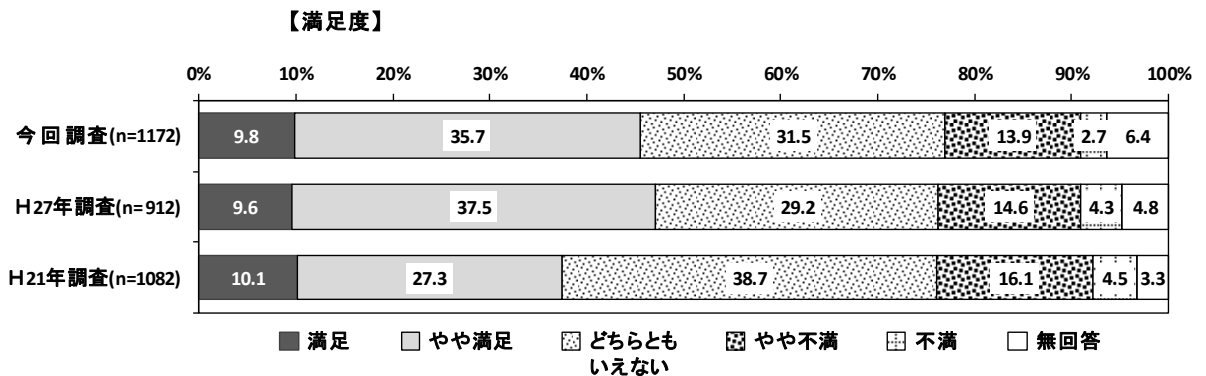
17. 観光の振興に関する取り組み



18. 雇用・就労対策に関する取り組み

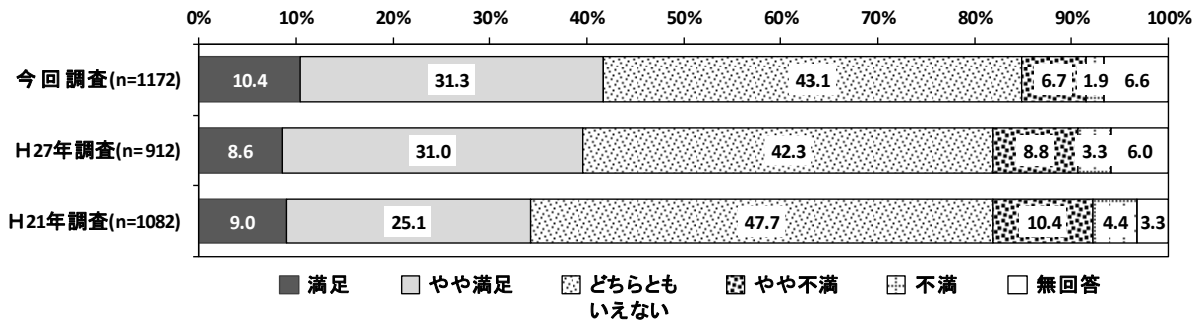


19. 医療環境

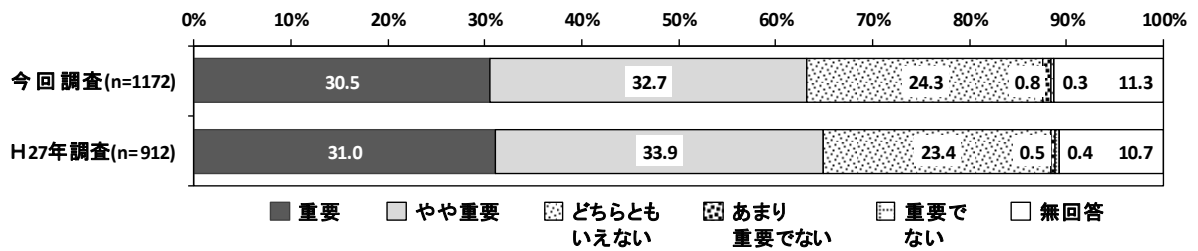


20. 保健サービス

【満足度】

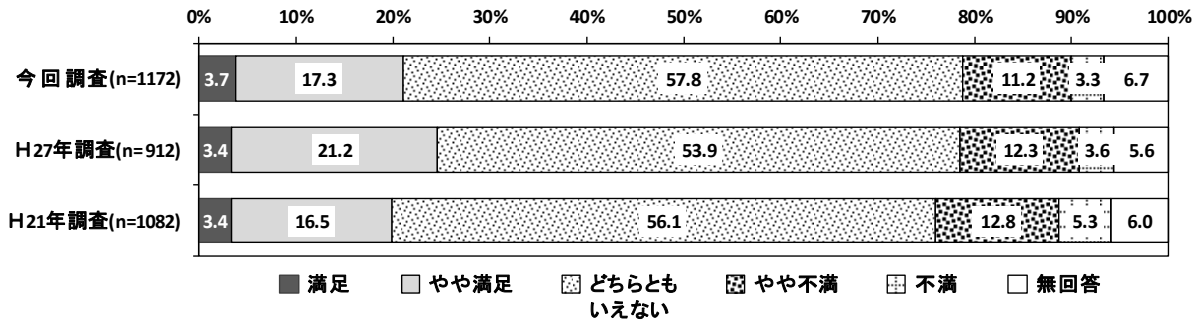


【重要度】

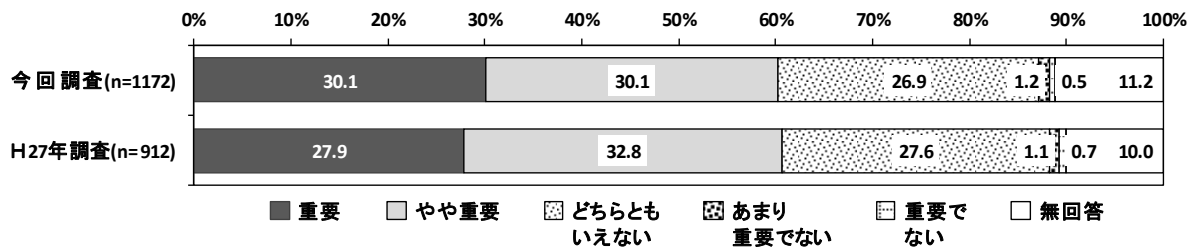


21. バリアフリー化への取り組み

【満足度】

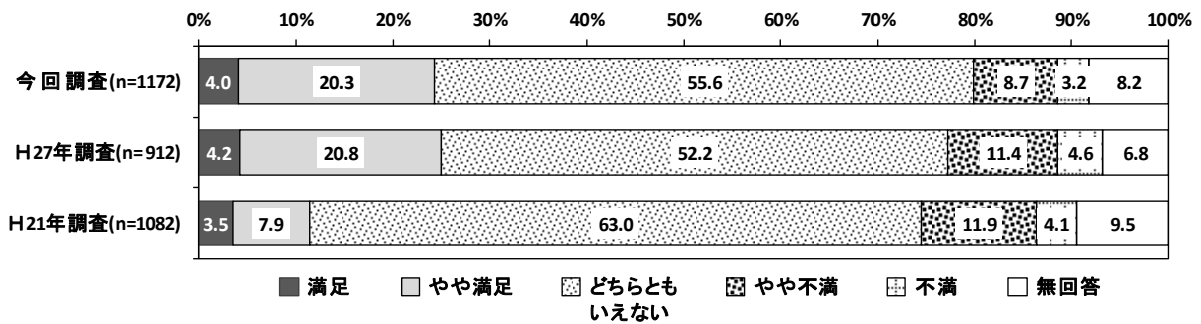


【重要度】

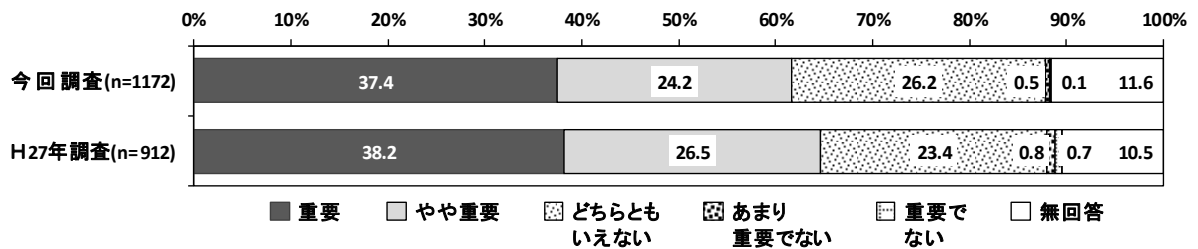


22. 子育て環境

【満足度】

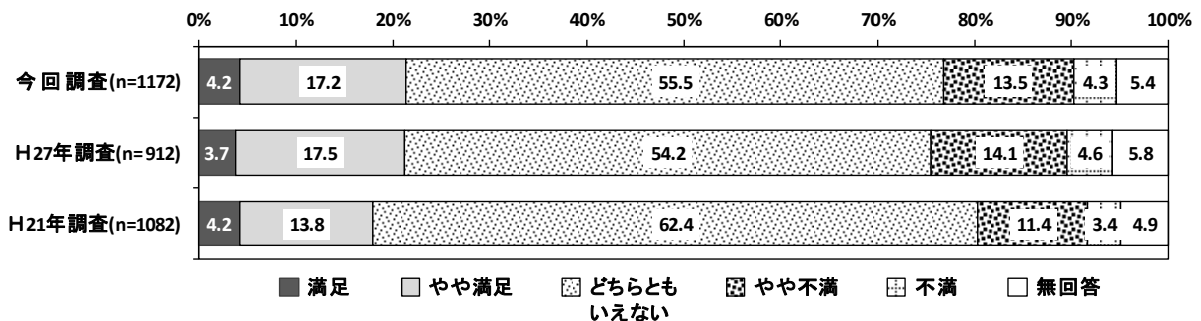


【重要度】

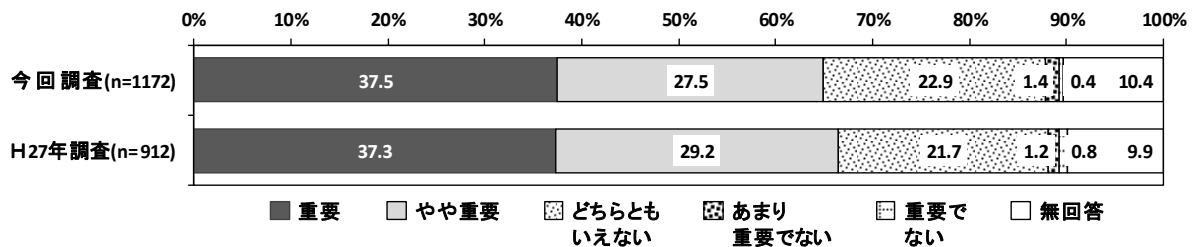


23. 高齢者施策

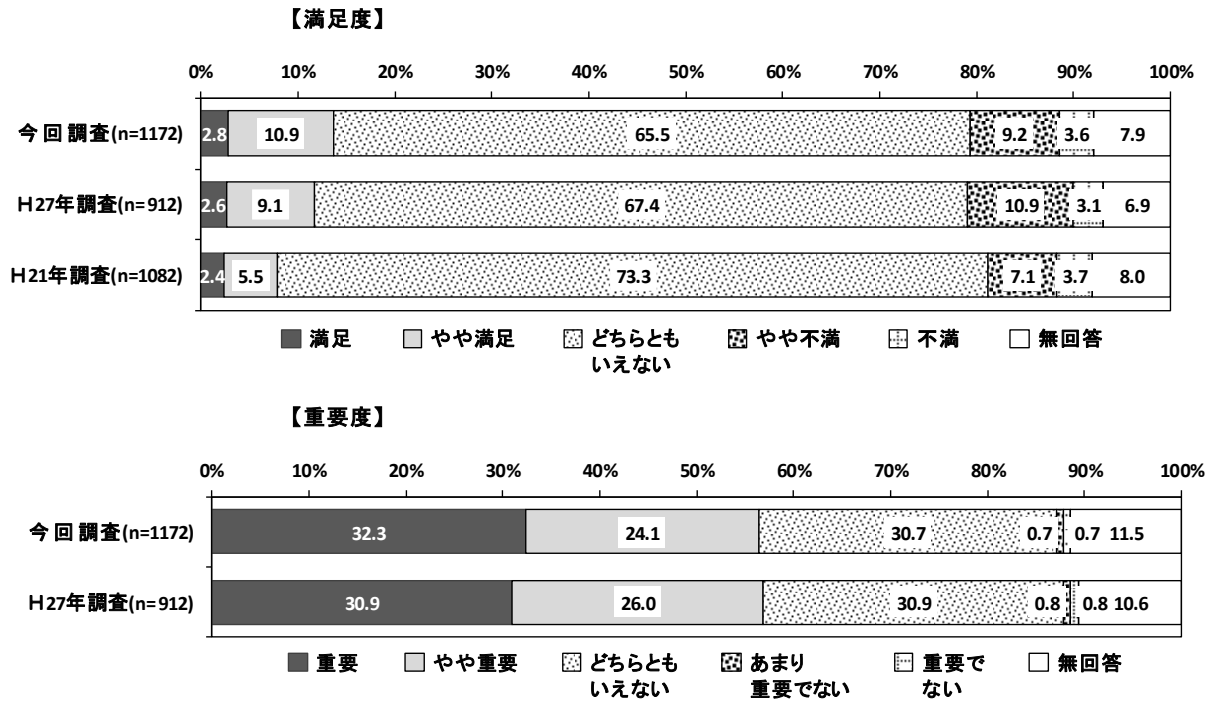
【満足度】



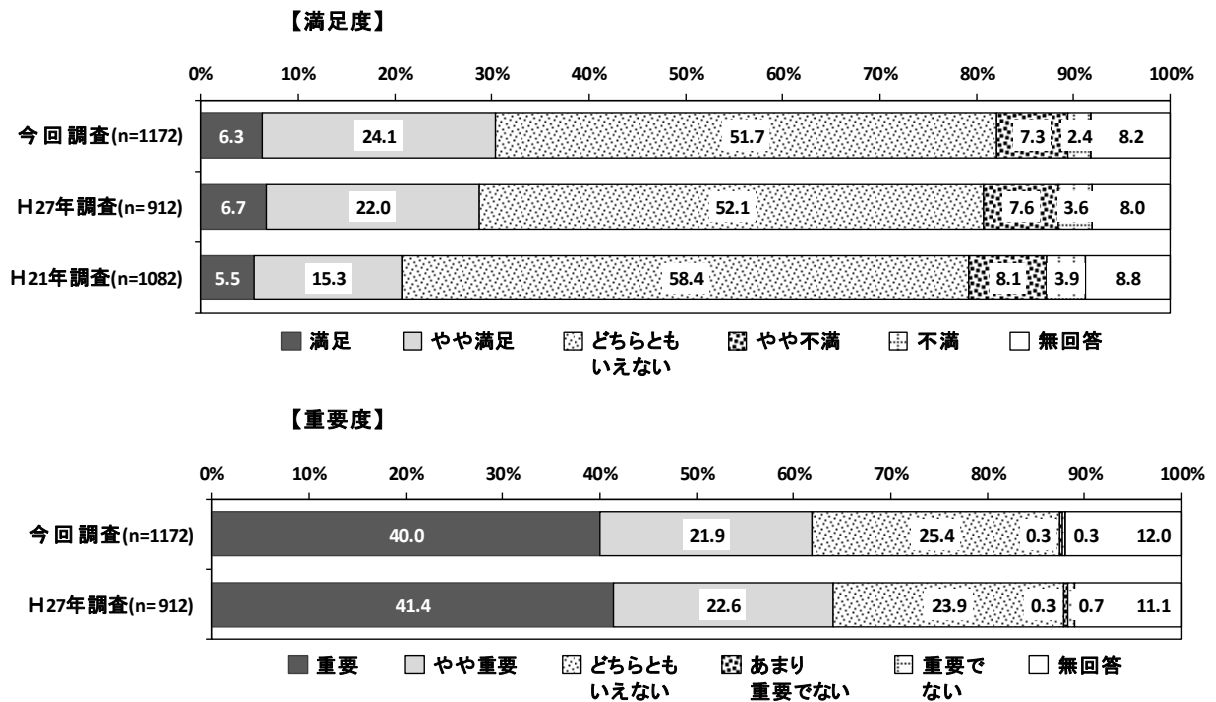
【重要度】



24. 障がい者施策

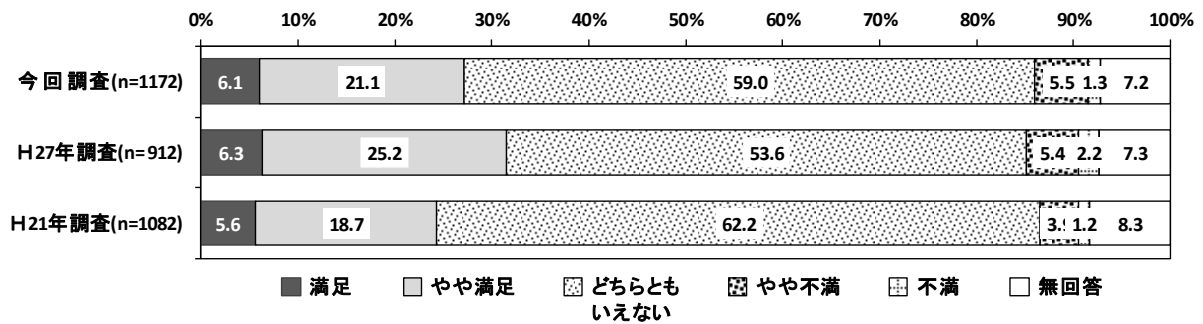


25. 小中学校などの学校教育

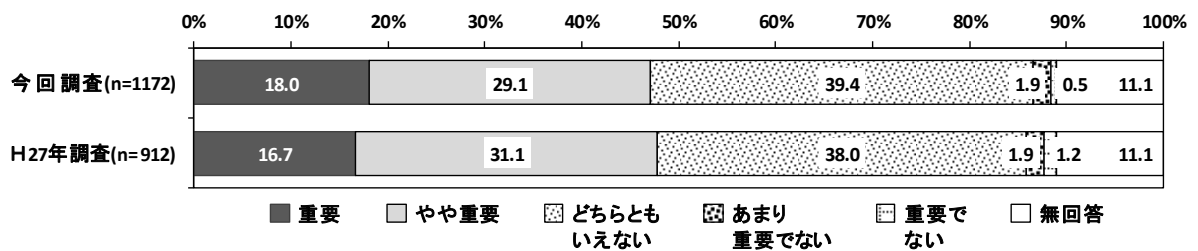


26. 町の生涯学習活動・文化活動に関する取り組み

【満足度】

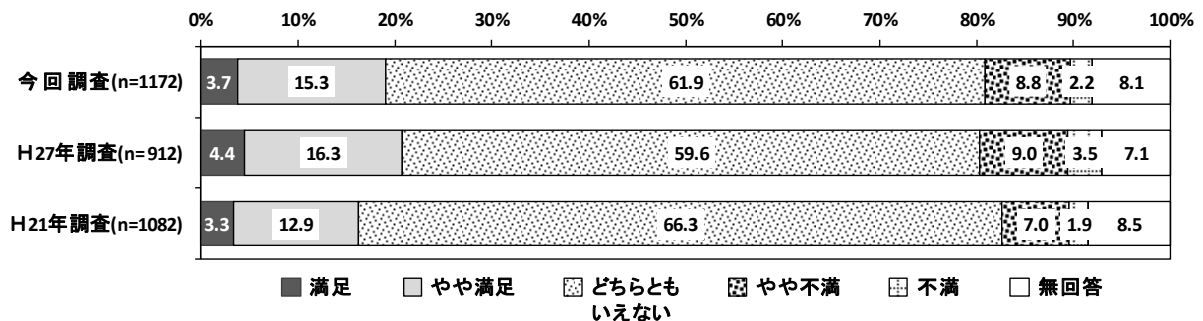


【重要度】

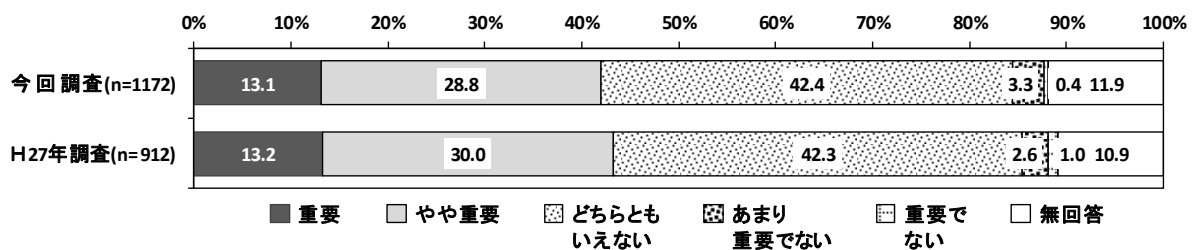


27. スポーツ活動に関する取り組み

【満足度】

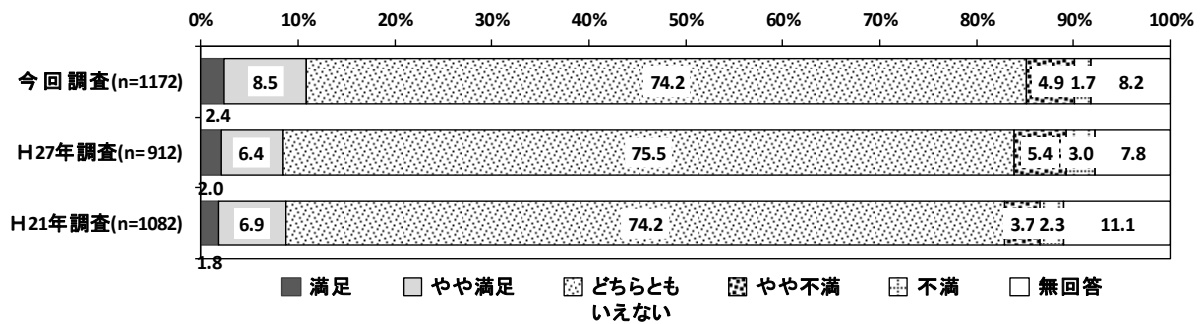


【重要度】

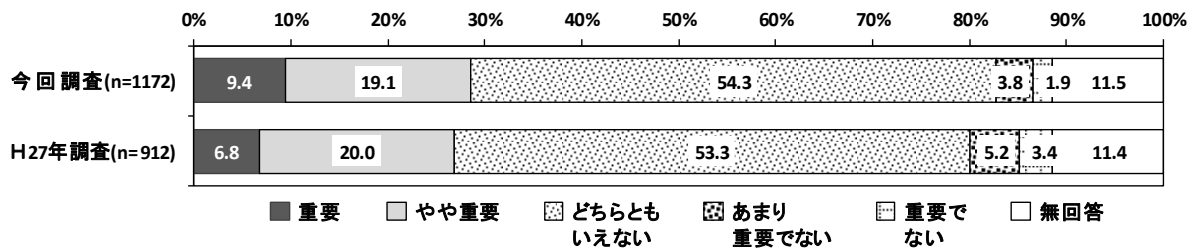


28. 国内外との交流活動

【満足度】

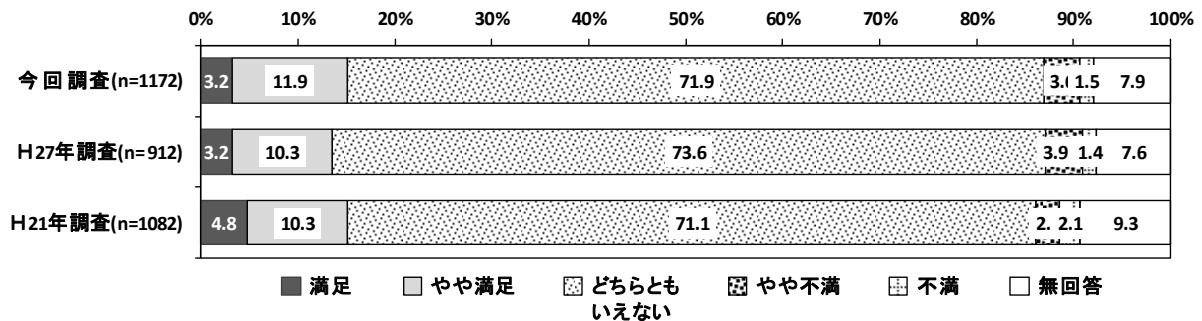


【重要度】

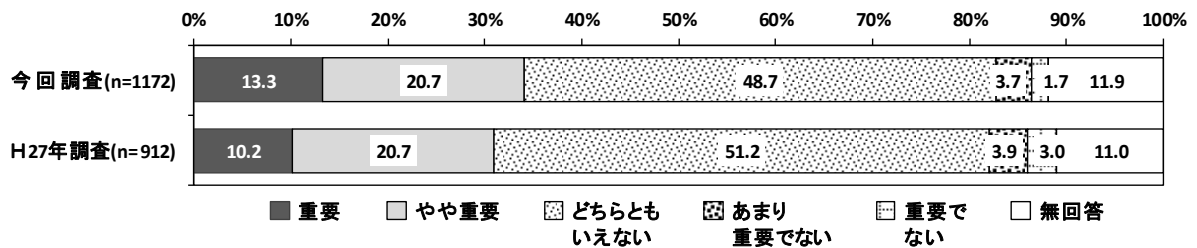


29. 人権教育の推進・啓発に関する取り組み

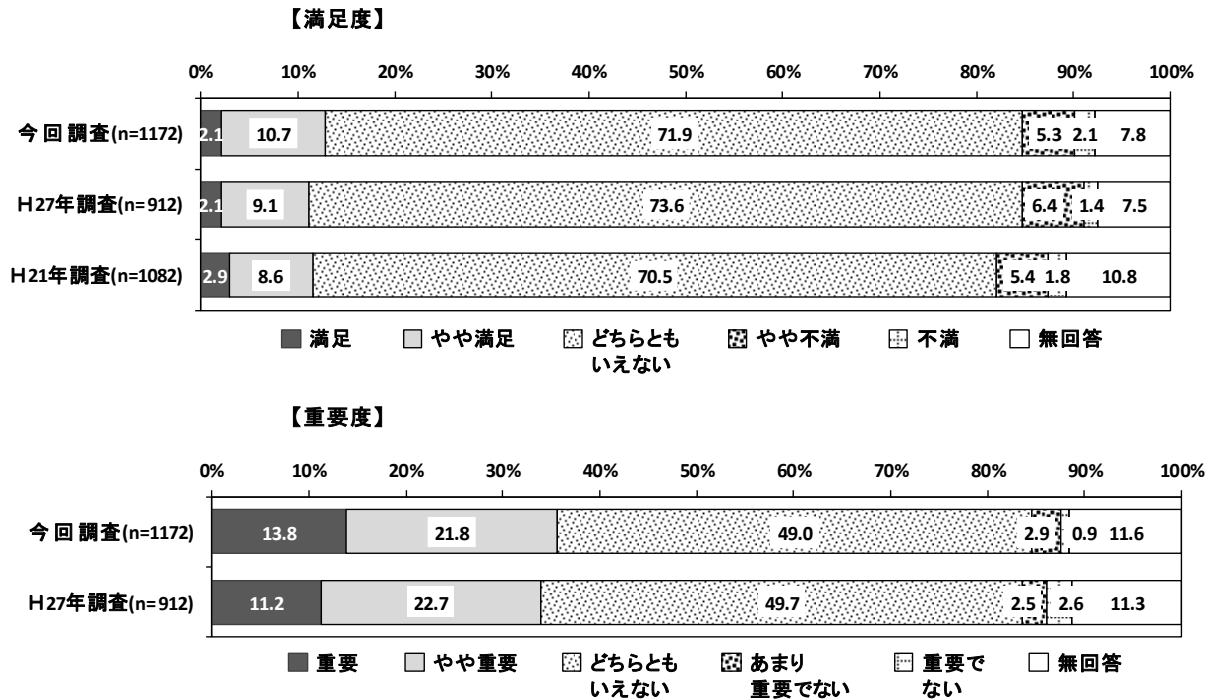
【満足度】



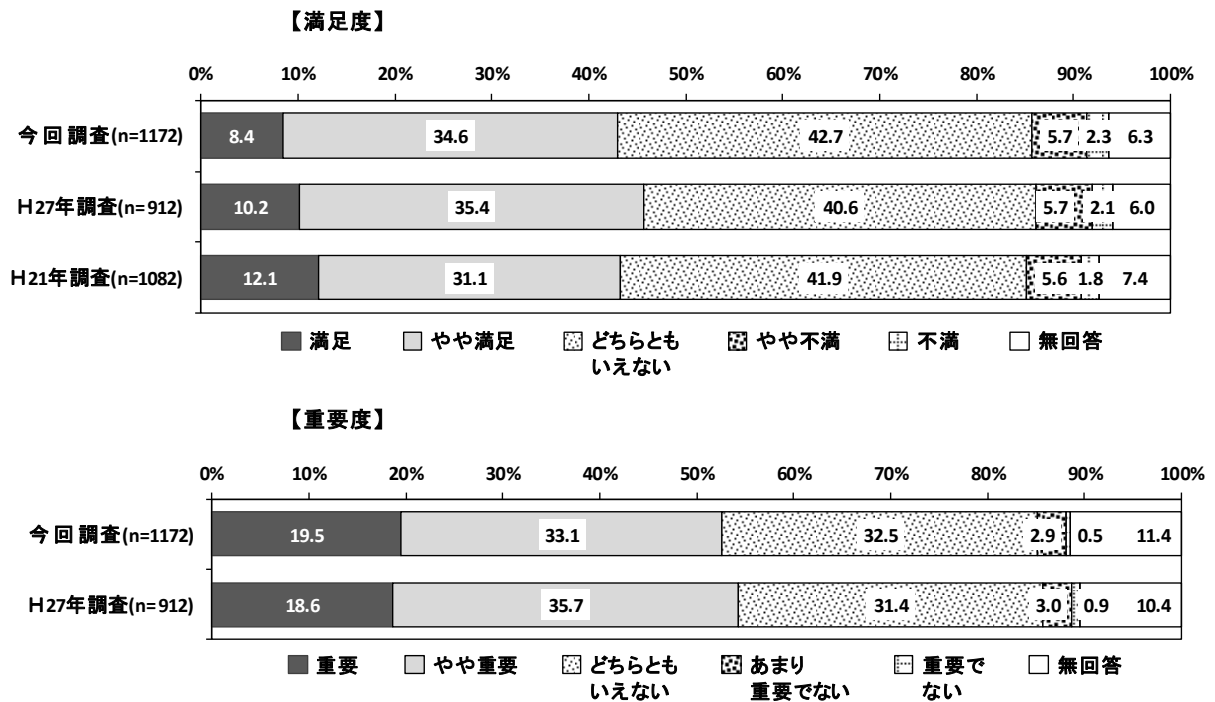
【重要度】



30. 男女共同参画の推進に関する取り組み

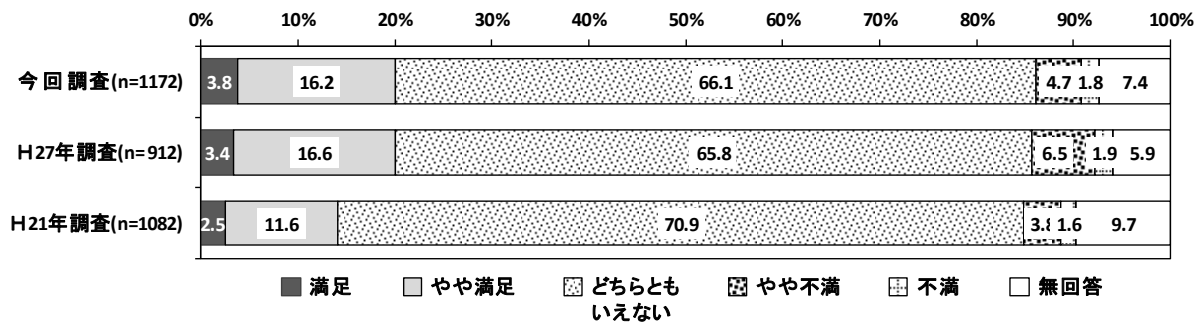


31. 広報・広聴活動に関する取り組み

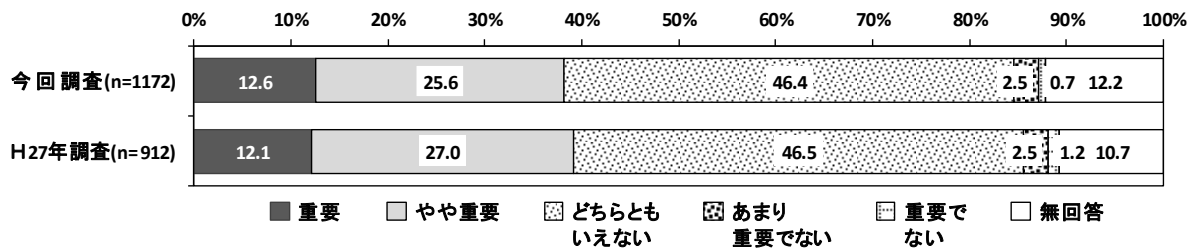


### 32. 住民参画に関する取り組み

#### 【満足度】

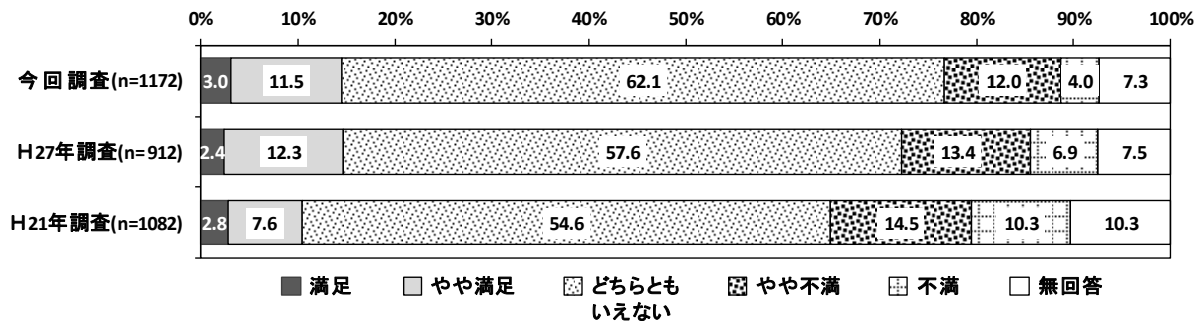


#### 【重要度】

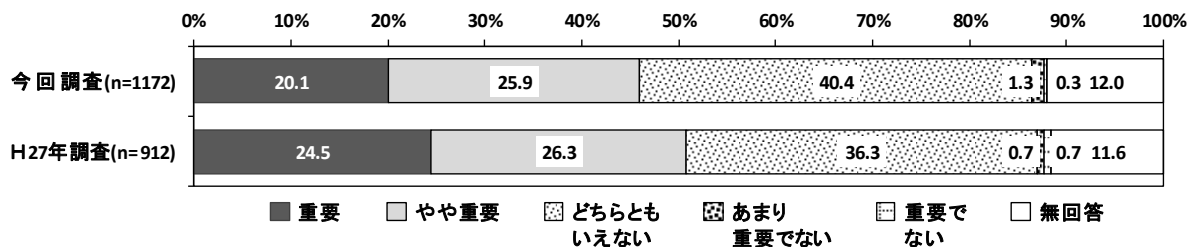


### 33. 町の行財政改革に関する進捗状況

#### 【満足度】

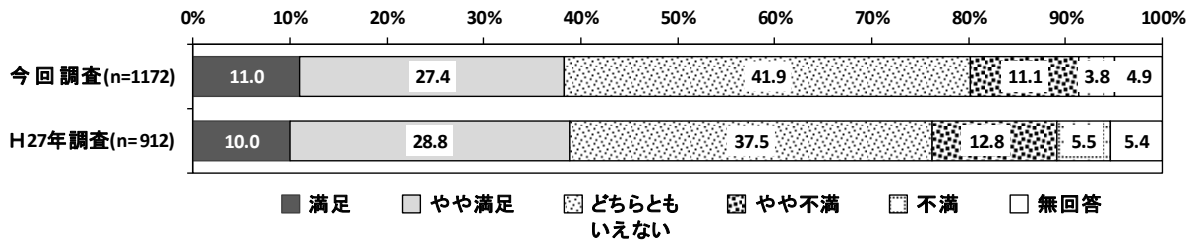


#### 【重要度】

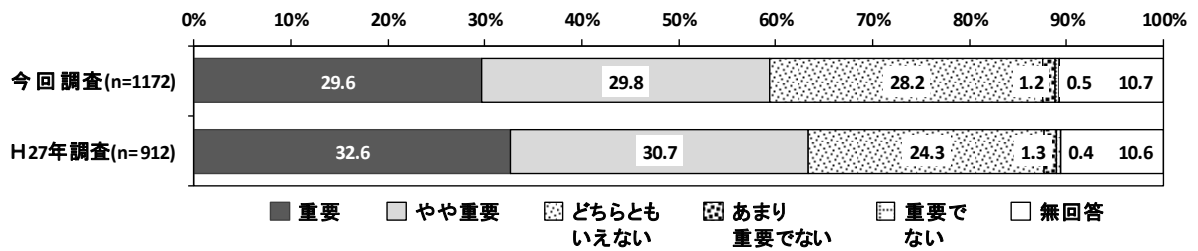


34. 役場での窓口サービスに関する取り組み

【満足度】



【重要度】



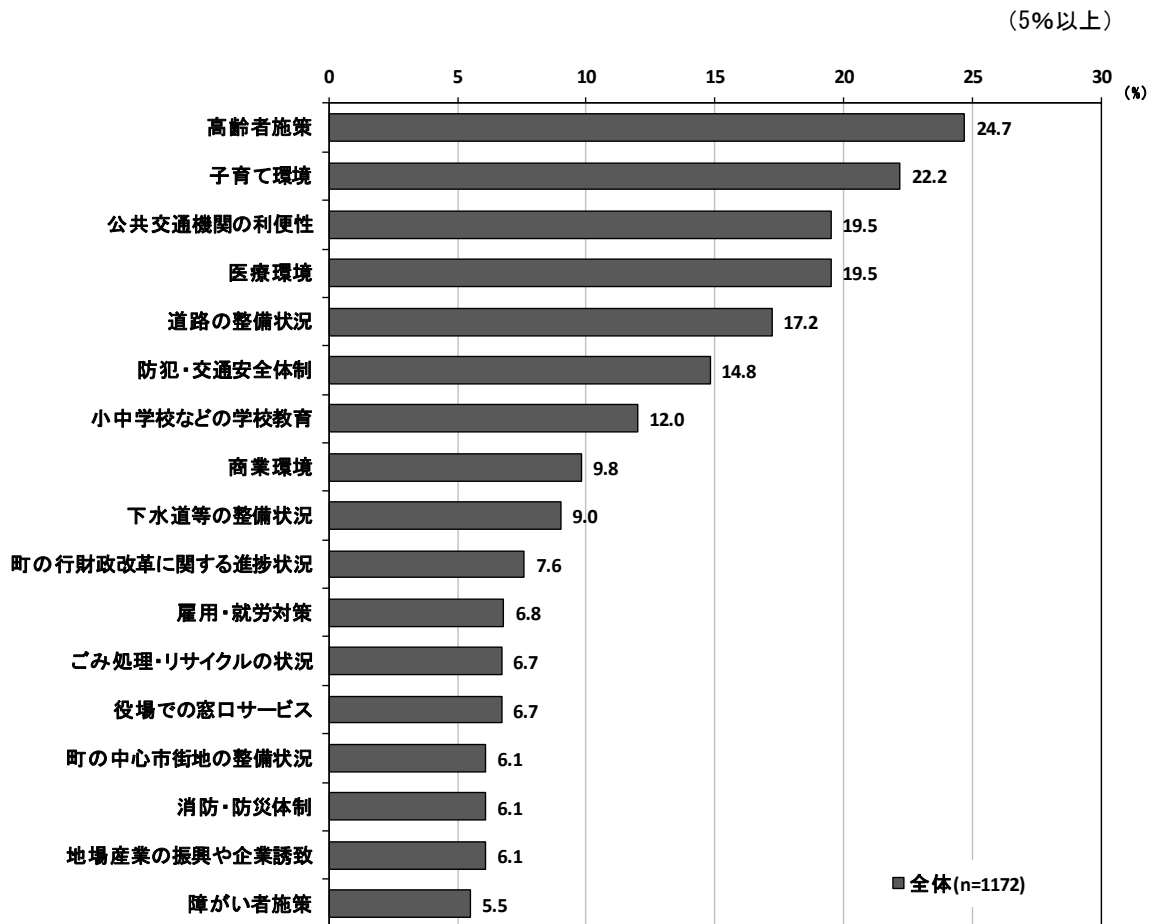
## 6 今後力を入れるべき行政施策

今後、もっと力を入れるべきと思う施策としては、「高齢者施策」が24.7%と最も多くなっています。次いで「子育て環境」(22.2%)、「公共交通機関の利便性」(19.5%)、「医療環境」(19.5%)、「道路の整備状況」(17.2%)、「防犯・交通安全体制」(14.8%)、「小中学校などの学校教育」(12.0%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代以下では、「子育て環境」や「小中学校などの学校教育」が多くあげられています。

問8. 「問7（前問）」の設問で掲げた「34項目の行政施策」のうち、あなたが、今後、もっと力を入れるべきと思う施策を3つ選んでください。



問8. 「問7（前問）」の設問で掲げた「34項目の行政施策」のうち、あなたが、今後、もっと力をいれるべきと思う施策を3つ選んでください。

《属性別》

	サンプル数	都市基盤										環境保全生活環境		防犯・防災対策	
		街地の中心市街地（人々が集う便利な安全な市街地の整備状況など）	自宅周辺の街並み景観	道路の整備状況	公共交通機関の利便性	公営住宅の整備状況	公園・緑地・水辺の整備状況	水道の整備状況	下水道等（公共下水道、浄化槽など）の整備状況	情報通信網（インターネット、ケーブルテレビなど）の整備状況	自然環境の豊かさ	ごみ処理・リサイクルの状況	防犯・交通安全体制	消防・防災体制	
全体	1172	6.1	1.9	17.2	19.5	1.2	4.0	1.7	9.0	2.6	4.0	6.7	14.8	6.1	
性別	男性	465	6.7	1.5	21.3	15.9	0.9	2.2	1.9	10.5	2.6	4.7	4.3	14.2	5.6
	女性	633	6.5	2.2	14.5	22.4	1.4	5.2	1.6	7.4	2.7	3.6	9.0	15.6	7.0
年齢別	20歳代以下	79	3.8	-	17.7	30.4	-	1.3	-	2.5	2.5	5.1	6.3	19.0	6.3
	30歳代	107	3.7	0.9	16.8	15.0	-	13.1	2.8	8.4	6.5	3.7	10.3	14.0	6.5
	40歳代	167	7.8	1.8	16.2	19.2	1.8	6.0	3.0	6.0	4.2	3.6	9.6	17.4	4.8
	50歳代	179	8.4	1.7	23.5	22.9	1.7	2.8	2.2	8.4	3.9	4.5	5.6	18.4	7.8
	60歳代	252	7.5	2.4	15.5	21.4	1.6	3.2	2.4	12.7	1.2	3.2	5.6	17.5	9.1
	70歳以上	374	4.5	2.4	16.0	16.6	0.5	2.4	0.5	9.9	1.3	4.5	5.6	9.4	3.7
区別 小学校	上広川	241	5.4	2.9	14.9	24.1	1.2	1.7	1.2	10.8	2.1	5.0	8.3	12.9	7.5
	中広川	585	7.4	1.4	14.2	17.3	1.4	6.0	1.2	7.5	2.9	5.1	6.3	15.6	5.5
	下広川	286	4.5	2.1	27.3	21.0	0.7	2.8	2.8	10.1	2.8	1.7	6.6	15.4	6.3

	サンプル数	産業振興					保健・医療・福祉						
		農業の振興に関する取り組み（農地、農道の整備など）	商業環境（商店街など）	地場産業の振興や企業誘致に関する取り組み	観光の振興に関する取り組み（観光施設や観光ルートの整備など）	雇用・就労対策（職業訓練機会の確保、情報提供、起業支援など）に関する取り組み	医療環境	保健サービス（健康診断、健康相談、栄養指導など）	障がい者への取り組み（公共施設などの段差解消、障がい者にも使いやすい施設の整備など）	子育て環境	高齢者施策	障がい者施策	
全体	1172	4.9	9.8	6.1	3.6	6.8	19.5	3.9	3.8	22.2	24.7	5.5	
性別	男性	465	7.1	7.5	10.1	3.2	6.9	18.5	4.3	3.7	20.9	21.3	4.9
	女性	633	3.2	11.4	3.5	4.1	6.8	21.2	3.3	3.9	24.3	27.8	5.7
年齢別	20歳代以下	79	2.5	12.7	5.1	5.1	5.1	20.3	3.8	3.8	38.0	19.0	12.7
	30歳代	107	7.5	15.9	4.7	3.7	4.7	22.4	1.9	1.9	49.5	20.6	6.5
	40歳代	167	4.2	6.0	6.0	5.4	9.0	24.0	2.4	0.6	29.9	22.2	5.4
	50歳代	179	4.5	14.0	7.3	6.1	11.2	19.0	5.6	1.7	22.9	26.8	6.7
	60歳代	252	6.3	9.5	6.0	3.2	7.5	18.7	5.2	7.1	14.3	28.6	4.4
	70歳以上	374	4.5	7.5	6.7	1.6	4.5	17.6	3.7	4.3	12.8	24.3	4.0
区別 小学校	上広川	241	6.6	11.2	5.0	4.1	7.5	18.7	4.6	4.1	20.7	24.9	5.0
	中広川	585	4.3	10.9	7.2	4.4	8.0	19.3	4.6	3.4	24.8	23.1	5.1
	下広川	286	5.9	6.6	5.6	1.4	4.5	20.6	2.4	3.5	20.6	28.0	6.6

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

問8. 「問7（前問）」の設問で掲げた「34項目の行政施策」のうち、あなたが、今後、もっと力をいれるべきと思う施策を3つ選んでください。

《属性別-続き》

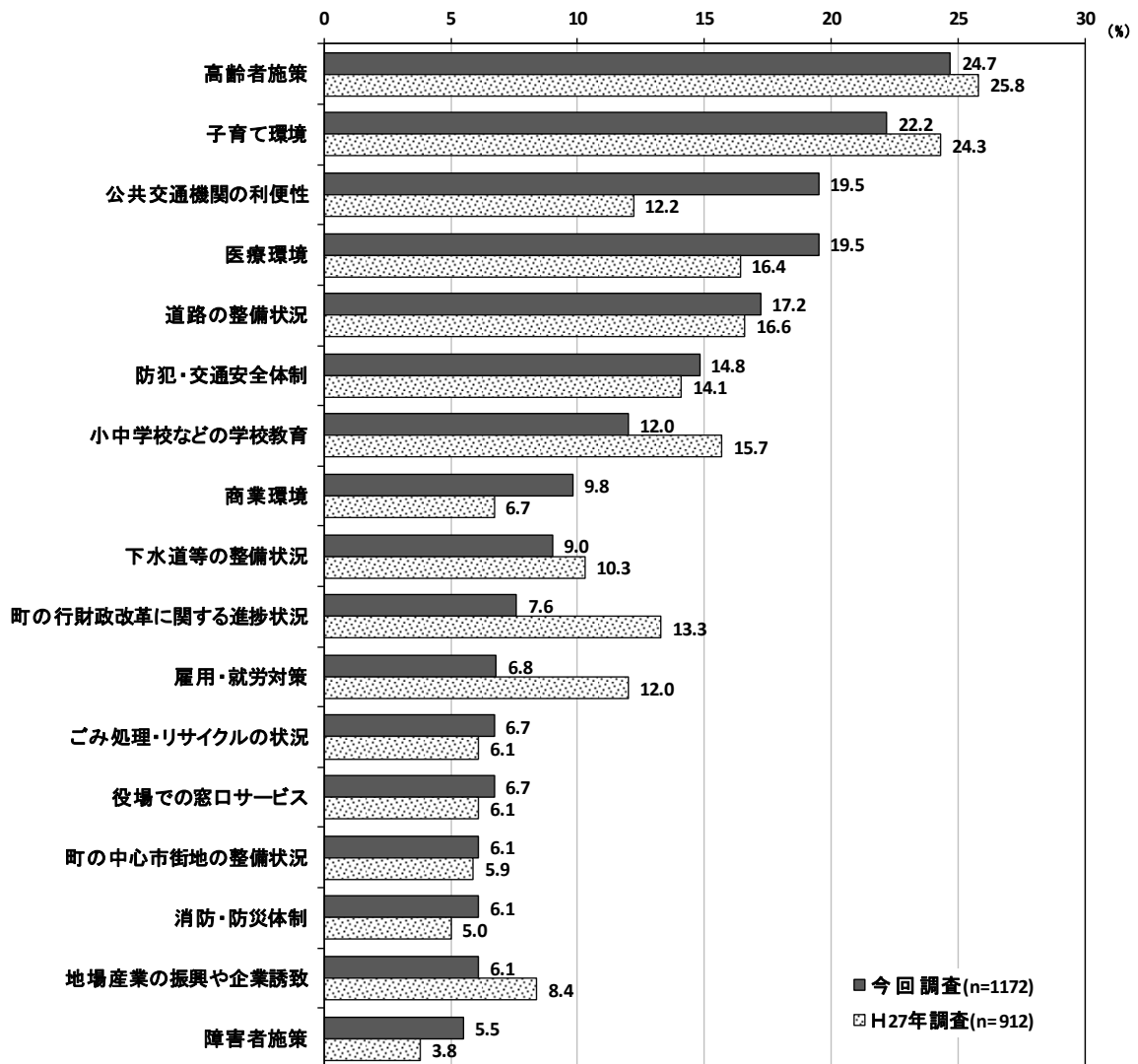
	サンプル数	教育・文化・スポーツ				人権・男女共同参画		広報・広聴・住民参加		住民サービス		無回答	
		小中学校などの学校教育	町の生涯学習活動・文化活動に関する取り組み（各種講座・教室の実施、学習施設の整備・充実など）	スポーツ活動に関する取り組み（各種教室の実施、施設の整備・充実など）	国内外との交流活動	人権教育の推進・啓発に関する取り組み	男女共同参画の推進に関する取り組み（男女平等意識の啓発、各種委員会等への女性の登用など）	広報・広聴活動に関する取り組み（広報紙やホームページなど）	住民参画に関する取り組み（各種委員の一般公募、町政情報の公開、ボランティア・NPO活動の活性化支援など）	町の行財政改革に関する進捗状況（組織機構の見直し、職員定数・給与の適正管理、事務事業の効率化、行政サービスの向上など）	役場での窓口サービスに関する取り組み		
全体	1172	12.0	2.4	3.2	1.5	0.8	1.5	1.9	1.5	7.6	6.7	17.3	
性別	男性	465	11.8	1.9	3.2	2.4	1.5	0.9	1.1	1.5	12.0	5.8	18.3
	女性	633	11.5	2.7	3.0	0.6	0.3	1.9	2.4	1.7	3.8	7.4	15.6
年齢別	20歳代以下	79	17.7	1.3	5.1	3.8	-	3.8	2.5	2.5	2.5	8.9	8.9
	30歳代	107	23.4	0.9	4.7	2.8	-	1.9	2.8	-	2.8	9.3	2.8
	40歳代	167	17.4	1.8	3.6	0.6	1.8	2.4	1.2	2.4	4.8	6.6	13.2
	50歳代	179	7.8	1.7	3.4	0.6	0.6	1.7	2.2	1.1	5.6	6.7	9.5
	60歳代	252	9.1	3.6	3.6	1.6	1.2	0.8	2.4	0.4	11.5	6.3	13.9
	70歳以上	374	8.8	2.9	2.1	1.1	0.5	0.8	1.3	2.4	9.6	5.9	30.2
区別 小学校	上広川	241	12.0	2.5	3.3	0.8	0.8	1.2	2.9	1.2	9.1	6.6	15.4
	中広川	585	13.8	2.4	3.8	2.1	0.5	1.4	1.9	2.1	7.5	7.9	15.6
	下広川	286	9.4	2.8	2.4	1.0	1.4	1.4	1.4	1.0	7.0	4.5	17.8

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査に比べ「公共交通機関の利便性」は約 7% 増えていますが、一方で「町の行財政改革に関する進捗状況」「雇用・就労対策」は 5~6% 減っています。

問 8. 「問 7 (前問)」の設問で掲げた「34 項目の行政施策」のうち、あなたが、今後、もっと力をいれるべきと思う施策を 3 つ選んでください。



## ■ 都市基盤の整備について ■

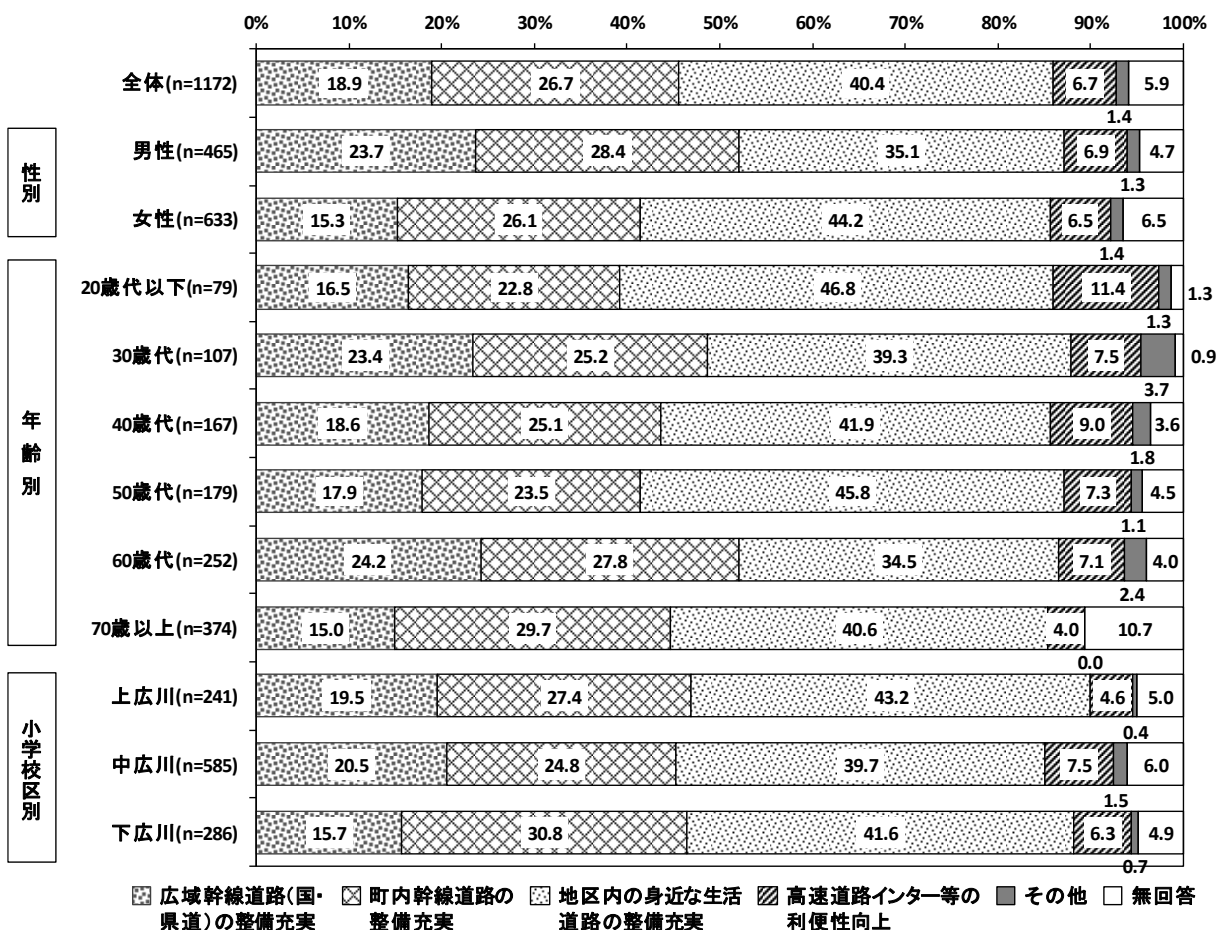
### 7 道路整備について

今後、広川町及びその周辺で必要な道路整備としては、「地区内の身近な生活道路の整備充実」が40.4%と最も多くなっています。次いで「町内幹線道路の整備充実」(26.7%)、「広域幹線道路(国・県道)の整備充実」(18.9%)、「高速道路インター等の利便性向上」(6.7%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別、年齢別、小学校区別にみても、「地区内の身近な生活道路の整備充実」を最も必要としています。

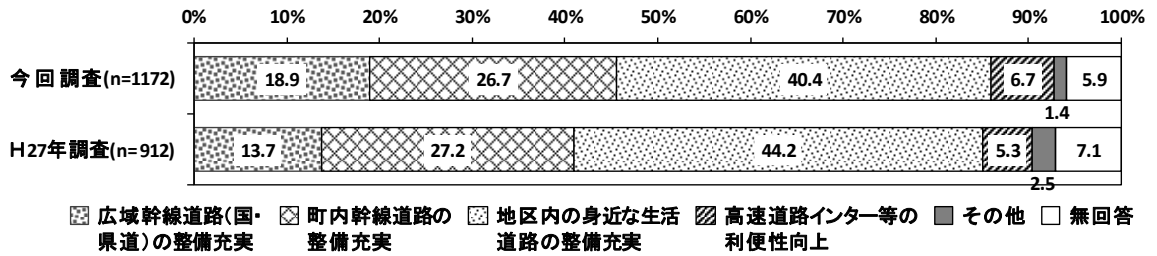
問9. 今後、広川町及びその周辺ではどのような道路整備が最も必要だと考えますか。(○印1つ)



【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査に比べ「地区間の身近な生活道路の整備充実」がやや減り、逆に「広域幹線道路の整備充実」がやや増えています。

問 9. 今後、広川町及びその周辺ではどのような道路整備が最も必要だと考えますか。(○印 1 つ)



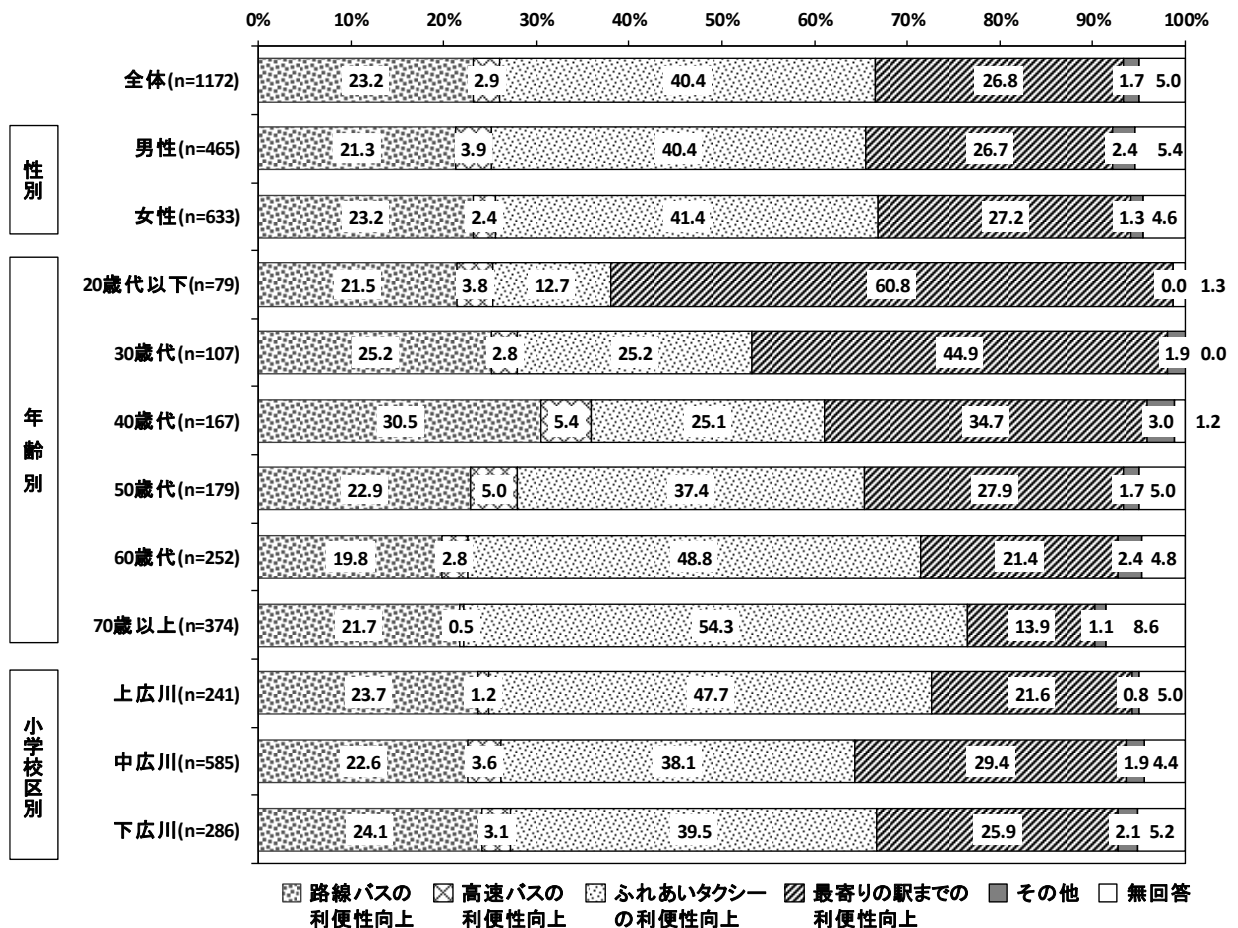
## 8 交通手段の充実

今後、広川町及びその周辺で充実が必要な交通手段としては、「ふれあいタクシーの利便性向上」が40.4%と最も多くなっています。次いで「最寄りの駅までの利便性向上」(26.8%)、「路線バスの利便性向上」(23.2%)、「高速バスの利便性向上」(2.9%)となっています。

### 【属性別特徴】

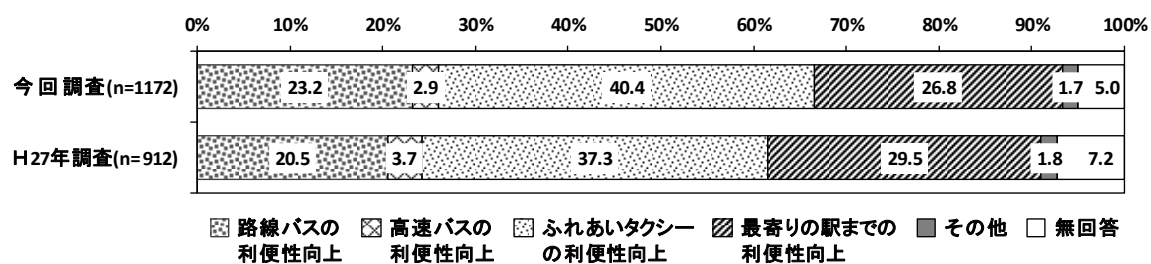
- 年齢別にみると、年齢が低いほど多くなっているのが「最寄りの駅までの利便性向上」、年齢が高いほど多くなっているのが「ふれあいタクシーの利便性向上」です。
- 小学校区別にみると、上広川で「ふれあいタクシーの利便性向上」が47.7%と多くなっています。

問 10. 今後、広川町及びその周辺ではどのような交通手段の充実が最も必要だと考えますか。(○印1つ)



【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査と比べ、あまり差異はありません。



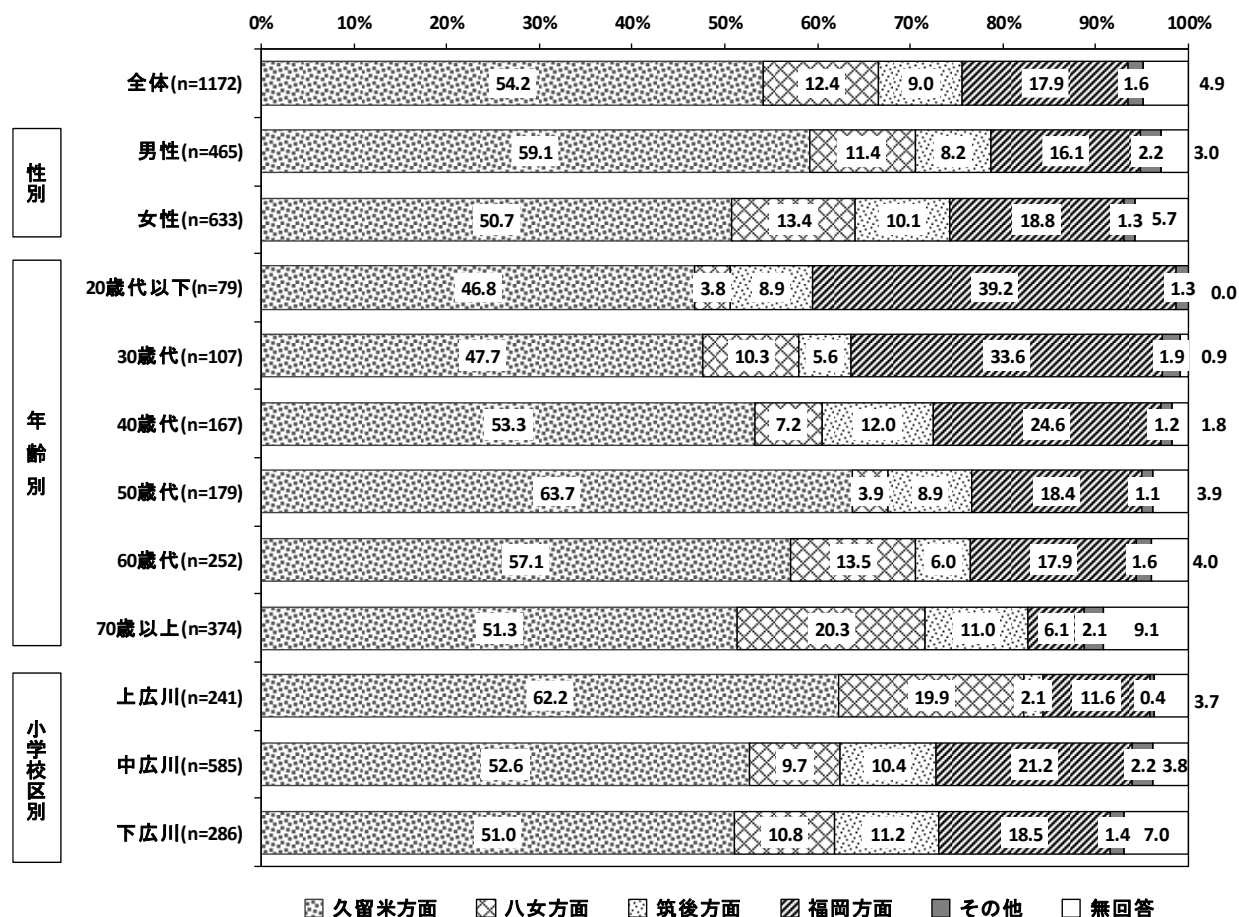
## 9 交通アクセスの充実

今後、交通アクセス（道路・公共交通）を充実させるべき地域としては、「久留米方面」が54.2%と最も多くなっています。次いで「福岡方面」（17.9%）、「八女方面」（12.4%）、「筑後方面」（9.0%）となっています。

### 【属性別特徴】

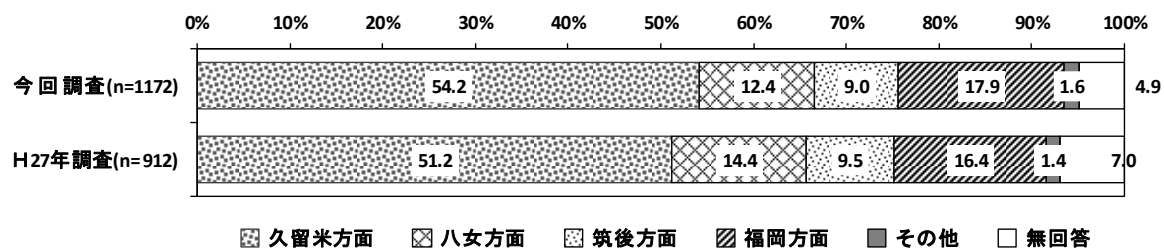
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「福岡方面」が多くなり、20歳代以下で39.2%となっています。また、70歳以上では、「八女方面」が20.3%と多くなっています。

問 11. 今後、どの地域との交通アクセス（道路・公共交通）を充実させるべきだと思いますか。（○印1つ）



【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査と比べ、あまり差異はありません。



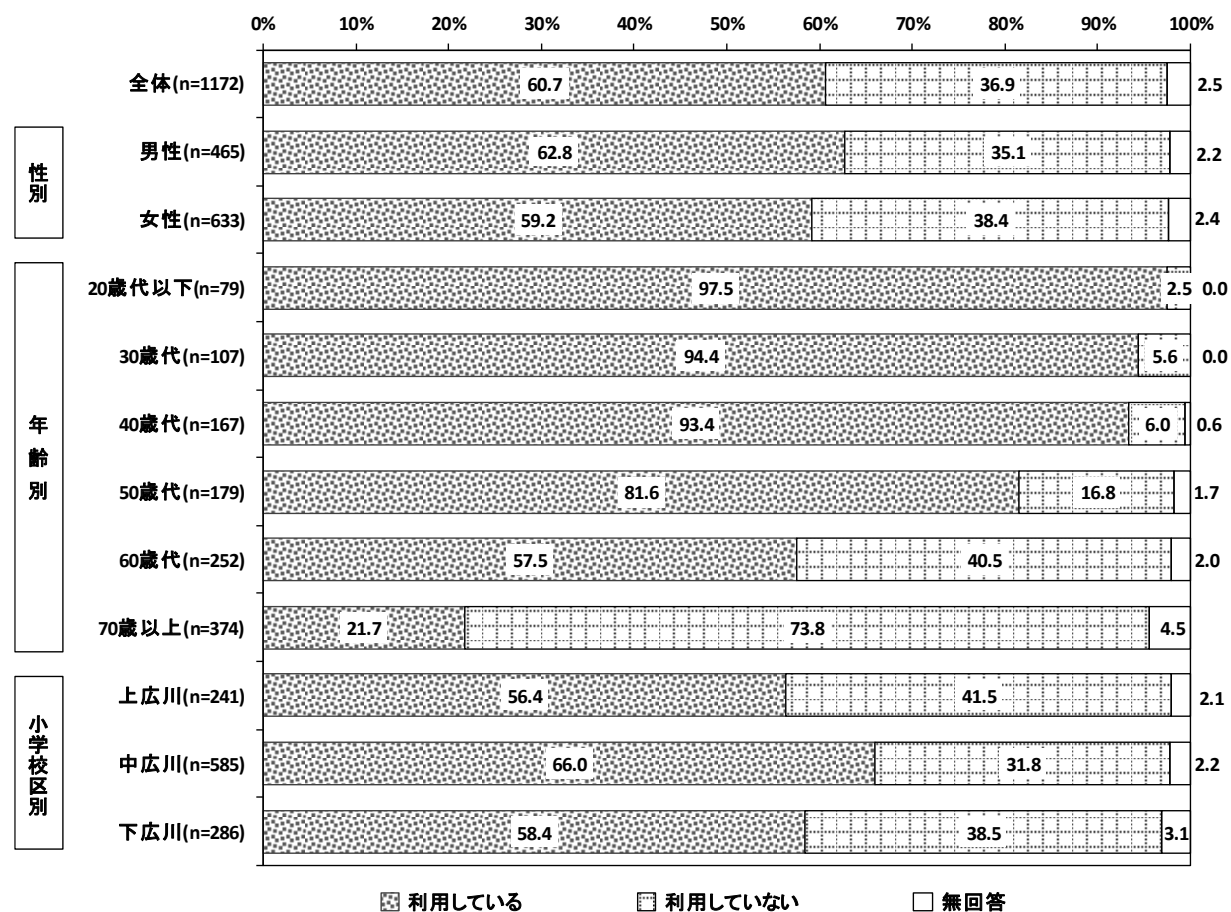
## 10 インターネットの利用状況

普段、家庭でのパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでインターネットの利用についてみると、「利用している」は60.7%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が低いほど利用率が多くなっています。40歳代以下では利用率が90%を超えていますが、50歳代では81.6%、60歳代では57.5%と少なくなり、70歳以上では21.7%となっています。

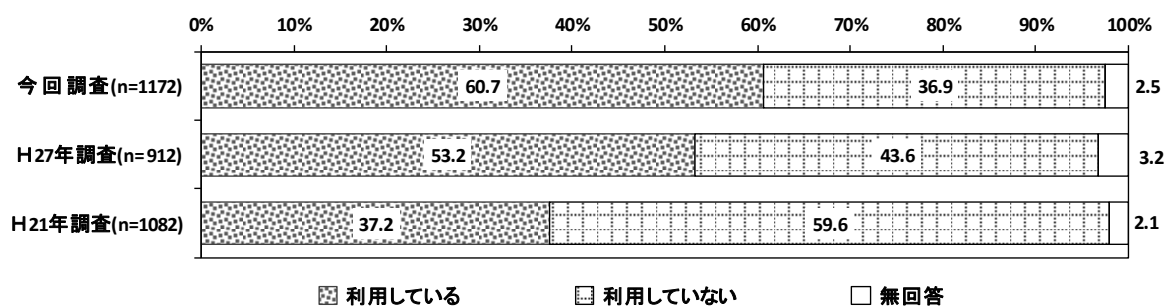
問 12. あなたはふだん家で、パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでインターネットを利用していますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「利用している」は年々増加しています。H21 年調査と比べると、今回調査では 24% 増加しています。

問 12. あなたはふだん家で、パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでインターネットを利用していますか。(○印 1 つ)



## ■ 環境保全・生活環境について ■

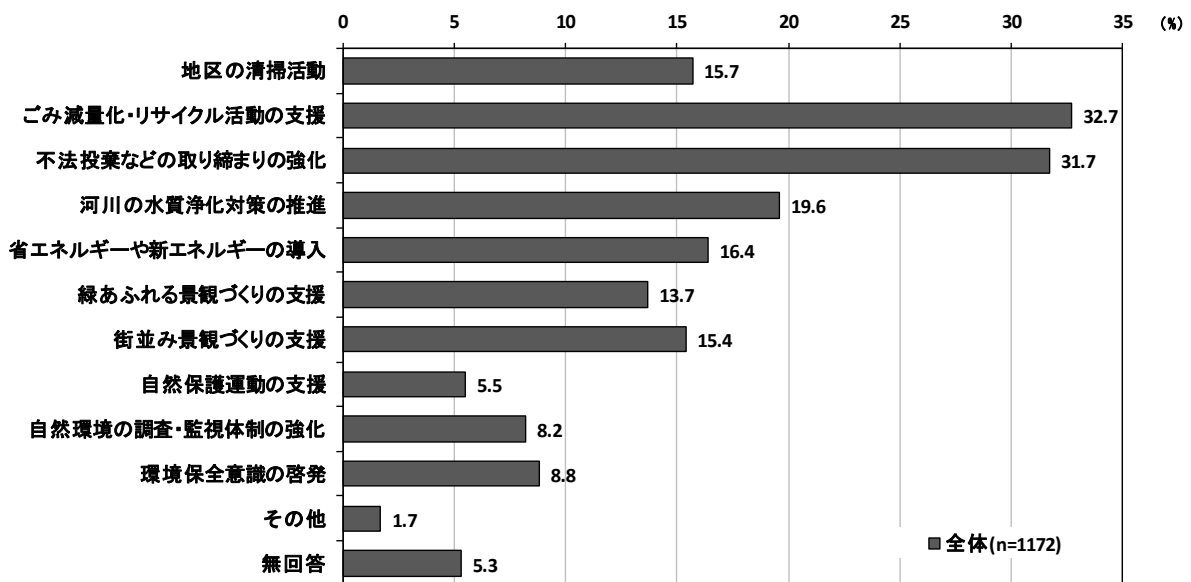
### 11 自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組み

地域の自然環境や生活環境を保全するため、広川町として取り組むべきこととしては、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が32.7%と最も多くなっています。次いで「不法投棄などの取り締まりの強化」(31.7%)、「河川の水質浄化対策の推進」(19.6%)、「省エネルギーや新エネルギーの導入」(16.4%)、「地区の清掃活動」(15.7%)、「街並み景観づくりの支援」(15.4%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代で「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が40.7%と多くなっています。

問 13. あなたは、地域の自然環境や生活環境を保全するため、広川町として特にどのようなことに取り組むべきとお考えですか。(○印2つまで)

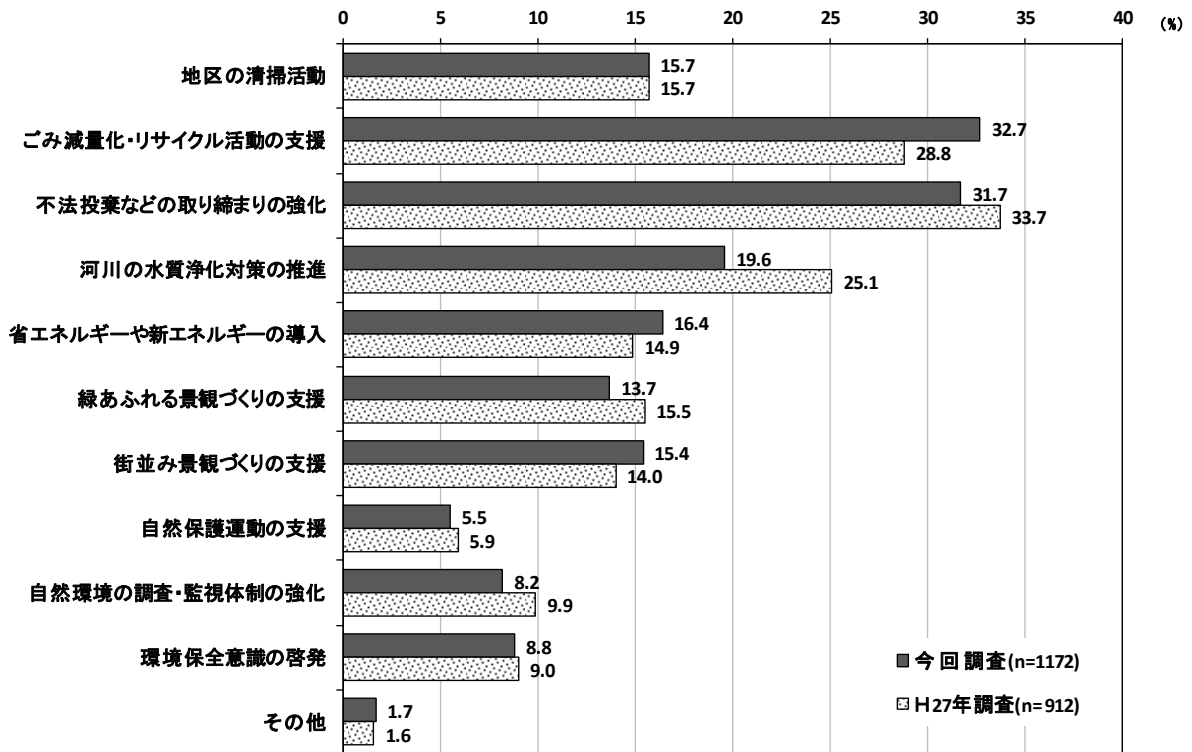


	サンプル数	地区の清掃活動	ごみ減量化・リサイクル活動の支援	不法投棄などの取り締まりの強化	河川の水質浄化対策の推進	省エネルギーや新エネルギーの導入	緑あふれる景観づくりの支援	街並み景観づくりの支援	自然保護運動の支援	自然環境の調査・監視体制の強化	環境保全意識の啓発	その他	無回答	
全体	1172	15.7	32.7	31.7	19.6	16.4	13.7	15.4	5.5	8.2	8.8	1.7	5.3	
性別	男性	465	17.4	27.7	34.4	19.4	17.2	14.4	16.8	5.8	8.8	9.2	1.9	4.5
	女性	633	15.5	36.3	31.0	19.6	16.1	13.9	13.4	5.1	8.1	8.4	1.7	5.1
年齢別	20歳代以下	79	15.2	31.6	35.4	24.1	20.3	16.5	13.9	5.1	1.3	8.9	2.5	2.5
	30歳代	107	13.1	29.9	29.9	13.1	<b>28.0</b>	<b>20.6</b>	<b>21.5</b>	4.7	10.3	9.3	1.9	0.9
	40歳代	167	14.4	<b>40.7</b>	26.3	15.0	20.4	17.4	15.0	5.4	6.0	7.8	3.0	1.8
	50歳代	179	15.1	35.8	28.5	16.8	<b>22.3</b>	12.3	20.1	2.2	4.5	8.4	1.7	3.9
	60歳代	252	13.9	28.6	36.5	<b>25.0</b>	15.1	13.1	15.9	6.7	10.7	8.3	1.2	4.0
	70歳以上	374	18.7	31.0	33.2	20.3	8.3	10.7	11.0	6.1	10.4	9.4	1.3	9.9
区別 小学校	上広川	241	15.4	36.5	33.2	22.8	12.4	11.6	12.4	4.1	11.2	8.7	0.8	5.8
	中広川	585	17.8	30.1	29.7	18.6	19.0	16.9	16.9	6.7	7.2	8.7	1.7	4.1
	下広川	286	11.9	34.6	35.0	18.2	15.7	10.5	15.0	4.5	8.7	9.1	2.4	5.9

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査では、第 1 位が「不法投棄などの取り締まりの強化」、第 2 位が「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」でしたが、今回調査では、これが入れ替わっています。また今回調査では「河川の水質浄化対策の推進」は約 6%減っています。



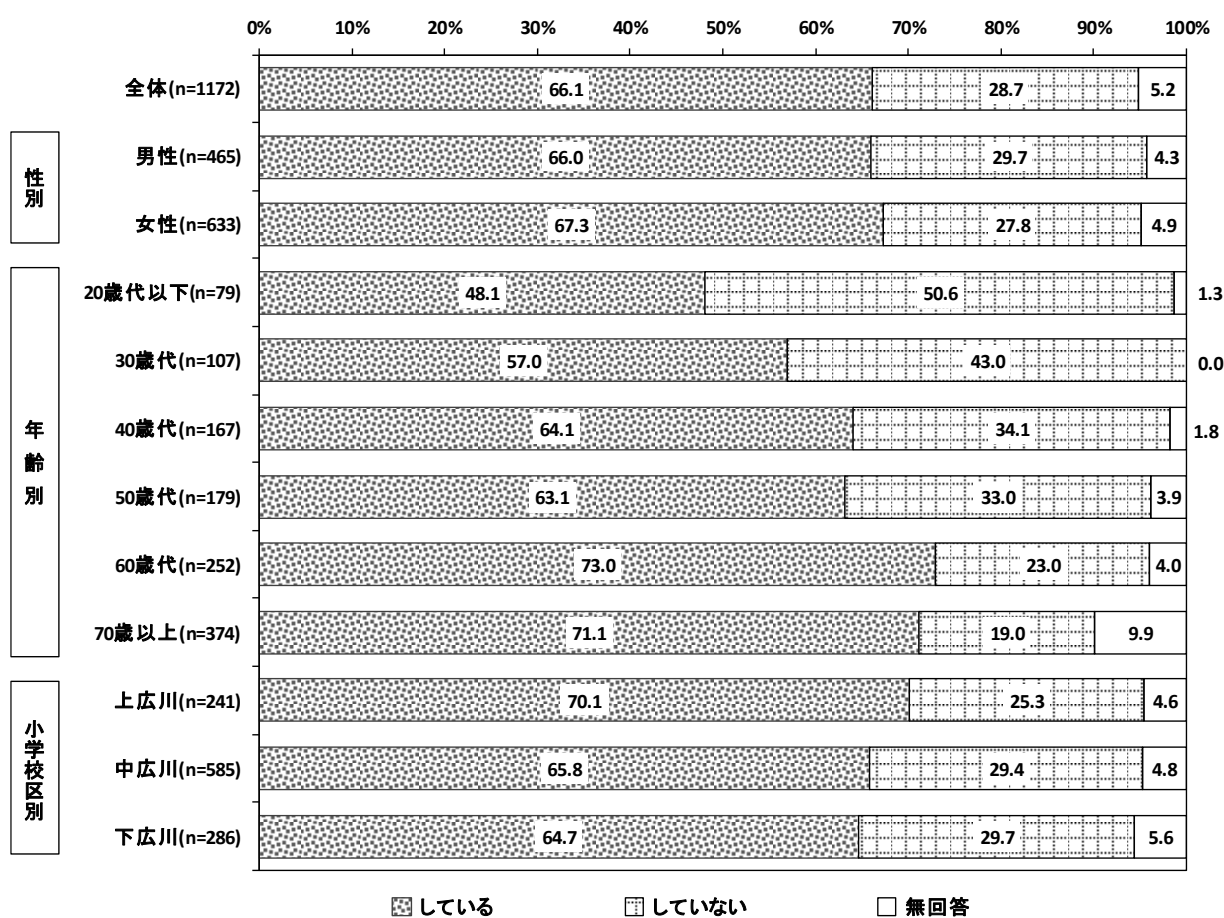
## 12 環境に配慮した生活

自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活については、「している」は66.1%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下で「している」が48.1%と半数を下回っています。

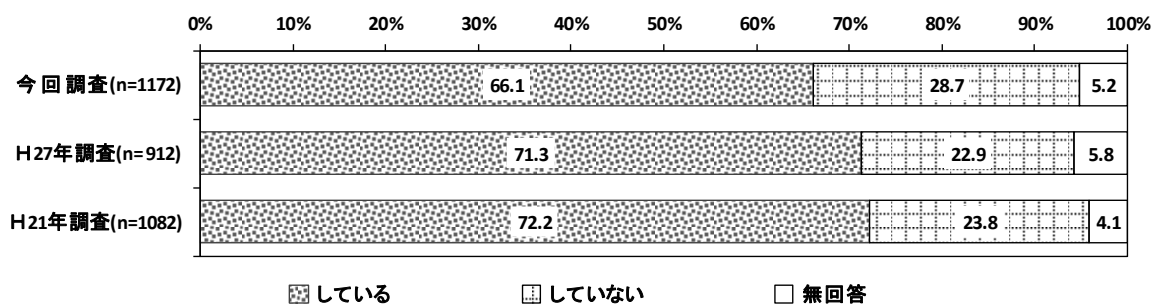
問 14. あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H21 年調査と比べると、「している」は約 6%減っています。

問 14. あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。(○印 1 つ)



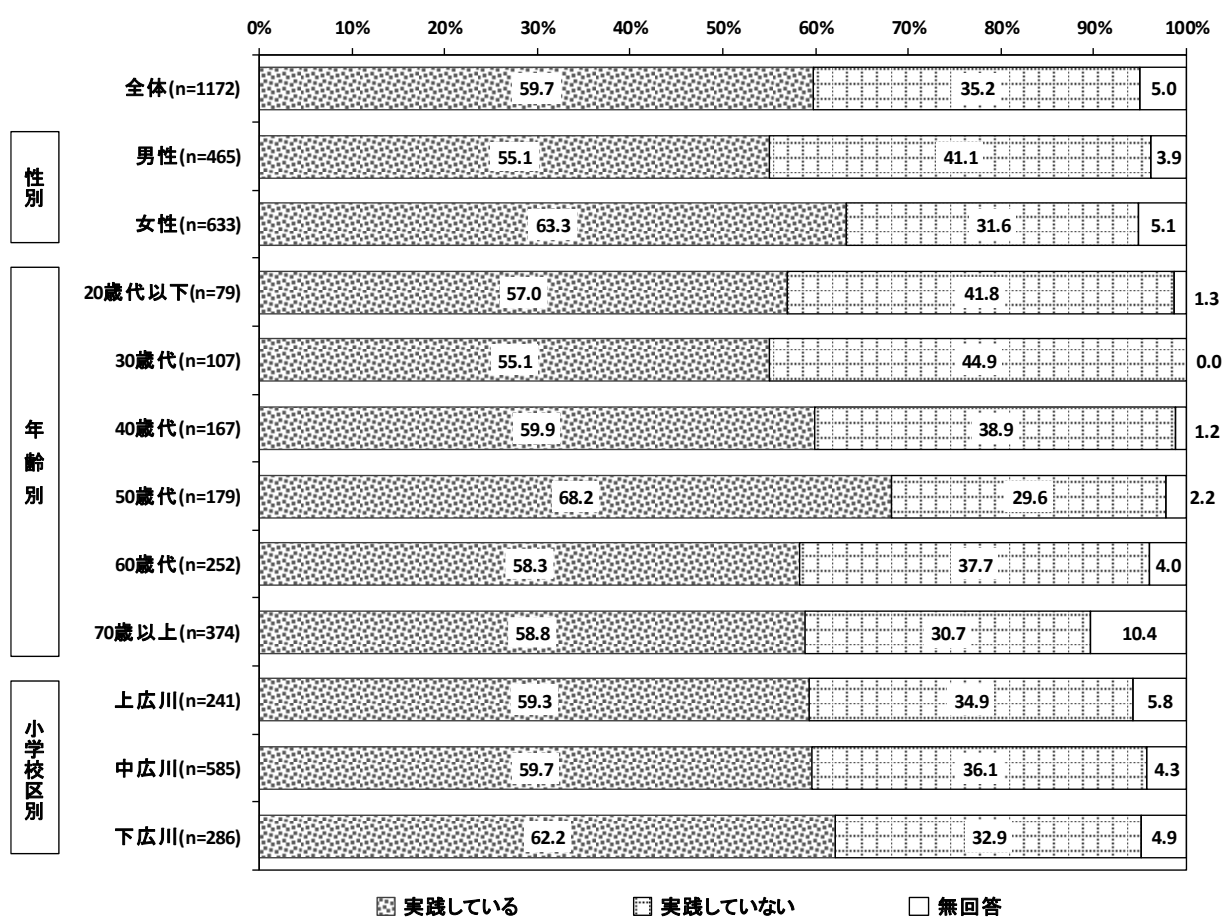
### 13 4 R運動の実践

「4 R運動」については、「実践している」が 59.7%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性は「実践している」が 63.3%ですが、男性では 55.1%となっています。
- 年齢別にみると、50 歳代で「実践している」が 68.2%と多くなっています。

問 15. あなたは「4 R運動」を実践していますか。(○印1つ)

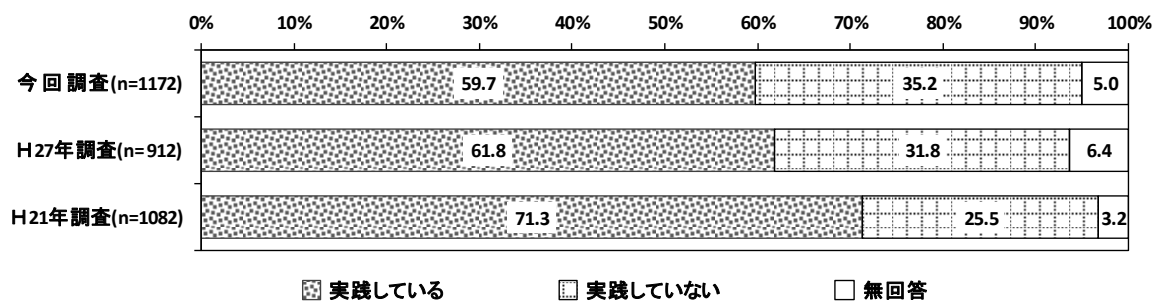


※「4R運動」とは「REDUCE(リデュース=発生抑制)」「REUSE(リユース=再使用)」「RECYCLE(リサイクル=再利用)」「REFUSE(リフューズ=過剰包装やレジ袋を断るなど、不必要なものを買わない、もらわない、断る)」の頭文字をとった環境運動のことで、「循環型社会」を目指した政府の方針に採用された考え方です。

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「実施している」は減少傾向で推移しています。H21 年調査と比べると、今回調査では約 12%減っています。

問 15. あなたは「4 R 運動」を実践していますか。(○印 1 つ)



## ■ 防犯・防災対策について ■

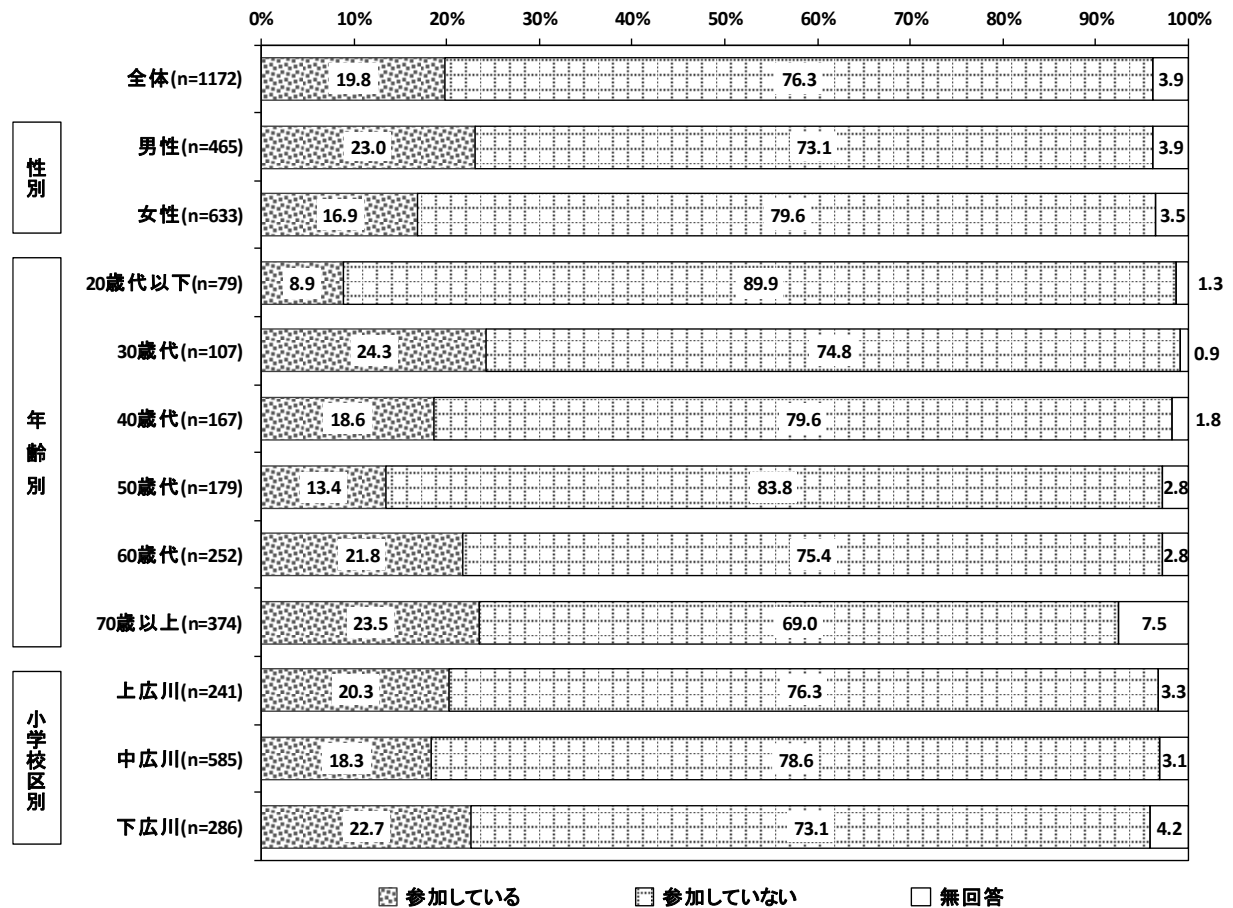
### 14 防犯活動への参加状況

身近な地域での防犯活動への参加状況をみると、「参加している」は19.8%、約5人に1人となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「参加している」が23.0%ですが、女性では16.9%と少なくなっています。

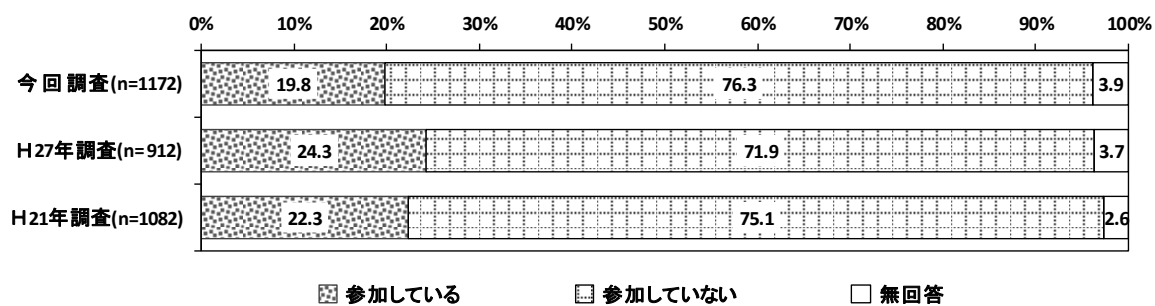
問 16. あなたは、身近な地域での防犯活動に参加していますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査に比べると、「参加している」は、今回調査では約 5%減っています。

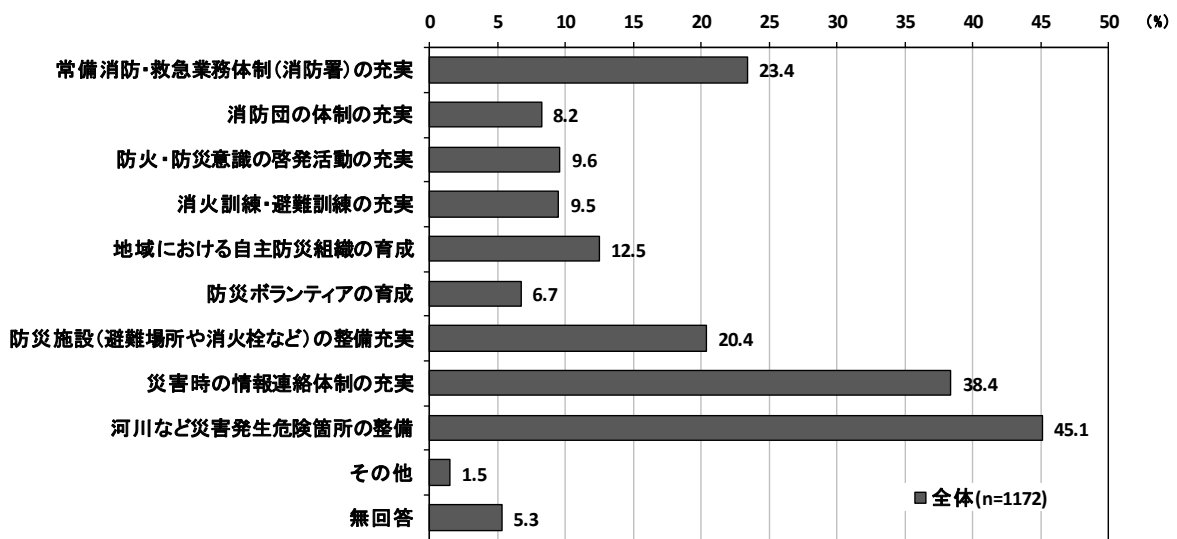
問 16. あなたは、身近な地域での防犯活動に参加していますか。(○印 1 つ)



## 15 消防・防災対策について力を入れるべきこと

消防・防災対策について、今後力を入れるべきこととしては、「河川など災害発生危険箇所の整備」が45.1%と最も多くなっています。次いで「災害時の情報連絡体制の充実」(38.4%)、「常備消防・救急業務体制(消防署)の充実」(23.4%)、「防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実」(20.4%)となっています。

問 17. あなたは、広川町の消防・防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



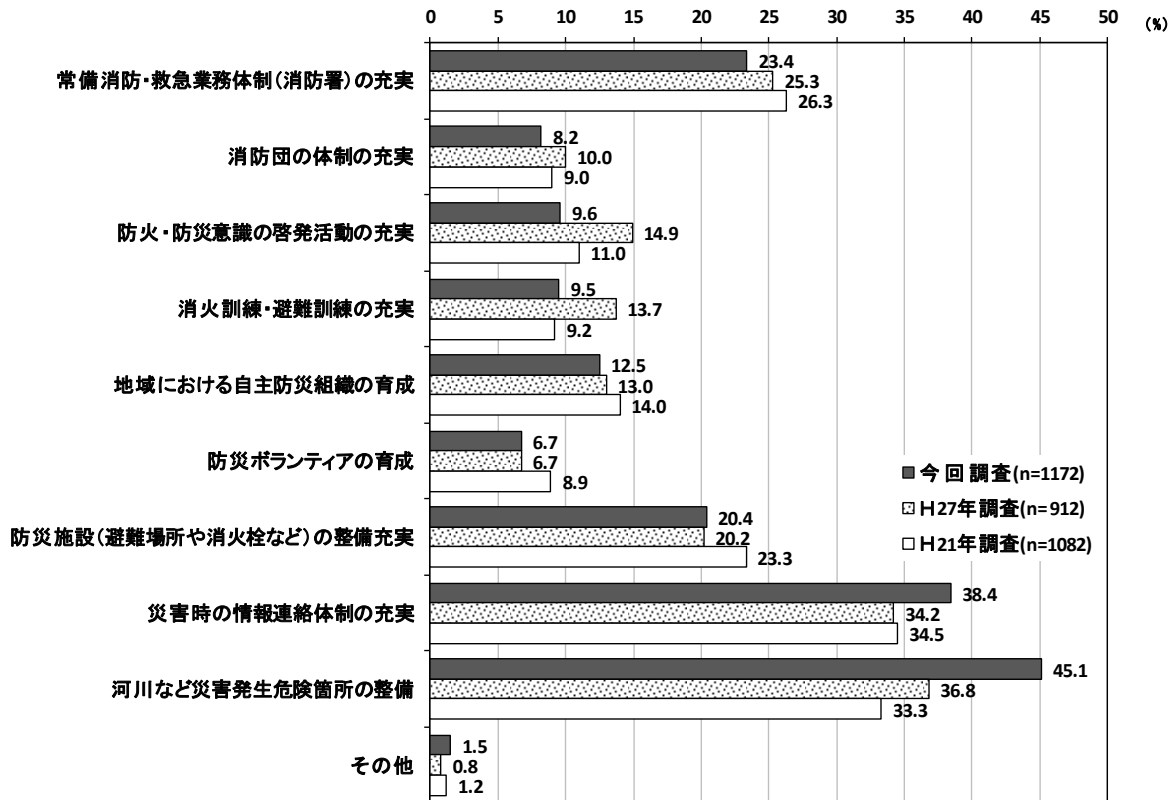
	サンプル数	常備消防・救急業務体制の充実	消防団の体制の充実	防火・防災意識の啓発活動の充実	消火訓練・避難訓練の充実	地域における自主防災組織の育成	防災ボランティアの育成	防災施設(避難場所や消火栓など)の整備充実	災害時の情報連絡体制の充実	河川など災害発生危険箇所の整備	その他	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	1172	23.4	8.2	9.6	9.5	12.5	6.7	20.4	38.4	45.1	1.5	5.3	
性別	男性	465	25.4	11.8	10.3	10.8	11.8	6.7	23.2	45.4	0.9	3.9	
	女性	633	22.6	5.8	9.5	8.5	13.6	6.6	18.5	44.5	2.1	5.7	
年齢別	20歳代以下	79	21.5	12.7	5.1	15.2	10.1	7.6	32.9	40.5	1.3	2.5	
	30歳代	107	19.6	2.8	3.7	6.5	7.5	3.7	33.6	41.1	57.9	1.9	0.9
	40歳代	167	22.2	5.4	4.2	5.4	10.2	8.4	16.8	49.1	55.7	1.8	1.8
	50歳代	179	23.5	6.1	8.4	7.8	10.1	6.1	22.9	45.3	48.0	2.2	2.8
	60歳代	252	20.2	8.7	12.7	8.7	14.3	6.7	21.4	36.9	50.8	2.0	3.6
	70歳以上	374	26.7	10.4	13.4	12.3	15.8	7.0	13.9	31.6	32.9	0.8	10.7
区別	小学校												
	上広川	241	20.7	11.6	11.2	10.0	15.4	7.1	22.0	34.9	44.8	1.7	5.4
	中広川	585	25.0	6.0	9.2	9.6	11.6	7.2	20.9	40.7	45.8	1.4	4.4
下広川	286	22.0	9.8	9.1	8.0	11.5	5.9	18.2	38.1	46.2	2.1	6.3	

■ は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次の調査とも「河川など災害発生危険箇所の整備」「災害時の情報連絡体制の充実」が上位にあがっていますが、今回調査では「河川など災害発生危険箇所の整備」の比率がかなり増えています。

問 17. あなたは、広川町の消防・防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



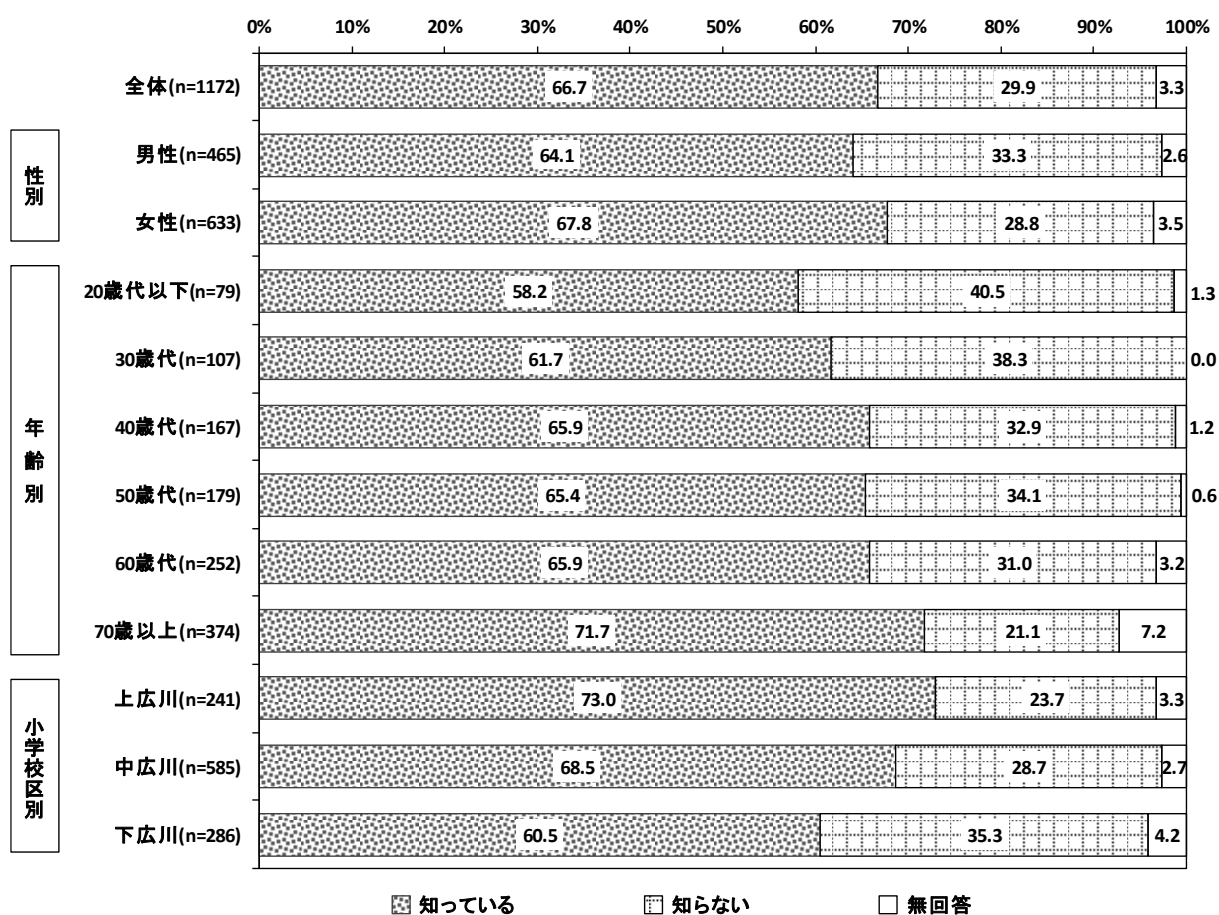
## 16 避難路・避難場所の認知状況

避難路・避難場所の認知状況をみると、「知っている」は66.7%、約3人に2人となっています。

### 【属性別特徴】

- 小学校区別にみると、上広川では「知っている」が73.0%となっていますが、中広川は68.5%、下広川は60.5%となっており、小学校区別に差がみられます。

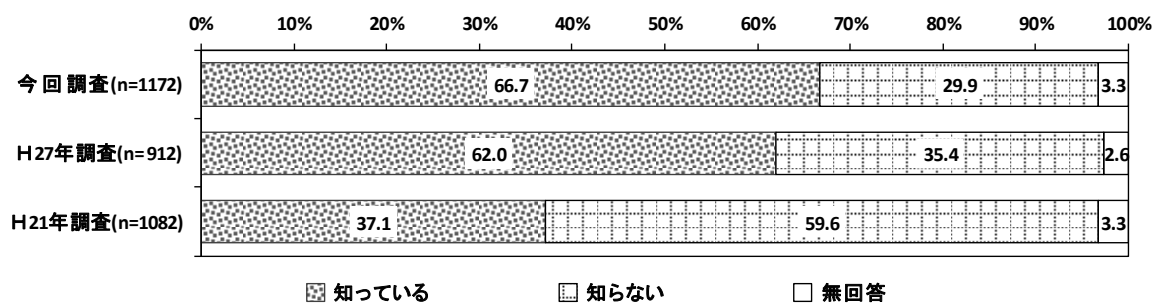
問 18. あなたは、避難路・避難場所を知っていますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「知っている」は年々、増加しています。H21 年調査に比べると、今回調査では「知っている」は、約 30% 増えています。

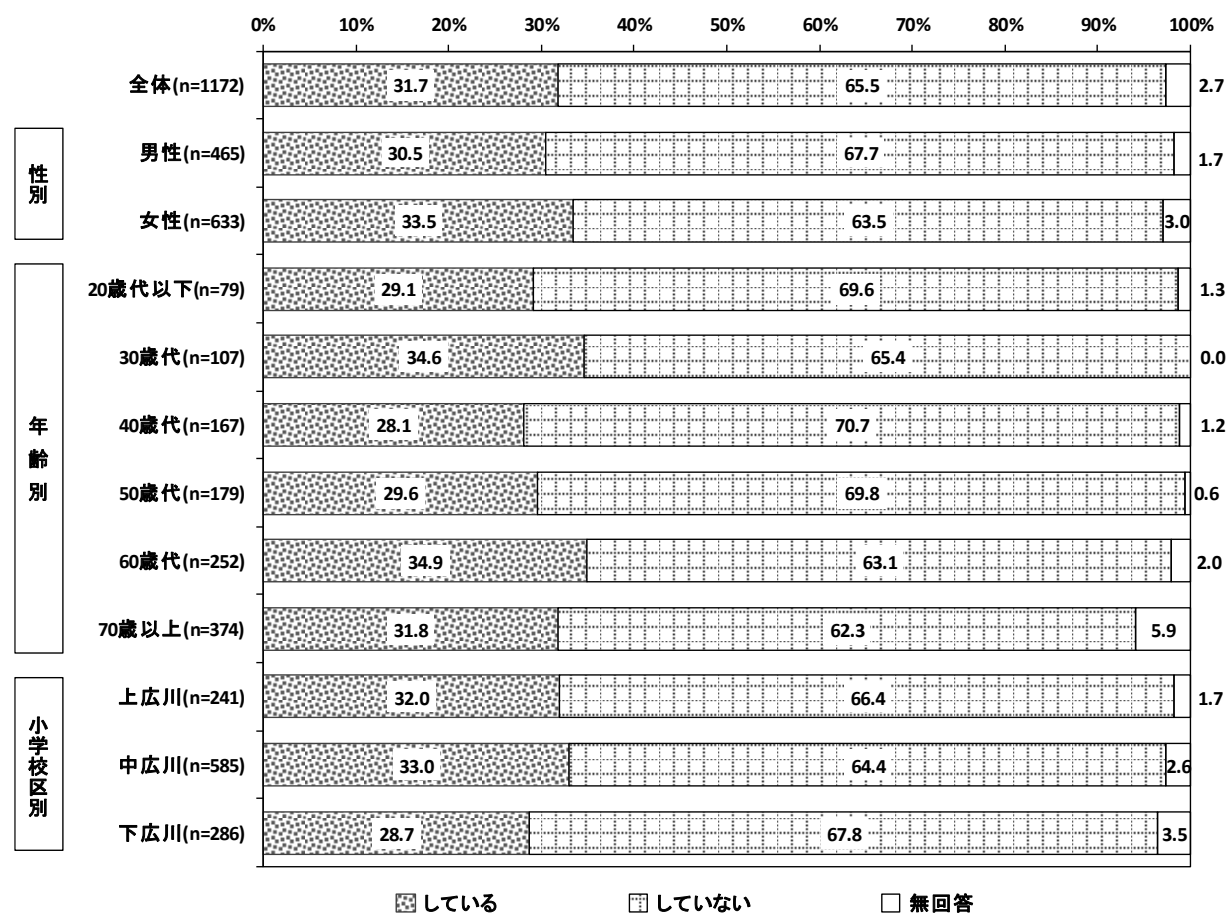
問 18. あなたは、避難路・避難場所を知っていますか。(○印 1 つ)



## 17 家庭での防災対策

家庭での防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）についてみると、「している」は31.7%となっています。

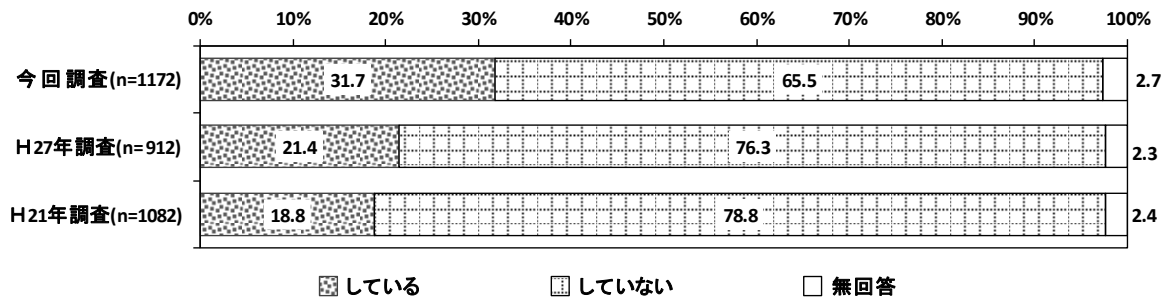
問 19. あなたは、ご家庭で防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか。  
（○印1つ）



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「している」は年々、増加しています。H21 年調査と比べると、今回調査では「している」は、約 13% 増えています。

問 19. あなたは、ご家庭で防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか。  
（○印 1 つ）

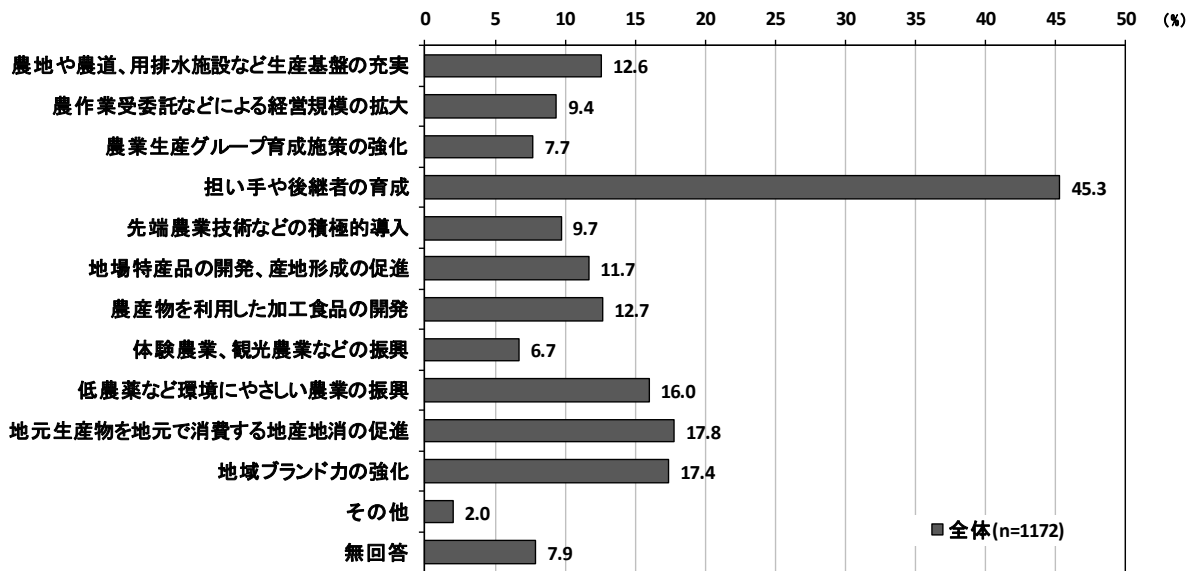


## ■ 産業振興について ■

### 18 農業振興のために力を入れるべきこと

農業を振興するために、今後力を入れるべきこととしては、「担い手や後継者の育成」が45.3%と最も多くなっています。次いで「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」(17.8%)、「地域ブランド力の強化」(17.4%)、「低農薬など環境にやさしい農業の振興」(16.0%)となっています。

問 20. あなたは、広川町の農業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



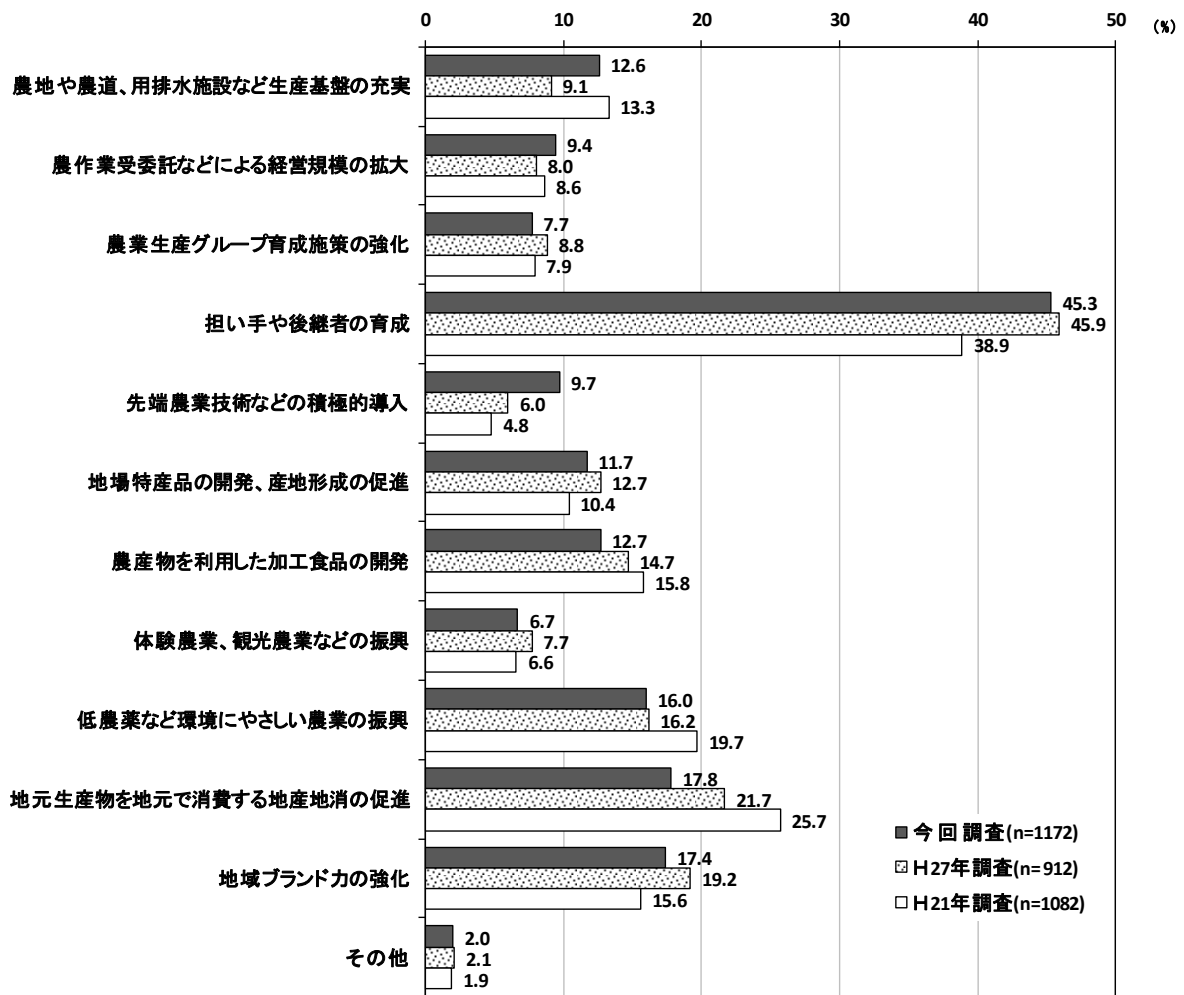
性別	年齢別	区別	小学校	サンプル数	設	農	る	農	施	担	極	先	地	農	食	農	体	し	低	費	地	地	そ	無
					備	業	農	策	い	端	形	産	産	験	農	生	域	他	回					
全体				1172	12.6	9.4	7.7	45.3	9.7	11.7	12.7	6.7	16.0	17.8	17.4	2.0	7.9							
男性				465	11.6	11.4	10.5	46.2	14.8	14.2	11.2	5.8	13.1	13.1	17.6	2.4	8.2							
女性				633	13.6	7.9	6.2	43.9	6.5	10.3	13.9	7.3	18.8	22.1	16.6	1.7	7.4							
	20歳代以下			79	10.1	3.8	2.5	48.1	15.2	19.0	7.6	10.1	16.5	15.2	31.6	1.3	3.8							
	30歳代			107	16.8	9.3	5.6	48.6	13.1	9.3	7.5	11.2	15.0	15.0	27.1	1.9	-							
	40歳代			167	12.6	10.8	6.0	45.5	12.0	10.8	17.4	13.8	13.8	12.6	22.2	0.6	1.8							
	50歳代			179	11.7	8.9	10.6	52.5	8.9	14.5	14.5	5.0	10.1	20.1	25.1	2.8	2.8							
	60歳代			252	9.9	8.3	7.1	44.4	10.7	11.1	12.7	5.2	19.8	19.0	13.5	3.2	9.9							
	70歳以上			374	13.9	10.7	9.4	40.6	6.7	10.7	12.6	3.2	17.4	19.8	8.8	1.3	14.7							
		上広川		241	13.3	11.2	11.6	41.5	9.5	8.3	17.4	6.6	13.7	20.7	16.6	1.7	9.5							
		中広川		585	10.9	8.2	7.4	49.2	11.5	13.7	12.0	6.8	16.6	17.1	18.5	1.7	5.8							
		下広川		286	16.1	9.4	5.2	43.4	7.3	10.5	10.5	6.3	17.5	16.4	16.8	2.4	8.7							

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「担い手や後継者の育成」は、各年次とも第 1 位ですが、今回調査の比率は、H21 年調査に比べ約 6% 増えています。  
「地元生産物を地元で消費する地産地消の促進」は、H21 年調査に比べると、今回調査では約 8% 減っています。

問 20. あなたは、広川町の農業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



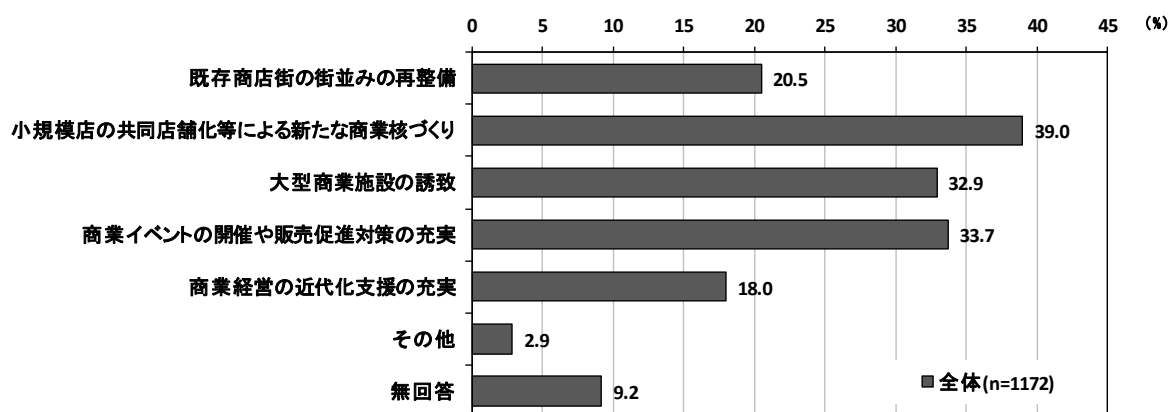
## 19 商業振興のために力を入れるべきこと

商業振興のために、今後力を入れるべきこととしては、「小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり」(39.0%)、「商業イベントの開催や販売促進対策の充実」(33.7%)、「大型商業施設の誘致」(32.9%)の3つが30%を超えています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が低いほど「大型商業施設の誘致」が多くなっており、20歳代以下では44.3%と最も多くなっています。

問 21. あなたは、広川町の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)



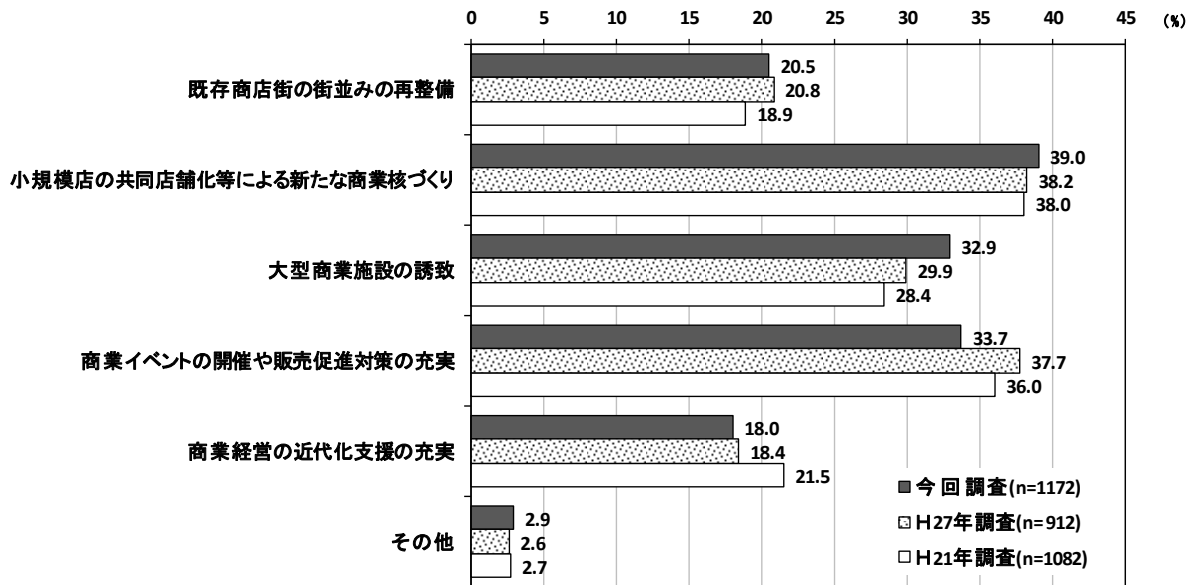
	サンプル数	既存商店街の街並みの再整備	小規模店の共同店舗化等による新たな商業核づくり	大型商業施設の誘致	商業イベントの開催や販売促進対策の充実	商業経営の近代化支援の充実	その他	無回答	
全体	1172	20.5	39.0	32.9	33.7	18.0	2.9	9.2	
性別	男性	465	44.9	37.2	30.5	18.5	2.2	8.0	
	女性	633	21.2	35.5	29.9	36.5	17.9	3.3	9.5
年齢別	20歳代以下	79	32.9	16.5	44.3	39.2	15.2	3.8	5.1
	30歳代	107	15.9	42.1	41.1	41.1	17.8	2.8	-
	40歳代	167	16.8	42.5	40.1	32.3	18.0	1.2	2.4
	50歳代	179	22.3	38.0	39.1	41.9	15.6	5.6	2.8
	60歳代	252	23.4	44.0	30.6	29.8	19.0	3.6	10.3
	70歳以上	374	18.4	39.3	23.5	30.5	19.3	1.6	17.4
小学校別	上広川	241	20.3	40.2	28.2	35.3	18.3	2.9	10.0
	中広川	585	19.7	39.5	36.2	34.7	19.3	3.4	7.0
	下広川	286	22.4	37.8	32.2	31.8	15.0	2.4	10.5

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも 1 位～3 位の順位に変化はありませんが、「大型商業施設の誘致」は、H21 年調査に比べると、今回調査では約 5% 増えています。

問 21. あなたは、広川町の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



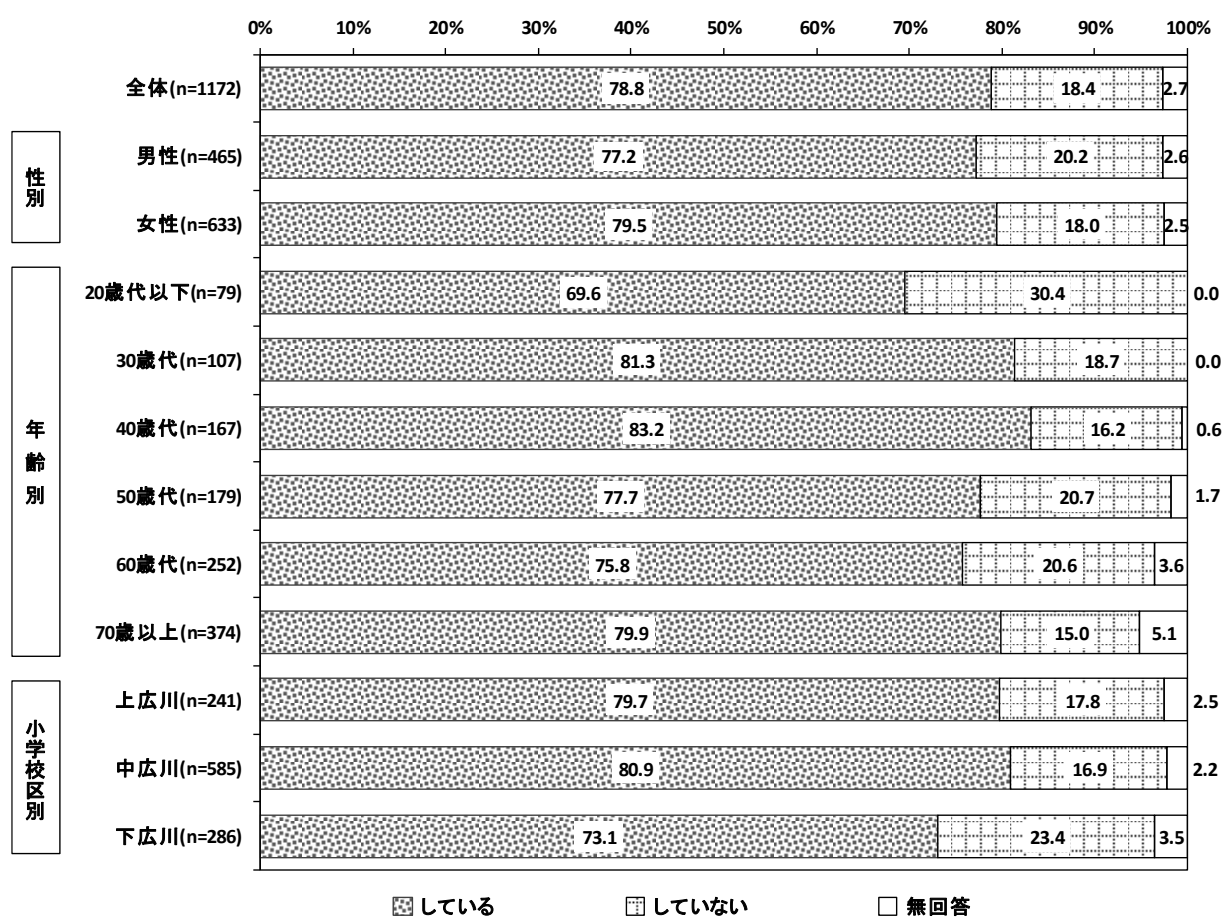
## 20 町内での買い物

日頃の町内での買い物については、「している」が78.8%となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下で「している」が69.6%と少なくなっています。

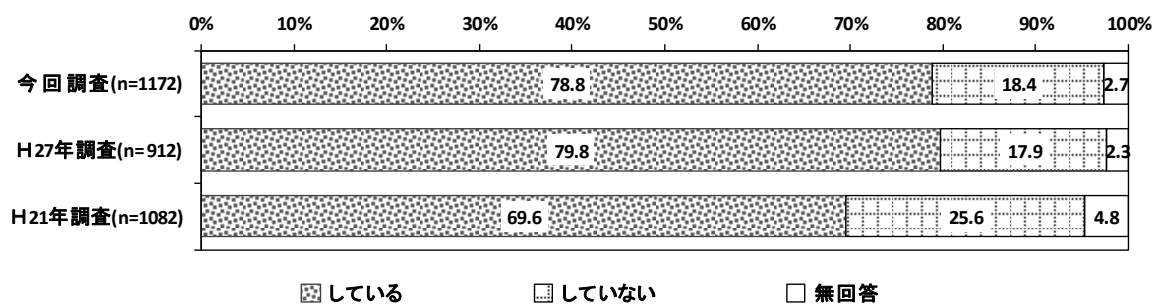
問 22. あなたは、日頃、町内で買い物をしていますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「している」の比率は、H27 年調査と今回調査は同程度です。H21 年調査と比べると、今回調査は約 9% 増えています。

問 22. あなたは、日頃、町内で買い物をしていますか。(○印 1 つ)



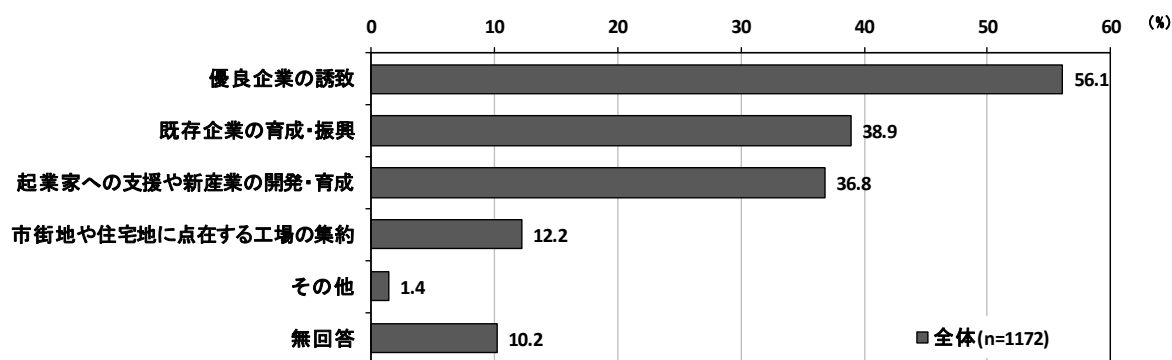
## 21 工業振興のために力を入れるべきこと

工業を振興するため、今後力を入れるべきこととしては、「優良企業の誘致」が56.1%と最も多くなっています。次いで「既存企業の育成・振興」(38.9%)、「起業家への支援や新産業の開発・育成」(36.8%)、「市街地や住宅地に点在する工場の集約」(12.2%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下、30歳代では、「既存企業の育成・振興」が半数を超えています。

問 23. あなたは、広川町の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



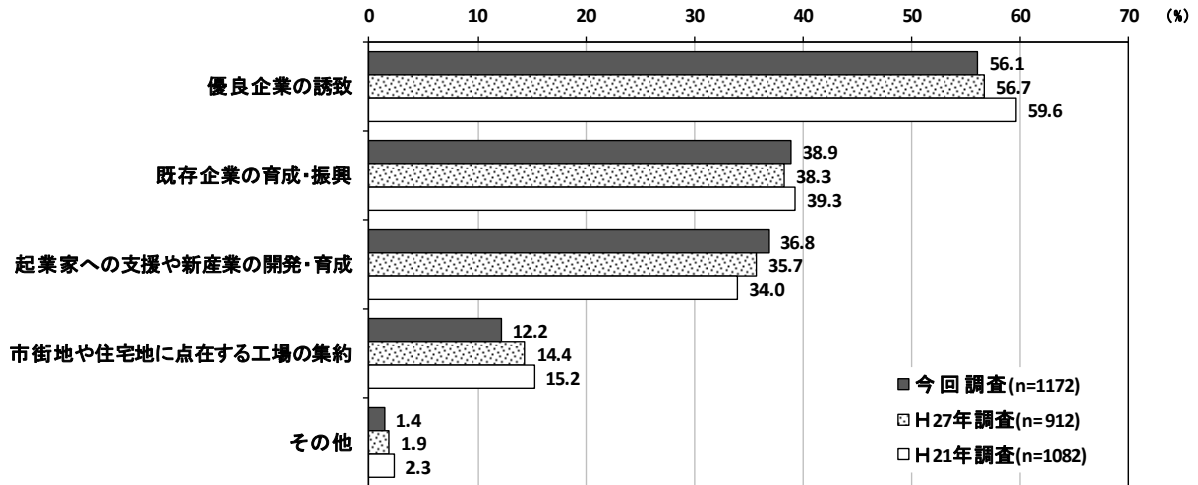
性別	年齢別	区別	サンプル数	優良企業の誘致	興既存企業の育成・振	産起業の業家への支援や新	在市街地や住宅地に点在	その他	無回答
全体			1172	56.1	38.9	36.8	12.2	1.4	10.2
性別	男性		465	61.5	33.3	39.6	14.6	1.1	9.9
	女性		633	52.8	42.7	35.4	10.7	1.6	9.6
年齢別	20歳代以下		79	55.7	53.2	35.4	8.9	1.3	2.5
	30歳代		107	57.9	53.3	35.5	6.5	3.7	2.8
	40歳代		167	53.9	49.7	34.7	13.2	0.6	2.4
	50歳代		179	58.7	38.5	44.1	11.7	1.1	4.5
	60歳代		252	57.9	33.3	40.5	16.3	2.4	9.9
	70歳以上		374	54.8	31.6	31.8	12.0	0.3	19.8
区別	小学校	上広川	241	50.6	37.8	41.5	12.4	1.2	12.0
	中広川	585	58.6	41.9	36.6	11.6	1.2	7.2	
	下広川	286	58.0	36.0	34.6	13.6	1.7	10.8	

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも、ほぼ似た傾向となっています。

問 23. あなたは、広川町の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)



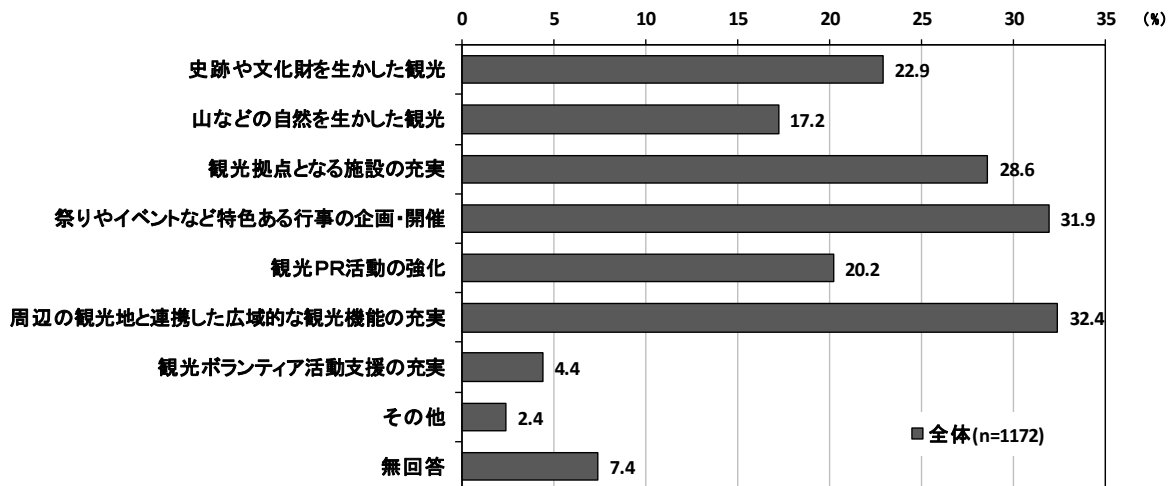
## 22 観光振興のために力を入れるべきこと

観光を振興するため、今後力を入れるべきこととしては、「周辺の観光地と連携した広域的な観光機能の充実」が32.4%と最も多くなっています。次いで「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」(31.9%)、「観光拠点となる施設の充実」(28.6%)、「史跡や文化財を生かした観光」(22.9%)、「観光PR活動の強化」(20.2%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代以下では「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」40%を超え、最も多くなっています。

問 24. あなたは、広川町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



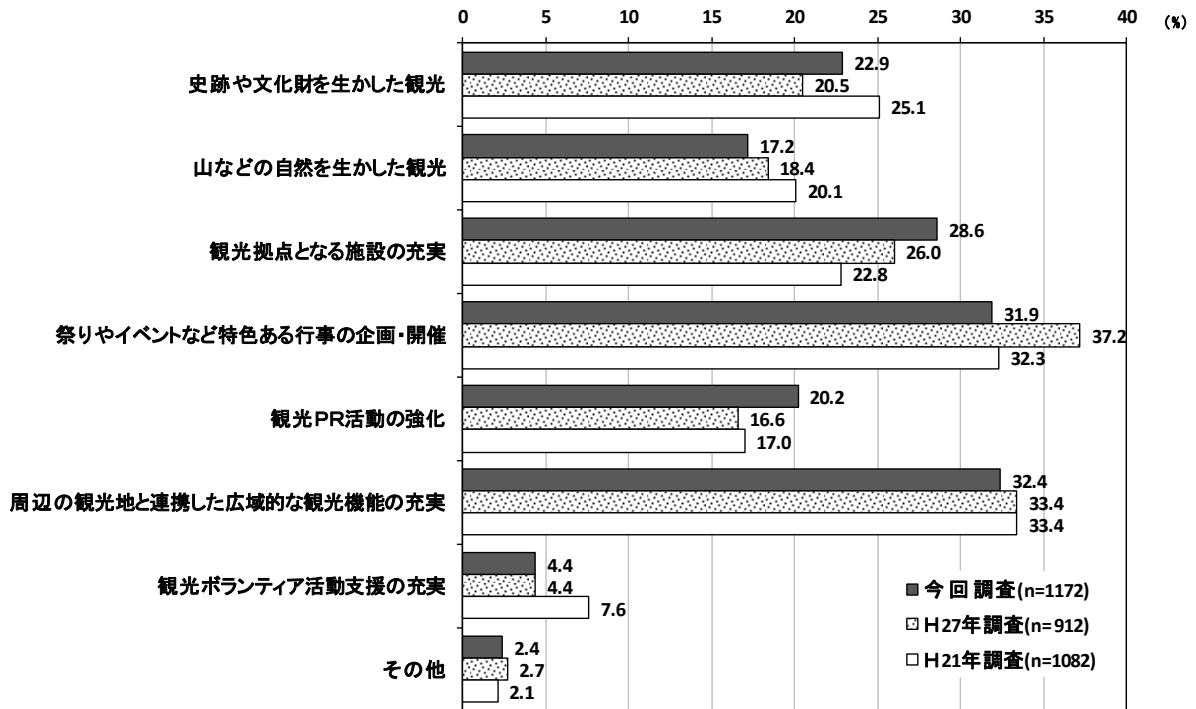
	サンプル数	観光史跡や文化財を生かした	観光山などの自然を生かした	観光実観光拠点となる施設の充	観光ある祭りやイベントなど特色	観光PR活動の強化	観光広域的な観光地と連携した	観光援の観光ボランティア活動支	その他	無回答	
全体	1172	22.9	17.2	28.6	31.9	20.2	32.4	4.4	2.4	7.4	
性別	男性	465	24.1	20.2	26.9	32.3	18.9	34.0	2.8	3.0	6.5
	女性	633	23.1	15.8	29.9	31.0	21.3	32.1	5.5	2.1	7.6
年齢別	20歳代以下	79	16.5	<b>27.8</b>	27.8	<b>41.8</b>	<b>25.3</b>	30.4	5.1	-	1.3
	30歳代	107	12.1	17.8	<b>34.6</b>	<b>47.7</b>	19.6	31.8	2.8	3.7	0.9
	40歳代	167	19.8	<b>22.2</b>	28.7	<b>44.3</b>	18.0	29.9	4.2	1.8	2.4
	50歳代	179	26.3	13.4	30.7	27.9	<b>27.9</b>	33.0	4.5	4.5	2.2
	60歳代	252	26.2	13.5	32.5	22.2	17.5	<b>39.3</b>	2.8	3.2	9.5
	70歳以上	374	25.1	17.1	23.0	28.1	18.4	29.1	5.9	1.1	13.6
小学校区別	上広川	241	23.2	<b>23.7</b>	24.9	29.9	18.7	32.8	3.7	2.5	9.1
	中広川	585	23.6	14.0	30.9	33.3	22.4	32.8	4.1	2.6	5.1
	下広川	286	23.1	17.8	27.3	31.1	18.2	32.5	5.2	2.4	9.1

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- いずれの年次とも「周辺の観光地と連携した広域的な観光機能の充実」と「祭りやイベントなど特色ある行事の企画・開催」が 1 位・2 位のいずれかとなっています。  
 今回調査で第 3 位の「観光拠点となる施設の充実」は、年ごとに比率が増えています。

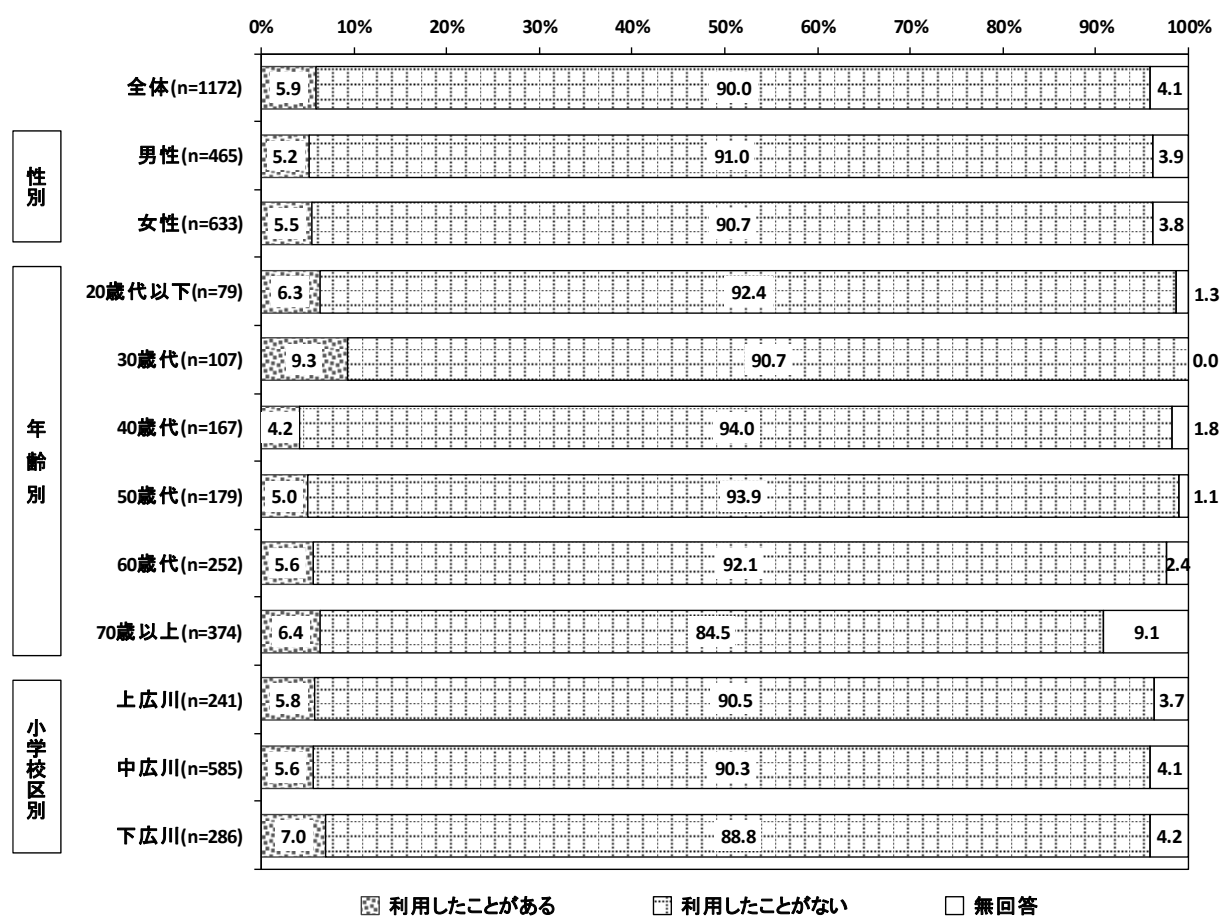
問 24. あなたは、広川町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



## 23 広川町の雇用・就労対策事業の利用経験

広川町の雇用・就労対策事業（職業訓練、就業情報、起業支援など）の利用経験をみると、「利用したことがある」は5.9%となっています。

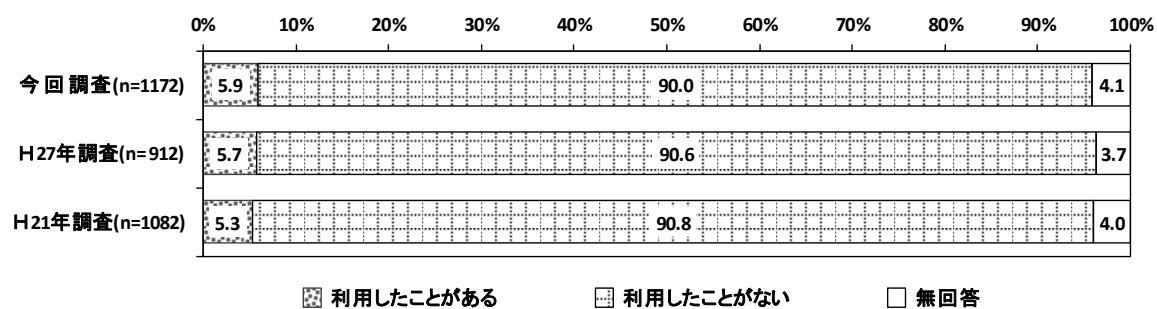
問 25. あなたは、広川町の雇用・就労対策事業（職業訓練、就業情報、起業支援など）を利用したことがありますか。（○印1つ）



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも、差異はありません。

問 25. あなたは、広川町の雇用・就労対策事業（職業訓練、就業情報、起業支援など）を利用したことがありますか。（○印 1 つ）



## ■ 保健・医療・福祉について ■

### 24 健康増進のための取り組み状況

#### (1) 1日30分以上の運動

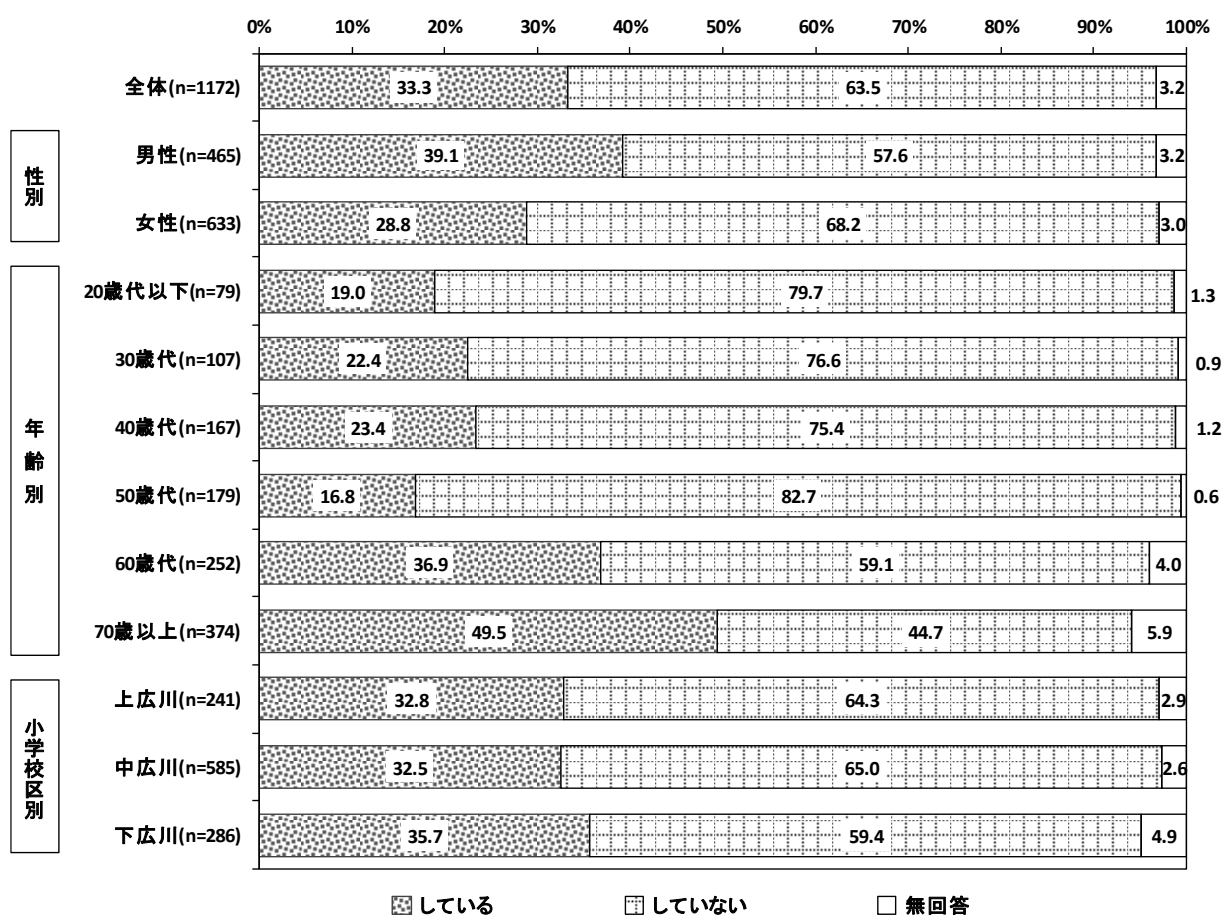
1日30分以上の運動についてみると、「している」は33.3%、約3人に1人となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「している」は39.1%ですが、女性では28.8%と少なくなっています。
- 年齢別にみると、50歳代以下では「している」の割合が少なくなっています。

問 26. 日頃の健康増進のための取り組みについてお伺いします。

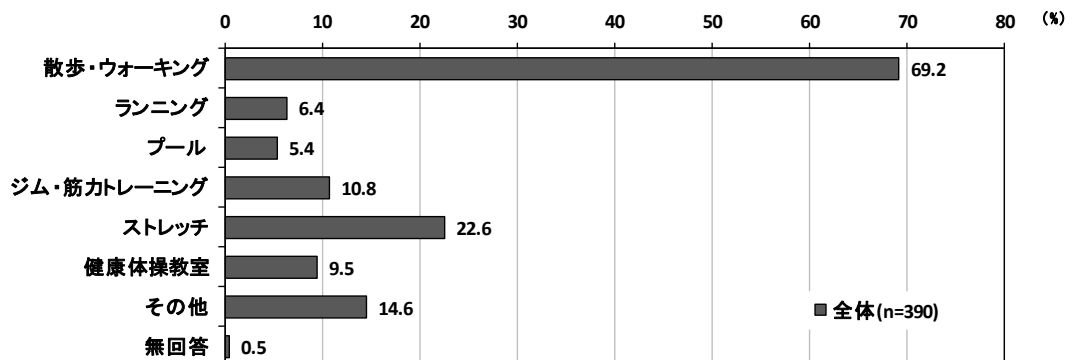
(1) あなたは、日頃、健康増進のために1日30分以上の運動をしていますか。(○印1つ)



## (2) 取り組んでいる運動

健康増進のために1日30分以上している運動としては、「散歩・ウォーキング」が69.2%と圧倒的に多くなっています。次いで「ストレッチ」(22.6%)、「ジム・筋力トレーニング」(10.8%)となっています。

### (1) -1 具体的には主にどのような運動をされていますか。(〇印2つまで)



		サンプル数	散歩・ウォーキング	ランニング	プール	ジム・筋力トレーニング	ストレッチ	健康体操教室	その他	無回答
全体		390	69.2	6.4	5.4	10.8	22.6	9.5	14.6	0.5
性別	男性	182	68.1	9.9	4.9	12.6	20.9	2.2	17.0	1.1
	女性	182	70.3	1.6	6.6	10.4	24.7	16.5	12.1	-
年齢別	20歳代以下	15	33.3	33.3	-	13.3	40.0	-	20.0	-
	30歳代	24	54.2	25.0	4.2	20.8	33.3	4.2	16.7	-
	40歳代	39	56.4	17.9	5.1	25.6	28.2	2.6	12.8	-
	50歳代	30	80.0	3.3	-	16.7	23.3	-	10.0	-
	60歳代	93	62.4	4.3	10.8	12.9	21.5	8.6	9.7	-
	70歳以上	185	78.9	1.1	4.3	3.8	18.9	14.6	17.3	1.1
区別 小学校	上広川	79	74.7	3.8	3.8	6.3	20.3	6.3	19.0	-
	中広川	190	66.8	6.8	4.7	13.2	26.8	10.5	14.7	-
	下広川	102	69.6	7.8	7.8	11.8	17.6	10.8	10.8	1.0

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

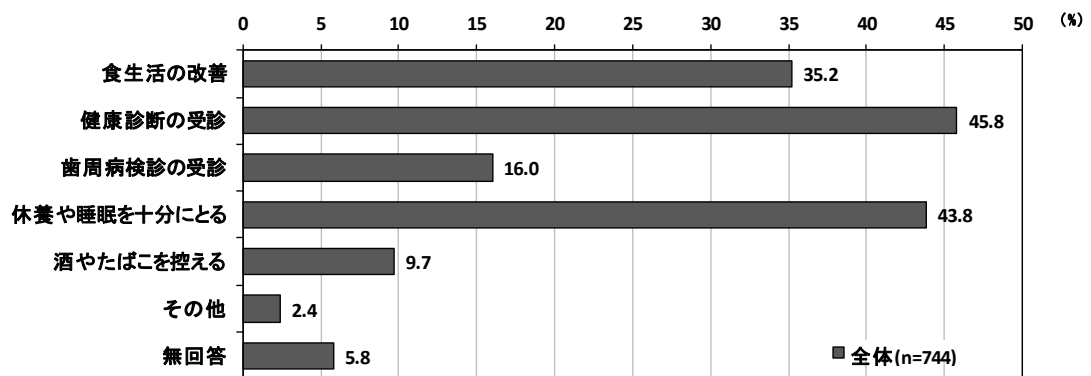
### (3) その他の取り組んでいること

健康増進のために行っていることとしては、「健康診断の受診」(45.8%)や「休養や睡眠を十分にとる」(43.8%)、「食生活の改善」(35.2%)などが多くなっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、40歳代以下では「休養や睡眠を十分にとる」、50歳代、60歳代では「健康診断の受診」が半数を超えています。

### (2) その他、健康増進のために行っていることは何かありますか。(〇印2つまで)



属性	サンプル数	食生活の改善	健康診断の受診	歯周病検診の受診	休養や睡眠を十分にとる	酒やたばこを控える	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	744	35.2	45.8	16.0	43.8	9.7	2.4	5.8
性別								
男性	268	31.0	45.9	14.2	41.8	14.2	2.2	7.1
女性	432	38.9	45.8	18.3	44.7	6.9	2.3	3.9
年齢別								
20歳代以下	63	36.5	20.6	6.3	<b>52.4</b>	<b>20.6</b>	3.2	9.5
30歳代	82	23.2	41.5	17.1	<b>52.4</b>	11.0	2.4	4.9
40歳代	126	34.1	40.5	15.9	<b>52.4</b>	13.5	-	2.4
50歳代	148	34.5	<b>54.7</b>	17.6	33.8	9.5	3.4	4.7
60歳代	149	39.6	<b>59.7</b>	15.4	35.6	6.0	2.7	5.4
70歳以上	167	38.9	41.9	19.2	44.9	5.4	2.4	8.4
区別								
小学校								
上広川	155	<b>45.2</b>	43.9	16.8	37.4	9.0	3.9	5.8
中広川	380	33.2	46.3	16.1	45.5	10.3	1.8	5.8
下広川	170	31.2	48.8	15.9	48.2	9.4	2.4	4.1

緑色は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

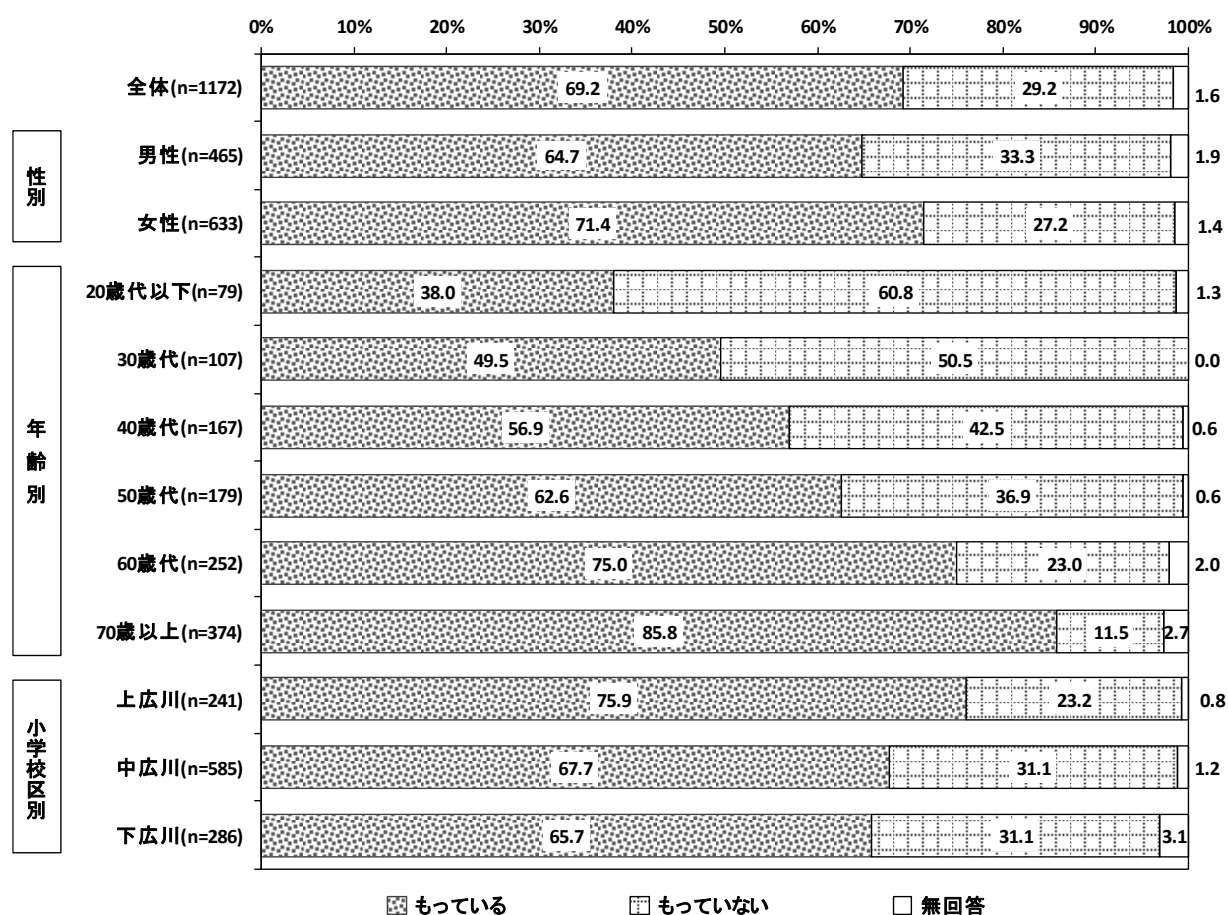
## 25 かかりつけ医

かかりつけ医については、「もっている」が69.2%となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「もっている」が64.7%ですが、女性では71.4%と多くなっています。
- 年齢別にみると、年齢が高いほど「もっている」割合が多くなっています。20歳代以下で38.0%ですが、70歳以上では85.8%となっています。

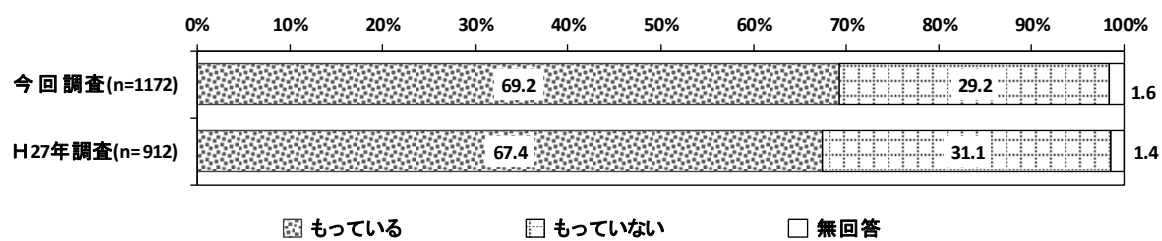
問 27. あなたは、かかりつけ医を持っていますか。(○印1つ)



【平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも、差異はありません。

問 27. あなたは、かかりつけ医を持っていますか。(○印 1 つ)



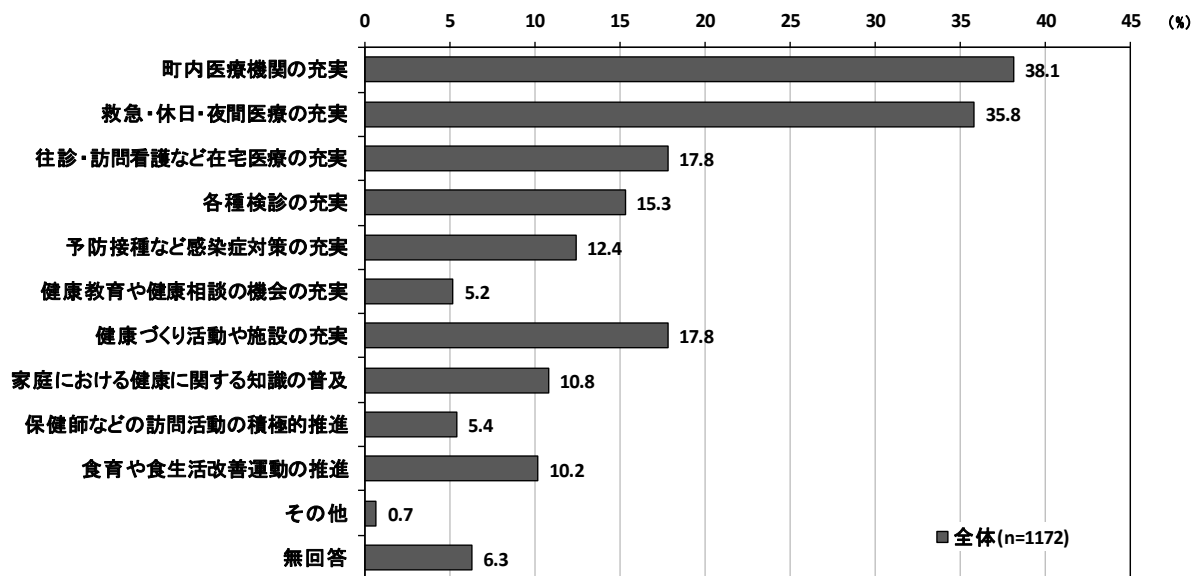
## 26 保健・医療対策ついて力を入れるべきこと

保健・医療対策について、今後力を入れるべきこととしては、「町内医療機関の充実」(38.1%)と「救急・休日・夜間医療の充実」(35.8%)の2つが30%を超えています。次いで「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(17.8%)、「健康づくり活動や施設の充実」(17.8%)、「各種検診の充実」(15.3%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代、40歳代では「町内医療機関の充実」と「救急・休日・夜間医療の充実」が40%を超えています。

問 28. あなたは、広川町の保健・医療対策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



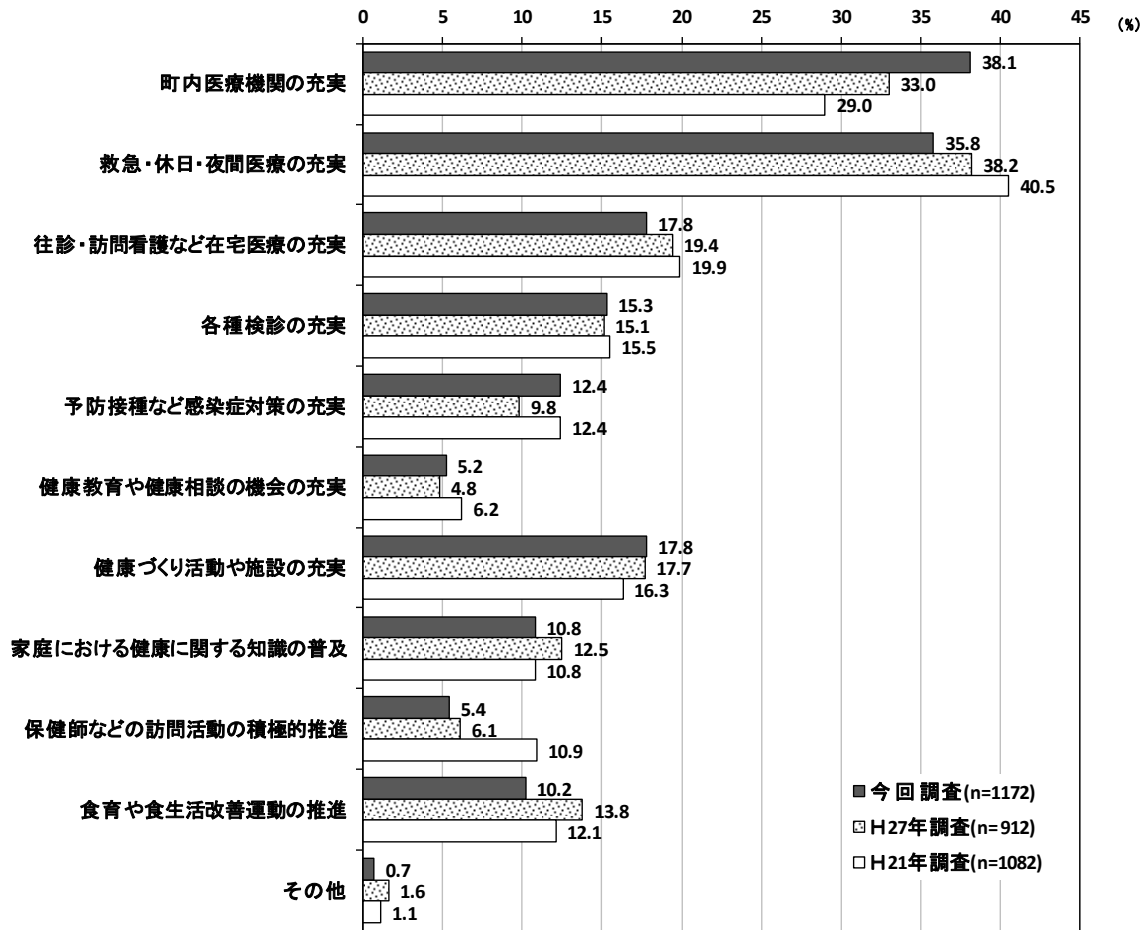
	サンプル数	町内医療機関の充実	救急・休日・夜間医療の充実	往診・訪問看護など	各種検診の充実	予防接種など感染症対策の充実	健康教育や健康相談の機会の充実	健康づくり活動や施設の充実	家庭における健康に関する知識の普及	保健師などの訪問活動の積極的推進	食育や食生活改善運動の推進	その他	無回答	
		全体	1172	38.1	35.8	17.8	15.3	12.4	5.2	17.8	10.8	5.4	10.2	0.7
性別	男性	465	38.5	34.6	18.3	17.4	11.6	5.6	16.3	10.3	5.6	10.3	0.9	6.7
	女性	633	38.1	36.7	18.0	13.9	13.0	5.4	18.6	11.5	5.4	9.8	0.5	5.7
年齢別	20歳代以下	79	39.2	40.5	12.7	<b>20.3</b>	<b>17.7</b>	6.3	12.7	15.2	1.3	11.4	1.3	2.5
	30歳代	107	<b>44.9</b>	<b>50.5</b>	10.3	19.6	<b>17.8</b>	3.7	16.8	4.7	1.9	9.3	1.9	1.9
	40歳代	167	<b>44.9</b>	<b>48.5</b>	13.8	16.8	12.6	5.4	16.8	5.4	4.8	3.6	1.2	4.2
	50歳代	179	42.5	35.8	13.4	17.9	14.0	4.5	19.0	8.9	6.7	12.3	-	3.9
	60歳代	252	34.9	34.5	19.0	14.7	10.7	4.0	<b>24.2</b>	11.9	4.8	<b>16.3</b>	0.8	4.8
70歳以上	374	32.6	26.2	<b>24.1</b>	11.8	10.2	6.7	15.0	13.9	7.5	8.6	-	11.2	
学区別	小学校													
	上広川	241	40.2	36.9	16.6	14.5	7.9	5.8	16.6	10.4	5.8	10.4	0.8	7.5
	中広川	585	39.1	36.1	17.8	16.4	14.2	6.3	17.3	11.1	5.3	9.6	0.9	5.0
下広川	286	35.0	35.0	18.2	15.0	10.8	2.4	19.9	10.8	5.6	11.9	0.3	7.7	

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査で第 2 位であった「町内医療機関の充実」は、年ごとに増え、今回調査では第 1 位になっています。逆に H27 年調査で第 1 位であった「救急・休日・夜間医療の充実」は、年ごとに減少して、今回調査では第 2 位になっています。

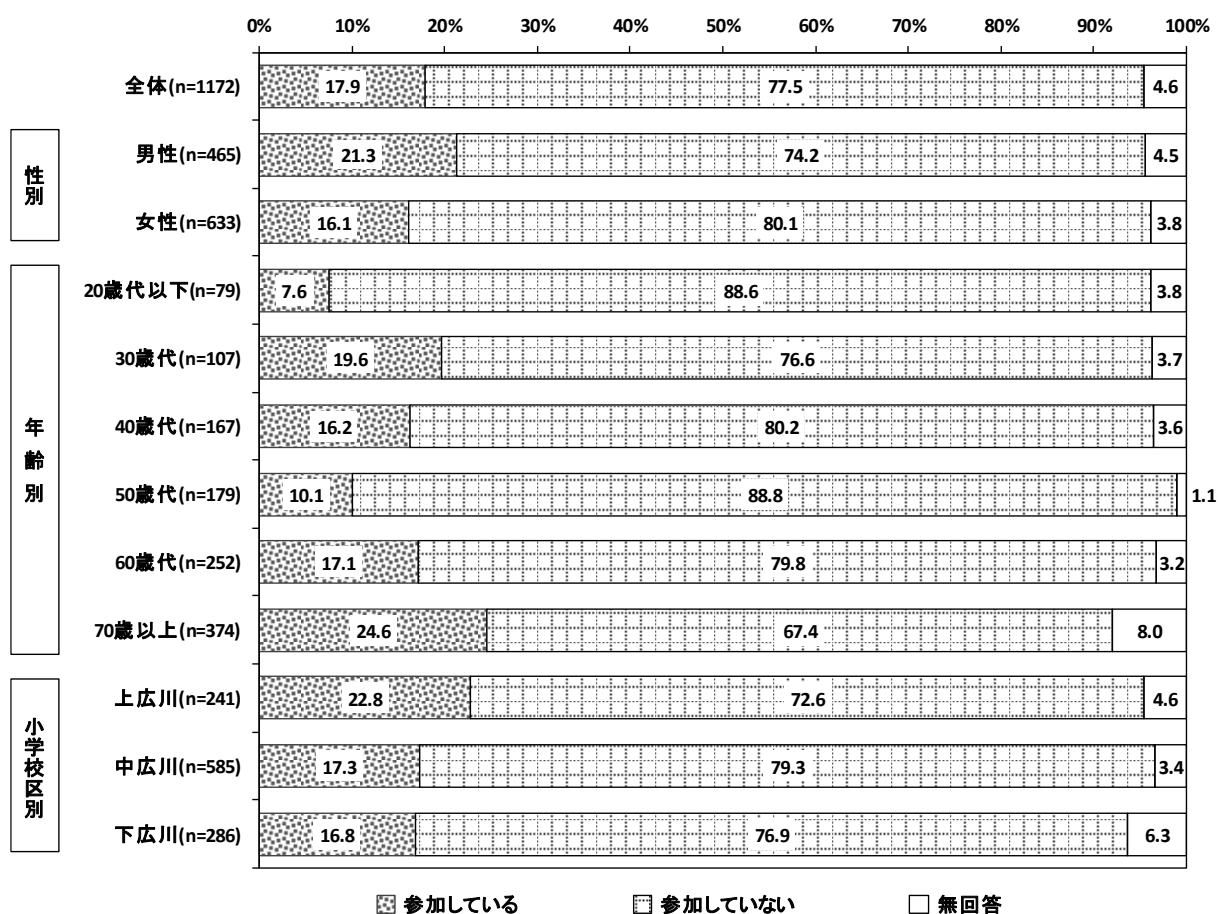
問 28. あなたは、広川町の保健・医療対策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



## 27 地域福祉活動への参加状況

身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動への参加状況については、「参加している」が17.9%となっています。

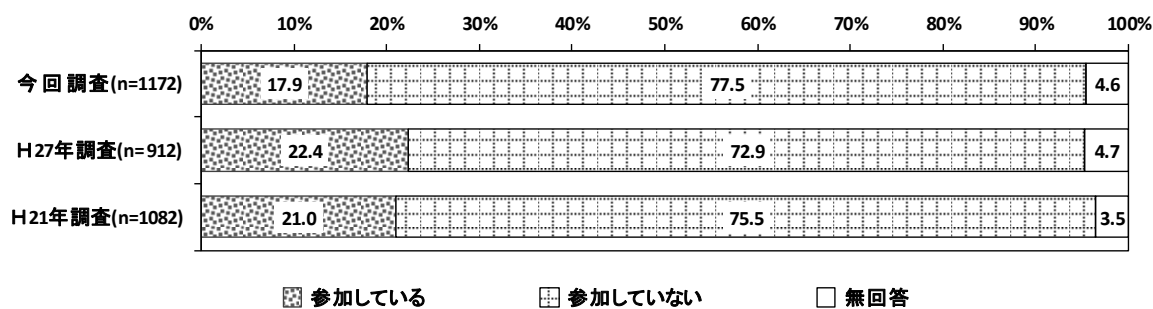
問 29. あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「参加している」は、H27 年調査と比べると、今回調査では約 5%減っています。

問 29. あなたは、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加していますか。(○印 1つ)



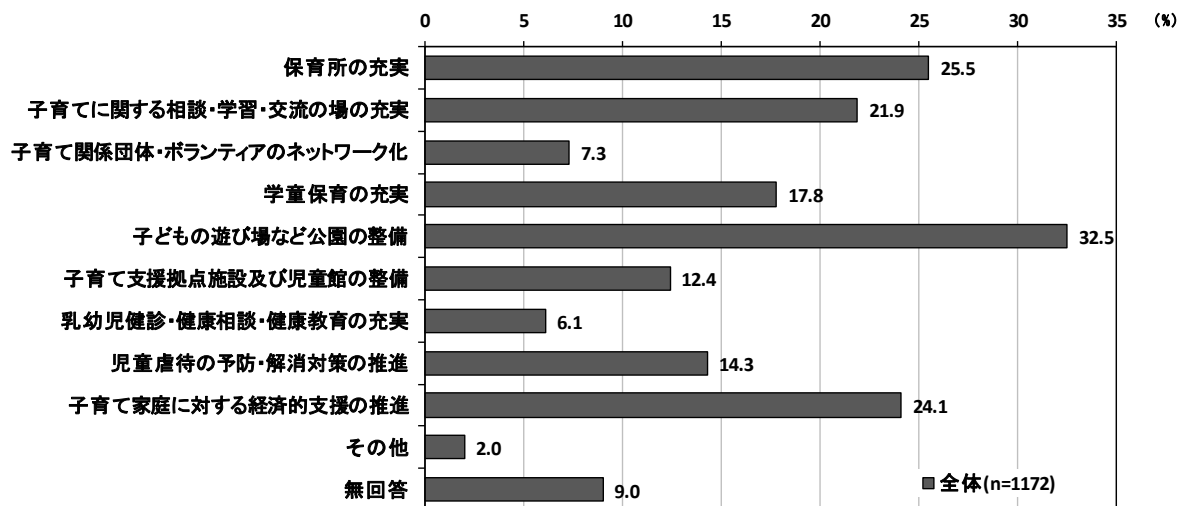
## 28 子育て環境を充実するために力を入れるべきこと

子育て環境を充実するため、今後力を入れるべきこととしては、「子どもの遊び場など公園の整備」が32.5%と最も多くなっています。次いで「保育所の充実」(25.5%)、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(24.1%)、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」(21.9%)、「学童保育の充実」(17.8%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代で「子どもの遊び場など公園の整備」(51.4%)と「子育て家庭に対する経済的支援の推進」(47.7%)、20歳代以下では「保育所の充実」(32.9%)が多くなっています。

問 30. あなたは、広川町の子育て環境を充実するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)



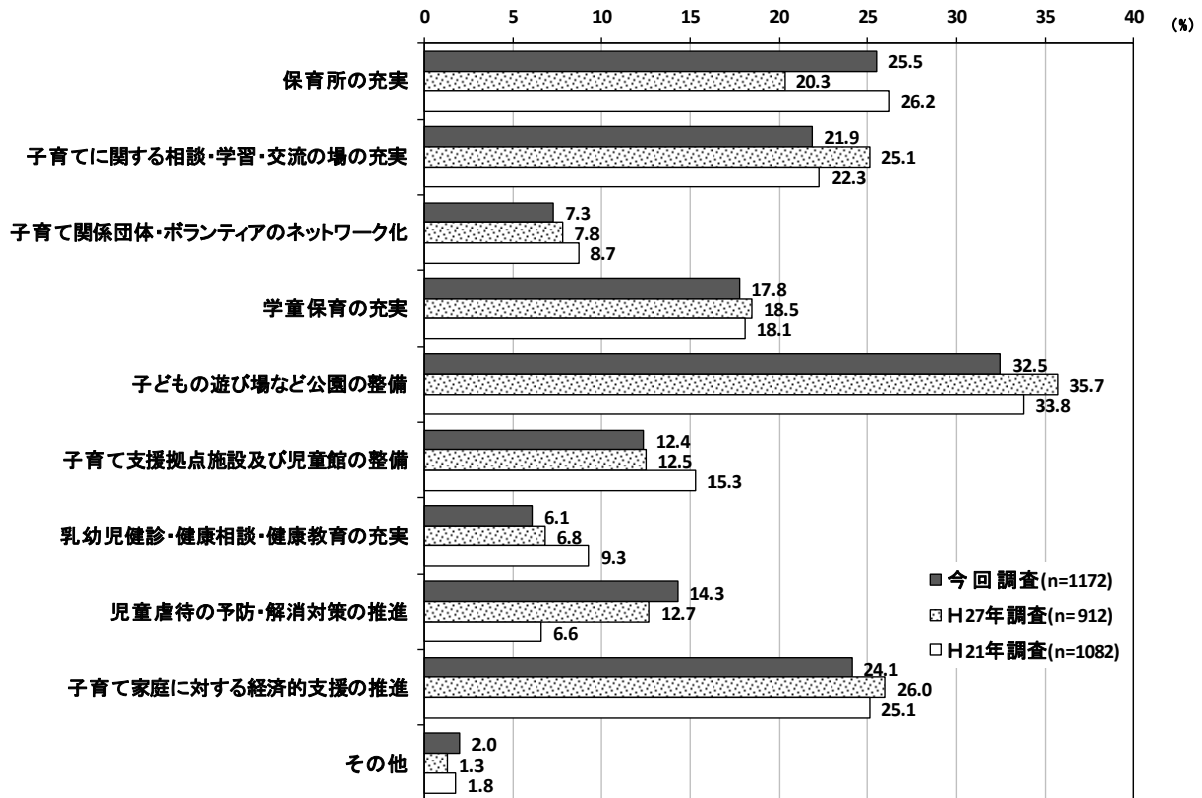
属性	サンプル数	保育所の充実	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化	学童保育の充実	子どもの遊び場など公園の整備	子育て支援拠点施設及び児童館の整備	乳幼児健診・健康相談・健康教育の充実	児童虐待の予防・解消対策の推進	子育て家庭に対する経済的支援の推進	その他	無回答
全体	1172	25.5	21.9	7.3	17.8	32.5	12.4	6.1	14.3	24.1	2.0	9.0
性別												
男性	465	26.0	22.4	6.7	16.1	32.3	12.5	6.9	15.7	25.4	1.1	9.0
女性	633	25.6	22.4	8.1	19.0	32.1	12.3	6.0	13.4	23.7	2.5	7.7
年齢別												
20歳代以下	79	<b>32.9</b>	16.5	10.1	11.4	<b>38.0</b>	11.4	8.9	16.5	27.8	2.5	3.8
30歳代	107	22.4	20.6	6.5	16.8	<b>51.4</b>	7.5	6.5	6.5	<b>47.7</b>	1.9	1.9
40歳代	167	19.2	15.6	7.2	16.2	<b>41.3</b>	15.0	6.6	17.4	<b>29.9</b>	4.2	3.0
50歳代	179	29.1	19.6	9.5	21.8	25.1	12.8	6.7	16.8	27.9	1.1	3.9
60歳代	252	27.8	24.2	9.1	16.7	27.4	<b>17.9</b>	6.0	14.7	19.4	2.0	8.3
70歳以上	374	24.3	26.2	4.8	18.7	28.9	9.4	4.8	13.6	15.5	1.3	17.1
区別												
小学校												
上広川	241	25.3	25.7	7.1	12.9	30.3	11.2	7.9	15.4	23.2	3.3	10.8
中広川	585	23.2	21.2	9.1	20.5	36.1	14.2	6.0	14.2	25.0	1.4	6.2
下広川	286	28.0	20.6	4.9	17.8	26.6	10.5	5.2	14.7	24.1	2.1	11.5

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも概ね似たような傾向にあります。H21 年調査と比べると、「児童虐待の予防・解消対策の推進」は、今回調査では約 8% 増えています。

問 30. あなたは、広川町の子育て環境を充実するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



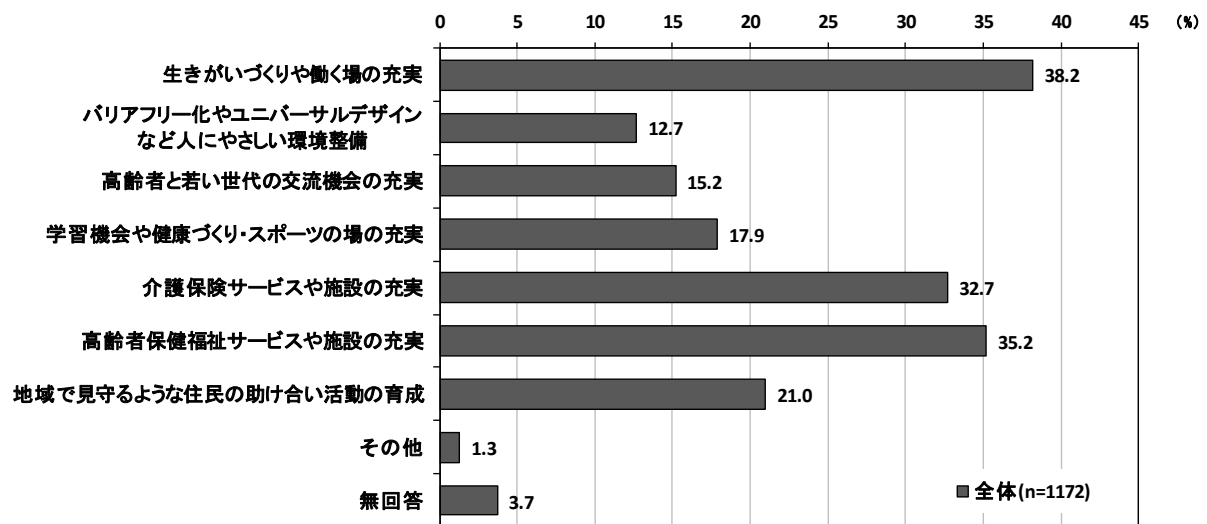
## 29 高齢者施策について力を入れるべきこと

高齢者施策について、今後力を入れるべきこととしては、「生きがいがづくりや働く場の充実」(38.2%)、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」(35.2%)、「介護保険サービスや施設の充実」(32.7%)の3つが30%を超え、次いで「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」(21.0%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下、30歳代で「介護保険サービスや施設の充実」が多くなっています。

問 31. あなたは、広川町の高齢者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)



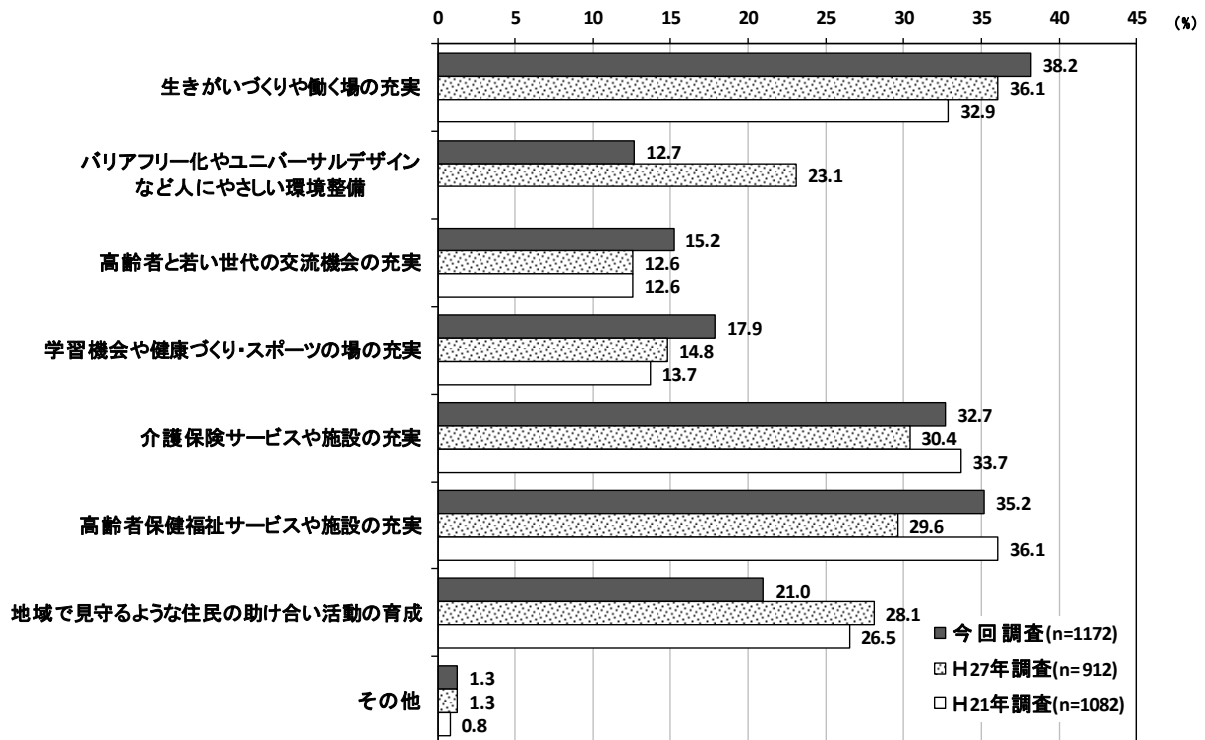
	サンプル数	生きがいがづくりや働く場の充実	バリアフリー化やユニバーサルデザインなど人にやさしい環境整備	高齢者と若い世代の交流機会の充実	学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	介護保険サービスや施設の充実	高齢者保健福祉サービスや施設の充実	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成	その他	無回答	
		全体	1172	38.2	12.7	15.2	17.9	32.7	35.2	21.0	1.3
性別	男性	465	37.6	13.1	14.8	18.3	31.2	35.5	21.7	1.5	4.1
	女性	633	38.7	11.8	16.4	18.3	33.3	35.2	21.2	1.1	3.0
年齢別	20歳代以下	79	<b>44.3</b>	<b>25.3</b>	10.1	15.2	<b>40.5</b>	25.3	17.7	1.3	1.3
	30歳代	107	41.1	16.8	9.3	17.8	<b>38.3</b>	32.7	18.7	1.9	0.9
	40歳代	167	42.5	13.2	17.4	16.2	32.3	32.3	21.0	2.4	1.2
	50歳代	179	<b>48.0</b>	9.5	14.0	16.8	34.1	39.1	15.1	1.7	2.2
	60歳代	252	42.9	12.3	13.5	<b>23.0</b>	29.4	35.7	20.2	1.2	2.8
70歳以上	374	26.2	10.7	18.7	16.8	31.0	36.9	25.9	0.5	7.2	
区別 小学校	上広川	241	34.4	10.4	18.3	19.1	27.8	36.5	25.7	1.2	4.6
	中広川	585	39.7	12.1	14.4	18.1	36.9	35.2	19.8	1.7	2.6
	下広川	286	40.2	12.2	16.1	16.8	29.4	35.0	20.3	0.7	4.5

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査と比べると、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」は、今回調査で約 6% 増えています。逆に「バリアフリー化やユニバーサルデザインなど人にやさしい環境整備」は約 10% 減、「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」は約 7% 減となっています。

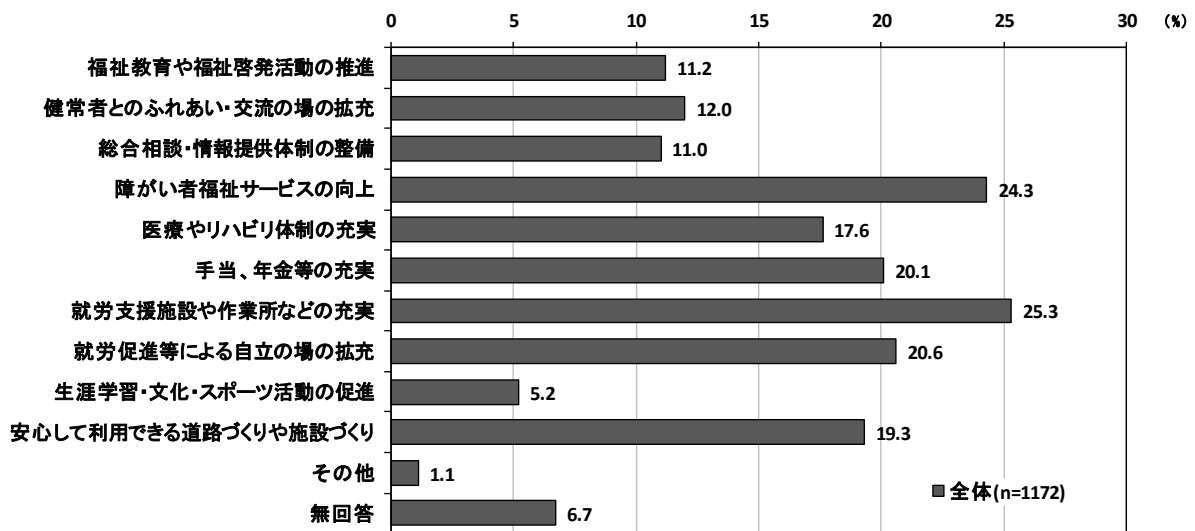
問 31. あなたは、広川町の高齢者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)



### 30 障がい者施策について力を入れるべきこと

障がい者施策について、今後力を入れるべきこととしては、「就労支援施設や作業所などの充実」が25.3%と最も多く、次いで「障がい者福祉サービスの向上」(24.3%)、「就労促進等による自立の場の拡充」(20.6%)、「手当、年金等の充実」(20.1%)となっています。

問 32. あなたは、広川町の障がい者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)。



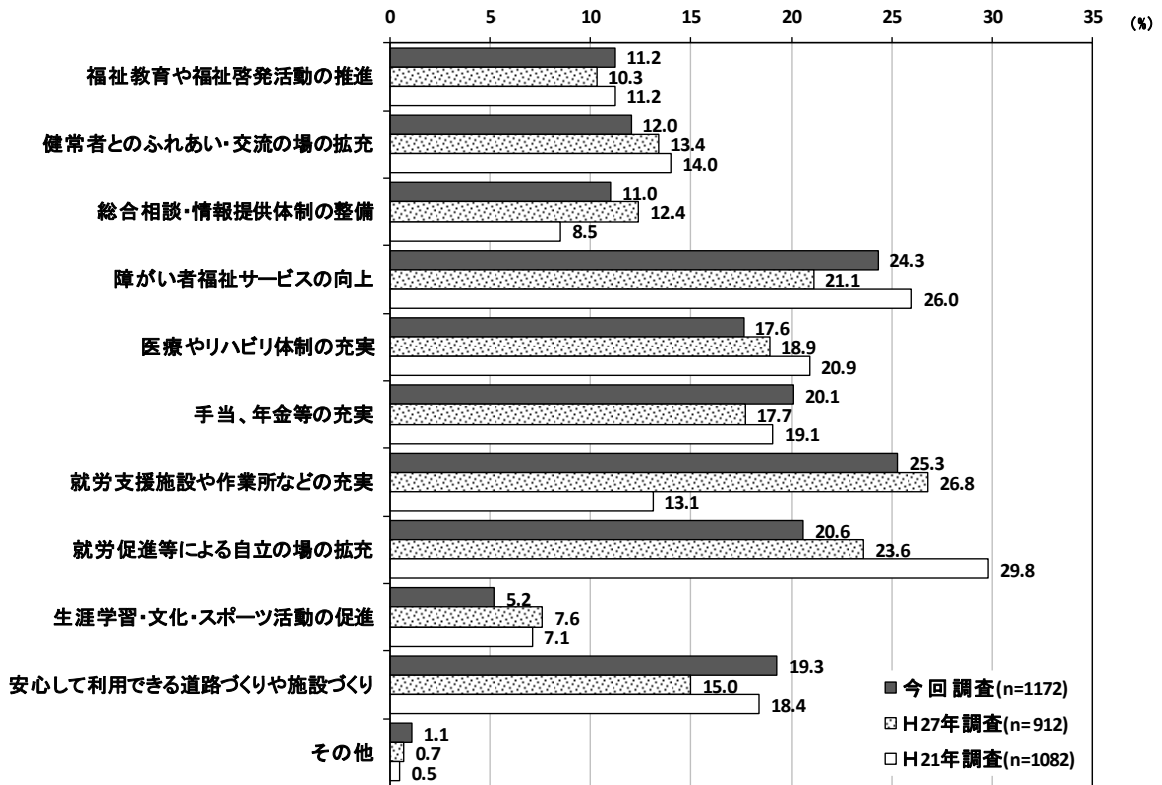
	サンプル数	福祉教育や福祉啓発活動の推進	健常者とのふれあい・交流の場の拡充	総合相談・情報提供体制の整備	障がい者福祉サービスの向上	医療やリハビリ体制の充実	手当、年金等の充実	就労支援施設や作業所などの充実	就労促進等による自立の場の拡充	生涯学習・文化・スポーツ活動の促進	安心して利用できる道路づくりや施設づくり	その他	無回答
全体	1172	11.2	12.0	11.0	24.3	17.6	20.1	25.3	20.6	5.2	19.3	1.1	6.7
性別													
男性	465	13.3	12.0	11.4	23.9	19.8	22.2	23.9	19.6	4.5	18.3	1.5	6.9
女性	633	9.5	12.0	11.7	24.5	15.3	18.5	26.9	21.5	5.5	20.5	0.9	6.5
年齢別													
20歳代以下	79	11.4	6.3	13.9	24.1	10.1	20.3	<b>34.2</b>	24.1	5.1	24.1	2.5	2.5
30歳代	107	10.3	7.5	11.2	<b>31.8</b>	17.8	20.6	<b>30.8</b>	21.5	5.6	18.7	4.7	-
40歳代	167	10.8	9.6	11.4	25.7	21.0	<b>26.3</b>	28.1	20.4	4.2	14.4	1.2	2.4
50歳代	179	10.1	15.1	10.6	24.6	11.7	<b>25.1</b>	28.5	<b>25.7</b>	3.4	20.7	-	2.8
60歳代	252	12.3	11.1	10.7	23.4	19.4	17.9	25.4	23.8	7.9	18.3	1.2	6.0
70歳以上	374	11.0	14.7	10.7	21.9	19.3	16.6	19.5	15.2	4.8	20.9	0.3	13.4
区別													
小学校													
上広川	241	10.4	7.5	12.0	27.8	15.8	15.8	27.0	22.4	6.2	19.5	1.7	8.7
中広川	585	10.3	13.7	10.8	24.4	19.3	21.7	26.5	22.7	5.3	18.5	0.7	4.8
下広川	286	11.9	12.2	11.5	21.0	15.7	20.3	24.8	16.1	4.2	22.0	1.4	7.3

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H21 年調査と比べると、「就労支援施設や作業所などの充実」は、今回調査で約 12%増えています。一方「就労促進等による自立の場の拡充」は約 9%減っています。

問 32. あなたは、広川町の障がい者施策について、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。(○印 2 つまで)。



## ■ 教育・文化・スポーツについて ■

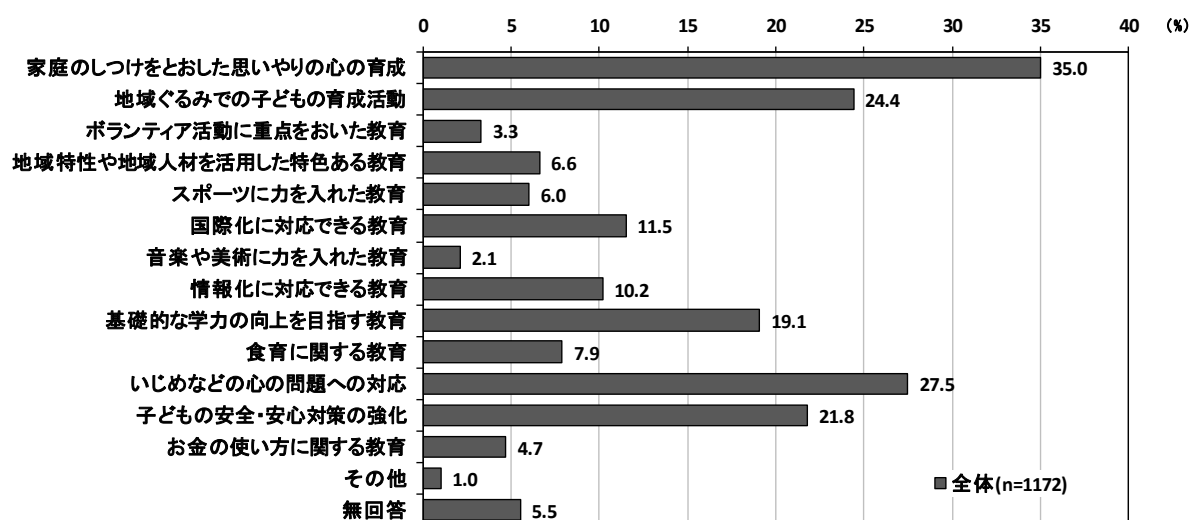
### 31 子ども達の豊かな人間教育のために必要なこと

これからの未来を見通した、子ども達の豊かな人間教育のために必要なこととしては、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が 35.0%と最も多くなっています。次いで「いじめなどの心の問題への対応」(27.5%)、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」(24.4%)、「子どもの安全・安心対策の強化」(21.8%)、「基礎的な学力の向上を目指す教育」(19.1%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、60歳代、70歳以上は「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が40%を超えていますが、20歳代以下では17.7%と少なくなっています。その一方、20歳代以下では「いじめなどの心の問題への対応」が41.8%と特に多くなっています。

問 33. これからの未来を見通した、子ども達の豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。(○印2つまで)



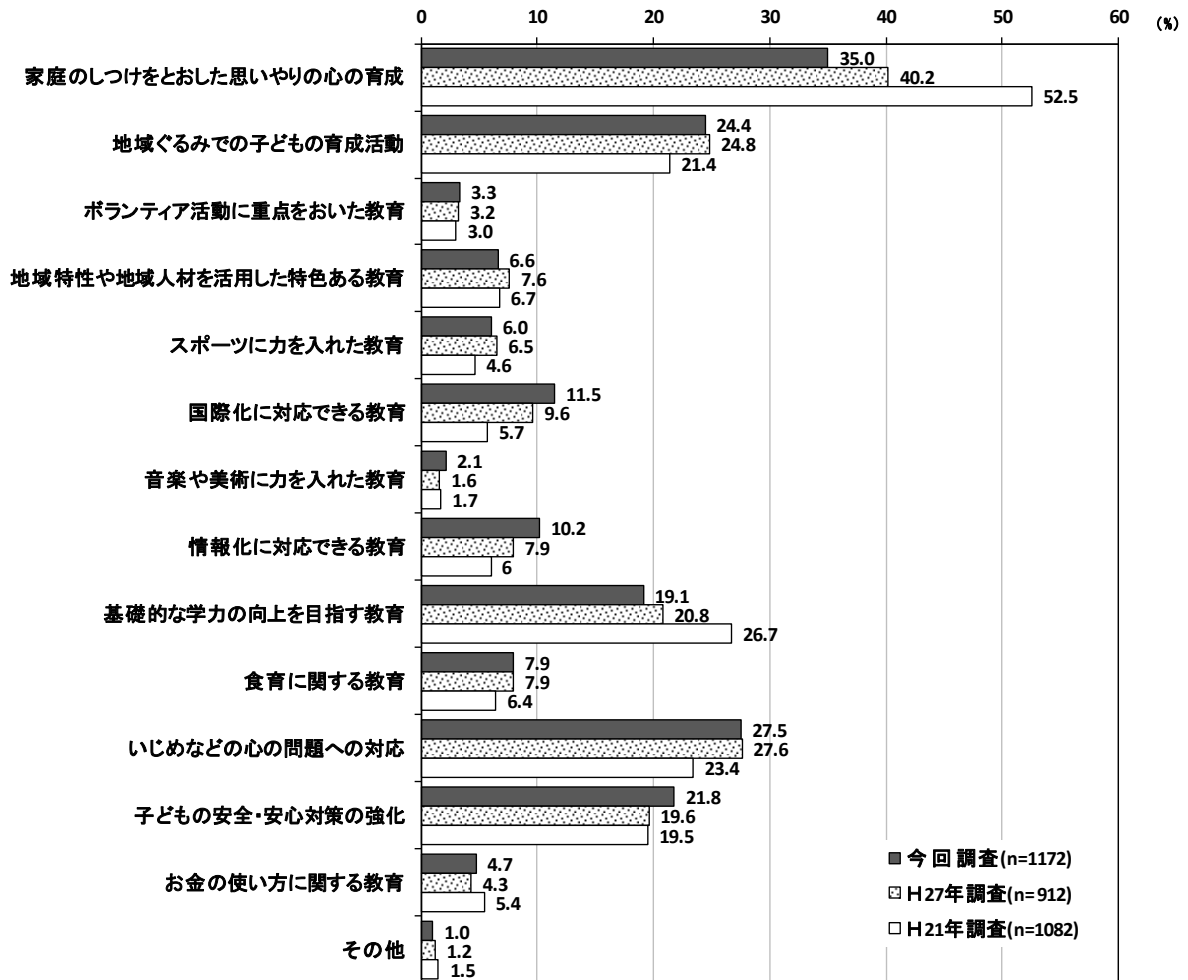
	サンプル数	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成	地域ぐるみでの子どもの育成活動	ボランティア活動に重点をおいた教育	地域特性や地域人材を活用した特色ある教育	スポーツに力を入れた教育	国際化に対応できる教育	音楽や美術に力を入れた教育	情報化に対応できる教育	基礎的な学力の向上を目指す教育	食育に関する教育	いじめなどの心の問題への対応	子どもの安全・安心対策の強化	お金の使い方に関する教育	その他	無回答	
全体	1172	35.0	24.4	3.3	6.6	6.0	11.5	2.1	10.2	19.1	7.9	27.5	21.8	4.7	1.0	5.5	
性別	男性	465	36.1	26.7	4.5	6.2	8.0	11.2	1.9	11.2	6.2	24.9	19.6	4.1	1.5	5.4	
	女性	633	34.4	23.4	2.1	6.8	3.3	12.0	2.2	9.8	8.8	30.2	24.0	5.7	0.8	4.7	
年齢別	20歳代以下	79	17.7	24.1	2.5	8.9	10.1	17.7	8.9	24.1	10.1	1.3	41.8	15.2	6.3	1.3	
	30歳代	107	18.7	28.0	3.7	4.7	8.4	2.8	22.4	19.6	8.4	29.9	24.3	10.3	0.9	-	
	40歳代	167	22.2	26.3	4.2	7.2	8.4	12.0	0.6	10.2	24.6	6.0	27.5	28.1	6.6	1.2	2.4
	50歳代	179	33.5	19.6	3.9	8.4	5.6	15.1	2.8	8.4	26.3	9.5	30.2	21.8	2.8	0.6	2.2
	60歳代	252	46.0	23.4	1.2	7.5	4.4	11.9	1.2	7.9	16.7	10.3	27.4	22.6	2.4	1.6	4.8
	70歳以上	374	42.0	25.4	4.0	4.5	4.5	7.5	1.6	6.1	16.6	8.0	22.7	19.5	4.5	0.8	11.0
区別 小学校	上広川	241	33.6	25.3	4.6	10.0	3.3	12.9	2.9	8.3	21.6	10.4	24.5	20.3	3.7	1.7	6.2
	中広川	585	33.8	24.4	3.1	5.8	7.9	11.6	2.4	12.6	16.6	7.0	29.6	24.4	5.3	1.0	3.6
	下広川	286	37.1	24.8	3.1	5.2	4.5	11.2	1.4	7.7	23.4	7.7	24.1	19.9	3.5	0.3	7.0

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」は年ごとに比率が減少しています。一方で「国際化に対応できる教育」は年ごとに増加しています。

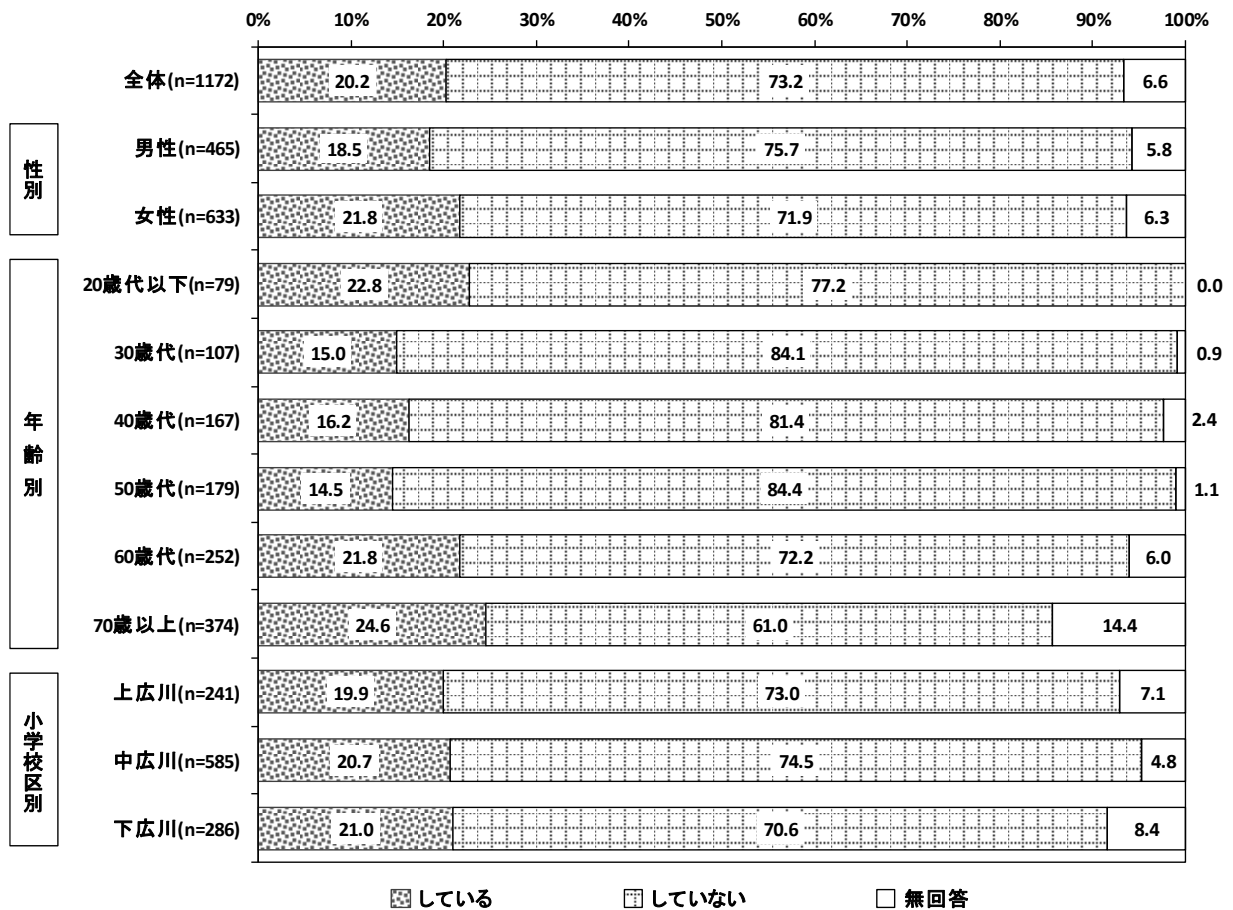
問 33. これからの未来を見通した、子ども達の豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。(○印2つまで)



## 32 生涯学習活動

日頃の生涯学習活動については、「している」が20.2%となっています。

問 34. あなたは、日頃、生涯学習活動（※）をしていますか。（○印1つ）。

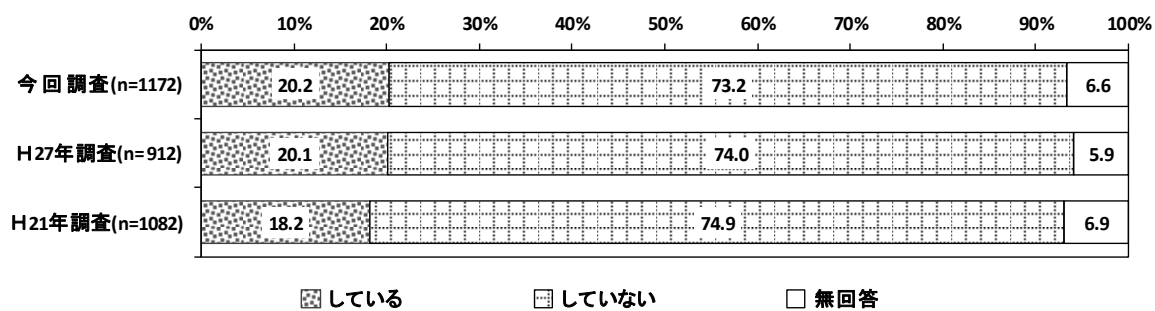


※生涯学習活動とは、学習者の自由な意志に基づいて、それぞれにあった方法で生涯にわたって学習していく活動のことです。

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも差異はありません。

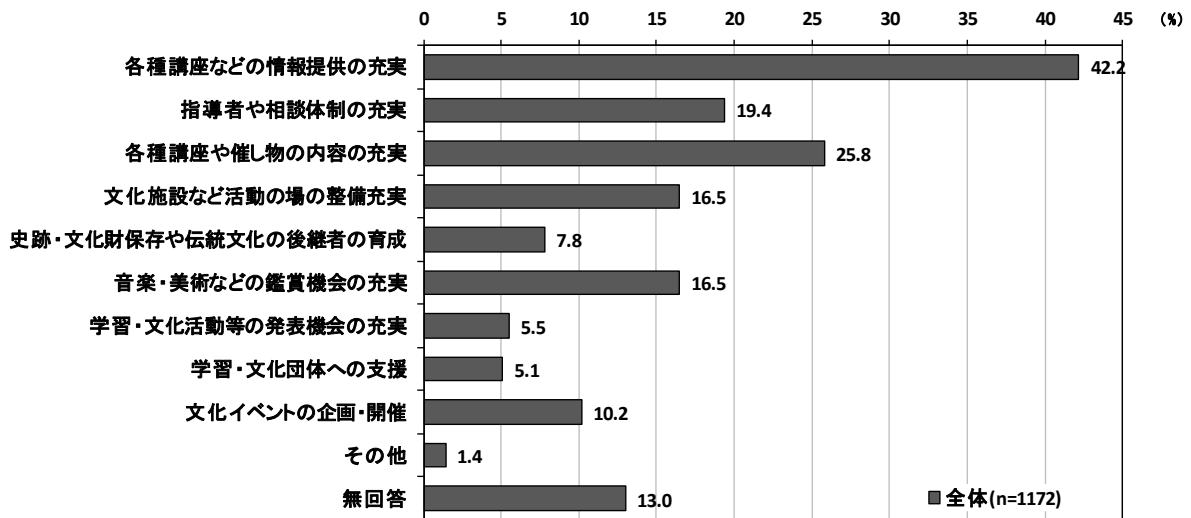
問 34. あなたは、日頃、生涯学習活動をしていますか。(○印 1 つ)。



### 33 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくために必要なこと

生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくために必要なこととしては、「各種講座などの情報提供の充実」が42.2%と最も多くなっています。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」(25.8%)、「指導者や相談体制の充実」(19.4%)、「文化施設など活動の場の整備充実」(16.5%)、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(16.5%)となっています。

問 35. あなたは、生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印2つまで)



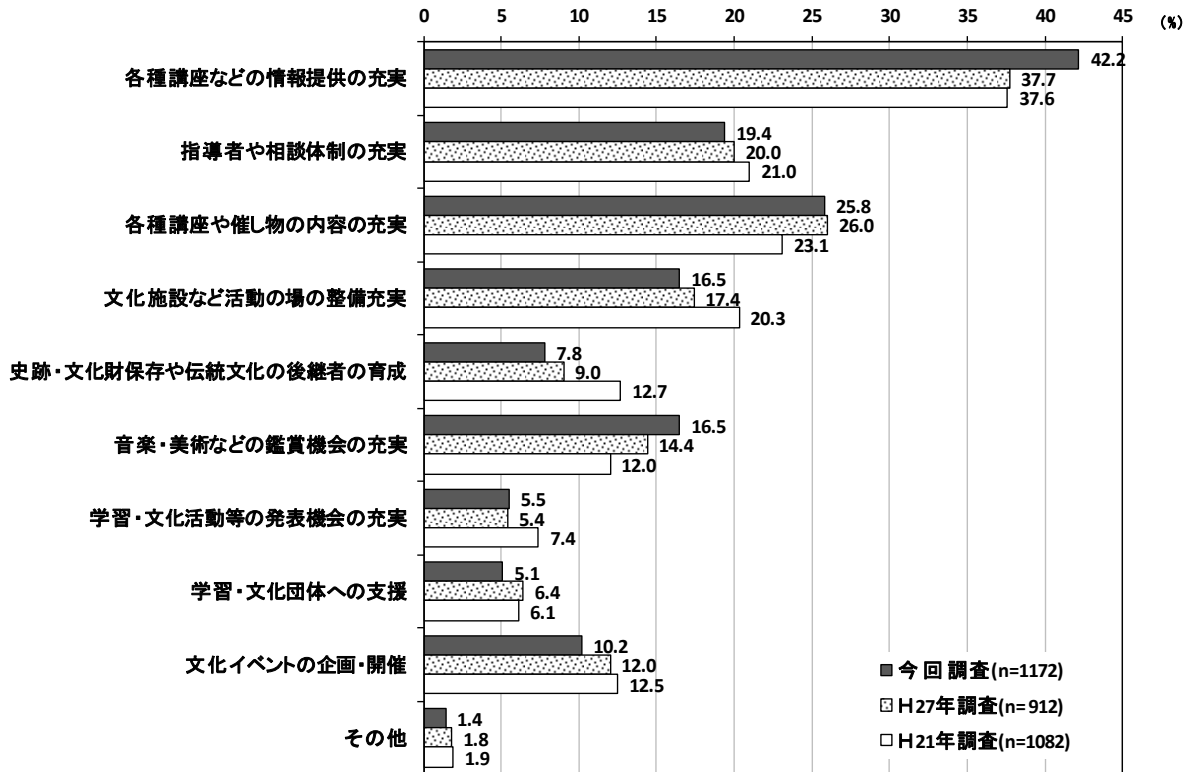
性別	年齢別	区別	小学校	サンプル数	各種講座などの情報提供の充実	指導者や相談体制の充実	各種講座や催し物の内容の充実	文化施設など活動の場の整備充実	史跡・文化財保存や伝統文化の後継者の育成	音楽・美術などの鑑賞機会の充実	学習・文化活動等の発表機会の充実	学習・文化団体への支援	文化イベントの企画・開催	その他	無回答
					全体	1172	42.2	19.4	25.8	16.5	7.8	16.5	5.5	5.1	10.2
男性	465	39.6	23.4	25.4	17.0	9.0	12.9	6.9	6.2	9.5	0.9	13.8			
女性	633	43.6	17.2	26.5	15.8	7.6	19.0	4.9	4.3	10.9	1.7	11.7			
20歳代以下	79	38.0	15.2	26.6	20.3	8.9	<b>25.3</b>	6.3	5.1	13.9	-	7.6			
30歳代	107	<b>48.6</b>	<b>25.2</b>	28.0	13.1	8.4	15.9	6.5	4.7	<b>17.8</b>	0.9	0.9			
40歳代	167	<b>55.1</b>	21.0	28.1	13.2	4.8	14.4	3.6	4.8	<b>15.6</b>	1.2	7.8			
50歳代	179	43.6	21.2	28.5	17.3	7.8	19.0	5.6	3.4	12.8	2.8	5.0			
60歳代	252	44.4	15.5	29.4	18.3	7.9	19.8	6.3	4.8	7.1	0.4	11.1			
70歳以上	374	34.2	19.5	20.9	16.6	8.6	12.0	5.3	6.4	6.1	1.6	24.3			
上広川	241	36.1	17.8	26.1	15.8	9.1	18.3	4.6	7.1	9.5	1.7	14.1			
中広川	585	45.6	17.8	27.9	16.2	7.9	17.4	5.6	4.4	13.0	0.9	10.6			
下広川	286	41.3	21.7	23.8	16.8	7.7	13.6	6.3	5.6	7.0	1.7	15.4			

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも概ね似た傾向です。H21 年調査と比べると「各種講座などの情報提供の充実」と「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」は各々、今回調査で約 5% 増えています。一方で「史跡・文化財保存や伝統文化の後継者の育成」は約 5% 減っています。

問 35. あなたは、生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印 2 つまで)



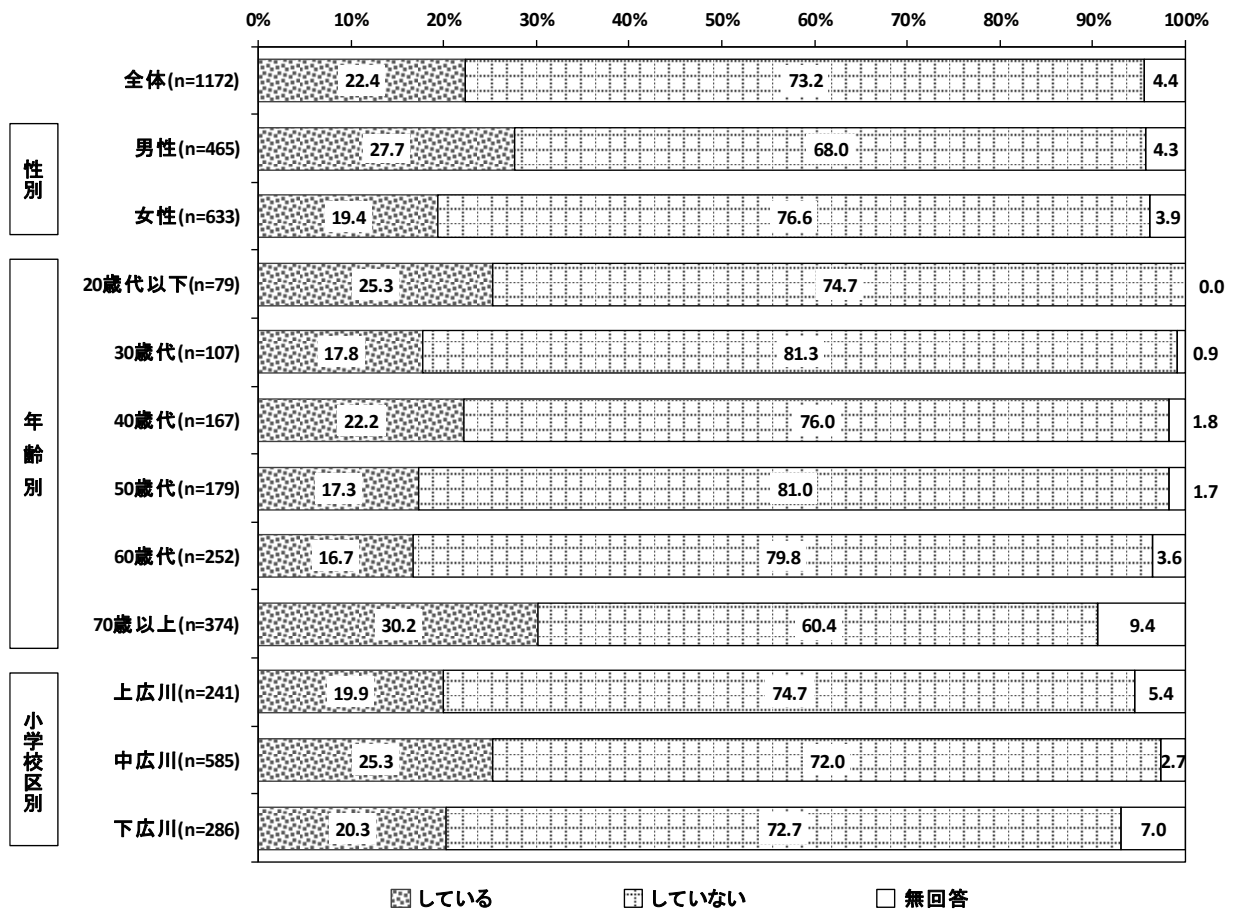
### 34 日常的（週1回以上）なスポーツ活動

日常的（週1回以上）なスポーツ活動についてみると、「している」は22.4%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性は「している」が27.7%ですが、女性は19.4%と少なくなっています。

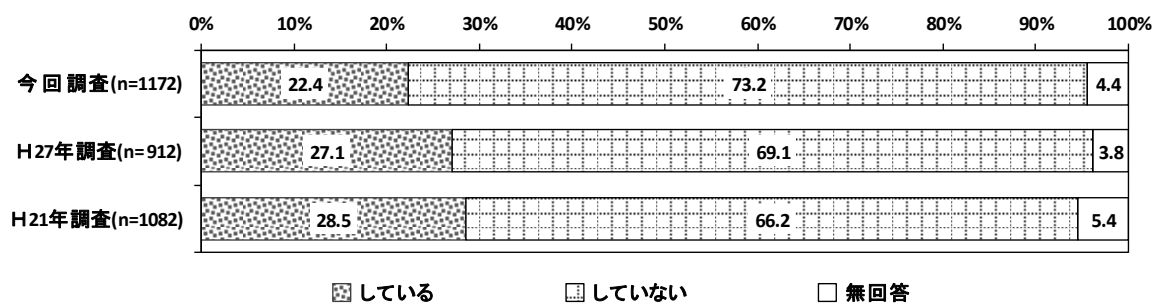
問 36. あなたは、日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしていますか。（○印1つ）



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「している」は年ごとに減少傾向にあり、H21 年調査と比べると、今回調査は約 6%減っています。

問 36. あなたは、日常的に（週 1 回以上）スポーツ活動をしていますか。（○印 1 つ）



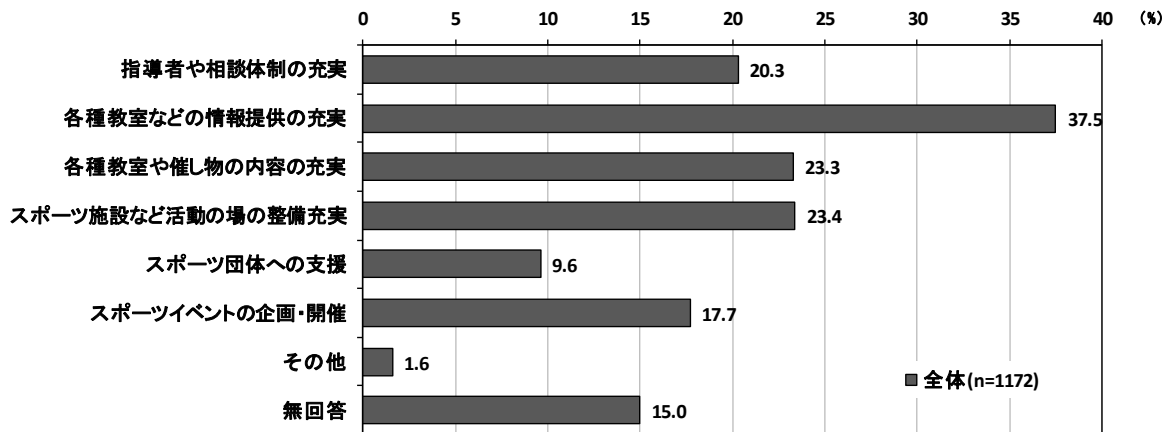
### 35 スポーツ活動を活発にするために必要なこと

スポーツ活動をより活発にしていくために必要なこととしては、「各種教室などの情報提供の充実」が37.5%と最も多くなっています。次いで「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(23.4%)、「各種教室や催し物の内容の充実」(23.3%)、「指導者や相談体制の充実」(20.3%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が40.2%と最も多くなっています。また、20歳代以下では「スポーツイベントの企画・開催」が34.2%と、2番目に多くなっています。

問 37. あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印2つまで) なお、「4」を選択された方は、希望されるスポーツ施設など活動の場について、具体的にお知らせください。



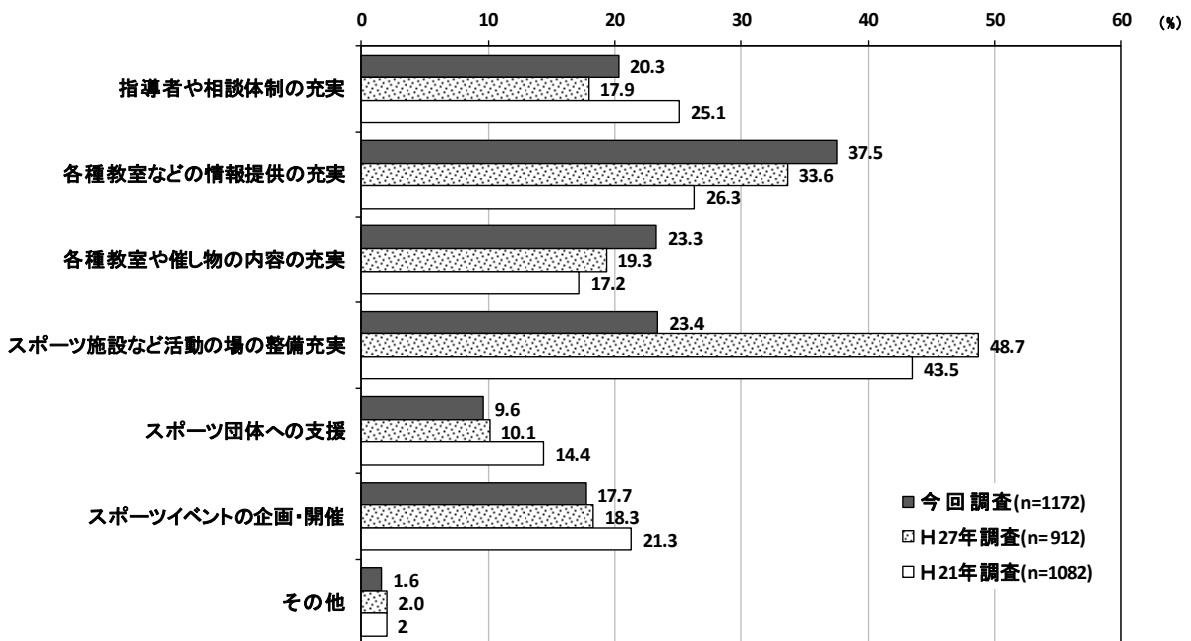
		サンプル数	指導者や相談体制の充実	各種教室などの情報提供	各種教室や催し物の内容	スポーツ施設など活動の場の整備充実	スポーツ団体への支援	スポーツイベントの企画・開催	その他	無回答
全体		1172	20.3	37.5	23.3	23.4	9.6	17.7	1.6	15.0
性別	男性	465	21.9	31.4	21.3	25.6	10.5	21.7	1.9	14.8
	女性	633	19.6	42.0	24.8	22.0	8.5	14.8	1.6	14.4
年齢別	20歳代以下	79	10.1	36.7	24.1	<b>31.6</b>	11.4	<b>34.2</b>	-	6.3
	30歳代	107	18.7	39.3	21.5	<b>40.2</b>	5.6	<b>24.3</b>	0.9	2.8
	40歳代	167	21.0	37.7	25.1	<b>33.5</b>	10.2	16.2	3.0	3.6
	50歳代	179	18.4	40.8	26.8	<b>30.2</b>	10.1	21.2	1.1	8.4
	60歳代	252	20.6	41.3	24.6	19.8	10.3	14.7	2.0	13.1
	70歳以上	374	22.7	34.0	20.6	11.2	9.4	14.2	1.6	29.4
区別 小学校	上広川	241	19.1	34.0	26.6	22.0	10.8	16.2	2.5	14.5
	中広川	585	19.8	39.5	22.6	25.3	9.1	21.2	1.2	13.0
	下広川	286	21.0	38.1	23.8	22.7	9.4	14.3	1.0	16.1

■ は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次で差異がみられます。H21 年調査と比べ、今回調査が増えているのは、「各種教室などの情報提供の充実」(約 11%増)、「各種教室や催し物の内容の充実」(約 6%増)です。一方で減っているのは「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(約 20%減)、「指導者や相談体制の充実」(約 5%減)、「スポーツ団体への支援」(約 5%減)です。

問 37. あなたは、スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印 2 つまで) なお、「4」を選択された方は、希望されるスポーツ施設など活動の場について、具体的にお知らせください。



## ■ 人権・男女共同参画について ■

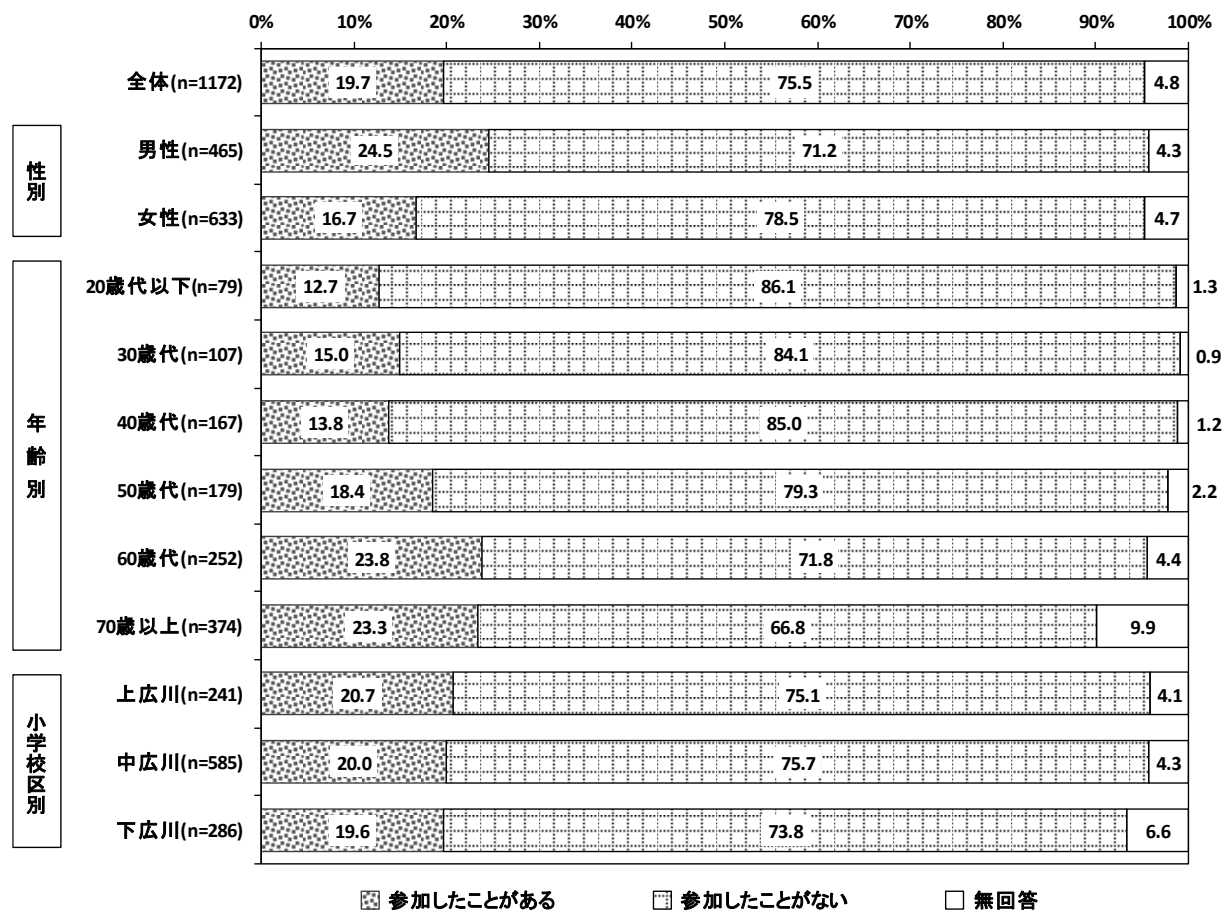
### 36 人権教育の推進・啓発活動などへの参加経験

人権教育の推進・啓発活動などへの参加経験をみると、「参加したことがある」は19.7%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「参加したことがある」は24.5%ですが、女性では16.7%と少なくなっています。

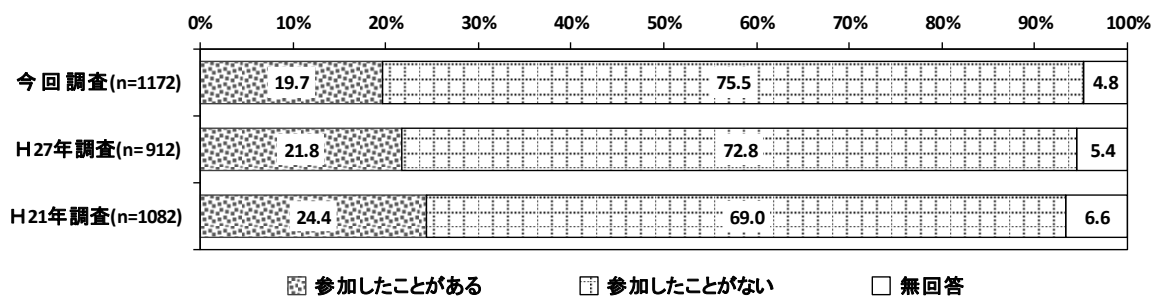
問 38. あなたは、人権教育の推進・啓発活動などに参加したことがありますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 「参加したことがある」は年々、減少しています。H21 年調査と比べると、今回調査では約 5% 減っています。

問 38. あなたは、人権教育の推進・啓発活動などに参加したことがありますか。(○印 1 つ)



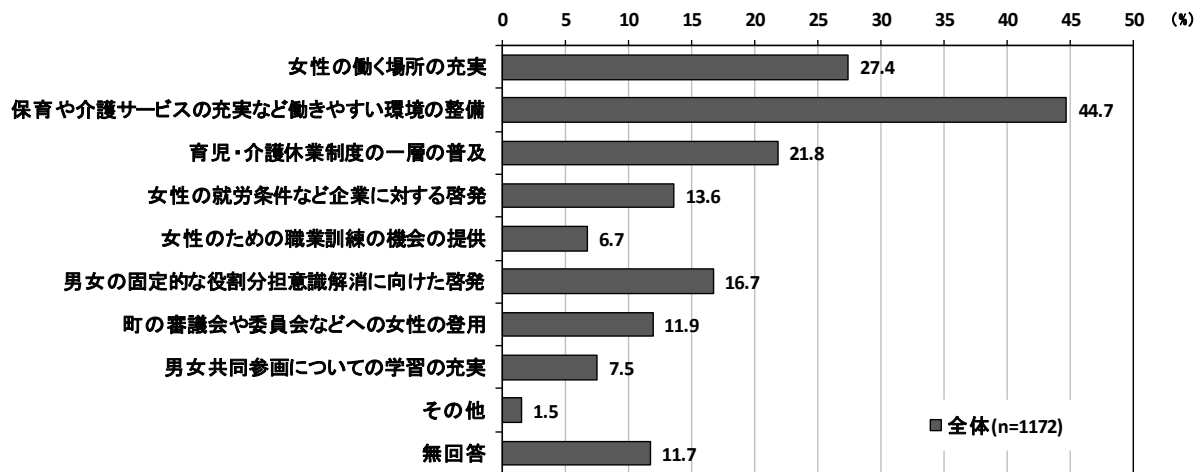
### 37 男女共同参画社会を形成するために必要なこと

男女共同参画社会を形成するため必要なこととしては、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が44.7%と最も多くなっています。次いで「女性の働く場所の充実」(27.4%)、「育児・介護休業制度の一層の普及」(21.8%)、「男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発」(16.7%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下、30歳代では「育児・介護休業制度の一層の普及」が30%を超え、2番目に多くなっています。

問 39. あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○印2つまで)



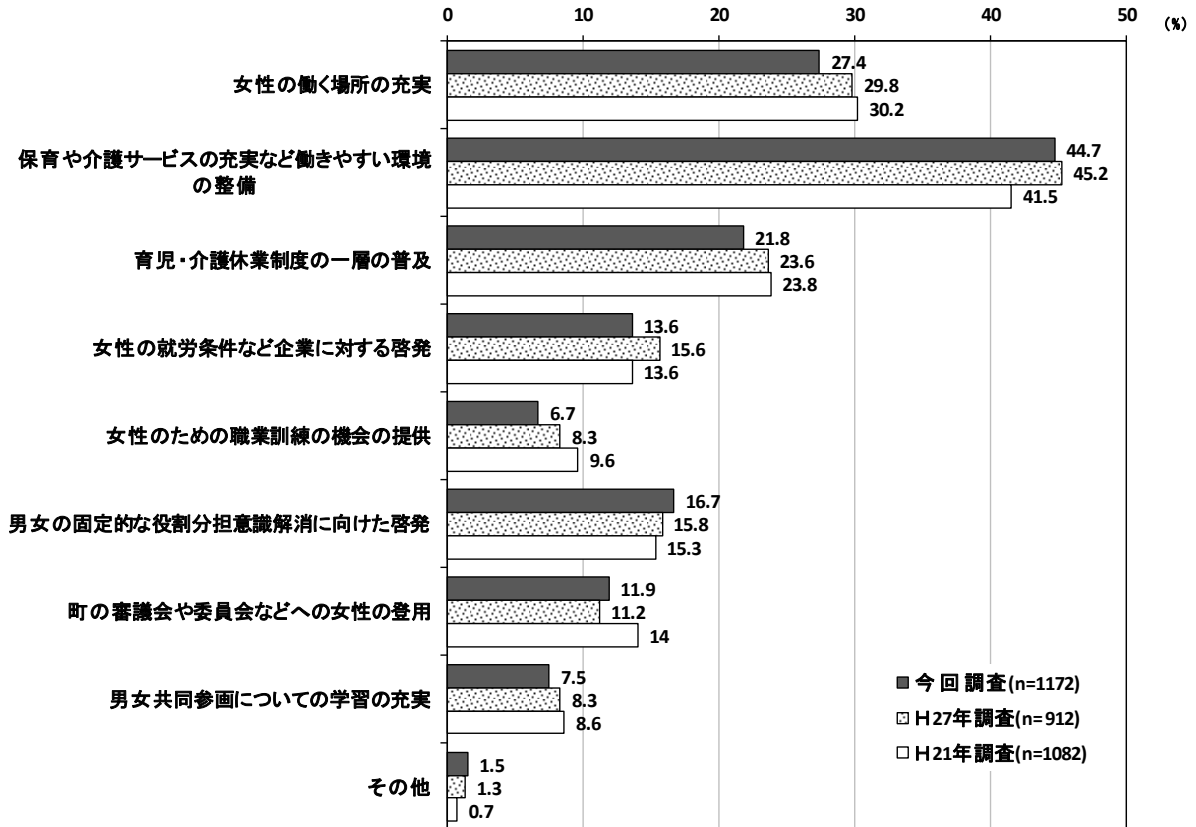
性別	年齢別	区別	サンプル数	女性の働く場所の充実	整備 保育や介護サービス環境の充	層 育児・介護休業制度の一	に 女性に対する就労条件など企業	機 女性のための職業訓練の	意 男女の固定的な役割分担	へ 町の審議会や委員会など	学 男女共同参画についての	そ の 他	無 回 答
				充実	境の充	層の充	啓 発	の 提供	消 解	の 登 用	の 充 実		
全体			1172	27.4	44.7	21.8	13.6	6.7	16.7	11.9	7.5	1.5	11.7
男性			465	27.7	42.8	22.6	12.5	4.5	18.9	12.7	10.1	1.5	11.2
	女性		633	27.5	46.8	20.7	14.5	8.7	15.8	11.5	6.0	1.4	11.4
20歳代以下			79	30.4	46.8	<b>35.4</b>	12.7	3.8	<b>22.8</b>	11.4	3.8	-	2.5
	30歳代		107	31.8	<b>59.8</b>	<b>32.7</b>	11.2	3.7	15.0	5.6	9.3	2.8	-
	40歳代		167	29.3	47.3	25.1	16.8	8.4	17.4	8.4	6.0	2.4	3.6
	50歳代		179	<b>36.3</b>	<b>50.3</b>	21.2	12.3	10.1	15.1	14.0	6.1	1.7	4.5
	60歳代		252	24.6	43.7	24.2	15.5	5.6	16.3	15.5	6.7	1.6	12.3
	70歳以上		374	22.5	36.9	13.1	12.8	7.0	16.8	12.3	9.6	1.1	22.7
上広川			241	24.9	44.0	21.2	16.2	6.6	16.6	14.9	5.8	3.3	11.6
	中広川		585	27.7	47.9	22.7	12.8	7.2	15.7	11.8	8.0	1.2	10.3
	下広川		286	26.9	40.9	21.3	13.3	6.3	18.9	10.1	8.4	1.0	13.3

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも、ほぼ似た傾向です。

問 39. あなたは、男女共同参画社会を形成するため、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○印2つまで)

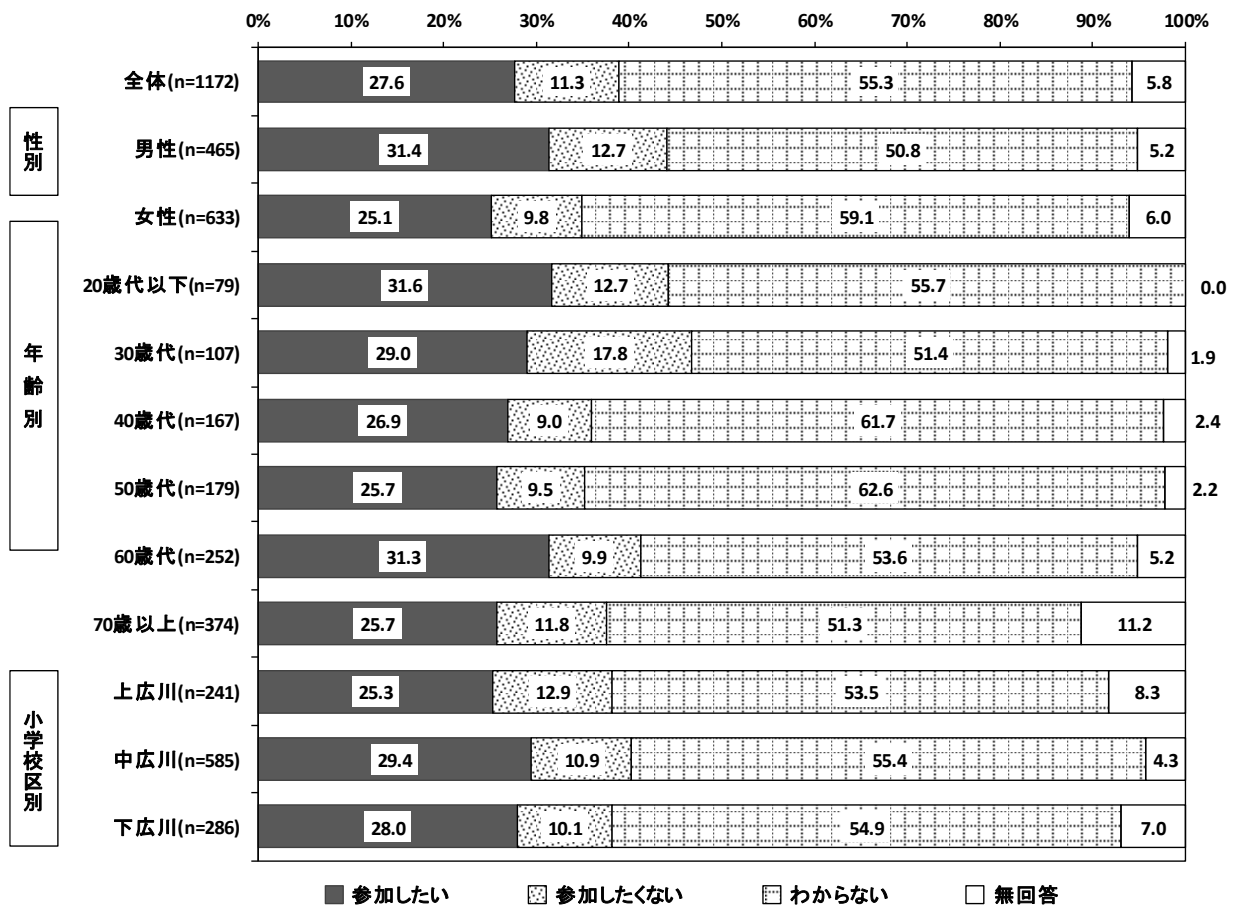


## ■ ボランティア活動や地域間交流について ■

### 38 地域活動やボランティア活動への参加意向

地域活動やボランティア活動への今後の参加意向をみると、「参加したい」は27.6%、約4人1人強となっており、「参加したくない」は11.3%と少ないものの、「わからない」が55.3%と半数を超えています。

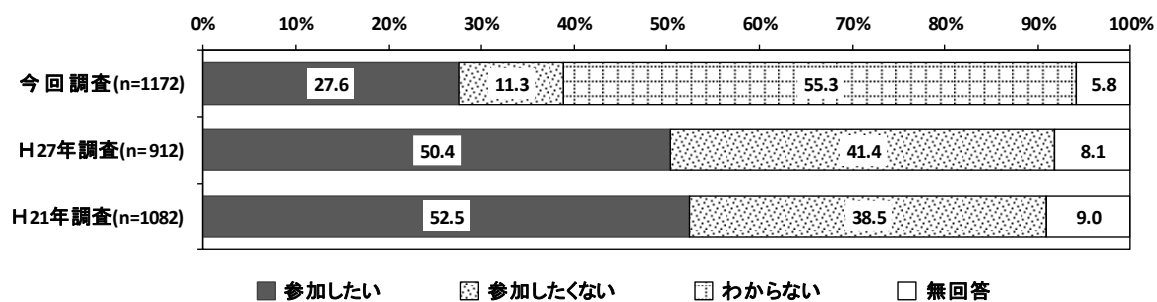
問 40. あなたは、地域活動やボランティア活動に、今後参加したいと思いますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 今回調査では「わからない」の項目を設けましたので、H27 年・21 年調査との比較は困難です。
- H27 年・21 年調査は、差異はありません。

問 40. あなたは、地域活動やボランティア活動に、今後参加したいと思いますか。(○印1つ)



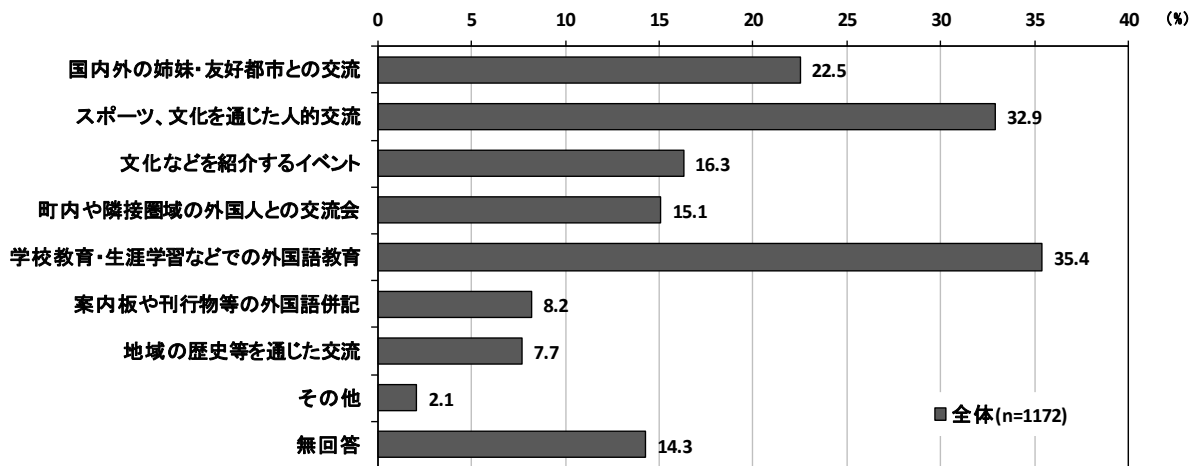
### 39 国内外の交流について必要なこと

国内外の交流活動について、今後必要な取り組みとしては、「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」が35.4%と最も多くなっています。次いで「スポーツ、文化を通じた人的交流」(32.9%)、「国内外の姉妹・友好都市との交流」(22.5%)、「文化などを紹介するイベント」(16.3%)、「町内や隣接圏域の外国人との交流会」(15.1%)となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」が41.2%と多くなっていますが、男性では27.7%と少なくなっています。

問 41. あなたは、国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○印2つまで)



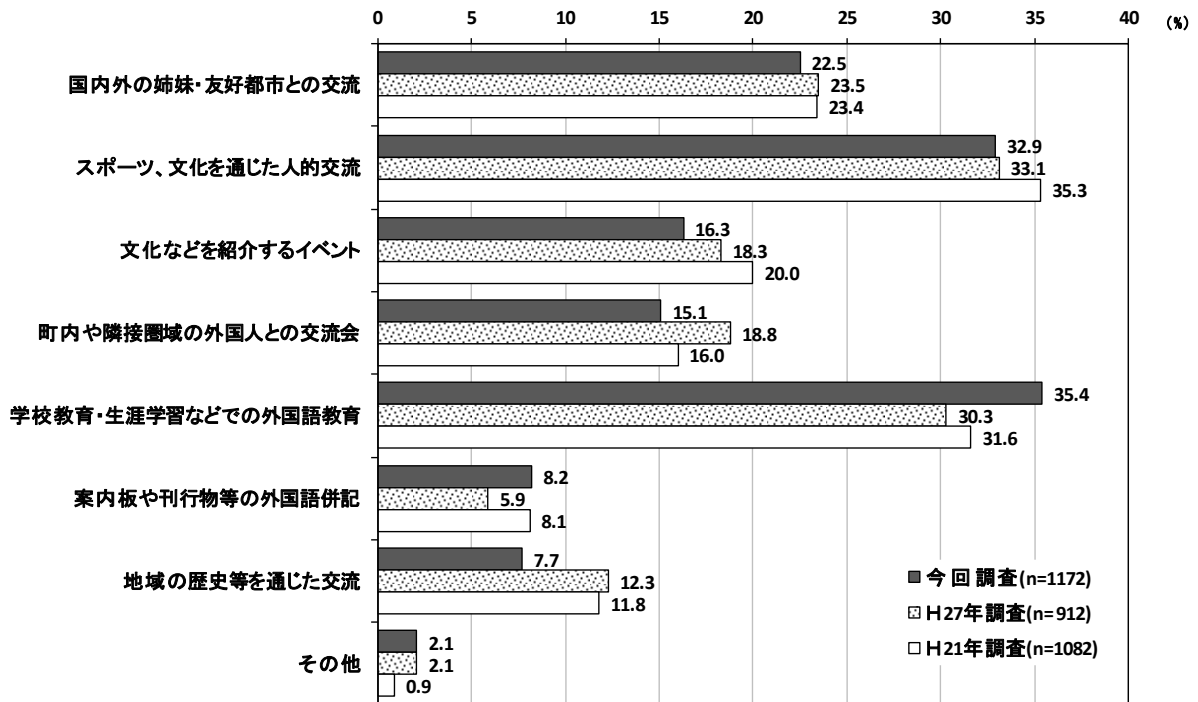
属性	サンプル数	国内外の姉妹・友好都市	人的交流	スポーツ、文化を通じた	文化などを紹介するイベント	町内や隣接圏域の外国人との交流会	学校教育・生涯学習などでの外国語教育	案内板や刊行物等の外国語併記	地域の歴史等を通じた交流	その他	無回答
		全体	1172	22.5	32.9	16.3	15.1	35.4	8.2	7.7	2.1
性別	男性	465	23.4	35.7	16.3	16.8	27.7	8.8	8.2	2.4	15.5
	女性	633	22.4	30.2	16.1	14.8	<b>41.2</b>	7.7	7.1	2.1	13.4
年齢別	20歳代以下	79	<b>32.9</b>	<b>43.0</b>	13.9	17.7	<b>40.5</b>	8.9	5.1	-	3.8
	30歳代	107	20.6	<b>41.1</b>	15.0	<b>20.6</b>	<b>46.7</b>	5.6	9.3	4.7	0.9
	40歳代	167	24.6	<b>44.3</b>	13.8	14.4	38.9	6.0	7.8	1.2	4.8
	50歳代	179	25.7	31.8	18.4	<b>20.7</b>	<b>44.7</b>	8.4	5.6	1.7	6.1
	60歳代	252	17.1	31.3	20.2	14.7	36.5	9.9	7.5	3.6	13.9
	70歳以上	374	22.2	25.7	15.2	11.2	24.3	8.3	9.1	1.6	28.1
区別	上広川	241	19.1	29.9	14.9	19.1	32.8	7.9	10.4	2.5	14.9
	中広川	585	23.9	35.0	17.9	14.7	37.1	8.5	6.8	1.7	12.1
	下広川	286	23.4	33.2	14.3	13.3	35.7	7.7	6.6	2.4	16.1

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも、ほぼ似た傾向です。「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」は、H21 年・27 年調査では第 2 位でしたが、今回調査では第 1 位になっています。

問 41. あなたは、国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(○印 2 つまで)



## ■ 広報・広聴などについて ■

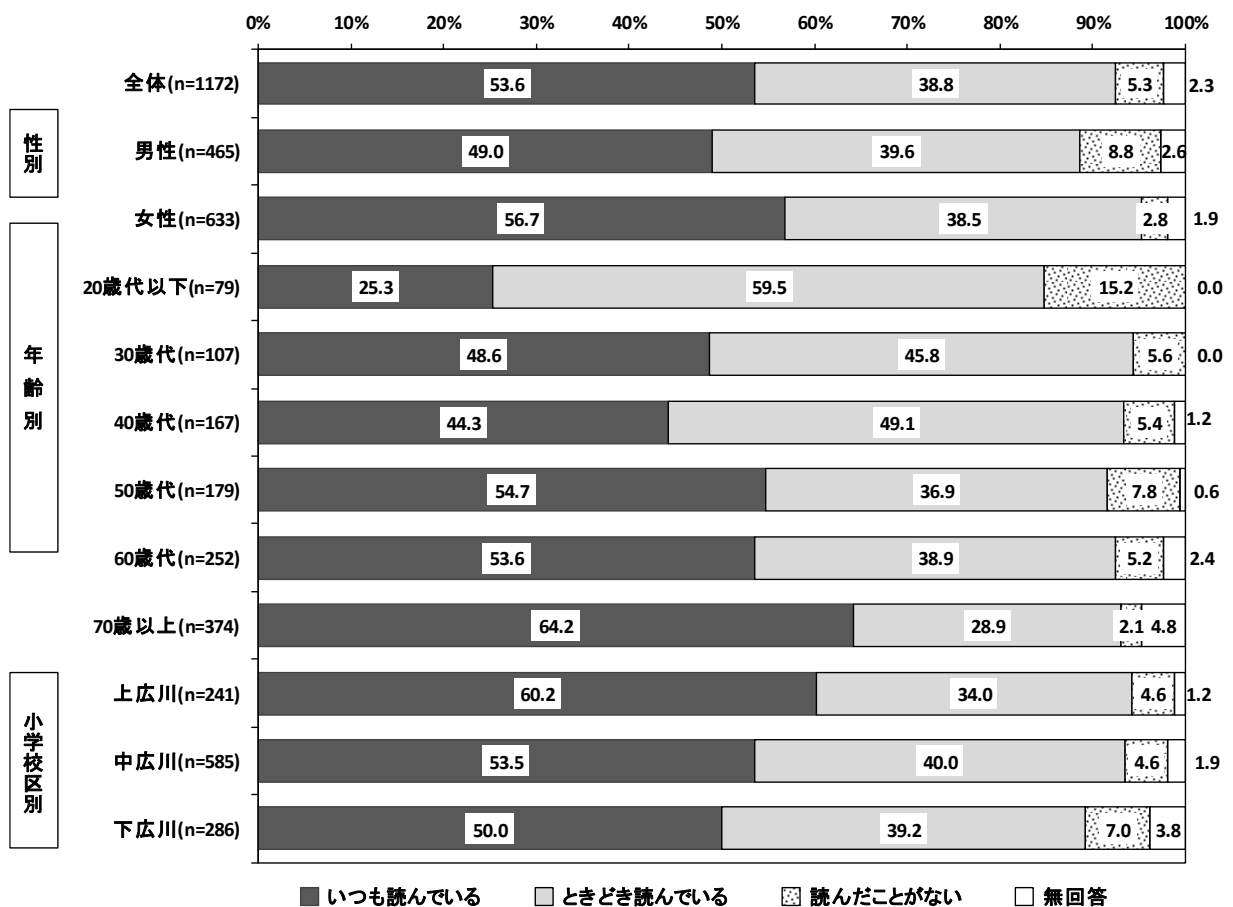
### 40 広報誌について

広川町の広報紙の閲読状況をみると、「いつも読んでいる」が 53.6%、「ときどき読んでいる」が 38.8%、「読んだことがない」が 5.3%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、20歳代以下では「いつも読んでいる」が 25.3%と、極端に少なくなっています。

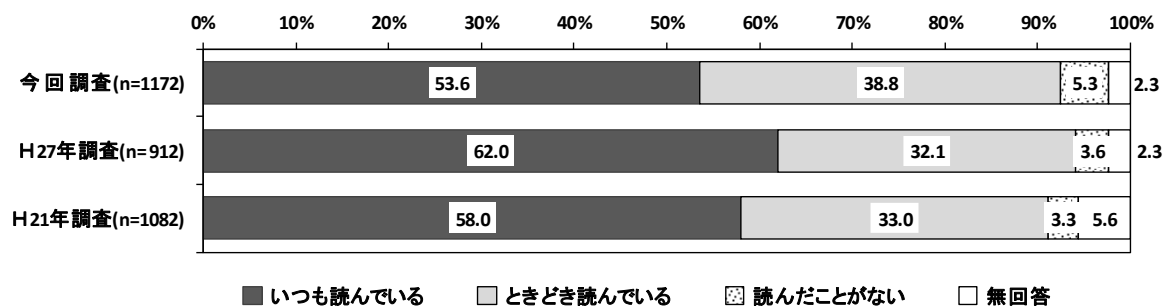
問 42. あなたは、広川町の広報紙を読んでいますか。(○印1つ)



【平成 21 年調査、平成 27 年調査との比較】

- H27 年・21 年調査に比べ、今回調査では、「いつも読んでいる」が数%減り、一方で「ときどき読んでいる」が数%増えています。

問 42. あなたは、広川町の広報紙を読んでいますか。(○印 1 つ)



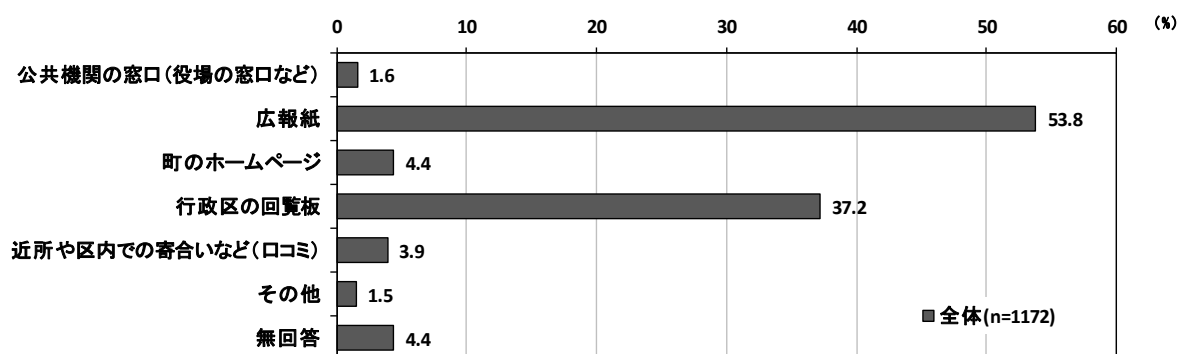
## 41 広川町の情報の入手方法

広川町についての情報の入手先としては、「広報紙」(53.8%)と「行政区の回覧板」(37.2%)の2つに集中しています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代、40歳代では「広報紙」が60%を超えています。

問 43. あなたは、広川町の情報を主にどのような方法で入手していますか。(○印1つ)



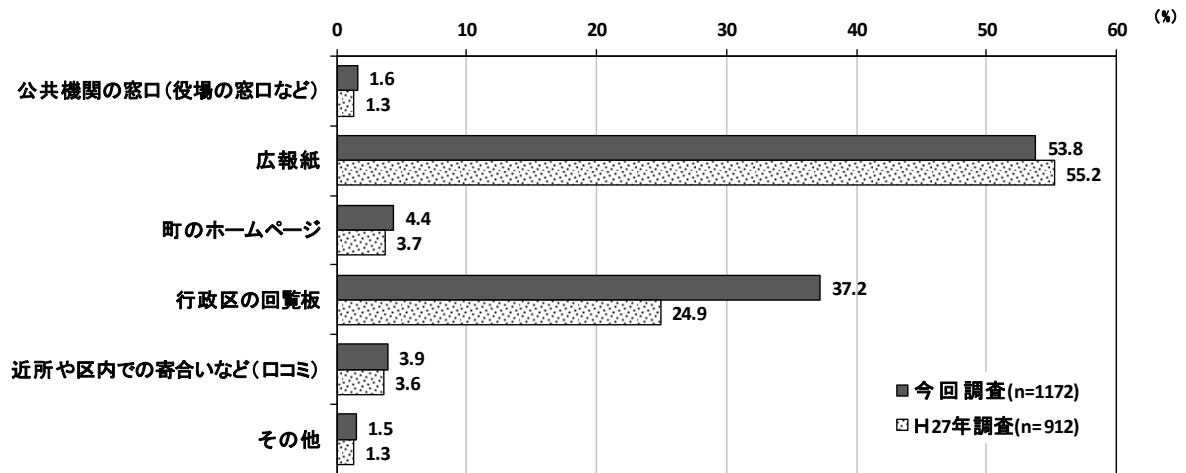
	サンプル数	公共機関の窓口など(役場の窓口など)	広報紙	町のホームページ	行政区の回覧板	近所や区内での寄合いなど(ロコミ)	その他	無回答	
全体	1172	1.6	53.8	4.4	37.2	3.9	1.5	4.4	
性別	男性	465	1.9	51.6	3.7	36.3	4.3	1.7	6.0
	女性	633	1.1	56.6	4.9	37.0	3.3	1.4	3.2
年齢別	20歳以下	79	3.8	49.4	12.7	21.5	10.1	6.3	1.3
	30歳代	107	1.9	60.7	9.3	28.0	4.7	0.9	0.9
	40歳代	167	1.8	61.1	4.2	30.5	3.0	2.4	3.6
	50歳代	179	1.7	53.6	6.7	37.4	2.2	1.1	3.4
	60歳代	252	1.2	56.7	3.2	36.1	4.8	1.2	5.2
	70歳以上	374	1.3	47.9	1.3	46.3	3.2	0.5	6.4
区別 小学校	上広川	241	1.2	54.4	2.9	39.8	3.3	0.4	3.7
	中広川	585	1.5	55.4	5.0	36.4	4.3	1.5	3.1
	下広川	286	1.7	53.5	4.2	34.6	3.1	2.4	7.0

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 27 年調査との比較】

- H27 年調査に比べると、「行政区の回覧板」が約 12% 増えています。

問 43. あなたは、広川町の情報を主にどのような方法で入手していますか。(○印 1 つ)



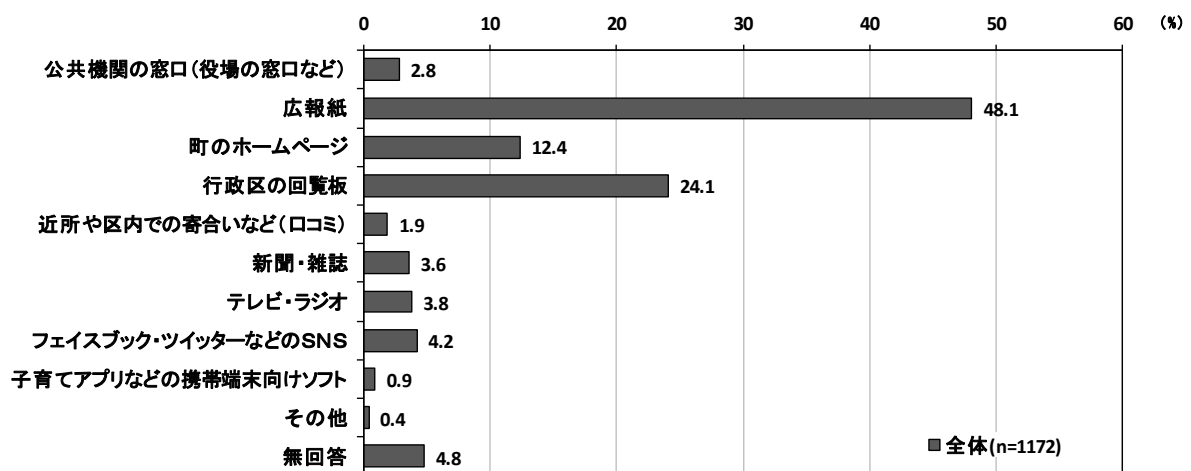
## 42 行政情報の入手希望方法

行政情報を入手する際に希望する入手方法としては、「広報紙」(48.1%)と「行政区の回覧板」(24.1%)の2つが特に多く、次いで「町のホームページ」(12.4%)となっています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、30歳代、40歳代では「町のホームページ」が20%を超え、20歳代以下では「フェイスブック・ツイッターなどのSNS」が25.3%と多くなっています。

問 44. あなたは、行政情報を入手する際に、主にどのような方法で入手したいですか。(○印1つ)



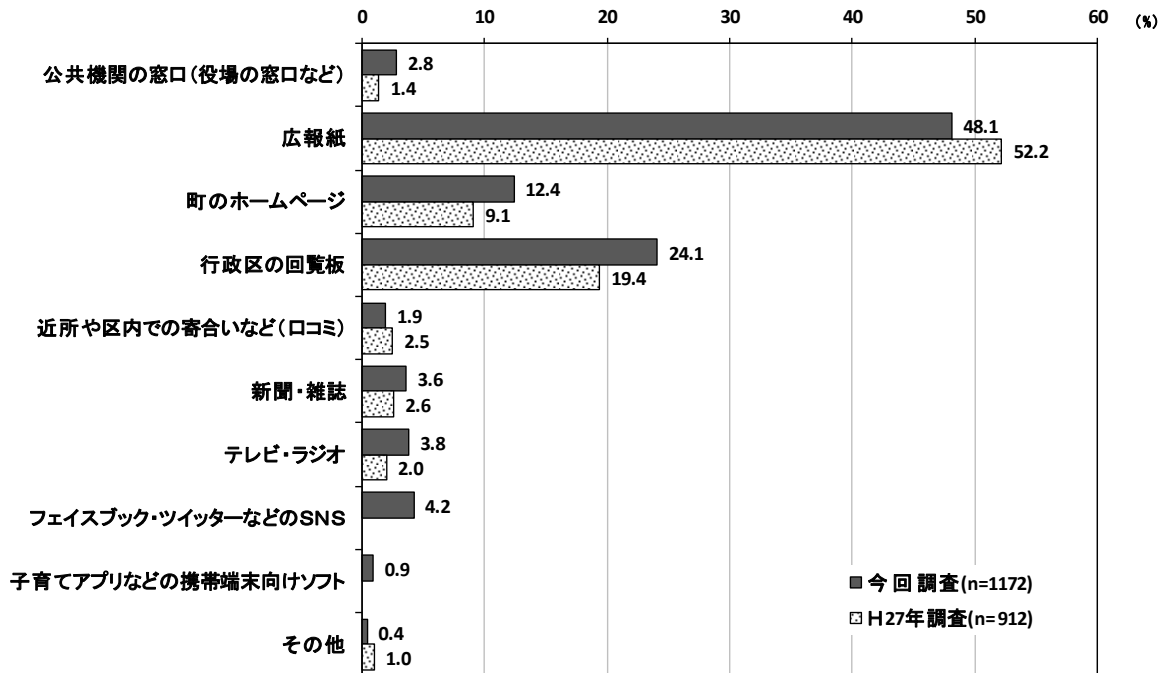
	サンプル数	公共機関の窓口(役場の窓口など)	広報紙	町のホームページ	行政区の回覧板	近所や区内での寄合いなど(口コミ)	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	フェイスブック・ツイッターなどのSNS	子育てアプリなどの携帯端末向けソフト	その他	無回答
		2.8	48.1	12.4	24.1	1.9	3.6	3.8	4.2	0.9	0.4	4.8
全体	1172	2.8	48.1	12.4	24.1	1.9	3.6	3.8	4.2	0.9	0.4	4.8
性別												
男性	465	1.5	46.7	12.9	25.4	2.2	4.7	4.1	3.4	0.4	0.4	5.8
女性	633	3.3	49.9	12.0	22.9	1.7	2.7	3.3	4.7	1.4	0.5	3.9
年齢別												
20歳代以下	79	2.5	35.4	19.0	5.1	2.5	2.5	6.3	25.3	3.8	1.3	1.3
30歳代	107	3.7	47.7	23.4	7.5	1.9	0.9	3.7	8.4	3.7	0.9	0.9
40歳代	167	2.4	47.9	21.0	21.6	0.6	2.4	1.8	6.6	1.8	0.6	3.0
50歳代	179	2.2	48.6	19.0	21.8	0.6	2.2	2.8	2.8	-	0.6	3.4
60歳代	252	2.4	52.0	11.9	26.2	1.2	4.4	4.8	1.2	0.4	-	6.0
70歳以上	374	3.2	48.1	1.6	33.7	3.5	5.3	3.7	0.3	-	0.3	7.2
区別												
小学校												
上広川	241	2.9	51.0	9.1	24.9	2.9	4.6	3.3	2.9	0.8	0.4	3.7
中広川	585	2.6	48.4	14.7	23.9	1.5	2.6	3.6	5.1	1.2	0.2	3.4
下広川	286	3.5	46.9	10.1	23.4	1.7	4.9	4.2	3.5	0.3	0.7	7.7

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

【平成 27 年調査との比較】

- 各年次とも概ね似た傾向にあります。H27 年調査に比べると、「行政区の回覧板」は約 5% 増えています。

問 44. あなたは、行政情報を入手する際に、主にどのような方法で入手したいですか。(○印 1 つ)

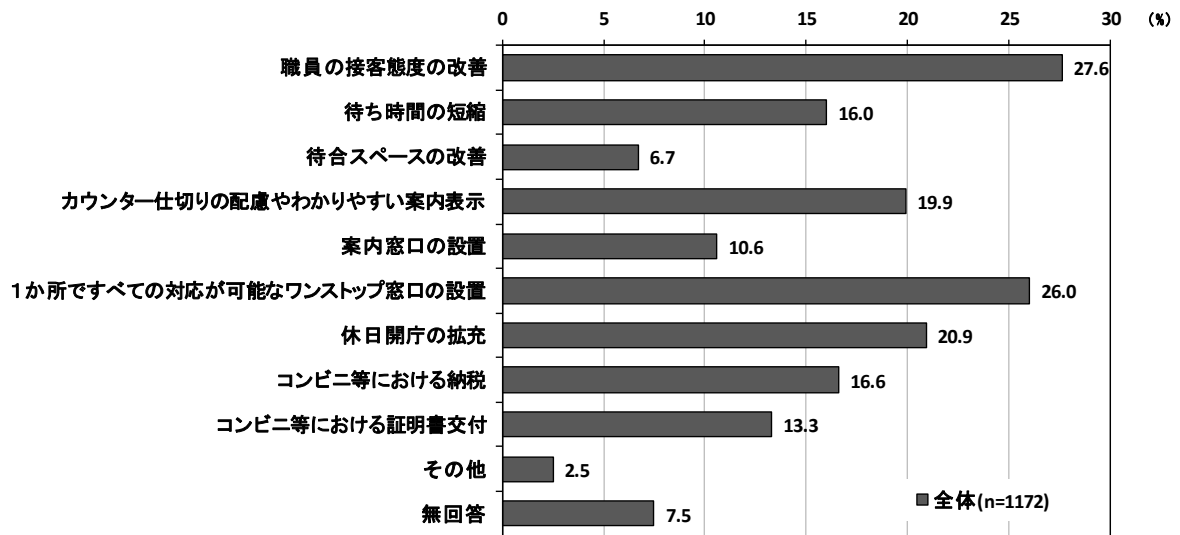


## ■ 行政サービス等について ■

### 43 窓口サービスの向上のために必要なこと

窓口サービスの向上のために重要なこととしては、「職員の接客態度の改善」が27.6%と最も多くなっています。次いで「1か所ですべての対応が可能なワンストップ窓口の設置」(26.0%)、「休日開庁の拡充」(20.9%)、「カウンター仕切りの配慮やわかりやすい案内表示」(19.9%)、「コンビニ等における納税」(16.6%)、「待ち時間の短縮」(16.0%)となっています。

問 45. あなたは、窓口サービスの向上のために、どのようなことが重要だと思いますか。(〇印2つまで)



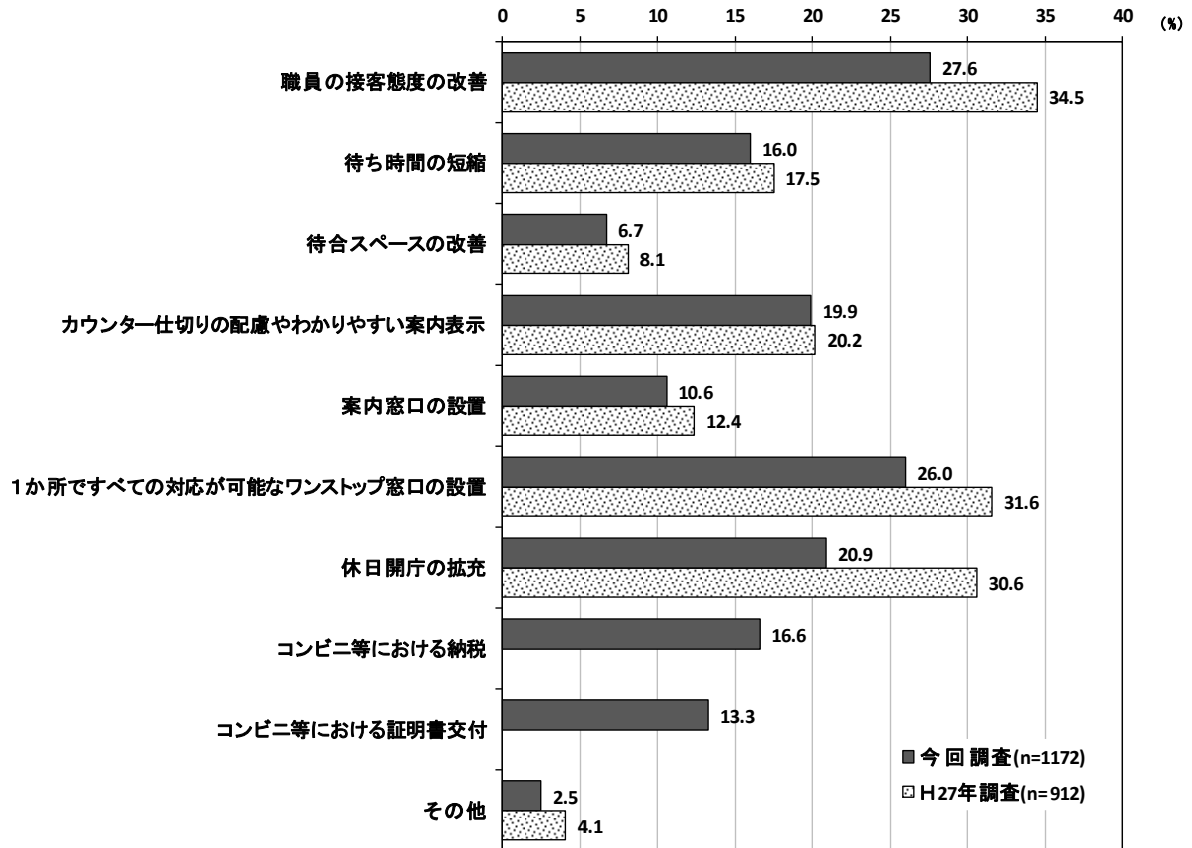
性別	年齢別	区別	小学校	サンプル数	職員の接客態度の改善	待ち時間の短縮	待合スペースの改善	カウンター仕切りの配慮やわかりやすい案内表示	案内窓口の設置	可能なワンストップ窓口の設置	休日開庁の拡充	コンビニ等における納税	コンビニ等における証明書交付	その他	無回答
全体				1172	27.6	16.0	6.7	19.9	10.6	26.0	20.9	16.6	13.3	2.5	7.5
性別				465	28.0	17.4	7.5	22.4	11.8	25.4	20.0	13.1	13.1	3.0	7.3
				633	28.1	14.1	6.3	18.8	10.4	27.3	21.5	18.6	13.9	2.2	6.8
年齢別	20歳代以下			79	29.1	<b>26.6</b>	8.9	<b>26.6</b>	6.3	22.8	17.7	15.2	16.5	5.1	3.8
	30歳代			107	31.8	16.8	6.5	23.4	2.8	23.4	<b>27.1</b>	<b>30.8</b>	<b>19.6</b>	4.7	-
	40歳代			167	31.1	15.0	8.4	20.4	5.4	19.8	25.1	<b>28.1</b>	14.4	3.0	1.8
	50歳代			179	26.8	11.7	6.7	18.4	7.3	25.7	<b>31.3</b>	19.0	<b>20.7</b>	4.5	2.8
	60歳代			252	27.0	12.3	6.3	14.3	13.1	<b>33.7</b>	23.4	15.5	12.3	2.0	5.2
	70歳以上			374	25.7	18.2	5.9	21.7	<b>16.3</b>	25.4	11.5	6.4	7.2	0.5	16.8
区別	小学校	上広川		241	28.2	16.6	5.4	19.5	10.4	29.0	20.3	13.3	11.2	1.7	7.9
		中広川		585	28.9	16.9	6.5	21.0	12.1	23.9	20.0	17.3	14.7	2.6	6.2
		下広川		286	24.8	14.3	8.7	17.5	7.3	28.0	23.8	17.8	12.6	2.8	8.7

緑色は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

【平成 27 年調査との比較】

- 今回調査で新しい項目が追加になりましたので、比較は困難です。

問 45. あなたは、窓口サービスの向上のために、どのようなことが重要だと思いますか。(〇印 2 つまで)



## ■ 地方創生について ■

### 44 地方創生について

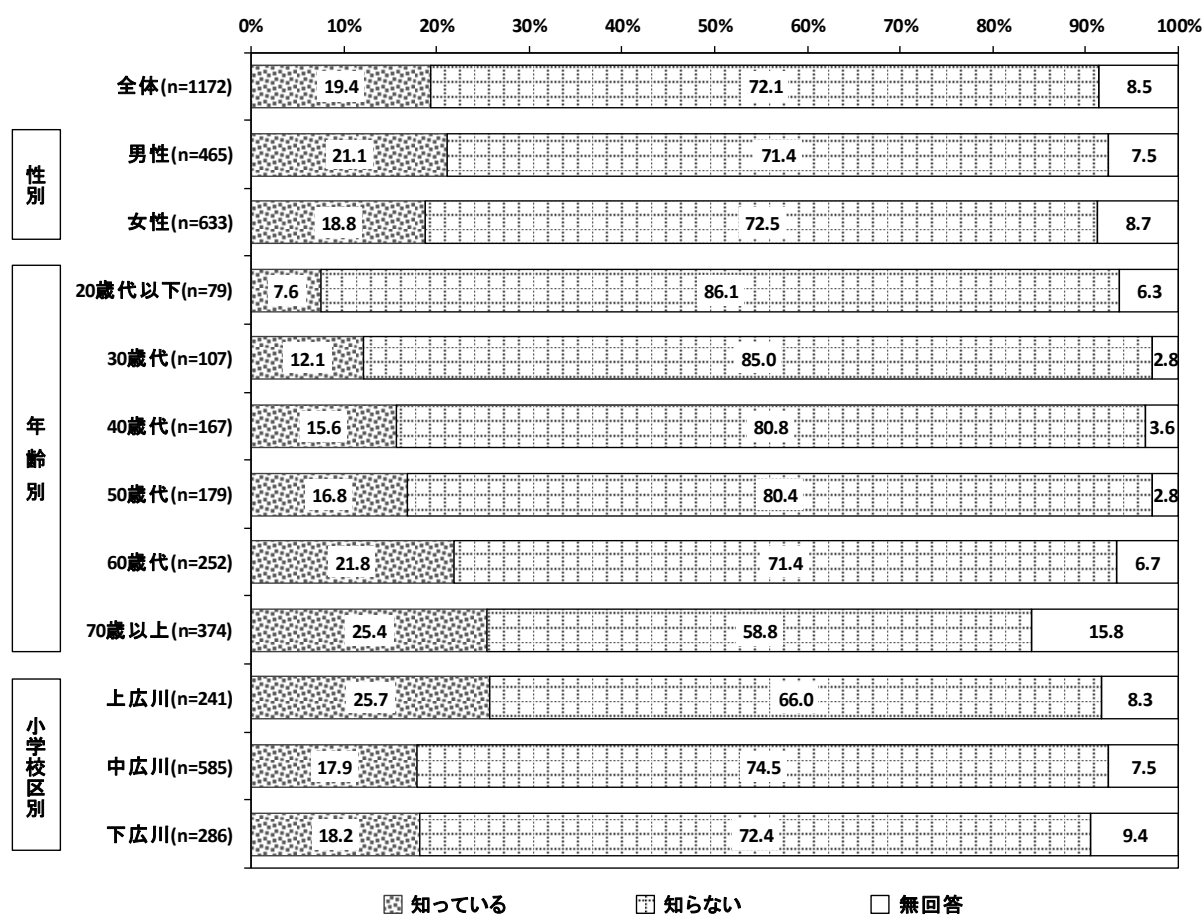
#### (1) 認知状況

「地方創生」に取り組んでいることについては、「知っている」は19.4%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、年齢が高くなるほど「知っている」が多くなっています。

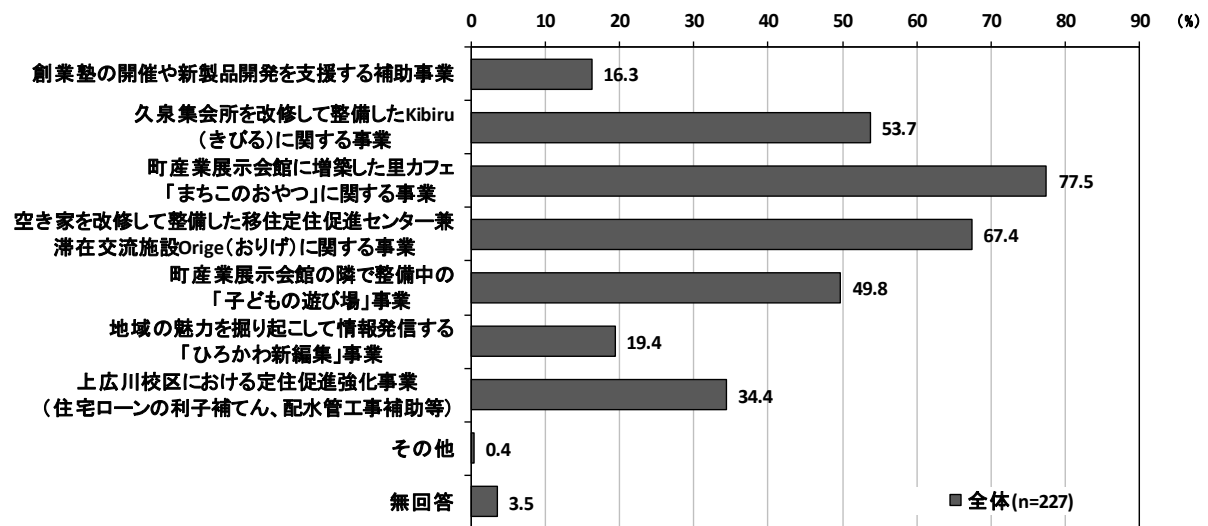
問 46. 広川町が「地方創生」に取り組んでいることを知っていますか。(○印1つ)



(2) 知っている事業

広川町が取り組んでいる地方創生事業で知っている事業としては、「町産業展示会館に増築した里カフェ「まちこのおやつ」に関する事業」が 77.5%と最も多くなっています。次いで「空き家を改修して整備した移住定住促進センター兼滞在交流施設 Orige (おりげ) に関する事業」(67.4%)、「久泉集会所を改修して整備した Kibiru (きびる) に関する事業」(53.7%)、「町産業展示会館の隣で整備中の「子どもの遊び場」事業」(49.8%)、「上広川校区における定住促進強化事業 (住宅ローンの利子補てん、配水管工事補助等)」(34.4%) となっています。

問 47. (問 46 で 1 と回答した方へ) 広川町が取り組む以下の地方創生事業のうち、あなたが知っている、または聞いたことがある事業をお答えください。(該当するものすべてに○)



サンプル数	創業塾の開催や新製品開発を支援する補助事業	久泉集会所を改修して整備したKibiru (きびる)に関する事業	里カフェ「まちこのおやつ」に関する事業	町産業展示会館に増築した里カフェ「まちこのおやつ」に関する事業	空き家を改修して整備した移住定住促進センター兼滞在交流施設Orige(おりげ)に関する事業	町産業展示会館の隣で整備中の「子どもの遊び場」事業	地域の魅力を掘り起こして情報発信する「ひろかわ新編集」事業	利子補てん、配水管工事補助等	上広川校区における定住促進強化事業	その他	無回答
全体	227	16.3	53.7	77.5	67.4	49.8	19.4	34.4	0.4	3.5	
性別	男性	98	19.4	50.0	70.4	61.2	52.0	19.4	35.7	1.0	5.1
	女性	119	13.4	56.3	83.2	72.3	47.1	17.6	31.9	-	2.5
年齢別	20歳代以下	6	33.3	83.3	100.0	100.0	83.3	66.7	66.7	-	-
	30歳代	13	30.8	61.5	76.9	76.9	76.9	53.8	53.8	-	-
	40歳代	26	23.1	61.5	84.6	61.5	53.8	30.8	38.5	3.8	3.8
	50歳代	30	20.0	60.0	80.0	80.0	50.0	16.7	43.3	-	3.3
	60歳代	55	9.1	52.7	70.9	70.9	47.3	10.9	38.2	-	1.8
	70歳以上	95	14.7	47.4	77.9	61.1	44.2	14.7	23.2	-	5.3
区別 小学校	上広川	62	14.5	56.5	75.8	77.4	37.1	19.4	46.8	-	6.5
	中広川	105	17.1	55.2	78.1	65.7	57.1	21.0	29.5	-	1.9
	下広川	52	17.3	46.2	78.8	67.3	51.9	19.2	30.8	1.9	1.9

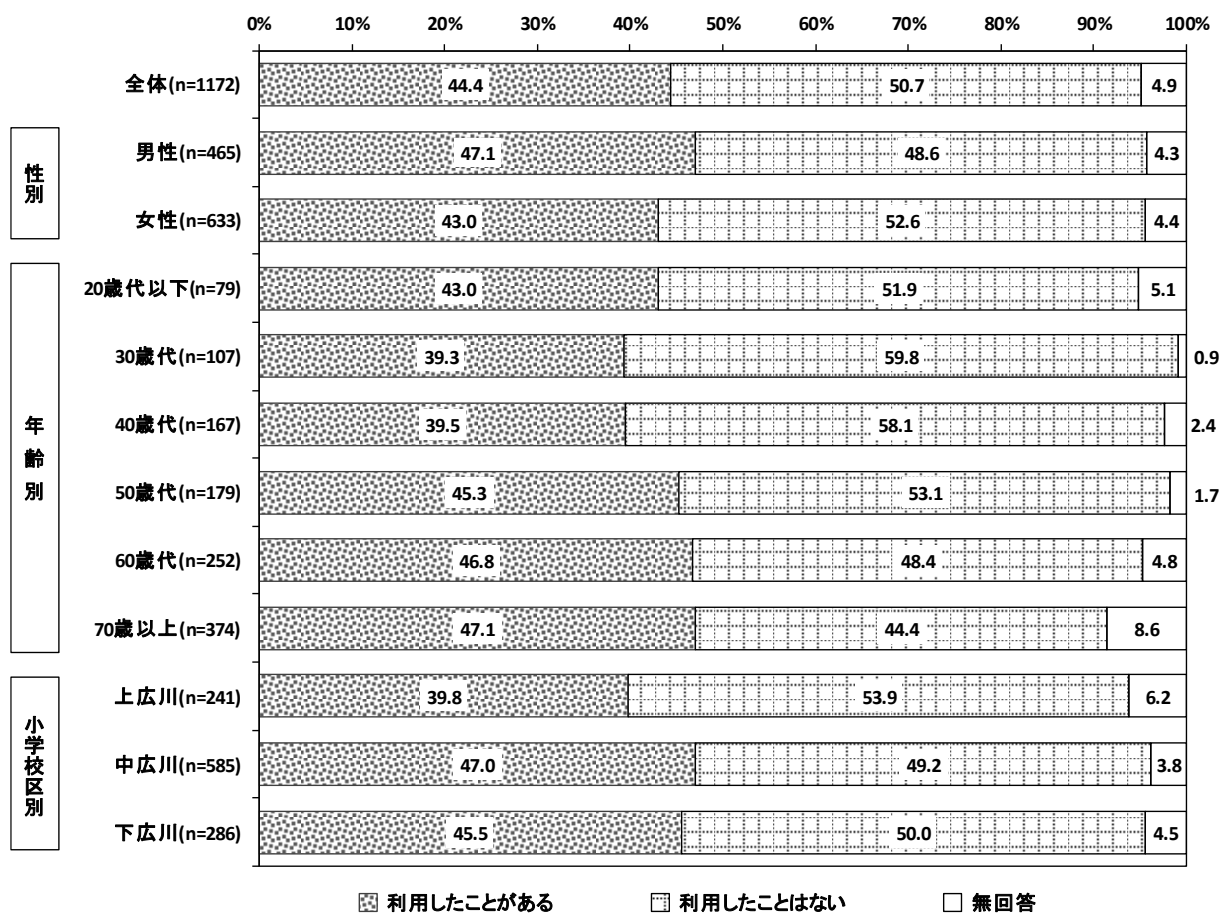
は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

## 45 高速バスについて

### (1) 利用経験

広川サービスエリア近くの高速バス停「広川」からの高速バスの利用については、「利用したことがある」は44.4%となっています。

問 48. 広川サービスエリア近くの高速バス停「広川」から、高速バスを利用したことはありますか。  
(○印1つ)



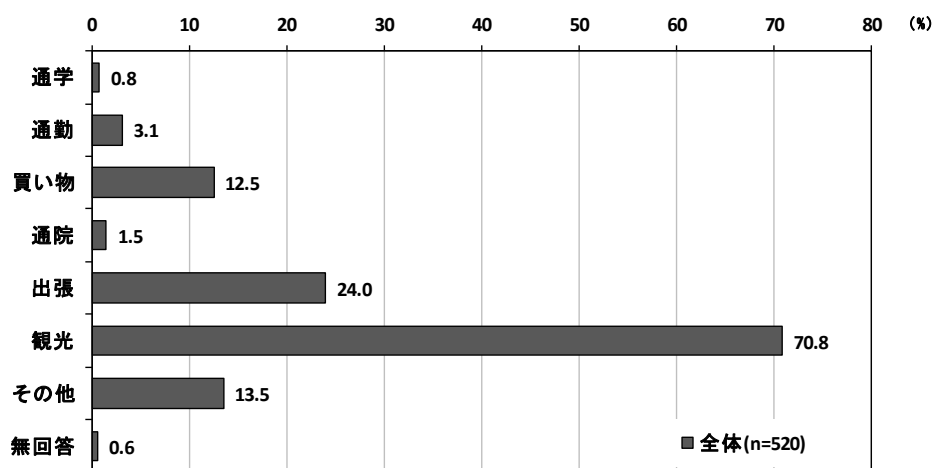
## (2) 利用目的

高速バスの利用目的としては、「観光」が70.8%と圧倒的に多くなっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「出張」が39.3%と多くなっています。
- 年齢別にみると、20歳代以下では「買い物」が29.4%で、2番目に多くなっています。

問 49. (問 48 で 1 と回答した方へ) 高速バスを利用した目的は何ですか。(該当するものすべてに○印)



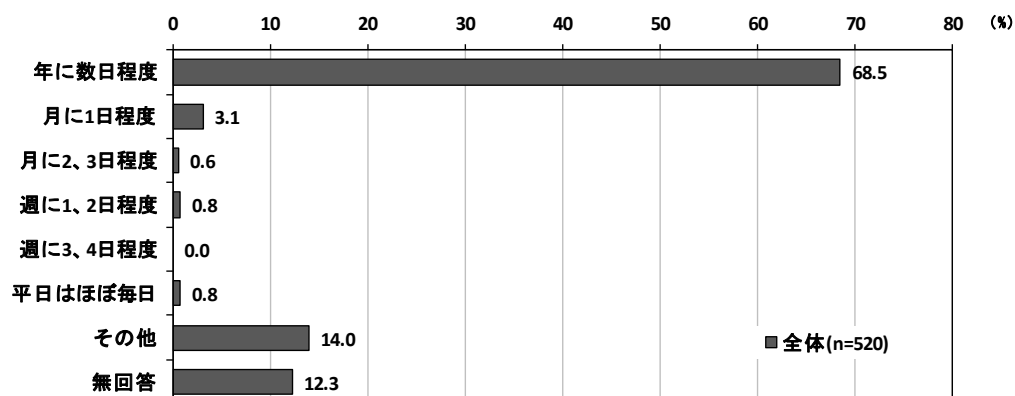
		サンプル数	通学	通勤	買い物	通院	出張	観光	その他	無回答
全体		520	0.8	3.1	12.5	1.5	24.0	70.8	13.5	0.6
性別	男性	219	1.4	3.7	11.0	1.4	<b>39.3</b>	65.8	8.7	0.5
	女性	272	0.4	2.6	11.4	1.1	11.8	75.4	18.0	0.7
年齢別	20歳代以下	34	<b>5.9</b>	<b>8.8</b>	<b>29.4</b>	-	8.8	64.7	8.8	-
	30歳代	42	-	4.8	9.5	-	28.6	61.9	<b>21.4</b>	-
	40歳代	66	-	4.5	10.6	1.5	<b>34.8</b>	60.6	15.2	-
	50歳代	81	1.2	2.5	13.6	2.5	<b>42.0</b>	71.6	11.1	-
	60歳代	118	0.8	2.5	11.9	1.7	21.2	71.2	12.7	0.8
	70歳以上	176	-	1.1	10.8	1.7	15.9	<b>77.3</b>	13.6	1.1
区別 小学校	上広川	96	1.0	3.1	11.5	1.0	22.9	70.8	12.5	1.0
	中広川	275	0.4	3.6	12.7	1.5	26.5	72.0	13.8	0.7
	下広川	130	0.8	2.3	10.8	1.5	20.8	67.7	15.4	-

は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

### (3) 利用頻度

高速バスの利用頻度としては、「年に数日程度」が68.5%と圧倒的に多くなっています。

問 50. (問 48 で 1 と回答した方へ) 高速バスはどの程度の頻度で利用されていますか。(○印1つ)



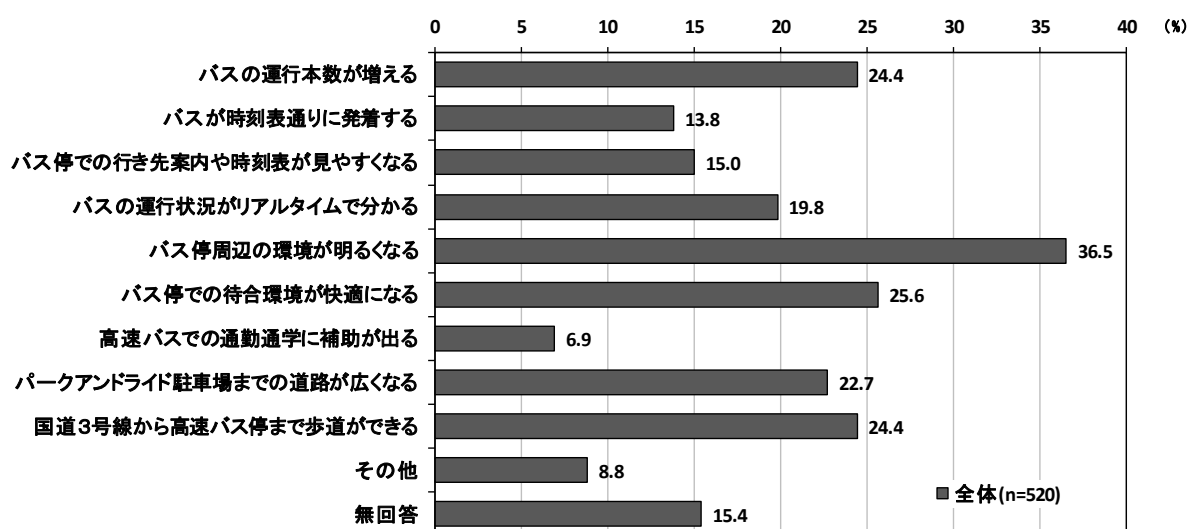
	サンプル数	年に数日程度	月に1日程度	月に2、3日程度	週に1、2日程度	週に3、4日程度	平日はほぼ毎日	その他	無回答
全体	520	68.5	3.1	0.6	0.8	-	0.8	14.0	12.3
性別									
男性	219	67.1	5.5	0.9	0.9	-	1.4	13.2	11.0
女性	272	69.5	1.1	0.4	0.4	-	0.4	14.7	13.6
年齢別									
20歳代以下	34	64.7	5.9	-	2.9	-	2.9	20.6	2.9
30歳代	42	52.4	7.1	-	-	-	2.4	23.8	14.3
40歳代	66	66.7	1.5	-	1.5	-	1.5	16.7	12.1
50歳代	81	67.9	3.7	1.2	1.2	-	1.2	16.0	8.6
60歳代	118	68.6	3.4	0.8	-	-	-	14.4	12.7
70歳以上	176	73.9	1.7	0.6	0.6	-	-	8.5	14.8
区別									
小学校									
上広川	96	64.6	2.1	-	-	-	1.0	18.8	13.5
中広川	275	67.3	3.6	0.7	1.1	-	1.1	13.8	12.4
下広川	130	74.6	2.3	0.8	0.8	-	-	11.5	10.0

■は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

#### (4) 利用頻度を増やすために必要なこと

どのような点が改善されれば、もっと高速バスの利用頻度を増やそうと思うかという問に対しては、「バス停周辺の環境が明るくなる」が36.5%と最も多くなっています。次いで「バス停での待ち環境が快適になる」(25.6%)、「バスの運行本数が増える」(24.4%)、「国道3号線から高速バス停まで歩道ができる」(24.4%)、「パークアンドライド駐車場までの道路が広がる」(22.7%)となっています。

問 51. (問 48 で 1 と回答した方へ) どのような点が改善されれば、もっと高速バスの利用頻度を増やそうと思いますか。(○印3つまで)



性別	年齢別	区別	サンプル数	バスの運行本数が増える	バスが時刻表通りに発着する	バス停での行き先案内や時刻表が見やすくなる	バスの運行状況がリアルタイムで分かる	バス停周辺の環境が明るくなる	バス停での待ち環境が快適になる	高速バスでの通勤通学に補助が出る	パークアンドライド駐車場までの道路が広がる	国道3号線から高速バス停まで歩道ができる	その他	無回答
				24.4	13.8	15.0	19.8	36.5	25.6	6.9	22.7	24.4	8.8	15.4
全体			520	24.4	13.8	15.0	19.8	36.5	25.6	6.9	22.7	24.4	8.8	15.4
男性			219	26.9	13.7	13.2	18.7	27.9	23.7	6.4	23.7	23.3	10.5	18.3
	女性		272	21.3	14.0	16.2	22.1	42.6	27.9	8.1	21.7	23.9	7.7	13.6
20歳代以下			34	26.5	14.7	17.6	26.5	35.3	17.6	17.6	20.6	23.5	5.9	14.7
	30歳代		42	26.2	14.3	11.9	35.7	40.5	26.2	14.3	31.0	33.3	4.8	9.5
	40歳代		66	21.2	18.2	13.6	30.3	33.3	27.3	4.5	18.2	28.8	15.2	9.1
	50歳代		81	33.3	14.8	9.9	24.7	38.3	24.7	11.1	29.6	27.2	12.3	7.4
	60歳代		118	19.5	11.0	16.1	15.3	43.2	26.3	4.2	25.4	22.9	11.9	14.4
	70歳以上		176	24.4	13.6	17.6	11.9	31.3	26.7	4.0	17.6	21.0	4.5	23.3
上広川			96	17.7	14.6	11.5	19.8	29.2	21.9	7.3	22.9	22.9	7.3	18.8
	中広川		275	25.5	13.8	17.5	20.0	37.1	27.6	8.4	20.4	28.7	9.5	13.5
	下広川		130	29.2	12.3	10.0	20.0	40.8	20.8	4.6	28.5	16.2	8.5	16.2

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

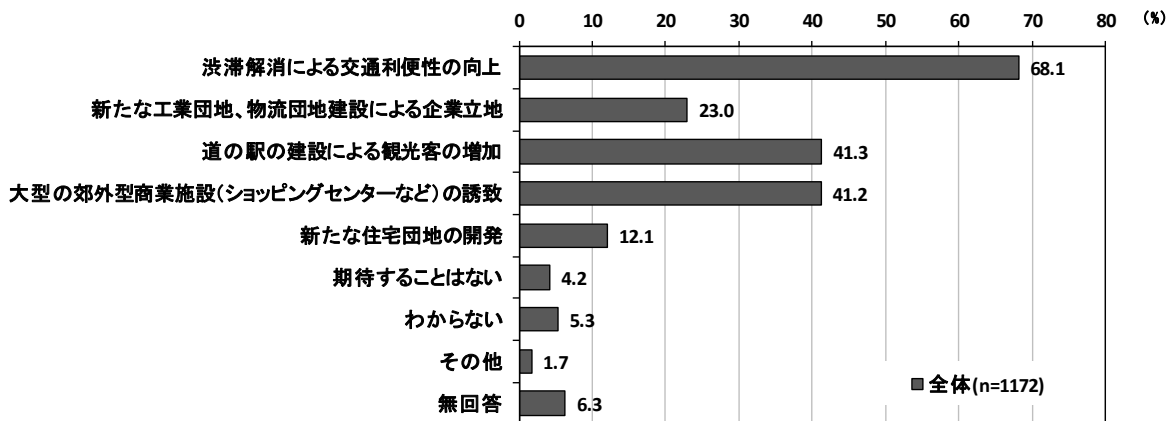
## 46 国道3号線のバイパス建設に期待すること

国道3号線のバイパス建設に期待することとしては、「渋滞解消による交通利便性の向上」が68.1%と最も多くなっています。次いで「道の駅の建設による観光客の増加」(41.3%)、「大型の郊外型商業施設(ショッピングセンターなど)の誘致」(41.2%)が40%台で続いています。

### 【属性別特徴】

- 年齢別にみると、50歳代以下で「渋滞解消による交通利便性の向上」への期待が大きくなっています。また、30歳代では半数以上が「大型の郊外型商業施設(ショッピングセンターなど)の誘致」をあげています。

問 52. 国が検討している国道3号線のバイパス建設について、整備された場合に期待することはありますか。(〇印3つまで)



	サンプル数	渋滞解消による交通利便性の向上	新たな工業団地、物流団地建設による企業立地	道の駅の建設による観光客の増加	大型の郊外型商業施設(ショッピングセンターなど)の誘致	新たな住宅団地の開発	期待することはない	わからない	その他	無回答	
全体	1172	68.1	23.0	41.3	41.2	12.1	4.2	5.3	1.7	6.3	
性別	男性	465	67.7	27.7	42.8	41.5	15.3	4.5	4.1	2.4	6.2
	女性	633	68.6	20.5	40.4	41.4	10.1	4.1	6.0	1.4	5.5
年齢別	20歳代以下	79	82.3	16.5	29.1	45.6	10.1	2.5	5.1	2.5	-
	30歳代	107	75.7	17.8	42.1	57.9	10.3	1.9	4.7	2.8	-
	40歳代	167	73.7	20.4	44.3	49.7	9.6	4.8	3.6	0.6	1.8
	50歳代	179	77.7	27.9	41.9	46.4	14.0	3.4	3.9	1.1	1.7
	60歳代	252	68.7	25.8	44.8	40.9	11.9	4.8	6.0	1.2	4.0
	70歳以上	374	55.9	23.0	39.0	29.9	13.6	5.1	6.4	2.4	15.2
区別 小学校	上広川	241	56.0	32.4	42.3	37.8	20.7	3.7	7.9	1.7	7.5
	中広川	585	73.0	21.5	41.9	45.0	11.1	4.1	2.9	2.2	4.6
	下広川	286	69.2	18.5	38.1	37.1	8.4	5.2	7.3	0.7	7.3

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

## 47 結婚・出産・子育て等について（50歳未満のみ）

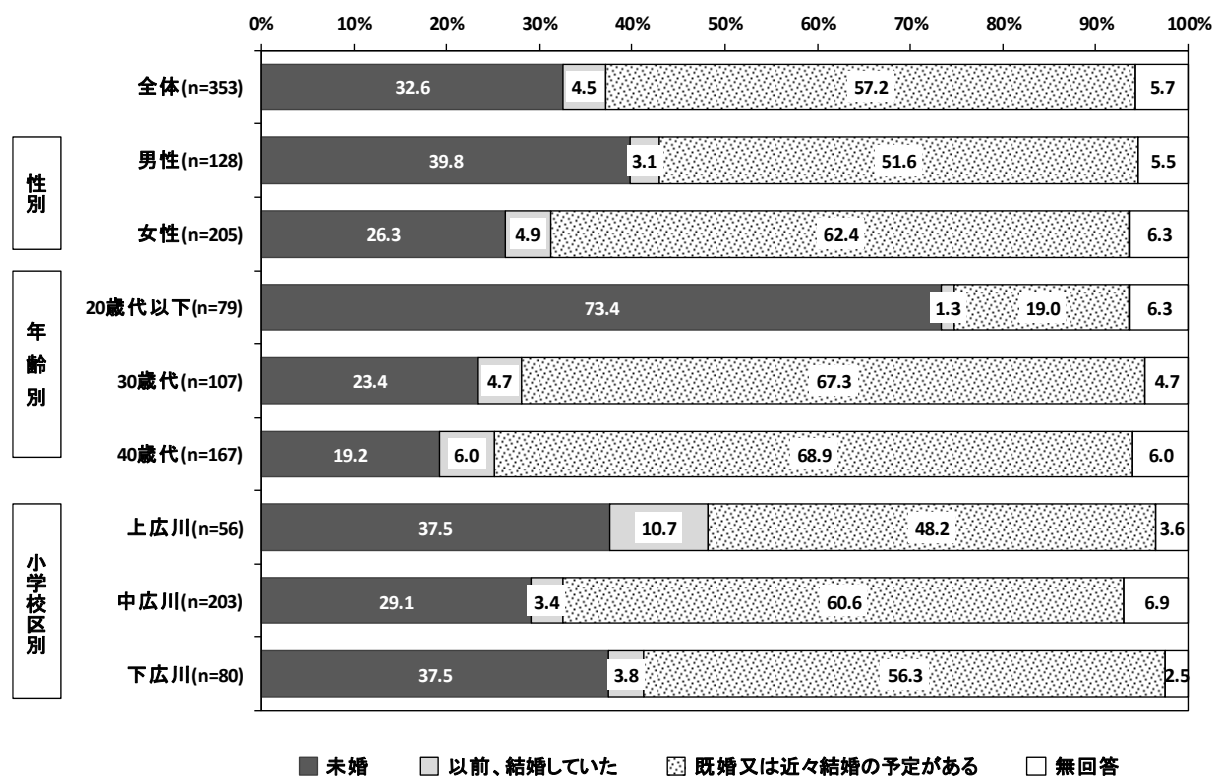
### （1）未既婚

結婚については、「既婚又は近々結婚の予定がある」が57.2%、「未婚」が32.6%、「以前、結婚していた」が4.5%となっています。

#### 【属性別特徴】

- 性別にみると、男性では「未婚」39.8%ですが、女性では26.3%と少なくなっています。
- 年齢別みると、20歳代以下では「未婚」が73.4%を占めています。

問 53. あなたは結婚されていますか。（○印1つ）



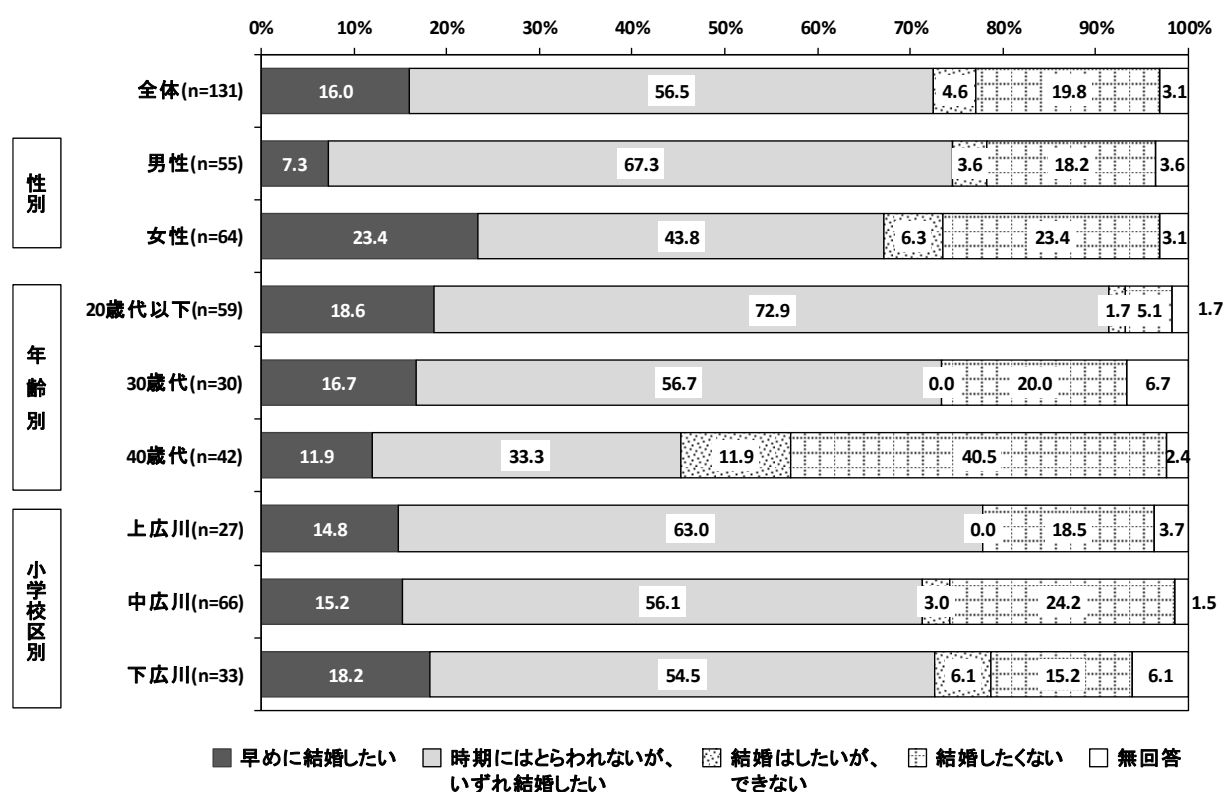
## (2) 結婚意向

未婚または以前結婚していた人の今後の結婚意向についてみると、「早めに結婚したい」が16.0%、「時期にはとられないが、いずれ結婚したい」が56.5%、「結婚はしたいが、できない」が4.6%、「結婚したくない」が19.8%となっています。

### 【属性別特徴】

- 性別にみると、女性では「早めに結婚したい」が23.4%と多くなっています。

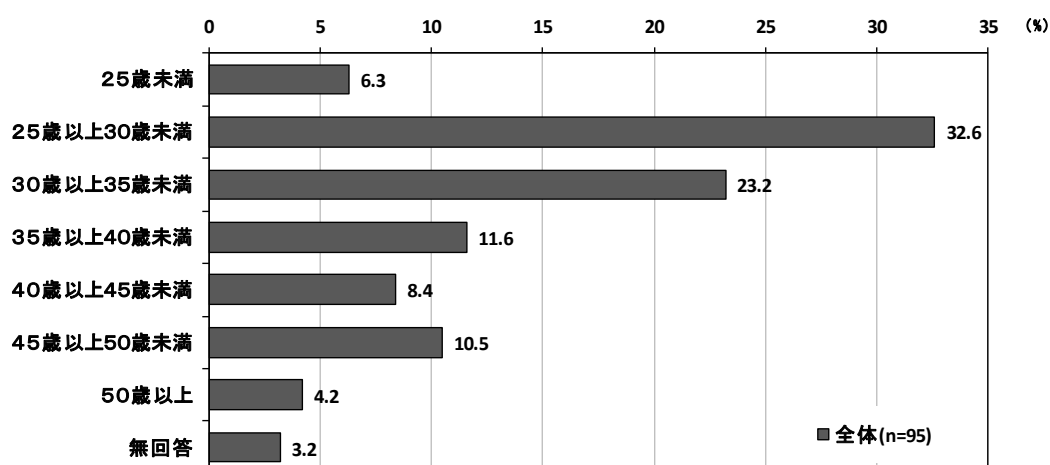
問 54. (問 53 で 1 又は 2 と 回答 した 方 へ) 今 後、結 婚 し た い と 思 い ます か。(○ 印 1 つ)



### (3) 結婚したい年齢

結婚したい年齢としては、「25歳以上30歳未満」が32.6%と最も多く、次いで「30歳以上35歳未満」(23.2%)、「35歳以上40歳未満」(11.6%)、「45歳以上50歳未満」(10.5%)となっています。

問 55. (問 54 で 1 又は 2 と 回答 した 方 へ) 何 歳 くら い ま で に 結 婚 し た い と 思 い ま す か。(○ 印 1 つ)



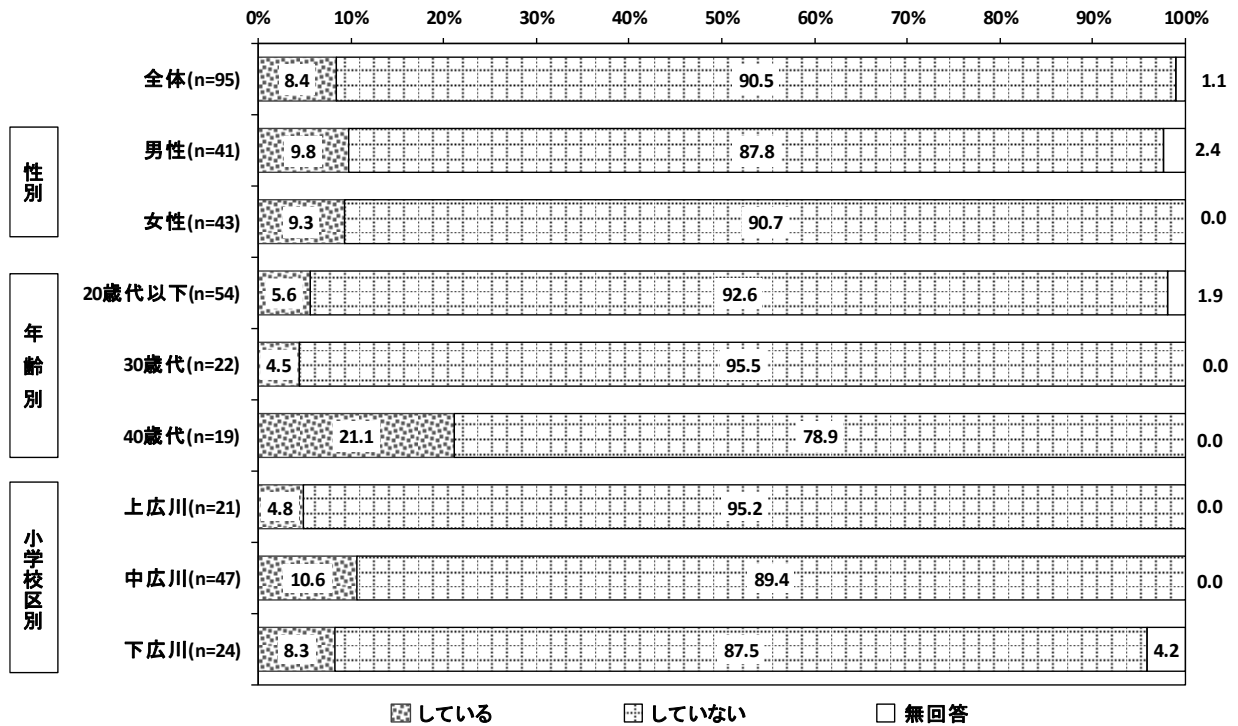
		サンプル数	25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上	無回答
全体		95	6.3	32.6	23.2	11.6	8.4	10.5	4.2	3.2
性別	男性	41	-	34.1	19.5	12.2	12.2	12.2	7.3	2.4
	女性	43	14.0	30.2	30.2	7.0	4.7	11.6	2.3	-
年齢別	20歳代以下	54	11.1	57.4	29.6	-	-	-	-	1.9
	30歳代	22	-	-	27.3	45.5	4.5	9.1	4.5	9.1
	40歳代	19	-	-	-	5.3	36.8	42.1	15.8	-
区小学校	上広川	21	4.8	9.5	33.3	14.3	23.8	-	14.3	-
	中広川	47	6.4	40.4	23.4	10.6	2.1	12.8	2.1	2.1
	下広川	24	8.3	33.3	16.7	12.5	4.2	16.7	-	8.3

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

#### (4) 婚活

交際相手を見つけるための活動（いわゆる「婚活」）については、「している」は8.4%となっています。

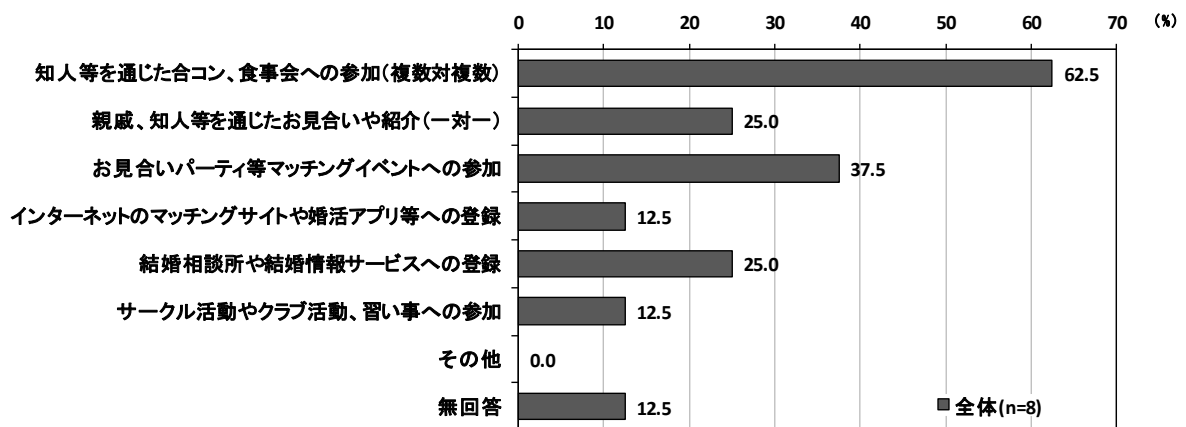
問 56. 交際相手を見つけるための活動（いわゆる「婚活」）をされていますか。（○印1つ）



(5) 活用（参加）したことがある、あるいは今後活用（参加）したいと思う婚活

活用（参加）したことがある、あるいは今後活用（参加）したいと思う婚活としては、「知人等を通じた合コン、食事会への参加（複数対複数）」が 62.5%と最も多くなっています。次いで「お見合いパーティ等マッチングイベントへの参加」（37.5%）、「親戚、知人等を通じたお見合いや紹介（一対一）」（25.0%）、「結婚相談所や結婚情報サービスへの登録」（25.0%）となっています。

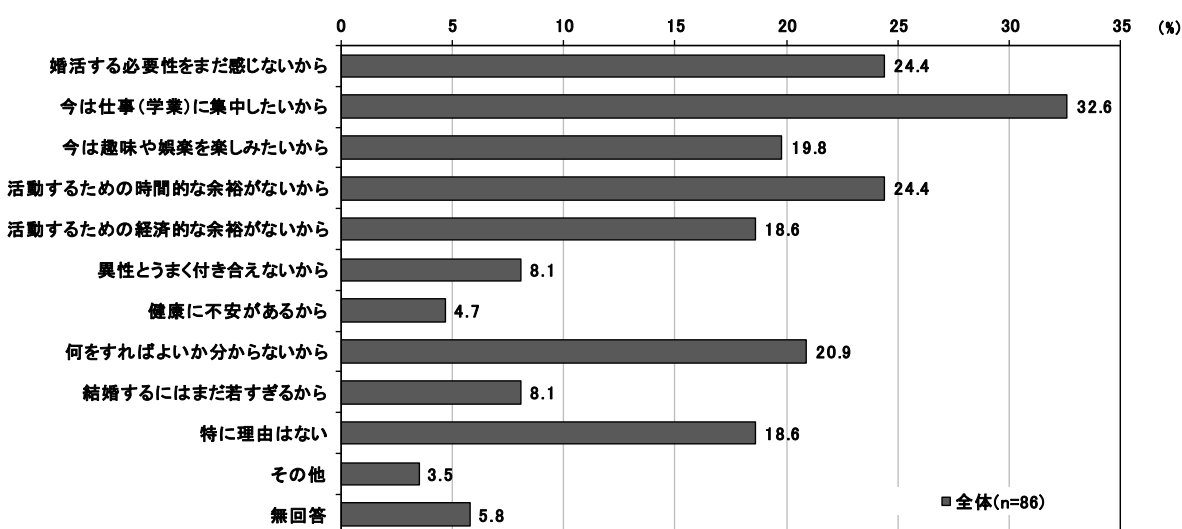
問 57.（問 56 で 1 と回答した方へ）活用（参加）したことがある、あるいは今後活用（参加）したいと思う婚活は、以下のうちどれですか。（○印3つまで）



## (6) 婚活をしていない理由

婚活をしていない理由としては、「今は仕事(学業)に集中したいから」(32.6%)をはじめとして、「婚活する必要性をまだ感じないから」(24.4%)、「活動するための時間的な余裕がないから」(24.4%)、「何をすればよいか分からないから」(20.9%)などが多くなっています。

問 58. (問 56 で 2 と回答した方へ) いわゆる婚活をしていない主な理由は何ですか。(○印3つまで)



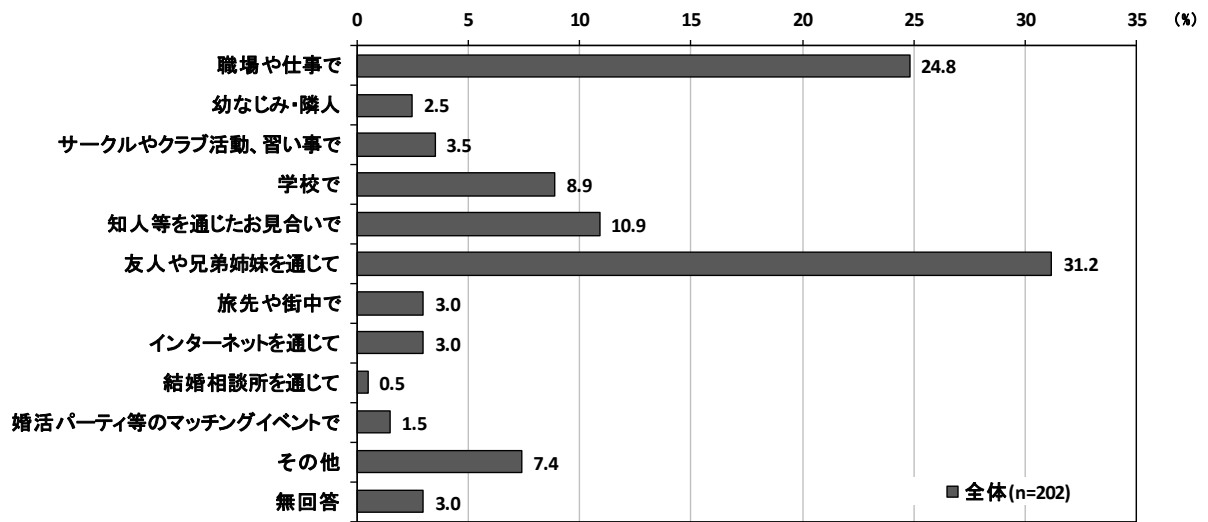
	サンプル数	婚活する必要性をまだ感じないから	今は仕事(学業)に集中したいから	今は趣味や娯楽を楽しみたいから	活動するための時間的な余裕がないから	活動するための経済的な余裕がないから	異性とうまく付き合えないから	健康に不安があるから	何をすればよいか分からないから	結婚するにはまだ若すぎるから	特に理由はない	その他	無回答
全体	86	24.4	32.6	19.8	24.4	18.6	8.1	4.7	20.9	8.1	18.6	3.5	5.8
性別													
男性	36	25.0	22.2	22.2	25.0	22.2	13.9	2.8	27.8	11.1	11.1	-	11.1
女性	39	20.5	38.5	15.4	23.1	20.5	5.1	7.7	17.9	5.1	20.5	7.7	2.6
年齢別													
20歳代以下	50	26.0	44.0	32.0	20.0	20.0	8.0	2.0	14.0	14.0	14.0	2.0	2.0
30歳代	21	23.8	28.6	4.8	38.1	14.3	4.8	14.3	33.3	-	28.6	9.5	4.8
40歳代	15	20.0	-	-	20.0	20.0	13.3	-	26.7	-	20.0	-	20.0
区別													
小学校													
上広川	20	10.0	30.0	10.0	30.0	25.0	15.0	5.0	35.0	-	35.0	-	-
中広川	42	28.6	38.1	23.8	31.0	16.7	7.1	4.8	9.5	11.9	11.9	2.4	9.5
下広川	21	28.6	28.6	23.8	9.5	19.0	4.8	4.8	28.6	9.5	19.0	9.5	-

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

(7) 配偶者（パートナー）と知り合ったきっかけ

今の配偶者（パートナー）と知り合ったきっかけとしては、「友人や兄弟姉妹を通じて」（31.2%）と「職場や仕事で」（24.8%）の2つが多くなっています。

問 59.（問 53 で 3 と回答した方へ）今の配偶者（パートナー）と知り合ったきっかけは何ですか。（○印1つ）



	サンプル数	職場や仕事で	幼なじみ・隣人	サークルやクラブ活動、習い事で	学校で	知人等を通じたお見合い	友人や兄弟姉妹を通じて	旅先や街中で	インターネットを通じて	結婚相談所を通じて	婚活パーティ等のマッチングイベントで	その他	無回答	
全体	202	24.8	2.5	3.5	8.9	10.9	31.2	3.0	3.0	0.5	1.5	7.4	3.0	
性別	男性	66	16.7	3.0	3.0	15.2	12.1	27.3	4.5	3.0	1.5	-	9.1	4.5
	女性	128	30.5	2.3	3.9	5.5	9.4	32.0	2.3	3.1	-	2.3	7.0	1.6
年齢別	20歳代以下	15	13.3	6.7	-	40.0	6.7	33.3	-	-	-	-	-	-
	30歳代	72	27.8	4.2	2.8	11.1	8.3	33.3	1.4	-	-	1.4	8.3	1.4
	40歳代	115	24.3	0.9	4.3	3.5	13.0	29.6	4.3	5.2	0.9	1.7	7.8	4.3
区別 小学校	上広川	27	22.2	-	3.7	11.1	3.7	33.3	-	7.4	-	-	14.8	3.7
	中広川	123	26.0	2.4	4.1	8.9	13.8	30.9	2.4	1.6	0.8	1.6	4.9	2.4
	下広川	45	20.0	4.4	2.2	8.9	8.9	33.3	6.7	2.2	-	2.2	8.9	2.2

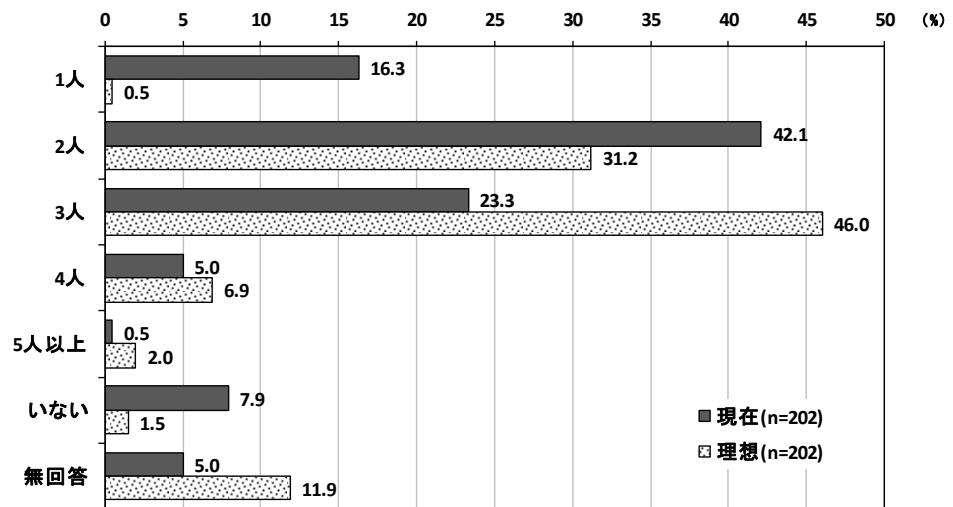
は、全体よりも5ポイント以上多いもの（「無回答」は除く）

(8) 子どもの人数

現在の子どもの人数としては、「2人」(42.1%)が最も多くなっていますが、理想の子どもの人数としては「3人」(46.0%)が最も多くなっています。

問 60. (問 53 で 3 と回答した方へ) 現在、あなたには何人のお子様がいらっしゃいますか。(○印1つ)

問 61. (問 53 で 3 と回答した方へ) 理想とする子どもの数は何人ですか。(○印1つ)



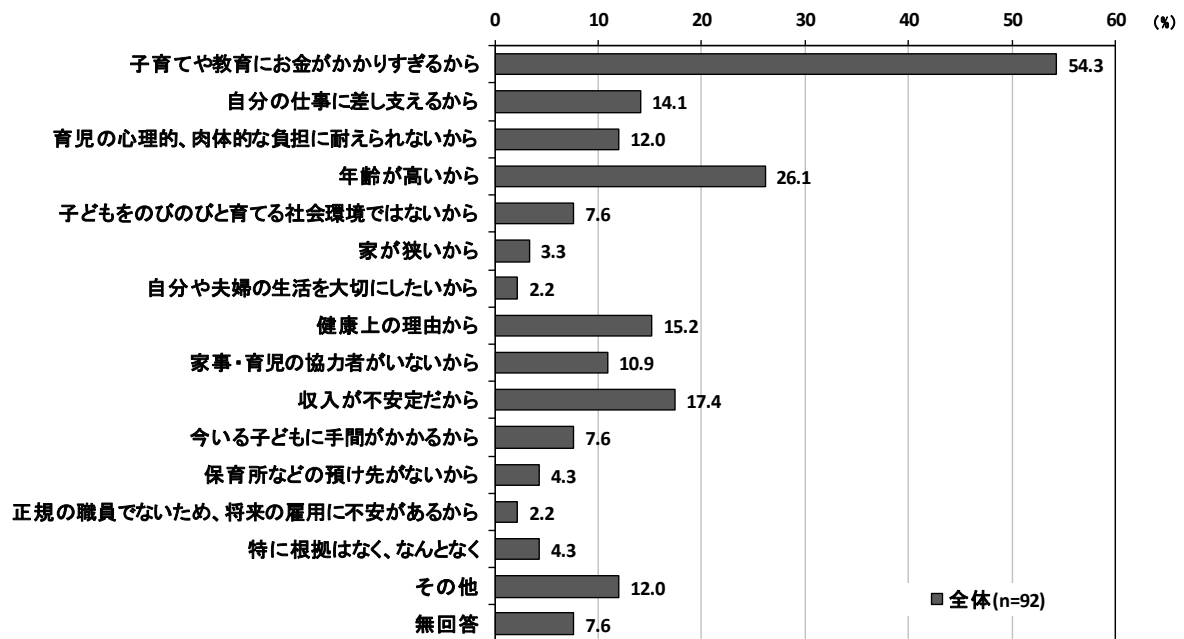
	サンプル数	現在の子どもの人数							理想の子どもの人数								
		1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答	1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答		
全体	202	16.3	42.1	23.3	5.0	0.5	7.9	5.0	202	0.5	31.2	46.0	6.9	2.0	1.5	11.9	
性別	男性	66	10.6	45.5	21.2	6.1	-	10.6	6.1	66	-	31.8	42.4	6.1	3.0	-	16.7
	女性	128	19.5	39.8	25.0	4.7	0.8	7.0	3.1	128	0.8	32.0	47.7	7.8	0.8	2.3	8.6
年齢別	20歳代以下	15	<b>26.7</b>	46.7	-	6.7	-	<b>20.0</b>	-	15	-	20.0	<b>66.7</b>	6.7	6.7	-	-
	30歳代	72	16.7	37.5	27.8	2.8	1.4	5.6	8.3	72	-	27.8	48.6	9.7	2.8	2.8	8.3
	40歳代	115	14.8	44.3	23.5	6.1	-	7.8	3.5	115	0.9	34.8	41.7	5.2	0.9	0.9	15.7
小学校区別	上広川	27	18.5	25.9	<b>40.7</b>	-	-	7.4	7.4	27	-	18.5	<b>63.0</b>	3.7	3.7	-	11.1
	中広川	123	14.6	44.7	22.8	6.5	-	9.8	1.6	123	-	<b>37.4</b>	42.3	8.9	1.6	0.8	8.9
	下広川	45	<b>22.2</b>	46.7	15.6	4.4	2.2	2.2	6.7	45	2.2	24.4	<b>51.1</b>	4.4	2.2	2.2	13.3

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

(9) 理想の子どもの人数の妨げになっているもの

理想とする子どもの数より、実際の子どもの数が少ない妨げになっているものとしては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 54.3%と最も多く、半数以上があげています。次いで「年齢が高いから」(26.1%)、「収入が不安定だから」(17.4%)、「健康上の理由から」(15.2%)となっています。

問 62. (問 53 で 3 と回答した方へ) 理想とする子どもの数より、実際の子どもの数が少ない方にお尋ねします。その妨げになっている主な理由は何ですか。(○印3つまで)



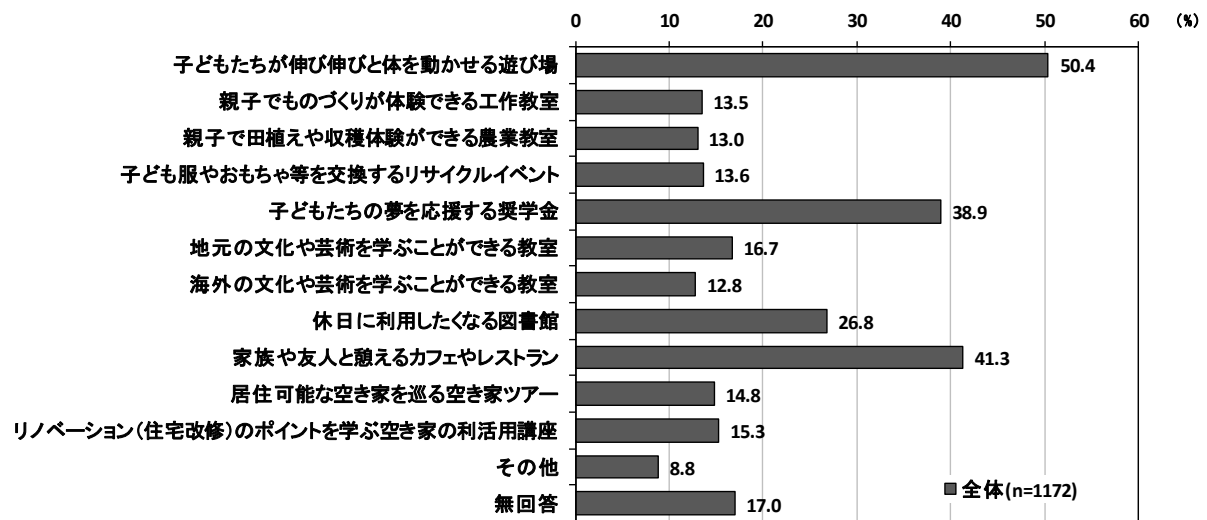
	サンプル数	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分の仕事に差し支えるから	育児の心理的、肉体的な負担に耐えられないから	年齢が高いから	子どもをのびのびと育てる社会環境ではないから	家が狭いから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	健康上の理由から	家事・育児の協力者がいないから	収入が不安定だから	今いる子どもに手間がかかるから	保育所などの預け先がないから	正規の職員でないため、将来の雇用に不安があるから	特に根拠はなく、なんとなく	その他	無回答	
全体	92	54.3	14.1	12.0	26.1	7.6	3.3	2.2	15.2	10.9	17.4	7.6	4.3	2.2	4.3	12.0	7.6	
性別																		
男性	28	60.7	7.1	10.7	17.9	10.7	3.6	7.1	10.7	3.6	21.4	7.1	3.6	-	10.7	14.3	3.6	
女性	59	52.5	15.3	13.6	28.8	6.8	3.4	-	18.6	15.3	13.6	6.8	3.4	3.4	1.7	11.9	10.2	
年齢別																		
20歳代以下	13	69.2	-	-	-	15.4	-	7.7	-	15.4	46.2	15.4	23.1	7.7	-	7.7	7.7	
30歳代	35	71.4	22.9	11.4	20.0	8.6	8.6	-	11.4	11.4	14.3	11.4	2.9	-	-	11.4	5.7	
40歳代	44	36.4	11.4	15.9	38.6	4.5	-	2.3	22.7	9.1	11.4	2.3	-	2.3	9.1	13.6	9.1	
区別																		
小学校																		
上広川	10	60.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	
中広川	60	53.3	11.7	16.7	30.0	6.7	5.0	1.7	10.0	10.0	20.0	6.7	5.0	1.7	3.3	10.0	11.7	
下広川	22	54.5	18.2	4.5	22.7	9.1	-	4.5	27.3	9.1	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	18.2	-	

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

## 48 若い世代が広川町で暮らすために必要なこと

若い世代が広川町で暮らすために必要なこととしては、「子どもたちが伸び伸びと体を動かせる遊び場」が 50.4%と最も多くなっています。次いで「家族や友人と憩えるカフェやレストラン」(41.3%)、「子どもたちの夢を応援する奨学金」(38.9%)、「休日に利用したくなる図書館」(26.8%)となっています。

問 63. 若い世代の定住促進についてお尋ねします。若い世代が広川町で暮らすためには、どのようなものが必要だと思いますか。(該当するものすべてに○印)



	サンプル数	子どもたちが伸び伸びと体を動かせる遊び場	親子でものづくりが体験できる工作教室	親子で田植えや収穫体験ができる農業教室	子ども服やおもちゃ等を交換するリサイクルイベント	子どもたちの夢を応援する奨学金	地元の文化や芸術を学ぶことができる教室	海外の文化や芸術を学ぶことができる教室	休日に利用したくなる図書館	家族や友人と憩えるカフェやレストラン	居住可能な空き家を巡る空き家ツアー	リノベーション(住宅改修)のポイントを学ぶ空き家の利活用講座	その他	無回答	
全体	1172	50.4	13.5	13.0	13.6	38.9	16.7	12.8	26.8	41.3	14.8	15.3	8.8	17.0	
性別	男性	465	45.6	14.2	13.3	8.0	34.6	13.8	10.1	25.4	36.6	12.9	13.1	8.4	18.3
	女性	633	53.9	13.0	12.2	18.3	42.0	19.1	15.5	29.1	46.8	16.3	17.4	9.6	15.0
年齢別	20歳代以下	79	67.1	15.2	7.6	13.9	54.4	19.0	17.7	39.2	60.8	19.0	11.4	5.1	3.8
	30歳代	107	68.2	14.0	10.3	15.0	48.6	17.8	15.9	23.4	61.7	14.0	13.1	17.8	2.8
	40歳代	167	52.7	9.6	13.8	13.2	46.7	10.8	16.8	28.7	43.7	20.4	16.8	14.4	6.0
	50歳代	179	52.0	9.5	9.5	11.7	42.5	12.3	10.1	30.2	48.6	15.6	21.8	15.1	9.5
	60歳代	252	47.2	14.3	14.7	12.3	40.1	19.4	11.1	27.0	34.9	16.3	18.3	6.7	16.7
	70歳以上	374	42.8	16.6	15.0	15.0	26.7	19.5	11.2	23.3	31.6	10.7	11.0	3.2	31.8
小学校別	上広川	241	51.9	14.5	17.0	14.5	39.8	19.5	12.0	20.7	38.2	17.4	17.8	7.5	18.7
	中広川	585	50.6	12.6	11.5	13.3	40.7	16.8	12.0	27.4	43.6	13.5	14.9	8.0	15.4
	下広川	286	50.7	15.4	14.0	14.3	36.4	14.7	15.4	31.5	42.0	16.4	14.7	12.2	16.4

は、全体よりも5ポイント以上多いもの(「無回答」は除く)

**広川町まちづくりアンケート調査  
報告書  
令和元年11月**

■発行 広川町 政策調整課 政策調整係  
〒834-0115  
福岡県八女郡広川町大字新代1804-1  
TEL:0943-32-0106 FAX:0943-32-5164